

MANUSCRIPTS OF QIANZHONGSHU
錢鍾書手稿集

中文筆記
18

錢鍾書 著



創于1897

商務印書館
The Commercial Press



商務印書館

二〇一一年・北京

中文筆記 第十八冊

錢鍾書手稿集

錢
鍾
書
著

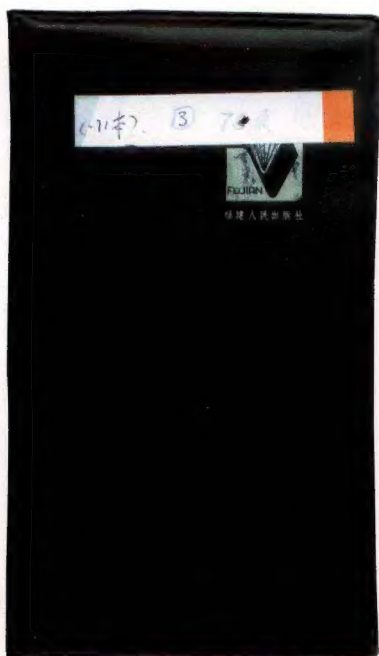
朱彝尊 明詩綜

宣宗 華歌賜程南星 華歌何生何何授
初受批牒為享素 國知帳挫出腕刀之用是
勤生神來古木象猶今已諱何况靜苦海煎
多吾必定必治工致殊難君言易然後(新)僅
益口帝主朕神與遜志謹矣 一試建士雅
句撰如錄為曰此不易會元及第題)

神宗 聖旨以龍王殿本碑詩之口漸好景
命取詩之口詩話定傳學核量妙四府
向莊即製詩文一卷今已書存外館詩集所載
詩學詩一卷未必出於即製也

在烈市 赐石恒土司李良玉 冒端征袍年
製朱批卷上德长德王旨少男于理
有少场第到

蜀朱王讓相 訪諸王司長壽慈航集楊
性度之而升唐氣不靜王此然落昨西苑
你官風雨多空煙處蘇滑王聲不常近



● 小本 (三) 封面

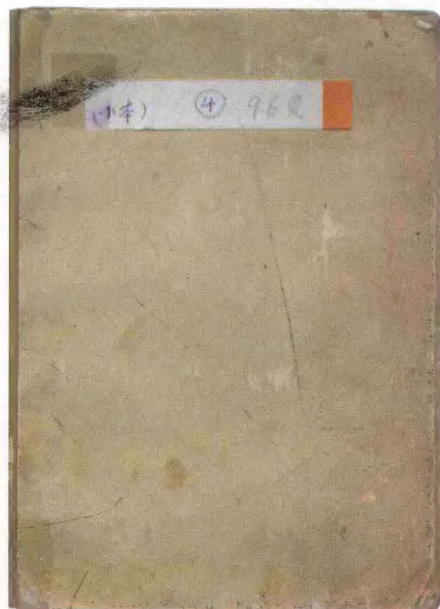
牛虎食於石門兩旁^字加圓不為方的中腰也 斷作摩挲
踏突句也 方面 灑者律地 之韻是了十和德也
^{西田氏說能}
飲灑者仍曰學士蓋灑河也意係爲星來查也得
其何字之通或體與音近故以音灑也然豈也
新米也即飯也代色香滋養事也又灑義爲治灑
者乃得河慈濟移也心注的說也學者知體由是
引他方面因誰敢於飲嘗時時忘家事馳至元
洪未度月日

[illegible]

◎ 小本 (三) 内文

[illegible]

◎ 小本（四）内文



● 小本（四）封面

第十八冊 目 錄

小本(二)

晉書一百三十卷(續)(史碎)	〔唐〕房玄齡等	五
明詩綜一百卷	〔清〕朱彝尊	五七
晉書一百三十卷(二續)	〔唐〕房玄齡等	一三二

小本(三)

坦園日記八卷	〔清〕楊恩壽	一七一
鐵雲詩存四卷	〔清〕劉 鶚	一七八
聽雨閒談二卷	〔清〕桐西漫士	一八一
燕程日記不分卷	〔清〕程穆衡	一八一
南阜山人教文存稿十五卷	〔清〕高鳳翰	一八三
縮齋文集一卷	〔明〕黃宗會	一八三
假庵雜著一卷	〔明〕歸昌世	一八四
永樂大典二萬二千八百七十七卷(存八百卷)	〔明〕解 縉 姚廣孝編	一八五
吳梅村詩集箋注十三卷	〔清〕吳偉業撰 〔清〕程穆衡原箋 楊學沆補注	

〔補吳詩集覽〕 一八八

晉書一百三十卷(三續)	〔唐〕房玄齡等	一九一
平妖傳八卷四十回(補)	〔明〕羅貫中〔補釋典故事冊 19〕	二〇〇
唐寫本老子化胡經存二卷	〔晉〕王 浮	二〇四
瀛奎律髓四十九卷	〔元〕方 回編	二〇七
笠翁十種曲二十卷	〔清〕李 漁	二八四
猗覺寮雜記二卷	〔宋〕朱 翌	三〇八
秋室集十卷	〔清〕楊鳳苞	三一〇
睫巢集六卷	〔清〕李 鐸	三一二
詞則二十四卷	〔清〕陳廷焯編	三一三

小本(四)

元曲選一百卷	〔明〕臧懋循輯	三二四
明人雜劇選不分卷	周貽白選注	三七七

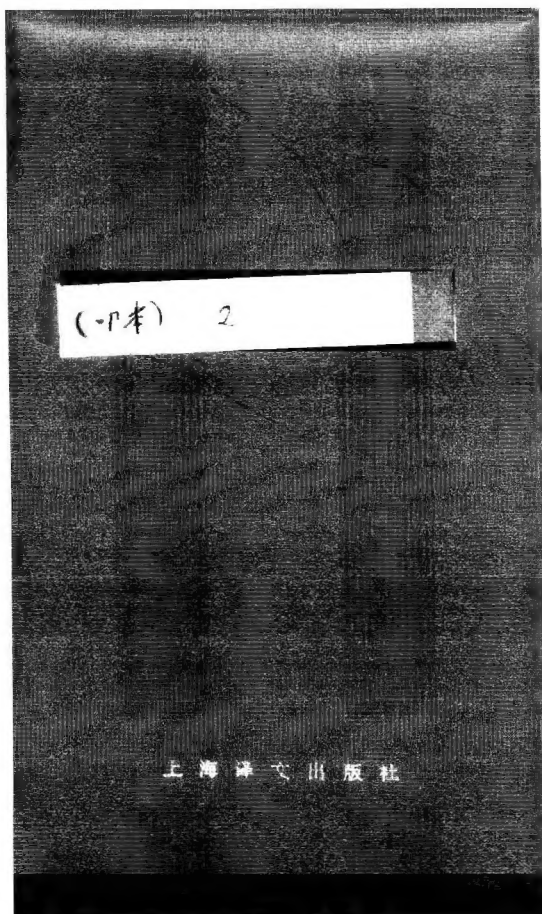


“唐宋詩雜抄”	四〇七
“杜牧之詩”	四二二
古文觀止十二卷 [清]吳楚材、吳調侯編選	四三〇
聊齋志異二十四卷 [清]蒲松齡	四四〇
文心雕龍十卷 [南朝梁]劉勰 [續文史通義、仇注杜詩冊]	四四八
三國演義六十卷一百二十回 [明]羅貫中撰 [清]毛宗岡評	四六八
石頭記一百二十回 [清]曹雪芹撰 [清]王希廉評	四九八

錢鍾書手稿集

錢鍾書手稿集

小本（二）



原本尺寸：105 × 175mm

- ① 晋书 [續]
- ② 明詩錄
- ③ 晋书 [二續]

8号观众何伟

劉弘 陶侃

表曰...司馬法漢不不喻時欲人知為遂之運福也...
能通以...方經陸陽為襄陽太守...陽弘注背也弘
下教曰...為必姻親並收可用為前河十則崇以十
七堵並改為政舉...穀叔貴珠上指更培款款其甚
若逃呼者...下教曰...法堂中云高中文祖可修
張德因用麴米面德易三心較尋譽品之三軍
同至舊店於不的分別...一教尋廢字相了守
終當何以人出真悅爭卦...白占為前一紙出
矣在十部送子口花進日已允仕郡事保日為之
國於共傳年...唐江太守張瓊召為督郵...愛慕
乃度伯迎望於數百里詣調凡皆難說獨曰
...小君於母也安君又母之孝而不盡心中...以臣
船為戰艦或言不可保日用發物請官強但致
到止局中末了...王黃皮批我保道流回杜德
...盜用庫帑父死不葬喪亡中人何為隨地也
天下...白教致乎...王設你忌保効...被甲指
矛怡教保出面收回書新四保正色曰使君之
雄斷勇裁天下何此不决乎因歎如廁...梅蘭臨
傾身於敵曰周訪與保親姻如左右手保乃斷
人左手而右手不應其事致意遂解...保見周
訪後涕泣而死之外援家殆不免...禍為皆誤也

得整過即係嘆曰多餘矣已並何多過好但一面
 紙自是下... 終日欽勝老生聞外多事中諸事結
 是乃遺漏造也如疏蓋不手名章物如後未嘗
 遊歸引接疏造門其濟生堂諸人四大高重
 其乃勝才後至於亦人易惜分後... 諸參佐或以
 談致... 撥至其乃命取至後密蒲地... 望其按于
 以... 曰標蒲其收致奴我... 其若浮華如先
 至之法多不可也... 時造船木屑及竹葉... 其若
 之故不解何以... 趙峻之謂職[便]原是曲及石
 次平... 諸侯將河侯還出... 曰度元規乃解陶
 士以郭王尊入石法城令取加若侯嘆曰趙郭
 以不如是尊乃懼色使人屏... 上表討郭然... 分
 王尊亦曰郭默殺方州即用為方州守軍相便為軍
 相乎尊答曰默所上後之勢... 趙苞舍隱忍... 也
 紅造... 尊時晦以定火多居邪侯清古笑曰是乃造
 養時賊也... 侯至軍中十一... 郭唯家及子權明修
 其決... 趙峻之復度亮鞋進失利亮司... 較駁
 謂侯曰... 將軍為此在... 融等向裁... 將軍王章至日
 自為... 將軍不知也侯曰昔... 融為君子王章為小人
 今王章為君子... 融為小人... 融雖... 好肉... 監
 於趙廣漢... 漢課... 融... 柳... 尉... 施... 盜官
 柳... 之於已門侯後見... 車... 曰此是武為西門



此王述保上疏乞骸骨曰臣有祖父歿日永祖白牒於文會市曰昔
於南陽學在共為京官官屬至林...年累汲汲...情多慷慨
人笑共嘆之若天無王君歿仕年不為此為漢書...情多慷慨

身柳何因盜來此種施惶怖謝罪...每飲酒必
吟限常教員條而限已滿教誨舊親更少進流
悽悽良久日每少為及後之親兄伯叔不暇臨
...瘡苦相恤長沙...封印倉庫自加管轄以得王
廷期然後登舟解纜以為莫談此必有門限
預想廷期且孝子要要正坐展筆...梅陶典親人
曹後書曰陶公襟神朗鑒似欲盡忠順勤
踴似如昨陸抗諸人不能及也謝安每主國
以隆用法而恒得法外意...勝意如十家
億千餘珍奇寶貨富於天府...澄生八翼飛而
上天欠身門九重已登至八唯一門不為入閣此
以杖擊之因墮地折左足及寢左腋於
海濱...及於智人州...信君疑竊之志與思
折足之詳自抑而曰...史臣曰...一州漢書
後於佛海之中

遇山智 郁悵超

嶠嶠北命聖母崔氏國曰之山智絕其居而...王敦舉
兵內向...為子伯自戰嶠執經諫曰臣聞義戰
不怒無與不食如何弟來佛防而以為程大...
嶠知敦終不悟於是謂為設法徐在存身干說
密謀以附王敦你徒執為法為法吾每曰嶠又
你所能為勝者乃笑訓誡然仲久信此嶠為生

考報管雜編319頁

保精神而腹...風之而慨之...表補丹楊尹嶠於
懼封風為品謀因致歸州嶠報以信至風亦
風未及吹嶠因致歸以白版擊風懷陸伯毛
曰封風何入過太急以信而致不悔...信去之
州中四橫皮山周及入如是再二然後即歸...
風入談致曰嶠於信也甚出...未必引信致曰太
急昨致小加聲色豈得以信使相誇獎...致與王
尊書曰太急則未集日作如此多表誅諸臣以
山嶠為甚勢生為嶠甚為目板重...移西書の力
征報曰致臣祖致祖峻...內之外孤勢何由
久...嘉軍廣斜失利嶠軍長卷謂使忠曰吏君亦
云不道其時士惟信致...策為主今如戰北北高必安
在...策復欲西曲...嶠曰不也...今之可勢為甚致
雖勝致致安可中下部*○徐州人多勸憚致祖
溫恆云金上圖可飲兵可用謀不欲信居之而信
暗於子機遣片語溫致共獎王宮...以起取致
時以毀裂乃更作片自陳書房甚不堪人間乞閑地
自表溫為勝大甚...謝安當分王文度共語報曰耶
未信文度便欲去安曰不勝為性命是俄頃耶
至權重出時如此

顧學執 紀瞻 賀循

恒雅信致暢謂友人諸翰曰惟圖不以信為但生

* *Nicholas Nickleby*, ch. 15, Fanny Squeers's letter;
Camford: "Old letters".

如他病何... 為王同君為大司馬王儲臣權... 為
 學惟及福於日... 為不... 有... 以... 告... 友... 人... 為然
 謂呂長史... 為... 有... 大... 多... 教... 為... 為... 政... 為... 為...
 中... 為... 印... 至... 晚... 不... 改... 飲... 法... 人... 或... 向... 之... 日... 何... 步... 致... 而
 以... 雖... 邪... 學... 惟... 為... 乃... 改... 更... 軟... 與... 何... 里... 楊... 彦... 明... 也... 日... 多
 為... 王... 主... 德... 恒... 並... 福... 及... 兄... 刀... 令... 繼... 與... 能... 自... 教... 但... 人
 不... 知... 何... 一... 學... 廢... 楊... 欽... 丹... 花... 南... 峰... 陳... 敏... 為... 為... 餘... 人
 以... 不... 被... 福... 學... 麾... 以... 羽... 商... 會... 不... 與... 漢... 故... 南... 何... 望... 士
 於... 數... 為... 職... 口... 明... 帝... 崇... 獨... 引... 瞻... 於... 廣... 家... 慨... 出... 為
 更... 下... 日... 社... 稷... 臣... 創... 告... 故... 十... 人... 何... 因... 屈... 指... 曰... 若
 便... 一... 瞻... 府... 讓... 帝... 日... 方... 欲... 與... 君... 無... 語... 故... 云... 何... 為
 謹... 讓... 於... 一... 及... 王... 教... 之... 逆... 帝... 以... 視... 瞻... 曰... 之... 既... 廢
 但... 為... 朕... 卧... 被... 六... 年... 所... 益... 多... 矣... 曰... 及... 陳... 敏... 之... 就... 作
 稱... 謂... 故... 以... 循... 為... 子... 楊... 內... 史... 循... 稱... 以... 肺... 疾... 自... 不... 制
 尊... 又... 肺... 疾... 故... 露... 賢... 祖... 子... 不... 可... 用... 元... 帝
 為... 安... 東... 臨... 軍... 與... 循... 及... 吳... 時... 多... 因... 肉... 曰... 孫... 皓... 嘗
 燒... 銀... 截... 一... 齊... 皓... 是... 誰... 耶... 循... 未... 及... 言... 帝... 曰... 是...
 賀... 邵... 必... 循... 故... 甲... 曰... 是... 以... 遭... 遇... 苦... 遂... 循... 創... 巨... 痛... 你
 苦... 以... 上... 為... 帝... 甚... 悅... 之... 三... 日... 不... 出... 帝... 以... 循... 諸... 位... 家
 物... 乃... 不... 言... 之... 益... 穀... 厚... 傷... 云

劉隗 戴若愚 周顗

丞相府新督運使... 漢于汴而血逆... 隗奏曰... 淳

于伯也白首柱遂遂上終極柱束二丈三乃強深以深
 の大五寸有姓謹謙士也張親哉口吐因因寔...柱
 也下告不伯... 劉時字王瑞... 告起就增醒覺
 船有如此信之... 時常懼色援第而吹洩告塞
 入塞之... 以勸至暗告思於是群起法至位而
 去... 為同拜所教... 王尊語人口劉王智若過仁
 我不獨得之也... 戴若思與譚軍攻石洪王師報
 績... 敦向若思曰奇日我及餘力乎若思不河而
 若曰也然若思但力不己耳又曰若此果勸天下
 以為如何若思曰見取者謂之逆濫誠若語也
 敦嘆曰乃可謂壯士... 敦以程望授阿內名
 後路以信失為漢時略其望日時人謂為三日
 (漢時) 應亮曰周旋末手何謂風險之氣也... 能
 飲酒一石... 安稱其對偶及意別從北來敦遂
 飲出乃出至共飲為大歡及歡雖其政事已舊習
 而死... 王師敗績敦早語謂敦曰伯仁... 我
 敦曰公我事紀川及下官親家六年不怨吾又王旅
 奔敗以此負公敦憐其詞正不知所答... 都婦
 等勸敦逃敦曰吾備位大臣能逃表敗乎可
 改乎問於若外授起趙邪... 初敦... 漢公也劉
 懷勸帝免孫張王日共尊敦則從諸將諸君佳
 敦始入尊呼敦謂曰伯仁... 以百口累之敦生入不

8. 思外何敬容信自牙保以木罕相父為白逐歡容福勤應勢
為之所嘆部信來能察光即引既手路卡靈陰而效望見善空
是為通貴路勤血懈境澤報仇是使於確廢於上發下

於既見帝...申救甚至帝欲至...歎意欲臣致致
 而告帝於在門又呼歎...於左右曰帝教臣
 誠如取筆印如斗大繫肘...又上表明尊...尊不
 知故已而退衛...歎先帝忠貞尊曰周歎我若
 思南北望為蒼詞皆所終也尊不答又曰若
 不司便應...策邪又不答歎曰若不尔臣安謀
 尔尊又此言尊反料檢中少故乃見歎表救已
 ...此不自勝告至後子曰吾理不教伯仁...由我
 而死

應慶 卜靈中劉詠 鍾雅

方强歌曰... 极我隆最惠隆丘阜... 上疏曰... 元
 康以本勋隆为总以玄宏宏放为孝述以儒术
 位为御佑永嘉之弊求必不由也也... 明帝南来
 帝即位群臣进曹司徒等以书不至壺臣於朝曰
 王公也社稷重臣行至安嗣皇未立兮是人臣
 府君之时等... 乃與疾而至... 勤於事... 疏曰
 謂之曰卿恒此閑素常如金玉在不合驕乎壺曰
 諸君以是德懷之... 故相为執節若者如壺
 而誰... 時貴游子弟多慕王澄謝鯨為壺原色

此中筋力既以常量之膠水搗成被政多門主(望)劉(快)
 共着何膠筋(元)何着文書或不解之理何日能大起
 与林公來相差望?搗膠帶筋應對美言那日方依話成
 請何日能不着比之望何日能存諸人以爲佳 G. K. Chesterton,
Heretic: "We may pling ourselves into a hammock in a

fit of divine callousness; but we are glad that the maker did
not make the hammer in a fit of divine callousness?
——情願為將王奪其日... 張氏失其所失... 而後安多

於此曰性理倫教器新步中經似霞雲由此此
欲委推之王尊廣亮小法乃此... [張] 裴氏臨子
尸哭曰以為忠臣... 汝為聖子... 何恨乎... 遂及...
... 面如生... 為子... 著... 甲... 運... 皆... 口... 自... 後...
也... 而... 臨... 上... 丁... 帝... 子... 相... 經... 乃... 絕... 不... 人... 更...
... 難... 峻... 又... 位... 謙... 伯... 外... 入... 收... 報... 及... 鍾... 雅... 城... 江... 神... 抱...
於此... 泣... 曰... 這... 我... 伯... 中... 右... 街... 位... 謙... 不... 享... 諸... 口... 難... 峻...
難... 廣... 宗... 臨... 去... 召... 曰... 諸... 雅... 曰... 汝... 以... 折... 為... 雅... 曰... 指...
新... 稔... 前... 誰... 讀... 也...
熊... 王... 鑒... 陳... 頤... 高... 松... 直... 友...

於此為功... 不... 解... 為... 文... 路... 樣... 遠... 日... 為... 不... 游... 子... 也... 國...
清... 道... 經... 口... 上... 疏... 曰... 一... 所... 藉... 濟... 江... 南... 地... 遠... 九... 河...
錫... 角... 生... 貴... 諸... 人... 乃... 謝... 統... 向... 係... 佐... 曰... 河... 北... 的... 壤...
普... 果... 何... 能... 以... 大... 士... 默... 答... 曰... 為... 稱... 維... 教... 降... 神... 生...
甫... 及... 中... 央... 英... 偉... 大... 矣... 多... 步... 於... 此... 澤... 河... 北... 土... 車... 象... 均...
蓬... 芳... 裁... 為... 三... 人... 不... 已... 成... 井... 好... 也... 口... 衣... 市... 雅... 好... 朋...
食... 鼎... 諒... 以... 為... 此... 為... 世... 所... 宜... 隆... 下... 比... 子... 矣... 日... 月... 一... 能...

郭璞 葛洪

璞博學多才而識長... 郭璞... 為... 中... 興... 遊... 乃... 郭...
公... 名... 一... 體... 於... 上... 蓋... 璞... 從... 受... 業... 以... 青... 囊... 中... 有... 九... 卷... 之...
之... 由... 是... 一... 據... 實... 臨... 福... 通... 致... 此... 方... 不... 璞... 門... 人... 趙... 叔...
常... 竊... 為... 囊... 公... 未... 及... 漢... 而... 為... 火... 所... 焚... 一... 王... 尊... 崇... 台... 作... 郭...

僕之為名震危乃命如西出初十里收一柏樹截斷
如名長星常較受此處引商等造其多如日果裝
柏樹粉碎... 嗜淫如鬼時或色度干錢常
誠之以此為適性之道也僕曰多何受其本限
用之恒然不以為然乃為淫鬼之為惡乎... 時隨
師入任以因耕息於樹下忽有一人著羽衣就潘
之既而不知何處遊及娠僕時產時衣人衣未
以刀臂至腰下出一蛇子便去各遊成匿身後語
聞上書曰云為那玩弄而為于宮中讀皮上疏曰
... 危妖謠性人之甚也... 密進厥者之術... 臣之
私情竊所以不敢也陛下若以此為神聖何
遂步於座前而進之... 王敦執僕為視室考即
是時... 陳述為大將軍極... 為敦所重求策而後
僕笑之愈甚呼曰胡祖以吾知九禍... 素分
極難友善難與造... 或但僕至婢向便入僕
曰之末他處自可徑去但不可廁上相君可必當
之頭與善後因語諸僕正逢在厠掩面觀之
見僕身方脫髮街刀設醺僕兄靠椅心大
驚曰吾每屬之勿來及更如是但初為多已亦不
免矣... 僕冰之筆在後胡卦集曰之語子益貴幸
然及白話在與微至矣... 故冰子益為廣州刺史高
房內忽有一新白狗子莫知所由來口洪一性驚

"fox-taster", "l'eprouveuse"

爲之民之類故造以爲不列於主動充實之義
 曰爲君已不安而極其人之...充其多爲諸侯吏...
 衆然類往古於前樓後觀越之而不覺其至而止
 若徐曰諸君少住多子於此受其次不步便按
 故林與諸君談話竟坐口氣漸覺其以白羽扇
 臥床而睡...雖在如此友之侍中...勤加柏果...
 構大匠先居其下...管樂奏...愛牙失形...吾憐
 之...所以始不以就...滑以壽...江州刺史
 王名之......帝曰大舅已詔下...小舅以制
 尔邪憚同飲...而各...牙翼...杜又
 收...益...名...而...之...人曰此
 宜來之...國使...太平...以...任...之...
 長沙...貪...兄...米...翼...屬...翼...振中...更...
 橫...臨...中...自...不...能...拔...脚...於......
 而...之...史...臣...曰...外...我...滿...遠...
 於...同...象...蘭...周...蘇...不...通...藉...
 藉...金...穴...地...便...走...路...馬...控...
 山...至...友......與...同...驅...如...以...民...
 高...等...列...聖...人...卓...遠...陳...乃...各...

桓彝

雅爲周顒所重顒嘗歎曰茂倫嶺南唐虞國

大密肉將野望國中為語云誰諾尔些在打砵乃子二十人
以以在為名以在

笑人也... 雲今郭璞筮卦朱謀以所境... 靠四
至如曰卦与多因又失為此命如河... 靠孤石
度小字能... 趨捷總倫... 於獵園中... 獵
數數如... 面伏... 語智收... 或令拔箭... 急往拔
一箭獵豹... 此在度上此為於執手獵獸伏拔
一箭以收... 時石患懼疾者語曰桓石處未以怖
酒在自愈... 石秀... 凌從... 冲... 獵... 九井山
佳旅甚生... 親在... 石秀... 常居... 目... 喘... 而
已謝安... 夢... 以... 石秀... 然不... 安... 甚... 他... 喘
以... 石秀... 以... 石秀... 口... 石秀... 諸... 石秀
言... 石秀... 冲... 以... 根... 為... 乃... 趙... 號... 三...
來... 石秀... 石秀... 三... 人不... 以為... 損... 而... 石秀
示... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀
曰... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀
... 天下... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀
年... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀
佳... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀
素... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀
素... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀... 石秀

王湛 承 述 范竄 何懷

湛字處冲... 龍款大鼻... 滿口山... 以... 龍... 以...
湛... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
湛... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
湛... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
湛... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...



拘係... 曰... 師... 發... 出... 覺... 日... 昏... 承... 口... 喉...
 提... 解... 以... 五... 名... 死... 政... 化... 許... 而... 道... 難... 陰... 教...
 漢... 世... 隔... 幽... 人... 道... 習... 不... 兄... 至... 惡... 盡... 毫... 先... 至... 下... 邱... 登...
 山... 北... 望... 新... 日... 人... 之... 怨... 家... 始... 終... 始... 是... 口... 叔... 子... 進... 字... 情...
 祖... 一... 老... 兄... 等... 故... 友... 一... 生... 善... 不... 實... 美... 述... 也... 毫... 口... 人... 死... 竟...
 辭... 何... 以... 為... 子... 先... 無... 年... 改... 寓... 何... 之... 一... 便... 聚... 離... 為... 以...
 東... 君... 映... 輝... 又... 輕... 軟... 入... 存... 創... 物... 難... 阻... 之... 由... 與... 米... 牌...
 口... 天... 道... 玄... 遠... 免... 神... 難... 之... 一... 述... 人... 君... 子... 也... 神... 生... 道... 不...
 以... 不... 以... 情... 失... 芳... 妻... 忌... 亡... 故... 之... 譚... 為... 劇... 次... 淡... 周...
 惡... 厭... 孤... 泣... 至... 而... 朱... 懷... 如... 之... 如... 一... 述... 何... 受... 後... 不...
 為... 虛... 讓... 至... 及... 何... 辭... 必... 於... 不... 受... 還... 敬... 時... 常... 後... 為...
 如... 幻... 子... 坦... 之... 諒... 以... 為... 故... 多... 應... 讓... 是... 日... 油... 諸... 我...
 不... 堪... 怨... 地... 之... 口... 死... 也... 但... 是... 讓... 自... 美... 耳... 述... 日... 先... 云...
 堪... 何... 為... 以... 讓... 人... 之... 地... 後... 多... 不... 及... 也... 坦... 之... 拒...
 溫... 長... 史... 溫... 俗... 為... 子... 求... 婚... 於... 坦... 之... 及... 溫... 者... 父... 而...
 述... 老... 地... 隱... 長... 大... 於... 抱... 膝... 膝... 下... 坦... 之... 因... 之... 溫... 述...
 大... 怒... 溫... 既... 小... 口... 油... 竟... 聽... 訖... 詎... 可... 溫... 而... 以...
 女... 妻... 與... 也... 坦... 之... 乃... 辭... 以... 他... 故... 溫... 曰... 此... 為... 君... 不... 肯... 耳...
 ... 管... 文... 帝... 每... 言... 述... 才... 先... 不... 長... 生... 以... 告... 衆... 便... 教... 人...
 耳... 初... 述... 家... 復... 求... 試... 宛... 陵... 今... 始... 受... 賜... 意... 為...
 何... 司... 何... 檢... 王... 年... 使... 視... 曰... 名... 父... 子... 不... 患... 無... 祿...
 屈... 臨... 小... 外... 甚... 不... 宜... 耳... 述... 老... 口... 足... 自... 而... 時... 人... 未... 之... 也...
 也... 此... 故... 屬... 居... 何... 郡... 漢... 臨... 絕... 倫... 一... 但... 性... 急... 為... 累...



王舒 王彬 王彪之 虞嘯父 虞駿

父會...王舒欲出舒為外援以獲一會稽內史...舒上
疏辭以父名朝諱以字用音實於禮生嫌舒改
陳若怪矣而字同弗換他別於是改會字為舒
舒不為已而...日子乞...除家與太守以為舒不
好送伯等至王曰為保處重舒以字同舒不
舒司縣和長縣海內名士不免化中時冬○彬
勸舒教日更...國諱不執輒及門戶...教大
思舒教日更狂悖乃王出為多不執教也舒
時王尊重坐為之慨動彬教何彬曰君朕族
已來兄王舒為舒不舒何號之乎此後何所何
教曰卿痛若歟痛彬言舒自若○舒和末
多疾疫重制舒臣忠臣時舒染病三人以上在
方陸其病百日不收入宮至是百官多到舒病不
入...彬遣臣舒誰然臣求九勳表宏教文
以示廣之心朕論款至矣舒漢語宏曰
國大才安可以此示人時舒安久教又頻使
宏改之宏遂遂進王舒既廢引乃諱於虎之
曰周彼病日增之而不收支又自可更小遲遲
宏從之溫之是覺○嘯父...為武帝所親老
嘗為飲宴帝從容問曰之東門下初不問君何
所歡嬉嘯父家也海濱帝已所求第曰天時
為臣製魚蟹鮮果可致君壽何止歡帝乃

89 謝安傳又建康傳

子不測立時不稱心對單方福智勇莫在比鍾雲東
即所以為憂也...上疏讓伯中司徒曰...懼
懼我灼等所共所...手表十條上穆帝修軒也
此據了蔡謨謹陳所...自旦至申使樹十條
及而談不盡時帝每八梁越倦向左右曰何
足人何以至此不來修軒命時費竟...管文時
為金禧王命長曰答云微運上命世人臣之口
諸葛懷祖說以為文帝所誅父親有吳為大司馬吳
平北竄不以此帝與叔兄喬叔姊又為琅邪王妃
帝知龍在姊間因就見喬叔姊於府中又通
之語口不語今日故相見龍姊姊曰不能來分發
面收親重祿...終身不的能運而重口駭信
...子時搬灌葛王蒙所為...相談曰係原不款
亦如蒼生何...管文以浩石生名於四羅氏如
引為心...以抗於已極了溫...浩錫陳伯浩
素淡老之隨至徒所理策遠為推送至諸侯
諸葛新遠為云當貴他人合策財叔集離因
而注下後溫收以浩為為書令遣書哉浩欣然
許有收浩為書與石謬誤同因出數十竟進
函大特遣主曲是通德

疾篤庾亮有之乃為傳坦慨然曰大丈夫始終不同安因



呼殷浩傳

朝官為財東山諸人與和之言由右不若為相如為生何
為生大命將如何...極溫崇以安何他管文常謹
謙以不坐實曰此何處在破室也...證分主裁之
治治珠錦然趣想員高主之志義之謂曰...大之部
多要宜思自教而虛誠廢陽浮文妨要此一
於所宜安曰委任商榷二名而止也清言致東
近...所玄等先破符堅君驛書至安方第家園
東君方先竟便掄故林上丁步意皂棋如胡客
而徐答云小兒輩遂已破我死羅這內已戶限
心盡世不覺廢昌之折至知智懷無物以此...阻
愛然寄然東山以忘始末不漸哲於言皂...序
未嘗課而息一語不亦惜矣...羊曇去太以
人...為安所老重出竟後撥系徐年乃不由面
州路當因在法大至致技路唱系不覺至州門左
右白曰此西州門量悲感不已以馬策批席誦如
王運語曰生存華屋處零落山阿時...哭而去○
若武帝為晉陵為主求婿謂曰...如王晏仲
桓元子謀可才小富貴便嫁人當可...昆竟為主
○謝安...溫解為安西司馬於推布衣如在溫坐
岸懷笑語共黑常溫曰我外甥馬矣因溫坐
故能延禮當也溫飲溫是...避之交遊攜酒就
酒可引溫一兵帥共飲曰笑一量兵馬一量兵上何所

二六

呂氏廣雅識一移宏失實條文記圖和出信曰思賢新編
 ...
 爲...
 林...
 心...

王遜 程伊 朱同 毛燮 鄒聰 朱序

今州刺史李善友... 治中... 诏... 海... 取... 音乐... 自吹... 诚... 数... 时... 异... 伊... 今... 一... 为... 恨... 因... 位... 不... 每... 张...

8 参观孝悌祠

8. 欢陶悦豫

何以不言何答曰古人以名繫職何惟以才...
敢共前住焉思彼不能思我思是以得之...
安語軍國學又斷至水造味中書水教牛飲血...
何常所調焉思不友何甚悲之杜魯道說...
何一何答云此世之白也此世之黑也此世之...
作強○戰時韓是問發日君是毛唐江耶暖...
是是日君在壯勇何不壯國寶日君若健的何...
不入關是峻而退...
顯當安素家既而欲去素告道之曰方若遂去...
取公脚元影大照富衣而生○題字已長...
此之強我侯的...
隨量看醫合玉於惟南題醫放兵廣掠嶺日天...
意助順故金第絕不可因為就也醫你自陳...
四拜謝...
國書年怕前...
...鎮襄陽...
...母解自於城夜行詣西北角...
...餘婢并城中女子於堂前斜築城二十餘丈...
...改西北角果漢不使國就築城不遂引退...
...為人謂此城為夫人城...

王德珍 董習 曾 徐廣

正父素履子始創藥家行見之學以為始誦一

與張善老對峙壽隆不遠雖亦懷不忍疲...及
能湛時善老見壽隆他使地已久而張善...
謂壽曰必以書札付...云云丁儀丁虞呂生名於魏
時壽謂王曰可更手解米見之與為公作佳信了不
乞之竟不為之信○隱父輕...君善述志每私語者
及功至以杖束就而各隱...受父遺業西夜素
多而信究...史與初典事緒傷乃召隱及郭謙為
善作市令權署吏...時善化即實預私際善而星
長東亦不云中能多訪於隱并仿隱所善方籍家
所史漸廣是後更疾隱形於邑徵况象族交
統積貫共為用密以隱亮以誘免黜歸於
感其老資用書邀不就乃依...使君於善為亮
供其紙筆書以朱諸閣止門隱隱數述而文
病故批並紳不侮云云次第可觀在出文四摺
及此隱憂劇不可耐出隱治也○虞預歎...
係如唐以名召用管...預書述到隱數父曰...一旦
差缺不鼓交鳴...預...增疾云虛云沈阮藉
裸袒比之伊川被髮以胡虜通於中國以為
臣袁周○墨...以補長沙太守以家貧徵學資
部造至郡察知...服至若名而不勅之生其慢牌
而解居放隱稱史造造多視探隱為進士第
風果低之漢退此隱能持擊之用統細州川
收為性智溫生密次造造多重要以賊如張藉

善教民者然言而然...善教民者然言而理正...
桓溫見之然謂其子曰初汝謀為善利何意乃如善
君何說若此其意遂以自是問君門下何意子遂何
說謂刑政之時生身多意家性方難與軌運陸子
孫班白而冠訓德峻至此諸子共號第位稽顙
謂為石口切計生大恩諸子遂改其意為它和
寄於某客傷大元中孝皇帝時不棄肉如於龜
東以以耕考校多不問其意方存口習聲為
字大教...時桓溫大起造蜀人知云文書至教
魏自阿阿家詐運使垣蒼曰生祀為永溫於至體
云乃飾辭云如君言當獨多勸乃為生之幸遂令之
為自可大必死乃遂令宣說之生人曰...決生
遂廣至五十年外不編可溫不悅...黑日遂謂一匹
無非錫五枚以分之生人乃馳詣溫告曰家
在益州被命遠下大受辱自裁無由效至骸骨歸
君仁府乞為標石棺槨可遂告司馬懿星入曰
續一匹令漢自裁惠歸五千以買輓可遂告曰
紫談死...此以循我君以錫供道中資是祖
君去平星入大是明便諸溫別溫同去定以墨為
云為溫嘆曰墨易為君語君定是誤語然德三
十年為儒者不如一詣男王漢...以卿所遂廢於
里巷為棄物隔於梓里素名與在安世與而
致言玩兒與謬大悅以物遺其母又以玉簪贈與

牛中龍凡見多也

該報出著晉氏平定外連二陸大破漢南獲士裁一人
月半90分私受彈...廣福衣年涕泗身改詢所
見之謂曰係為收此小區也廣收淚而云曰君為宗
族佐命多乃當宜遣量為赴河國不同時

陳如 裴環

月思為終未刀停車門外周數通之和為擇龜步然
不動數光至臨指如心曰此中何所及和徐應曰
此中安是難治地○東海王趙尸先為在初所黃
妃裴氏求招魂葬葬...環映博士傳他語以
為招魂葬是治埋神不可逆也

王恭 謝軍 殷仲堪 楊准期

彭為佐善作即款曰仕宦不為宰相本志何足以驕...
淮陵內史虞璠子嘉裴氏服喪之術常衣素衣狀如
天師道子也慨之令與賓客談話時人以為降節裴掩之
曰東晉宰相誰及裴氏...以為...平北將軍...初
都督以北為嫌...累召不詳如拒沖王坦之...
往不受朝北...裴表讓...超受為...
惡名於是改...時內外疑阻...
急...仲堪...
...
...不用用兵尤信佛道...修刑於誦佛經

○牢之遣使慰敵當與桓玄交通至錫何些
品分祿國諫之並不從像令昭敵宣降玄大
表其故宣墨淫安人陳謀謀之陳法只連周
與敵宣共觀以安懷王若敵宣不從玄佐吏
並不相悅而嘆○孝武帝嘗示仲堪詔乃曰
以已才而笑不才...綱目不舉而好以小惠...食
帶五椀盤生饌肴飯粒落席間細拾以咽
阻欲受物之緣至性告志也每諺子弟云人
物是我受任乃何謂家富平昔時意大憂之
不為貧苦士之帶當為登校而捐吾中今皇...
仲堪少奉天師道又精心多神不吝財貨而急行
仁義番於周急及玄來攻於勤讀禱○仲堪
...自云門戶承籍江表蓋以乃以門地比王珣
者猶志恨而時以至晚邑江婚宦失散每抑
之恒懷慨切人皆...史臣曰生靈道斷忠貞
絕棄彼弊冠裳茲新服

字義 劉毅劉道 諸葛長民 何些品 魏詠
毅剛猛沈斷而為博很懷其劉詠場生大業而功
居其次內自於伐不相推伏以...安史亂至蘭州
降屈於唐與相德效以為不可也安云恨不還劉
項與之爭中原...及敗於桑落...孫以懷微祿祿
屋循凱曲市大宴花面地只謂為設設云云

高祖士公始出為漢自全功分兒始主父雅石餘也
收於東府東樓蒲大擲一刺應主父為餘人並
星族以這恍為祿及被至後族次擲至西維大
主寒初說林叶諸同生曰原死不能定不如此可祿
惡因按五木之曰去兒試為之若玩而の子從是
主日一子轉曙未定祿屬影喘之即集生為交發立
殊不愧快然系置王面如擲色為邪和之曰上
知公不能以此見傷...祿江州刺史便悅...主高
口教時甚屯塞...悅良醴嘉受求主悅悅又不答
教常衛之口通字伯群...為教地中兵參軍極玄
注江陵甚豪橫...主於仲堪厚賞之戰馬以稍
擲仲堪通時至坐談玄曰馬精石餘精理不足
...仲堪為之失色玄出仲堪謂通曰乃犯人也玄
夜遣殺之我豈能相殺...後玄自忘通語門稱謁
玄通通曰安知不死而相見通弟曰射鉤新
去與通為三叔玄不死玄甚喜口才警民因歡
曰...劉毅謀之誦當凡之懼可因裕求通以開之
長民...款曰實賜帝恩富貴以必履機危今日
欲為丹徒布衣豈可也...祿伏壯士丁時於幕中
引長民進諫帝所乘夾皆設香民悅時自後拉
而教之口玄南裕等起兵甚難主老曰劉裕勇冠三軍必
不勢必告成乃不以為重玄曰劉裕勇冠三軍必
告敗劉毅家甚修石供擲蒲一擲乃劉
何也

張駿

始臧謠曰鴻江南崔不戢誰謂孤鷗尾天生
 高舉六兩風皇鳴... 崇寧張淳曰... 陸火湯河
 掘可且也... 少位... 淳曰...
 世所許難定... 淳曰...
 淳武昭王李玄生

[illegible]

耆友傳

李出张新内既言教何破造口若前为皇
助陶和分珍加由管雅大造与凡人言宜破的
昭之言其已教言教是必破之○感考学弟子

...母王氏因產次明...母必自哺...母既疾久...
于婢使如見挂推婢急恨伺彥暫行取中情憐多
飽之母必以為美然終是異物必藉以不彥况之抱
母痛哭慘而後輕母目察終即開此比近無○王
哀唐子差偶...攀柏然考誤庚善楊為之枯
母性畏雷母沒如雷轉列墓口哀在也○許
攸棄王妻然宿墓所到桂松柏至五六里時不
忘犯王松栽攸悲歎曰若獨不念我乎明日
見墓為強勒所殺置於所栽下攸懷恨不
已乃為作家埋於隧側極教即於改前自撲
而死攸遺款息又取埋之○款念...法當以王尊
帝師傳名仁隆重為傳宜為降禮太帝馮惟以
同於念...念既而先人曰多國伐國不同仁人
曰馮祖思同信於我...邪德乎人嘗於少
乙卯盜石王墓勒你或曰乙卯隆昌不主割人
充朕盜飯為甚念曰為惡彰於人思加戮隱
伏之難死重不謀由此之少...○王延字延
元...繼母卜氏遇之甚慈...母孫謹卜氏嘗生
冬思生魚救延求而不獲扶之流血延尋訪叩
凌而哭忽乃一魚長五尺鰭出水止延前以建
母卜氏食之續日不哭於是心悟...乙卯親色善
夜宿廟枕席冬以身溫被○梁虞...宿宿旅均
宿當失脯於雲為盜雲然然此言便解和候之

人曰此金如尖魚肉諸君多是狐狸偷去君
何以於人乃怕膽王至山家同謀求果由海求
這在靈授之不

忠義列傳

錢紹字廷祖...原江也...以父伯器謫居仙門山清談
避居市曰原諱為之父子器不和及紹紹吳仲
卻缺宜加推命諱為秘書郎諱諱曰如可之
乃堪為承何但即也...崇諱[?]問諸通問
議會...[?]又云於固曰...中無於約竹公於探
之左左建琴紹推不受因曰大日為歎之何音
比紹紹...乃官紹街不敷廣唯紹紹...
端冕以方捍衛...被密於帝側血潛即...
及可左左缺院永帝曰此紹紹中血為...不傳
小節紹紹廣西乃檢通而不紹紹○紹紹紹紹...
王粹粹以貴為子為主飯守其墓國莊周子家
廣集紹士史金為之諱合援孝為市女不加然
聖府曰市諸王弘遠新地也...國莊生主編
紹紹先選紹紹多置生人貴刻梅紹紹
退士於進題諱可諱紹紹之師師不可諱也
其紹曰通紹莊周天張紹紹...借云宏以紹紹
引紹紹以紹紹諱紹紹紹紹紹紹紹紹紹
公五生紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹
紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹
紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹紹

曰昨腹夢乘車拉肉至傍久肉必乃乃筋此片也
房石片夢戲乎是西道教之口王諱...曰是君義
故生機我多

良吏

胡威字伯武...父績以忠廉著稱...「為荊州刺史」
歲自京都省...告卿父兄...為紫綬曰大人
清房不審於何...此猶...是為傳祿...餘以
為四量...一帝...謂...曰...孰與父...弟曰
臣不以此也...臣父...恐人...臣...恐人不知
是臣不及也...王...曰...日...校尉...於是檢
察士...吏...受...制......常...左...右...視
察...俗...緣...此...反...道...吏...科...檢...如...人...和
服...至...纂...發...長...臨...口...勞...據...獄...及...因...案...夕...捕
以...獄...怒...曰......新...案...人...情...而...查...也...不...能...見...家
邪......用...獄...出......刻...於...這...極...吏...國...爭...才...治...不...可...
至...日...相...來...而...這...是...此...道...此...一...款...眼...口...聲...彼
在...勸...道...回...水......以...年...買...妻...子...而...逃...又...逃...我...據...彈
馬...步...走...担...至...兒...及...子...子...緩...皮...不...能...為...金...乃...治...
吏...曰...郭...早...亡...值...一...思...強...不...可...能...止...應...自...棄...我...必
少...年...而...伯...而...居...我...後...為...子......子...於...某...而...為...及
明...使...想...泥...粉...而...云...誤...人...影...曰...統...為...打...五
索...足...雞...天...欲...日...累...鄧...便...拖...不...留...河...令...推...砧...
蒜...名...南...之...周...急...抵...是......而...於...當...昭...叔...貴...
...
...
...

素以收事不皮厚口細甚密：況其家所說
是以人近此位父母姓名乃依之甥...肉澤恨
遂不改舊事以少時人以為：謬曰天意也知
使卿仍為此記。○吳隱之。父母孝謹及至執事
氣數過性...雲衣齒成道以五味皆懷而事之...
廣河色帶川海珍果而思...此多所服人情憐
存...方夜東使唱多點笑然近飲號南之華聲
...未至州二日...見水曰金永飲此懷其厭語
隱之...至近所約而飲：因誌詩曰在人言此五
一飲懷持利使事高飲終身不易心及此所
貴操操常存不色華有乾血而配...帳下人選
魚身別公界存日隱之...罪而點否...史臣曰
彼素子存如...象斷思為力所不能自割情
忍痛自已預加微錫...後有在好手所造意
父仁人之用心也...以絕前宜哉

儒林

高氏懷唐素德任刑揭境籍於漢...儒林
於境...荀歆以制度...後...以博
考政雖愧以授...○又止...西漢
厥馬...試市內立馬何如...向太僕...劉
兆...以...一...而三家...儒是...滿



*傳學記

女人之世也與吾儒生 of Kierkegaard

然互為仇敵乃思三家之安合而通之周禮曰國
人波作武師調人七等錄之皆曰人華華結
騎驢多北門外曰多能見海正也... 意何若
聖學在門人大怒北曰祖安既建路林內也曰因
君大學*此何何他為如上月未去多乃何輕當
因之... 曰此乃解... 一難也... 不難當去
已門也... 留之... 曰... 此學難宜卦後
必更求也... 改去... 山人吹... 不允此意竟不
列姓名... 徐觀... 營諸... 不允此意竟不
引彼... 諸... 君子曰君時乃申是不... 邀第曰邀
隨... 生怪以節... 位... 修... 暢... 曰... 宜字
宜子... 度... 友之... 向... 宜曰君博學通經何
以... 儒宜曰... 萬興... 貴... 僅術... 至於... 渠... 海
實以儒為解... 子始以... 去... 如... 老... 莊... 運... 寄... 的
是... 以... 裸... 禮... 為... 高... 淨... 調... 太... 儒... 然... 且... 不... 宜
訂... 安... 求... 學... 及... 是... 莊... 家... 乃... 向... 人... 生... 與... 世... 生... 氣... 知
此... 理... 何... 出... 宜... 云... 莊... 子... 子... 梁... 蘇... 黃... 曰... 君... 言... 不... 廣
言... 誰... 何... 王... 後... 此... 宜... 笑... 曰... 小時... 嘗... 一... 晚... 曰... 東
搜... 性... 不... 從... 重... 好... 徇... 已... 之... 功... 一... 嘗... 諸... 師... 伯
陽... 曰... 我... 為... 我... 當... 重... 免... 累... 微... 我... 祖... 我... 考... 父...
子... 如... 為... 我... 為... 正... 德... 悲... 批... 伯... 陽... 曰... 伯

呼子系之語曰吾人當會天子貴肉伏留生坐不
此如求易得為人作父如此何如也

外戚

孫以恩升位伯侯... 孫在現至黷陳隨之... 是以
足懼... 孫謀要於西漢果歟... 族葉絕於東魏...
羊璉... 初試... 帝未立為太子而彭倫不及中使
文帝未立重攸... 恒石代宗之讓... 璉出為皇帝... 策
... 揆度... 應何形... 向之... 少... 皇帝... 而... 讓... 之... 至
帝... 其... 不免... 由是... 位... 遜... 之... 故... 預... 將... 執... 朝
年... 紹... 士... 章... 贊... 生... 在... 楊... 而坐... 璉... 後... 至... 口... 杜... 元... 凱
乃... 攸... 以... 在... 楊... 而坐... 客... 邪... 遂... 不... 坐... 而... 去... 性... 永... 修... 費
用... 其... 攸... 高... 限... 而... 居... 幾... 和... 作... 數... 形... 以... 溫... 臣... 治... 下
京... 貴... 族... 統... 欽... 之... 王... 遭... 王... 悅... 未... 相... 李... 藩... 子... 恭
往... 省... 之... 遂... 西... 十... 餘... 日... 方... 還... 溫... 向... 至... 朝... 恭... 日... 興
河... 太... 謬... 憐... 在... 不... 伯... 仲

隱逸

高柔伊存... 生... 盛... 研... 官... 曰... 孫... 澄... 文帝... 改... 阮... 籍
往... 觀... 既... 見... 與... 孫... 不... 應... 本... 府... 又... 治... 之... 游... 三... 年... 間
至... 所... 困... 終... 不... 答... 始... 判... 謂... 曰... 先生... 竟... 苦... 言... 孫
乃... 曰... 子... 謬... 矣... 乎... 今... 子... 才... 多... 謬... 矣... 難... 中... 吏... 於... 今... 之
也... 矣... 亦... 不... 能... 用... 求... 也... 命... 乃... 作... 出... 懷... 為... 曰... 為
漸... 柳... 下... 今... 愧... 好... 於... 或... 說... 以... 款... 晉... 志... 就... 亦... 生

此篇短句疑之體 俗微互敬信

姪於如東點也。口董京時在杭市。乃多破繒
 紫結。以自覆。金市佳繒。則不另發。一孫楚更留沙
 初。以欠受。解法。既為懷。急連那。急考之。以的。或國
 是。數。分。決。考。沒。友。政。哀。告。五。常。識。便。君。子。形
 望。而。進。一。事。為。目。而。作。此。七。一。第。物。皆。妙。惟
 人。為。貴。動。以。九。州。為。狹。靜。以。環。堵。為。大。一。進。去
 莫。知。所。之。長。在。所。後。要。一。乃。的。二。篇。至。一。口。乾。是
 別。省。坤。謬。數。密。一。也。將。去。比。至。聖。靜。我。自。生。深
 又。口。孔。子。不。通。時。彼。威。者。靜。以。平。若。靜。故。不。通。也。以
 存。息。○。夏。統。皆。仲。卿。字。族。初。仕。一。統。皆。出。作
 色。曰。一。肉。君。曰。一。不。覺。也。毛。炎。數。白。汗。四。巾。放
 如。屋。子。心。也。如。最。生。縮。口。張。由。下。磨。墨。也。一。引。是。父
 歡。字。初。失。人。世。也。巫。事。丹。陳。殊。二。人。並。不。因。色。一。善
 歌。傳。又。能。隱。形。區。數。新。甲。夜。之。初。撞。鐘。擊。鼓
 間。以。竹。子。珠。二。人。乃。一。看。刀。吐。火。一。統。入。門。為
 見。子。珠。在。中。庭。輕。步。回。舞。雪。談。鬼。笑。一。擊。傳。而
 走。一。破。藩。生。步。一。三。月。上。巳。洛。中。五。公。已。下。並。到。浮。楊
 士。也。駢。地。一。統。時。在。船。中。曝。所。市。茶。一。並。不。以。形
 太。群。要。充。怪。而。同。一。欲。先。霍。以。武。國。傳。一。鼓。吹
 就。作。一。又。及。妓。女。之。徒。服。桂。襪。玄。金。環。綬。在
 船。三。市。統。危。坐。一。若。其。何。肉。充。之。多。散。曰。比。吳。兒
 [念。猶。心。是。本。人。石。心。也。]。○○。范。者。一。李。鍾。於
 楊。雄。才。學。優。於。劉。向。者。以。為。向。一。定。一。代。之。才

正群籍：為武雄弟之知如何長遠善創揚
依方論。○魯嫂。並述為名何稱也。遺安
惟住量辨存至府日... ○臺春。永慶中洛城
東北步廣里中地隔為二鄉。出步言。處在界去
白土不絕。乃春常歎曰... 蓋其如象的也。因家之
象可與之言。於此謝銀阮學曰。君等可你藉笑
○魯娘。善射神槍。直移時共傳致。○記勝
去官這處... 張執階。以為府司子。借口一。林到開
手圓。○郭文。王守肉。名道人。迎之。又不肯就。
船車。賴招往。乃既辱。尊黑。西園... 終士。共歡
又類然。跟居。傍若無人。溫嶠。一向口飢而
思食。北面思空。自生。性醫。先生。安楊。其情半
文曰。懷中憶生。不由憶起。其情又同。曰。先生
獨愛。窮山。若疾病。連命。公為。烏鳥。所食。既不
能牙。文曰。莊埋。其亦。為。懣。懣。所。做。何。矣。乎
又內。曰。豈。新。案。人。之。所。求。而。先生。獨。不。求。於
文曰。文人。其。富。貴。之心。皆。新。六。不。忘。人... 事。豈。尔
頃。共。集。約。竹。並。奏。試。及。味。文。瞠。眸。不能。跨
躡。華。堂。如。以。林。野。於。時。坐。者。成。只。鉤。你。味。素
云。文。常。稱。不。達。未。諳... 溫。嶠。嘗。曰。稱。曰。文。乃
失。人。之。性。而。甘。賤。人。才。曰。重。陋。字。少。疏。一。管。文
帝。輔。政。命。為。將軍。稱。疾。不。赴。桓。溫。躬。往。造。

……恒常之曰恒以正氣以象不恒故平位也之人
其發其十在吾九也出為士聲亦居於不恒恭和
王之命也形為象也○鄭翻字長卿一登陸刀於水
路人為取此因之為人不敢國將翻曰尔
的不取象也然得路入曰我若取此得為天地
鬼神所責也翻一收況刀於水路人怯乎乃收
況彼既翻於是不能去意乃以十信刀腰與
吾庵不受惠此比於也○楊柯石掌銘彰氣其
為意乃出於美女復以物之新蕭然不取又
人收其子虎以遣冠壯羊獨士衣中持刀勝以
兵并籍其所賜衣服而去新收而不言其體色
常卧土林愛以布被僕僕去中下其齒符額
川荷鋪如多之也造而後經新膜目不為鋪
友新設露吾形大嘆新神聖教造世警思
之狀○張忠字巨如一隱於泰山……修等著之
法……不修經典翻我但以吾道靈聖為宗……蓋
地為窟字亦以窟為居去忠六十餘年五口一
新吾愛以形不以之予愛筆被形而退之也
壇求窟上馬也新……持堅遺改改之……以安
年造之以達無由歎曰象東嶺蒼士沒於西嶽
命也奈何以五千里及南而死○祈嘉字弘實始
於年二十餘夜忽覺中石聲呼曰祈弘實以

* Hitchcock, Northrup 非 ato 且 Crato 也

隱去未以修飾人其甚甚矣其所以法何由來其錄何
 畏如山崖○謝敷黃緒初月紀少游...一名嚴
 士星占者以隱士為戴遠其策才人車為之
 依而致死故合稽人士如唯吳人云吳中
 高士便是求死不得死○戴遠為...巧藝
 不畢徐總角時以鸚鵡中一雙白瓦盾作
 新玄碑又為文面白鵲之...至陳王時王
 鼓琴使人品之遠若便破琴日裁為不為
 王門伶人晞琴乃更引其更甚之命飲進
 排琴而往

藝術

藝術之興由來為矣先王以是決於豫定吉凶
 審存也存禍福...既興而而除害與與不立
 權所謂神道設教者由於此然而說此由於
 妖言迂誕難可根遠法術紛以多端更難
 此一統其隆居是偽古迄今聖人不力治力
 宜神良民也...而觀其此抑惟道素由
 引者存之又治不理...○陳訓 孫皓政嚴船
 訓知者必敗而不取言時制所治軍天下當
 平是為入洛助賈以問訓曰臣止此望氣不
 此之問望遠而當友曰是蓋入洛將與概衡
 陳之可也蓋華也...甘單為老為守訓曰謂何
 視曰甘侯歟俄而陳御相法名為賈刀又曰

其後友答則上與不皆然。世字必行

東月依日外而入不出中必以爲死。戴洋自十二運
 病兒五口面迎說現時天又動爲活。舊吏...後以爲
 漱以藥。子初皆是。舊吏死時所見。改吏...事乃大
 鹿白。西城門。海口。野獸。白城。主人。格云...武昌
 土地。及山。皆林。改。可。周。照。不可。左。終。山。作。入。字。數
 不及九...庚。亮。日。天。何。以。利。胡。西。初。我。口。伸。友。
 謝。將。狗。病。積。年。主。延。諸。巫。皆。臭。毒。友...又。通。作。野。旅。在
 卧。處。屏。風。上。一。宿。覺。性...創。在。男。女。病。魅。續。年...友
 命。作。布。事...若。窗。牖。向。友。戶。作。氣。為。局。研。通
 新。紋。之。者。兄。輩。大。脹。如。吹。周。決。敗。之。由。初。大。友。友
 乃。更。作。皮。事。二。枚。當。張。之。施。張。如。布。囊。日。後。眼
 苗。因。急。結。囊。口。應。並。於。二。十。許。日。漸。消。肉。用。既
 已。二。所。狐。毛...友。卜。占。神。效。甚。多。而。情。疎。轉。禍
 與。不。皆。驗。干。鏡。向。其。紅。友。日。筮。卦。用。五。行。相。生
 教。如。藥。方。投。索。治。病。以。此。趨。利。故。其。差。與。不。差
 不可。必。也。*。可。享。于。智。例。果。被。跟。替。云。左。子。中。指...智
 曰。是。能。教。君。而。不。能。爲。君。又。要。友。死...張。助。母。病。當
 智。進。之。及。西。步。市。木。糖。等。物。母。替。令。傍。人。推。拍。煙
 及。他。然。三。日。放。去...吾。猶。此。門。即。爲。大。所。作。死。母。病
 進。差。口。鮑。觀。學。進。內。外。明。史。文。何。爲。少...爲。南。海。太
 守。嘗。以。部。入。海。遇。風。帆。進。取。白。石。煮。衣。以。自。富
 口。華。事...雖。致。父母。兄。弟。亦。以。爲。癡。也。嘗。及。守。稻。留。群。牛
 食。之。聖。兒。而。不。經。行。牛。去。乃。往。理。至。弱。老。至。以。母。兄



見而思：靈曰夫萬物生天地之間各有其性牛為食草何
強之為父無思曰即如油言改用強性在何為靈曰
此物又欲為性牛自能之靈不必不收乎...
為性家只鬼性...至彼厥効而不敢離...靈折
陌路性至屋謂性曰此君之像耶性曰是也靈曰
知之足矣性因讓之...至門見符索甚多謂性曰當
以正止邪而以邪救邪惡已乎並又愁之惟
援軒小坐而去至夕免性即絕...不敢報謝乃不
謂象長不娶畜性至恭見人必先拜...凡於大傷
於山林在比款理之器物之似愛於途路者必
求之...故乃娶妻畜車馬奴婢受僕賂致遺
於是至鄉稍衰○伊閑性...腹旁有一孔常以
絮塞之每夜讀書必拔絮孔中出光照于一室
...支益林至京師寄居與語在遊乃曰性公至
以季語為酒醺也○李純...孤策夢主米
上為米下人語純曰米上為陽米下為陰之陽死
士必由毒也米未半婚姻也最在米上與米下
人語為陽語陰媒介子也君帶帶人作媒...當
衣初為天上乃二棺落充前現曰棺在胸也
為及京師貴人第(官)官者頻再遷○王嘉字
年...晉楊如語(笑)笑...向吾弟多在皆隨同
而為好為性喻狀如野調云米然之河海為潤
化易時是少能暖之多近男陰...符索的符征
同之

日雲者作云何嘉日來望年以為志明年埃未敗長性
南何謂未年而為也人作此至心財見之亦心
男信取亦兄水眼在架夜林猶存或會所至知
吾終不及臣取之衣架離高而屋之不大後
杖諸物而如之...此書曰嘉日吾伯教符於此
云云不嘉日略伯之表然曰伯男云伯何略之
乃遂新之先此釋危安諸嘉日世所方教可
以以望嘉若日之先以男僕來果去俄子為
安之至是而男戰死何謂及僕地...及嘉
其子與字子略方教於略略謂也...吾所造
濟三影識子過此驗思在經傳之口此摩羅什
昌先見在略為少以居人戰之略亦以能嘉王
妙羅什距而不度解甚苦至竟...乃飲以醇酒
因因密室羅什被過逐焉...此講理於學堂
諸古...忽下高坐謂嘉曰君二小兒於吾府德
郭欽婦人共乃昆宮如建之一文而生二子子共
...日大師聰明報略天下莫二何可及法種少羽
遂以彼如十人過於愛之...諸僧多教計乃聚
針盈鉅引諸僧諸口若諸兒教於此者乃可
嘉因澤七進針與帝如不別
到女

羊兒盡平氏...此油也...然文帝以為太子抱田項

語曰事君知我意不... 憲英歎曰為子代親主宗廟社
稷也代君不可以不... 我主國不可以不... 雖宜其西
何以能久歟其不... 會公為執而收年... 請子
子孫為參軍憲英歎曰他日多為閑燕今日難至
第笑曰枯瓦為齋散氏字憲... 十八而罄居子檢
女韓... 傳玄為絕家憲使許之時玄與何鼎對
月語不務要言其姓官之時人集皆共婚及憲
以靜工許玄... 或曰何部執權必為玄害玄由
挑山登卵以湯沃雪可奈何與之為親憲曰...
司馬大傳數睡可為恐卵破要消以卵
在... 性性見預... 被誣... 憲與玄曰語云
思辱至三公... 乃謂憲厚全能忍之公是生
○王渾妻鍾氏字琰... 生濟渾嘗共琰生高
齋庭而邑渾飲並曰生子如此已為人心琰笑曰
若及就婚為親參軍生子何不如此參軍語
渾中才論也... 渾才甚妻鍾氏亦及後少琰隨
貴門與郭雅相親重郭不以財下琰... 不以貴陵
郭時人稱鍾夫人之私郭夫人語云○時議
為子親王氏為尉行女也字惠居... 為子改夜... 行
語繞婚惠居郭笑而吻... 劉曜隱洛陽以
惠居賜為監智居... 惠居拔劍距居曰大尉
公如望子親為不為色胡所辱居遂室之○
王檢之妻沙氏字苞量及色孫思之難舉居自

若...恩德...處為...政...務...居...會...籍...中...莫...不...難...南
 太...為...柳...同...名...諸...仁...談...語...甚...事...也...一...不...自...阻...乃
 皆...素...持...坐...於...中...柳...束...諸...柳...帶...造...於...別...楊
 在...體...而...郭...為...道...待...歸...同...名...謂...理...世...常...柳...退...而
 款...日...突...項...仁...事...光...瞻...察...云...氣...及...人...心...政...德...服
 在...程...云...祝...從...凋...亡...如...遇...此...士...在...云...何...曰...突...耳
 人...肺...腑...一...同...郡...張...玄...妹...上...及...才...賢...適...於...原...氏...玄
 每...終...之...以...敵...為...事...量...則...高...足...此...勝...於...一...家...四
 王...人...神...憤...故...謂...以...耳...林...下...如...氣...形...家...婦...德...心
 王...映...自...是...國...房...之...秀...口...盈...和...壽...同...化...一...謝...裕...收...建...議
 與...永...固...定...謀...視...能...盡...數...財...物...以...供...年...糧...至...壽...外...常
 婦...人...可...語...以...大...多...乃...謂...之...曰...決...為...作...或...一...半...子...早...終
 離...絕...脫...俗...富...貴...相...迎...不...晚...也...周...氏...曰...君...父...母...生...堂
 欲...建...元...帝...仁...澤...定...為...人...心...謀...至...不...失...為...於...梁...官...中
 在...大...家...事...無...由...忘...也...歡...君...華...曆...允...謀...及...婦
 人...其...不...過...欲...以...財...物...可...時...有...所...生...女...枯...抱...推...而...不...之
 曰...比...而...可...費...上...乃...不...惜...燒...資...財...半...遂...傾...資...產...以...給...之
 曰...劉...聰...為...劉...氏...名...婦...字...燕...無...一...聰...甚...然...之...謝
 相...為...后...始...規...鵲...像...殿...以...居...之...至...是...群...謀...元...遂...切
 諫...聰...大...怒...時...所...之...婦...時...至...後...學...私...教...左...右...傳
 則...各...疏...解...曰...以...此...德...臣...居...鵲...像...非...意...四...海
 我...一...初...辭...尤...慙...動...換...人...力...資...財...尤...宜...惜...之...臣...屬...之

* L'eprouveuse

云國家大政一宜賞之尉以美辭尉以列士
如何不惟不納而反欲謀之陛下此思由
而歎之尉之謂由而招人怨因被怨于
高詠諫密忠上高之由自在敗國表家未
始不由婦人耳也高安覺在夕忽之海衣何
之今日高自為及人之說高上於高之說高
人也及何面目仰信中柳讀死此崇以
審陛下誤惠遇聰覺絕安禍至陛下曰
朕比伯侯族意恩過常元達忠臣也朕
甚愧之以婦表示元達曰外輔如公內輔
如此朕何憂乎

四勇

九東八秋一七我六帝○夫餘國王王收解
穢王之印○辰韓初生子便以石押其法其面
○南性氏坐公箕踞以足挾肉而啖之伯凍
肉坐其上暖心婦貞而女淫死者其脚華於
壁交木作小槓殺猶積其上以為死之標性
凶悍以共色氣相為父母死男子不哭泣在
路不壯○大晚阿王依安始先以金同心
指銀為婚又以三婢試之不男不婚
○大素因漢時都護班超遣後甘棠便至
國入海船人曰海中無異藥之物往往棄不
悲性若漢便不忌父母妻子其可入莫不

廿七日(洪欽德色信)前此則吳越越越八事焉
卿都子十月學歌皆七之朴學故又制何新自留
能度口林色國以星色為美
王敦桓溫

潘滔兄欲印目之曰安仲峰目已露但就其來
振若不以望人亦為人所望...敦與奪同...
冀以隆中興時人為之語曰王與馬共天下...敦
上疏曰一旦王佐之志...以臣周諮未見其然於
見人未喻于尊...初敦務自矜智雅者清談口不
言尺色...既入石款...帝朕我衣華服服西
云曰谷少伯我愛但為早送我自正琅邪何玉困
有難如此...既合軍敗敦固思曰我免老婢
戶門戶象...大至多象...我為力行因作勢
款因乞收外...敦死...既應秘不反者象尸以
席蠟燭至外埋于屋宇中...敦廢出戶焚其衣
跪而刑之敦曰此衣是周曰怒於南柯...初敦
若軍然南兄敦委在謝工屬...敦故曰...小人
勿用...敦作色曰小人何能南其懼客因此
告坤時與敦別因歌曰徂風隨敦善山陵
氣霧蔽日玉石焚往多改去可長歎念別惆
悵皮會難...沈亮...敦發詔至要子日男
兒不望弱尾望不望也及敗師吳興之吳色漢力
王叔始吳儒儒誘亮內重壁中西漢兄始為
綜及



8月補明詩徐子十一顧觀丁邑吳休以江一揮公況舒
於列銘為集甲前七丁田鈞荷番彼瑛云下詩劉經詩
集替孟天稔道吳江詩鴻雁一影天極木氣最八月露
為霜同時梅若陳謝臥位云詩所錄果天接水
集初雪露為霜

[甫明得字二劉基]
 夜出冬夜恒苦長夜恒苦短長相兼虧故
 勤聖推曉綉茅化龍場新汲名仙池乃早知
 鏡燈昏難遠迴如衣絮嫩生新暖西風暖
 吹桂枝白雲燕當黃葉滿○柳頭王歌駭了
 須如錦錦錦動箭收年不知處建此與建
 ○薤露歌人生苦為果山改如何古來是雄壯
 已由山河[鐘廣]漢云方韻照原初讀之咽
 再讀之[陳既]○王僧恕長門怨下房讀他王世
 嘗係侯景雨一上苑懂本○長門怨日露下玉
 陳冠清月如練坐於池上堂老乃昭陽殿
 [宗子相云]心作然語然已自[你]○君諸祥符
 止了[潘]始鳴入与鐘未敢草際初游便林瑞
 潘料月俗為湛出字似寐得此體松徑新
 些人理髮生清樹也○寄宋景濂家思美人乃
 在仙華山以...潘來美人說与傳○二鬼忙
 着盤古初拜天地時以土為肉石為骨木為血
 脈手為皮齒齒為諸骨江河為胃腸萬穀為
 背脊骨外之骨為四肢有泄氣之位乃以日月
 為為眼...為眼和通是不與大帝恩焉塔逸不
 調生病來申命守以為鬼命曰結璘与暫像...
 云云[潘]為鬼體放兩鬼人皆娛一鬼紫曰狗走
 白綫女黃姑不素...即入与台山呼號咬席祖

指麾...一鬼...白...灰...從...以...為...是...免...衆...風...以...為...時...
 曰...錯...左...右...採...黃...曰...芝...一...為...鬼...生...治...之...上...而...改...為...
 路...想...隔...不...得...相...交...知...忽...空...空...以...子...短...者...說...因...依...
 ...情...因...不...得...叙...有...由...不...相...思...人...有...而...博...未...振...王...
 上...五...十...次...一...以...帝...左...右...共...扶...持...救...難...登...登...懼...納...
 蚩...以...嗜...膏...啞...血...圓...飽...肥...一...故...私...相...約...討...乘...之...天...
 帝...竭...先...去...為...眼...者...及...淺...者...黃...仁...白...黑...便...天...黃...王...
 一...水...洗...滌...盤...古...腸...胃...心...暗...肝...脾...脾...即...所...出...腸...
 而...持...黃...土...改...換...日...月...鼻...牙...舌...眉...一...思...建...天...下...
 盡...之...我...出...端...禮...象...意...師...子...周...久...以...魯...仲...尤...
 者...子...與...孔...子...思...敬...習...者...易...禮...不...喜...飲...酒...不...立...
 言...以...錯...怪...意...誤...此...是...象...何...為...助...未...多...鬼...何...
 形...髮...分...星...思...惟...一...忽...忽...老...主...神...王...分...發...撫...此...為...
 拘...因...一...五...石...散...又...个...口...吐...其...故...天...刮...地...走...不...波...
 吹...風...放...火...烈...以...定...不...同...杉...柏...櫻...櫟...蘭...艾...菊...芷...
 藁...茅...茨...燔...薪...燬...燬...燬...燬...燬...燬...燬...燬...燬...燬...燬...燬...
 九...九...伊...由...為...衣...授...任...為...鬼...眼...睛...光...流...如...琉璃...
 蒼...生...非...絲...織...冊...由...衣...以...友...來...食...一...廣...善...教...實...出...
 能...給...休...踏...折...地...軸...傾...天...維...一...[...]...受...曰...公...老...
 諸...及...主...華...為...更...也...下...望...孤...山...作...為...四...年...山...來...
 空...煙...一...當...其...巖...心...雷...下...望...鯢...水...中...洋...黃...屋...迷...襄...
 野...為...樵...隔...洞...庭...共...臨...至...聖...漢...漂...恨...到...瀟...溪...
 古...或...以...在...山...火...邪...珠...救...地...茹...九...州...從...康...弱...的...西...
 未...來...救...天...回...生...草...江...只...雷...照...沙...野...樵...火...是...不...映...
 兒...為...三...光...

五八

8 列朝詩集甲十一作杜子

遙瞻太嶽登不星金差鍾孤何時正鴻鴈西
北來安於此之老周歷不恤律楚歌常懷國
印素系畧在存富想田單未嘗終食忘大難也
...是時太公教謂周云保應天然也善為帝在
師出為自也若人亦以奇為目至凡律議
地與為披肝露膽等若法指為子他世至
然乎丁

三

陶炎伯題

贈黃鍾師。尚能中子員初平九策
法師住玉京云與知古志連傳傳一劍是龍精
路地杜核昔思海外采田又涉漢為紫
芝翫一出願你相友洞蕭聲

危素太樓

丁為諸太樓居大於鐘樓街昭師入
燕是相恩各收入井傍大梓授以出為國史伯少
奏知為此是死國史也由是不免兵生及史厚諸
主帥犒而少課經實錄為書然元史成自宋後
與家制近鍾受為出而以國史子任乃倚樓
一炬史稿老已此書為以是龍宋必皆少於天恩
立院門丁

四

吳雲大

送李武瞻侍郎宣諭燕西。侍郎將



前此產為路傳呼遠近欽聞內發古單迎改
節來中又各後衣冠多再太新三峰秀水蓬萊
河九出此夢語渭川千畝竹西風正解報甲
安[為語]滋移極以者乘迎意况左司為印
斂毫小因未免迫於土木形骸矣

夏約文仲 紀夢皆陳皆因討言歸入南
梁妻紅縷老乘絲未論功若以君王迴一
不為白髮上陽宮二

趙伯衡平仲 [為語]元時進賀表文紹宗神主
凡一萬六千七百七字蓋洪享及今不祀吾法良善建
昭孝陵恩節不為因文字少不為立輒罷至
王為適平仲條大事少是也為日多圖立惡
祝冊及予我字怕禮撰文書桂乙字彥良
云於帝曰吾子役陽用于郊於成享於
歌于庭帝思乃釋一萬六千七百七字多極矣
師化亡播要祖哀在昧為顯仙死廟苦役
浪漫凶禍似顏元君亂暴虐昏迷為政
智敗廢寢教徒愛切患哀囚枉棄棄
也掃撲缺落典冤虐奔崩聖榜出原
繼享鬼狂怪怪漸聽夢幻樊欣遷座危家

傳鍾去商進考板前荒古述師果年連尸散
敬饗然魁反逆宮成對偏枯助靈出院
埋挽井正換移暗了休罷設市新收訴厥
律恤眾竊辜得土少趙家陵此臣祐元年
十一月的定擬至三年八月實禁皇聖字樣
臣謹奏題此品玉片祝字在兩面也

唐書卷四 批初河東西燕昭撰定帳中相
九陰經江名今整元通蜀地乃瓜河如播
淮家鳴報杯然羽化思若寶劍或蓋薩明
解又過物何去無改環毫舊觀牌

桂彥昌 德勝 上論語。是江吳明古為作傳移孝
陵崇該科斗云地也。卷科斗分明古篆文。氣長
續之。意然。口惟因。花水。衣。要。火。不。能。其。

五

陳基 敬初 上論語。云敬初在張士江藩有見
考校。出。書。年。敬。因。分。爭。修。多。指。作。是。也。以。收。其。既
海。戰。而。敬。物。以。意。謹。以。免。之。何。傳。東。白。富。上。指。作
之。月。信。然。腫。列。後。人。亦。分。為。加。隆。築。丁。羅。兒。以。羅
為。危。出。費。育。費。老。本。然。雖。老。陳。免。皆。未。辦。雖
與。在。母。不。後。雖。為。伏。雖。渴。不。飲。既。不。吸。以。腹



8 拿鍾中物說、竟果山要必峰峻壁你道於窗門劍閣為天下險
若算方山三德始為雄虎予親履是境又安知修亮志果山為大焉
結語屬玉山不道周西對里而耐乃云八百里即係江東此山間
上一小徑耳小旅中鍾非玉知水府記所載陳石多而
抱卵誰敢觸兔脫雲髮雖教愛日在中來未幾
洲、時亮及浪兔日福祥德一如下如不飲誰在
岸亮在如坐體性中殊健耳千鐘為母不知亮
恨不絕波共生死

【胡翰仲中】 撥占千里不吐井公君和所難修
聲臨夷險懷既同悲歎在重為快連玉為
環口夜過果山灤日落果山西遙望青張邑
洗河帶灤水百里雲雲隱霞英參差舟楫窮
窺入剡為亭土裂中含之棠溫浩為生端促
風白帆集野闊天西谷過處如鳥急往時冠
帶地熟鍾推蒲習輝噬劇臥果清潔因
環聲古云菱湖並豈不增快悵蛙鳴夜半
休農多告及酒香口上懷歎向月中立

【徐為生大】 上語話、乃授翰林庶常為云功居文章
淹滯久苦其筋力進趨難工讀元史偶為前經
實錄與修纂異同可銘不可刪竊以生至星宿海
祭天遙在日月山望名興隆經風吹奔馳勝西
弗就教以茲漸在殊未得保吹一二安餘間已為
話或向大年讀元史為中語因既至手於左、丁巳
七月六日星宿海客中生口也上少子以年為五
旬夢寐不忘林登步耶斯模難作市給乃已甘
至身不可老也果山灤(舊原)作泊誤



若用友於規漢皇家以惟終不懷之乎印爭評印
為上刻多言快帝恩械至開之而衛士持數推
江死於東市謂印曰吾徐尔宮皇善為之印一
鐘以徐尔市統位授室賜金至為汝備必
致性意而汝已母乃已与漫興 [為語] 枯子
美集及漢金五德九芝又七云云為語 [為語] 芳
...云云 [為語] 口品款意而作也 [為語] 越 [為語] 吳魯
生初通為語 [為語] 出 [為語] 用 [為語] 入 [為語] 為 [為語] 事 [為語] 臨
性 [為語] 悅 [為語] 云 [為語] 斷 [為語] 為 [為語] 笑 [為語] 隨 [為語] 呼 [為語] 姓 [為語] 必 [為語] 有 [為語] 此
如 [為語] 較 [為語] 以 [為語] 詞 [為語] 云 [為語] 為 [為語] 自 [為語] 一 [為語] 語 [為語] 為 [為語] 給 [為語] 以 [為語] 記 [為語] 集 [為語] 但 [為語] 楚
士 [為語] 後 [為語] 時 [為語] 夫 [為語] 群 [為語] 福 [為語] 符 [為語] 郡 [為語] 王 [為語] 命 [為語] 采 [為語] 入 [為語] 為 [為語] 字 [為語] 初 [為語] 中 ... 楊 [為語] 庭
夫 [為語] 作 [為語] 漢 [為語] 興 [為語] 七 [為語] 芝 [為語] 高 [為語] 讀 [為語] 學 [為語] 枯 [為語] 多 ... 必 [為語] 自 [為語] 至 [為語] 漢 [為語] 興 [為語] 姓 [為語] 而 [為語] 至
亦 [為語] 不 [為語] 吳 [為語] 改 [為語] 見 [為語] 心 [為語] 造 [為語] 而 [為語] 傳 [為語] 會 [為語] 注 [為語] 云 ... 是 [為語] 云 [為語] 語 [為語] 以 [為語] 柳 [為語] 而
來 [為語] 如 [為語] 不 [為語] 俊 [為語] 枯 [為語] 新 [為語] 之 [為語] 叙 [為語] 經 [為語] 學 [為語] 如 [為語] 日 [為語] 聲 [為語] 友 [為語] 語 [為語] 出 [為語] 而
去 [為語] 之 [為語] 人 [為語] 遊 [為語] 處 [為語] 改 [為語] 枯 [為語] 上 [為語] 之 [為語] 處 [為語] 為 [為語] 興 [為語] 年 [為語] 芝 [為語] 語 [為語] 其 [為語] 美
其 [為語] 張 [為語] 庭 [為語] 庭 [為語] 也 [為語] 存 [為語] 為 [為語] 器 [為語] 什 [為語] 至 [為語] 纓 [為語] 丁

王彥常 [為語] 語 [為語] 鐵 [為語] 屋 [為語] 以 [為語] 文 [為語] 雄 [為語] 東 [為語] 南 [為語] 俗 [為語] 勤 [為語] 之
常 [為語] 宗 [為語] 獨 [為語] 作 [為語] 文 [為語] 娛 [為語] 一 [為語] 篇 ... 曰 [為語] 天下 [為語] 所 [為語] 悅 [為語] 娛 [為語] 吾 [為語] 孤 [為語] 而
已 [為語] 是 ... 以 [為語] 為 [為語] 人 [為語] 也 [為語] 俗 [為語] 人 [為語] 以 [為語] 為 [為語] 奴 [為語] 女 [為語] 也 [為語] 俗 [為語] 奴 [為語] 女 [為語] 而
乃 [為語] 家 [為語] 家 [為語] 道 [為語] 否 ... 會 [為語] 稽 [為語] 楊 [為語] 維 [為語] 模 [為語] 之 [為語] 奴 [為語] 也 [為語] 反 [為語] 娛 [為語] 也
... 影 [為語] 宗 [為語] 數 [為語] 宗 [為語] 道 [為語] 否 [為語] 合 [為語] 國 [為語] 云 [為語] 偶 [為語] 為 [為語] 美 [為語] 名 [為語] 國 [為語] 有 [為語] 合 [為語] 不

知南归已化分点员黑致了 即和列能路公甲十五

张宣藻仲 [语论] 语源考文以语源外通考

吳學謙曰此乃舟車為父子此心終不肯與神明

人更因疾之

列名詩集甲五

貝瑛更据

行路難

海晏波鍾我嶺山石摧

我輪以路難知門即子勝何便萬里道——我以故

安知此原委以為受安知外狼仰云鼎影

農口漢胡苑縣年巳刻甲辰終休修山河石二

雄八、緩河、馬廻河上一、龍女、就、大、更、親、子、多、

學士忠諫也仗義的爭競策功忠臣也

此乃整泊穀秋通

4

梁寅敬

「諸聖教入禮局」
「不為好辭」

歷然在河集中聖南軒曰云... 曾子出而為云... 其

以云... 案據昭性云... 京城名夕云... 洪武元年...

月四日恭祝說為歡欣而作為一舞惠信

之間不一而足。皇方之推遷窮此其間者以爲然
而然如：到丁

國籍法に於て
國籍取得(喪失)等

張翼(翼) 羽

1. 通商口岸 同-列为北京

項為新居江水調勻西不同游記刊遊止所

8 劉紹銘集甲中七信作昭然心照睡矣

8 劉紹銘上十八月二老比王二老收高揚語引笑語語及罵

今稿泊面語[詩語]章丑... 君云泛舟於湖曹先生
引杯曰鄰屋有僧之外誰為擅場名筆一詩不
易其罰... 予曰誰為所乘姑為然未若... 沈惟自
誦之他也云謂云儀位面語以之語即船只在東
江語語誰稿泊湖山云湖山江波一受波...
古先生曰然於受語為出彼... 田思葉多の悔多
新羽南詩要旨之沈惟略因又告云影光事
謂云湖中臥坐船窗水面鯉魚長一隻好寄
人云曰即信牛人湖水不通江... 但求及沈之
後速也

魯迅[錢子予] [詩語] 崇玉早經龍句云の鼓
鑿... 狀善衣午門前見者嫌遲何時後逐田園
系睡為人皆飯熟時時時文華漢年市諺
曰昨日好為朕蜀崇嫌也何不改為熟字朕今
放油去好故の熟睡熟乃遲也

[攝軌翻] 安南市樓... 現出金鈴蓋這煙綺樓
樓全集又儒... 趙七浮游影前濕燕姬曹翠
薛裙紅... [詩語] 蜀振之金陵暮夕為云花月
春江柳樓... 此...]

趙撝謙[詒謙] [詩話] 明祖[詒謙] 一[詒謙] 獨斷
子[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]
[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]
[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]
[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]
[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]
[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]
[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]
[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]
[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙] 詒謙[詒謙]

八

高[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙]
[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙]
[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙]
[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙]
[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙] 里[詒謙]

九

楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙]
[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙]
[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙]
[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙]
[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙] 楊[詒謙]

十



*28 安樂 [為諸公在集句發工惜所莫顧出集為諸軍
佳楊用修述其論為之云云 七 修 終 為 了 32 載 天 錫 維 奇
群珠摘粹 沈履德以集是稿我 列 能 公 國 王 另 集 句 一 卷 以

張羽來像 似元龍畫作沈隱史所龍 豈村之
子乃仙骨平生好飲如好色... 忙者常登樓閣
苦於尾火蛇燕語泣香

十

孫黃仲衍 [為諸集句命工如的水為神玉為
骨笑夢如面柳如眉 遙離望榮春莫蝶粉
徑初黃 鍾白鍾去日漸多來日少 當時容易見
時難 為 屋 位 第 言 如 絕 人 物 蕭 條 市 井 悲
... 本 終 好 可 出 處 可 是 是 其 情 即 其 情 ... 此 李 復
唱 禮 所 上 也 如 ... 東 向 來 波 西 向 來 歸 江 為 心
此 江 事 ... 條 情 仍 博 雲 神 又 遇 之 法 立
潘 仲 孫 所 上 也 如 ... 李 公 為 篇 海 漫 分 晚 來 出
楊 錦 傷 神 ... 雖 飲 能 謀 良 夜 越 殊 方 不 在
如 人 本 一 佳 節 何 從 然 果 遠 遠 方 忽 的 病 中 再
... 如 國 山 川 堪 夢 寐 昔 年 親 友 轉 零 此 李 東
陽 實 此 上 也 如 病 身 微 覺 露 早 離 夢 香
為 國 嘗 長 此 程 敏 政 受 勤 所 集 也 如 ... 小 院
回 廊 喜 客 奇 峰 良 景 聚 隱 ... 此 沈 氏 夜 為 所
集 也 如 ... 李 畫 畫 代 為 標 局 重 子 開 軒 掩 落 花
細 本 學 毫 坤 別 向 西 居 落 葉 掩 重 門 ... 退
印 黃 鍾 集 句 命 工 如 水 為 神 玉 為 骨 笑 夢 如 面 柳 如 眉 遙 離 望 榮 春 莫 蝶 粉 徑 初 黃 鍾 白 鍾 去 日 漸 多 來 日 少 時 易 見 時 難 為 屋 位 第 言 如 絕 人 物 蕭 條 市 井 悲 ... 本 終 好 可 出 處 可 是 是 其 情 即 其 情 ... 此 李 復 唱 禮 所 上 也 如 ... 東 向 來 波 西 向 來 歸 江 為 心 此 江 事 ... 條 情 仍 博 雲 神 又 遇 之 法 立 潘 仲 孫 所 上 也 如 ... 李 公 為 篇 海 漫 分 晚 來 出 楊 錦 傷 神 ... 雖 飲 能 謀 良 夜 越 殊 方 不 在 如 人 本 一 佳 節 何 從 然 果 遠 遠 方 忽 的 病 中 再 ... 如 國 山 川 堪 夢 寐 昔 年 親 友 轉 零 此 李 東 陽 實 此 上 也 如 病 身 微 覺 露 早 離 夢 香 為 國 嘗 長 此 程 敏 政 受 勤 所 集 也 如 ... 小 院 回 廊 喜 客 奇 峰 良 景 聚 隱 ... 此 沈 氏 夜 為 所 集 也 如 ... 李 畫 畫 代 為 標 局 重 子 開 軒 掩 落 花 細 本 學 毫 坤 別 向 西 居 落 葉 掩 重 門 ... 退



* 趙語刪易有文不稱評。卷20其州自注刪趙語為
遺易說以如德卷28陳寔語說余錄至三篇[墨布袍
銀帶初譯水遠]稱加刪汰卷三十八在石麟的說社白

陶宗儀

[趙語] 入明自稱吾為小栗
里陸好書朱繁也其集中語如乙卯人曰云...紀川
詩云...一都門云...既就中...其主又再地
說在神州早語詩云...皇太孫即位詩云...其在
許林南村底嘆前以孫為賢為竊謂此詩
詩可以示世以而化之宜刻入明詩集]

謝應芳

[詩語] 謝張門際云鮑斯
筆能染葉葉]

沈貞

[詩語] 上卷惜不從從陳編中
搜出集神卷一十三首不世兄長且
為國文因

黃悅

[詩語] 趙王卷作風作吟詠吹
雨散山如走馬渡江來]

顧觀

趙吳江、告語三第六千頃震降
與之語語語語一影天接水蓋蔽月露
為霜輕風漫月漁郎笛笛日海海估客
航船二年果港游歷好繡隨要羅滄浪
[王元美語此語一彈又善人語重淫白下楊法珍
後以憶玄都歡氣氣]

陸仁

[詩語] 綢巾之製本為明
果於影戲說眼是晚才免免在為莫法存以四十五皇南座傳陳陳

女醫三十三卷而胸要別裁仍不錄華周一字

李陵游以見之有神氣親遊取雲式頌以云：冠禮
加以此以為宋人三百年未改然影詠在素猶藍
轉已誤三言錄至一字至二言謝劉博士見惠而作
云云

別後文成 風雨忙讓面如圖十缺明林塘竹
溪小水好友本惟一二字不正是尋常
白魚空餘樣出雪半橋臥雲屋角霜雨晴
均非只為名夢後餘浪

李田字表 十二
[詩話] 講學開釋是遊目佛為屋
[詩話] 草園影以分一氣孤以獨用生面
正如佳陰之師之益善一時之傑十友二南二
云名及標榜如此氣象高格所詠亦月但不
寫信夫知音者之難也

管內時敏 十三
[詩話] 年云五七言律至晚唐漸覺
不可為法惟絕句詩至晚唐尤為精絕宋人不白至
門而入元人惟能宗其法范德仁雲黃珠曰五三昧
…時敏絕句俱有法度也余第自以子於三言絕句
詩忘唐詩話若人名集後世道若較健口無木
張翥式曰通考補遺詩話…萬三方曰西唐
二 → 此法亦宋人唐詩之自注也（此法亦宋人唐詩之自注也）
吹火為造勢正新詩話、宋絕句火、西唐火、西唐火、西唐火

8. 潘德興養一高路話34你張也聯汪乙

八歲時以竹枝房殿今此君分祿至打田鄉以之愛惜生
活漸低中報殿房堂學作因明至思句石之區古八為

程國儒神武裁味諺越如珠何高...石武之
育在武育越珠隨高越武亦一珠泥不乾不
散曲又熟後半堂學雷珠法一兩珠一勒越
武造城白天陽武心以此兩目能言言安陽
珠常用

甘瑾方初語云云...一辦衣珠獨旦羅府覺先
然上是有嘴了

練習仙上送碧松架峽峒一劍倚秋陰誰
將軍有戰心苦去功

馬研道德善次韵劉少花途中出門駕輿晚
輪團戶火是錯不全

馮伯初正始語語予要馮隱入素祖也

戴奎文祥秋夜思憶從語詩句零然居時刻
宵分筆炬終月色如銀在楊花一約和雲墮青
嶺[為語]語定小軒共落葉青嶺相對吐秋絲
李淮阿句也文祥稿入夜景可謂盡出於藍

十四
李廷興德年京口投泊驛客臨船觀月照隔江
燈新逐人行帆衝雨脚迴京口鐘送潯頭打石樵

南渡衣冠然北望東華蒲鼓報西咸桑田海水依然
在不管人官易變更

表華子英 [詩話子英名在上曰男傳東維子序曰多
錢門稱姑為書南北凡為餘人如張憲及表華
輩者不特十人又影是誠故夫語曰粗支邑凡六獨
崇山對子魁此步徑人稱品表一上至序郊詔九郎
詩則曰多求之東南一序新翼義仲為日合家論并
日三人否...絕其諸餘命并...由日三人否...子
英不分焉此則東維子傳此國書一穴矣]

郝經仲道 其陪品老學魯劉仲原同登原
丘賦呈居中長卷原丘山前新築珠原丘時襄斷
人行其供自後灰中劫蜀魄時輕淚一乾漸少
松粉杉園翠堵鮮多桃李過德明白未勝可奈
金生官第為詩詠太平 [詩話同時如左子敏云
山上樓臺山下珠朱旌表為少人其書朴云園園
家上見新珠其改以人靜語...周南書已為至
正丁酉冬督役珠虎丘為八卷...原丘築城号人
亦與焉切也

郭文仲 竹枝詞 金馬何處半步以碧糖那解
五更啼淚嫁夫婿大離別恰似西風白鳥

王旬子 宮詞南風吹新樂蓮歌後雨新添太
 散波水殿風廊三十六年何處月明多

卷十五下

朱希晦 夢友西窗望遠家山雲山你愛野人
 家門前桃李花飛盡又是春深芳樹花
 十上

程本立 有造 [詩話] 逢文語臣文莫過為希生詩差
 道程原造希生這取原男繫上上不失
 為祖也膠原造之詩刻立杜陵下而不失為陳簡齋也
 意廣狹兩和映意能狂西屯驛馬過東園不似逐
 鬼爭羣狗切莫強強使牧羊野日孤營共細柳
 天陰月夜枯桑歸來又飲收年酒一盞都忘去
 忘○過揚州青山環抱水爭流以爲何處入趙
 州之野耕種多桑桑諸蕃斤候不防秋過楊花
 竹前村近入谷松蘿小與山妻子誰能免相憶
 化鄉隱好莫淹留

方希儒 希生 [詩話] 正學先生文... 隱居小軒流穿
 有與大祖相埒... 至誤為佳句云 舉世皆宗李杜詩
 不知李杜又宗誰能探風雅之宗立如乾坤
 絕好詩前宋文豪配為周生時詩律上世傳大人來
 後昆崙派却吟黃河是渭流



世觀在學堂利考一集供六自達受覽素字與面編新
新道先十八年承承與風少師對坐談禪因
月梅村白面吟(吳時公與去七)即由率爾竟惻惻然也

胡閏松友

為語名俊清雅受謂其善於正
學先生坐於堂前其相傳一百七十三人其最太常
師澄丁生果兒其族子六十五人外甥三百八十人
如胡大理之兒郭志稱其族弟市者二七人坐累
死於獄中人其製於獄已把與狗喫了皆葬於
所讀書之旁何以如是慘毒乃過於黃州

袁凱景文

為語海晏居松江府治東門外崇禎
末舉麻城州判其地構白蓮庵李舍人待問
其聯於柱云其俗燕子依慈入大海鯨魚何
尋相結香陵乃云東海走却大鯨魚何處為海
波而友也

十七

姚鼐老僧名道衍

為語老僧名道衍[靜老居為語少師與僧俗
同游當時李侯其人與哲何不為來收之諫之
答楊孟載陳老於磯紅界其記落筆曰這
友人計以仁仁以慈可憐天涯人獨去乃我道君
以昔原留君位曰秋憐粉態凋沙抱恨本
此心原是情淒涼如何不與子性傲於黃花

南文書

解縉大紳

為語明初詩僧在野多失其如楊迪
其於鐘山作此詩心集山人純詩也解學士題

*七修類稿卷十二仁學立條。蓋此類引解繹影原詩原
為石象善雅明。鵲之思惟為父子情。一母一田村
**卷十一表親語法。蓋此類引解繹影原詩原
原原不處。則又為父子之語也。乃說詩者謂大
宗朱翁。廢嫡是詩。而心傳會之。言孫地。及學士
詩。故其不。大推。敵王。之。言。為。乃。孫。王。善。作。其。極
不。就。色。迷。而。如。細。而。作。區。西。據。楊。董。終。遠
理。以。林。當。今。連。相。柱。崇。火。因。黑。地。接。珠。產。海
象。費。黃。山。在。色。遠。和。送。通。中。成。獨。自。師。未
蒙。不。附。他。少。之。乃。知。要。裏。以。西。孫。為。主。尊。華。以。桂
族。為。妙。張。純。之。大。凡。等。論。]

胡廣光 [詩語、楊東里] 士奇 楊白 花云 楊白 花
隨 隨 起... 今 永 水 深 思 渺 茫 一 如 悲 影 黑 中 里 解
光 大 楊 白 花 云 楊 白 花 渡 江 竟 不 遠... 於 思 不 見 矣
長 歎 浮 名 海 水 何 邊... 之 傳 表 景 矣 望 此 景 意 殊

讓皇遜四 而作** 此書為公詩亦不常知主之思也
夏原吉 維詰 [詩語、宋陵] 語難而後瑞應獨為黃
河漢日露降未生至聖出中何之見... 若若若若
雲為營為獅白雉白蓮玄免玄屏... 與不一也甚矣天
之難也 為時詞臣爭執 頃夜公長律會粹
而詳也 望見因聽談 此覺 西周王會 河以歡南
洪至也 與此等

★僅以外國建貢之珍禽異獸草木及甘露一書等也

富符瑞志云云云...
通洪武正統字...
其八运道隆光...
因张岳翁里堡...
玄龍山中風王教...

尔汝飘零更苦差幸蒙整饬翻以家亲为重分
 取为家江楚云萍孤帆落日倚溪桥相断肠斜
 月夜月明何变泊相思回首各天涯

炎煌煌
 君離國十年餘為區江漢能款
 如千里別隔字更難
 恐大然
 寄一以書何時夜口月能遙比日玉門好申禮
 若同鄉人何以書發你大已不轉梳

表洪魁名柳莊上
詔諸寺丞伯相法於劉古
匡識文皇經諸御遂遷
寺洪魁家平士族致孝仕元為翰林國史校
閱吳楊菊村先生

十八下
張楷武之 謝受云武通紅唐言及李杜詩各
十餘卷又召并紅瀛奎三楚洪編唐書密依伏
地鑒簡牘排心學步暇供筆嘔○為說中

* 卷之三 20 訓 另之三 23 止在 一 列位的人五五
S 由田的流卷上自記 絕元 遠山 唐者 教吹 遇 家 家 人 已 律
為 年 乃 之 名 教 吹 候 另 以 一 種 多 俗 為 年 子 有 城 子 家 之 號 之 號 之 號 之 號
逐 和 和 不 楊 律 的 隨 韻 而 已 至 乳 以 古 他 并 上 向 上 自 他
之 同 時 你 如 陳 煥 維 律 上 生 堂 黃 點 其 必 廣 崔
款 酒 享 宴 勝 王 在 必 仿 子 安 之 些 人 陸 王 惡 不 要
於 此 年 五 五 同 提 督 年 務 除 夕 作 的 云 花 離 何 要
竟 屈 種 湯 湯 杯 也 幾 年 又 云 除 夜 不 飲 火 光
火 暴 竹 的 以 將 火 照 入 仁 為 云 岳 所 亥 力 而 濕 此
張 如 如 的 為 宜 至 中 惜 收 金 如 的 不 收 你 也 1

附 上
盟佑 宗吉 [為 說 昭 昭 的 家 以 楊 唐 貴 為 崇 西 重
去 見 同 調 綴 以 評 謬 不 曰 牛 鬼 男 日 孤
精 生 王 帝 宗 治 文 即 必 孤 比 查 貴 也 宗 吉 切 為 唐 大 所
廣 拾 去 哇 較 廣 為 海 派 劉 士 亨 昌 浩 剛 畢 爭 效
海 之 直 仕 女 此 脫 此 脫 肥 於 神 猥 俗 之 精
局 風 唱 在 出 外 年 何 年 德 李 原 同 籍 中 收 許
劉 昆 昌 的 海 美 這 天 下 士 折 腰 難 多 里 中 兒 1
天 魔 舞 教 坊 不 迷 胡 入 於 妓 女 內 庭 自 試 天 魔 隊
天 魔 隊 子 呈 新 畫 以 佛 如 佛 尊 如 尊 ... 共 殊 瑞 珍
黃 金 繡 十 六 妖 嬌 出 禁 禁 ... 桂 香 滿 殿 步 月 妃
卷 兩 花 央 降 天 女 ... 中 右 相 內 卷 聖 袖 石 詩
章 及 曲 謠 天 魔 舞 這 要 開 ... 水 晶 滄 香 鮮 少
祇 謂 諸 天 我 曾 撈 彈 胡 琴 吟 迴 吹 胡 笳
呀 穿 來 ... 山 呼 第 一 聲 出 雷 ... 房 錦 女 六 宮 妃 西

當使為樂師田紀種於山台月落光田避前人
於今魔界系極悲家罕瓦字羅峰一九重珠
輕煙茫茫一榻外坐可依...多務重區羅急
如白雲馳像以北避忌也○為門款為門朱
高門墻不及十餘兄朱收鞅環物去而似重
構為門臨要津門多年栽楊柳樹染波他人
又移去○家山以轉生轉范蠡要歸浦平原
趙岳恐其去徒用琴心魂隨香集島口八
千年枯骨葬海島五百人任安急意不改搬
豫讓根雖欲殺乃法不必慢為作故上北
劍不必挂徐君妻為楊或君恩重死相隨要
漢重泉瓦逢愛○者燈月東家吹竹踏山棚
西舍遊人看風篁官看榜文榜出乃曾盡日
晚未曉一村象兒童指入城隍廟高上大街
以歸來被股海忘睡生起田懶去耕
○漢明兼旬強此在東華又見東原野柳和
宮裏不日佳節遇僧人亭樓看靜樂苑○過
趙河為蓮橋下暫停舟主柳陰知排冰流岸
樹影橫像字實陽天梅雨過趙河

二十

吳房為志黃田山荷葉冬晴師知是前山西

王懌因愧 江新立即居橫江口處居橫江上坐小
快風波連舟甚搖蕩舟蓮花灣花紅如人欲
乘此風即來低臨隱花舟花疎亦朱隱相見迄
於西時陽然思你留連夕陽老哥浦得時移
那能不相逢會情明月心多自權影中

忘原意原 出庚子遇生信標造物則消息雪
見眼日消日逢中乃吳野風因致思景和立
頃刻滿海空常盤江河昔久浩細推測
然途觀又空無一素終在斯為貴老則乃
續日中漸西移月望竟東胸平久野生陂經
久磨不波平極然自來進觀正恆速要不相
危時亦援乃要者信多疾懸店時安務喜雖
亦世衰苦空必生煥發可些亦生福福相倚
伏二圓年為自戰文酌疏皮剝中坤懷珠致
刻辭合音被持翼以羽美疏氣以甲靈灼
明智德慧入就鵬鵬鵬鵬鵬鵬鵬鵬鵬鵬鵬
高以昭自榮一造木取乃摧日井汲先調一以高
數或本可修謗或他取初因于子君子為度
三葉猶不同在水炭不同為初豈長能鵬南
艾蒂姪忌並禽男整吳越馬匪思翼水授石雅人

年通海勿創為矣不相謀多殊不不為... 侯均
既高生明神並明五以難保旺の時宜月更...
勢多少集極軟粉群... 右長右研延其重
尾及輕為極皆促立為費弗相能... 也

翁為銘謨 [為謨] 其數五其小脫入人素崇而名
既移之昔吾人之謀為與也謨與於腰近
出河人而軟謨及曜字吉楊君漁張君玉謨
謨至小河人也僅記

岳正為方 [為謨] 季子謨作謨兄為平只不面為保
如謨謨為已矣

鄭堯元生 自以玉皇南辰沅道中福山王廟。已王
廟至四仙廣為謨龍啼鳥相抄神域為謨
怖教人朱响長牙肩倒豎紅綃抹此龍神結
手按黃蛇响至舌短確不點神龍名燕月湯
去唐築月後之謨吹電龍腹中甲子中研為至
井門至其然但見和鳴名由佛佛啼山方為居
氏穆朱系築承膳故鼎兩神靈不靈誰以知
至聖分明作神謨往來以人多再拜燈中書書不
神燈唱謨打鼓燒紙謨蒼龍白牛謨為謨
這把謨像謨聖神立觀腹為而飽謨為謨
寫此直系水千山故心去

8列解於同印混至議

二十一

王世昌 [周書士云云如經人引以井中坐好客為
從天上來...]

蘇平東 [為語。解為庶為堵崔珪等語。遂慨
惓袁凱白蓮山以一路月之終分至禮東謝以
續筆翰之名風所引至即吾南陌踏春喜為西相
三月後此影二影乃本於瞿字吉少時為芭之化后
云蓮尾點波如為論風法為月情也以此看
鼎而為空多惓惓已甚而東謝為大主說字一代
餘大語為僅玉面玉元文一律仿律唐人高為立為
二十之近此口吳女誦經一書可取尔為新即
史克思作三考為以東謝為之至次湯公讓元次則
原博...]

二十二

王佐玉 [世昌。莫榮根冷咸容光整倚熏籠
嫩香林空氣逼人眠不似鐘聲催月下回廊
[為語。玉用是為靜仁中侯發為結語十二化詩東謝
甚為語諸南定由毛舜臣面守南邦惡極意內那
見別院樓聲多素字人影詠年久利落不可辨
詩云一署口媚蘭仙玉即此為末二句也當此時
始信會不盡說懷空都北京改東陵求到此以
句安及官人以東用為方南內壁在打]



李東陽 寅 為太師如謀是 望外蒙 隆走天子如謀
死軍方函送太師 豫和生 謀和生 因併能死因
其為太師竟誰是

陳留師 重九會白雲觀分韻得 送字 長惠堂觀
鎮定煙 臨馬科 陽字 梅造白 智不悔 雲彩外 黃
甚仍放 柳杯 奇共飯 譚馬王 劉像 美新 語中 電
市免年 董子 差 晚重九 西 陰 陰 唱一 清 送

二十三

吳興 子 為語 龜山以 由 蔣氏 未 為 龜山
就也 平 龜 龜 自 在 亨 分 平 君 何 換 否
楊是 鶴 於 一 至 龜 令 子 表 思 之 楊 繼 之 以 建
望 無 天 使 集 夢 濟 費 (四) 芝 翠 荷 惟 恐 不 速
而又 故 在 亨 旋 諸 自 歸 門 下 止 則 龜 山 象 不 腐
出 此 也 了

張翥 天 普 州 述 懷 為 病 一 年 三 乞 恩 師
十 歲 九 歲 以

朱應祥 岐 歸 句 江 面 照 屋 簷 浪 開
為 春 啼 過 釣 魚 簾 暖 足 欲 送 桃 花 雨 一 片
陰 花 柳 外 東

如 綸 允 修 竹 仕 女 臨 春 共 信 託 真 意 一 寸
芳 心 思 芳 端 莫 白 東 居 修 修 竹 能 禁 翠 袖
朱 為 之

*見劉紹評山正路凡二卷其第二卷也江蘇作紅

近古大祐[評語] 耀宗古以香道八點見賞於楊
重友自是以後流而教之拾西菴之唾餘雖以
鼓詞院書法筆字論之雖唱量人亦軟語倡
音韻詩詞不見其面一時如吳筠之六雅吳崇
真大祐為教... 其影五卷中云... 絳桃朱子宅
此宅銀燭熾心庚辰痕... 而今卷末乙他詩
為... 斜日暮林重碧翠香中入玉浮園... 消磨
逆畫夢筆洛姑更烟霧柳栗條... 又於卷部
王奎云為同乃人論策幣中亦告曰是安年終為
思致了折楊柳... 常之信黃絲上馬折楊柳
作馬尾帳遠近隨郎走... 初度日去策山煤
溪一為六年其為詩策門不封為限生辰圖合
為田家米尾金... 香煙朝煙火不
增一林空被別起米不知明月的人夢去落
江橋第幾層

二十

羅倫彞[評語] 一峰為心學論語不與謫士爭
長而集中紀夢至多至三百餘言幾乎免於病氣
如日如暘[評語] 陽嘉仍如世何人亦能之講
學陽曰策侯方之評語以智評公
而講學強策所云其情也為果誠身一若之重矣

又逸多足柳柳唯孝子三

新不度為金日女心傷悲殆及以子月晦又曰至就
孔嘉其意如何柳何意婉其人情也自先不替壤
而後講學母改之謂之逐祖先矣遂若理學厚
雅不立立者...甘如從新之以謂學友...然則打油
釘錢友為也意之謂三為勤者由缺士思法可
是白錄竊為理學証實並不取也丁

世賢 * [詩話] 張中鑑詩云獨恨太平世一
可江南教書為書虞山李又曰
出以妙件劉墉致政晚築逸我津...望詩云
虞山以下為多歷三載樓垣乃自以節悟乃多
多日江南教書為書虞山李又曰
遺或立教...錫氏列經為人披羅心必先達
康遺獨不及文安好某日區際村白沙離接
綠楊堤陌曉黃黃麥黃高第雉老煤天照
大策家村落水東西滿細雨未帆到漢之平
藍古寺低收過年之來底可遺懷只合結此
此

居勳 [詩話] 如...為象只於紹興雅多未
信昭生花江船路遠分仍健天地思你品之
宜...均錄他致丁

周瑛果石 興持刀研月光心何曾斷緒帶

楊柳新依此處人話惡楊柳新破此風腸
楊柳根苗少拔焉如月明河
二十五

王鑒 詩之 絕句 少年子重遊功高帽我衣
角引編漁榜上並並登廣濟到多中一並
是漢之鎮重樓八後絕地正未休意道十句猶不
及重樓原是帝王州三

林俊 詩用論東南 詩話 中山狼小說乃東田中
錫所作今都集中五傳以皆賦志其數言其
涵也政：序李未嘗深末黃子伯民讀其書故其
妻疏為云：此才不是名莊多然教中山狼皮狼
必為所害乃其欠其耳

二十六
沈周 題南 七星松 海峯七星松宜為群木冠列
宮典是作夢觀... 陸斗形 匡全七院 魏王半... 西
陸裂為橋 密此故三割東陸 活命裂筋 骸互
續斷北北中港而虎神破荷脫腕葉 命不明藥
韓命不明韓左文皮赤綢孤苑頂當纖橫柳
象留鏡腰決鬼目爛 〇二月八日 巨靈殿祥公
房理舟指南郭區：及俗言中條山溪為陶煙
插村眼門步欠新月步 踏楊柳新慶繁字生風

*大語誰為及人正指所南

已見張燭取納子信燭燭意立以月讀苦朱
以狂出氣斜整改化掛猿枝是潘帶冷但
記此經區後傳家月省口書兩等城中語友新
雨以意雨人年即去年只然沈屋土失造夢者王
黃離魂忠白路田惟應有穀地改納水
謝詩口溪哥小景如高臨水綠寫樓葉法
荷坪只入迷山雨乍來節滿細窺望欲臨竹
稍低榜以取墨雄雄並離膝秋窺子母誰
此般不先小市杜可然共家一書藝

史鑑略 子昂蘭 四會零落御環空芳草
合如官誰是及人私淚宮泥恨苦地怨東
於[朱也修云鄭河南畫葉去土以保亡土地
所為也讀西村作書趙王孫蘭云去土記]

二十六
方太古元書 為空溪為屋歷午原松新園隱地
後靜溪難於造到門

董灝 後宗 天竺次白東天 松林以老見松
門花多三分色二分高松島呼低松多入山
是噴出山是峰前瀑布僧步落竹葉海寧
裏肉忙要不知閑要如紅聲白浪西分

二十七上

廿又見二十七下劉玉為語

劉福仁語

「為語。難。以。情。以。數。據。據。如。句。解。如。兩。段。凡。理。詞。語。句。勢。趣。由。之」

新貴亮道

「為語。文。信。亦。使。余。學。而。巡。時。臨。表。前。詞。重。撰。為。文。信。亦。稱。為。即。製。一。云。朕。居。東。宮。先生。為。傳。朕。意。為。候。先生。為。輔。朕。今。南。游。先生。已。是。嗚。呼。哀。哉。代。為。致。意。款。手。音。江。河。既。料。昭。文。以。此。歷。卷。為」

吳一鵬語

「再。何。阻。船。至。同。月。諸。君。為。有。吟。作。為。紅。尾。沙。上。浣。衣。依。白。話。查。友。重。云。極。以。好。勝」

許云翰啟東

「為語。黃。門。車。史。安。南。即。至。贈。聖。詩。云。蒼。茅。又。盡。重。包。更。蓬。故。何。須。滿。都。師。劉。理。極。至。至。多。一。信。遣。人。教。之。已。車。輕。歸。會。影。為。聖。問。君。黃。山。第。面。於。此。路。黃。驢。出。林。即。月。村」

二十七下

劉玉為語

「為語。亦。使。余。巡。時。臨。新。文。信。表。一。即。製。文。云。一。嘉。德。中。王。新。運。漢。魏。高。傳。即。作。祭。文。云。嗚。呼。為。討。拔。子。王。嗚。呼。為。之。學。公。子。王。嗚。呼。公。之。功。嗚。呼。為。之。事。竟。以。於。斯。亦。可。謂。言。而。意。盡。矣」

趙鶴叔語

「為語。李。秋。岳。於。代。為。日。抱。拔。來。躍。天」



規馬三十七黃仁 院世銘修成荒蕪山浩浩人
子七無影四生新天年憤而不戾乎理學在此
是創舉而無成者皆言其拙也
橫端在末家子相稱之謂其說世宗斗量漢西
之說其言山歷星辰反不若西漢之地理
通之說句也王

二十八

周用之 廬山。但月夜登題勝不妨九女修
為離二〇言為常語九日為一曰
清涼寺次韻。可憐昨日是九日為一曰人自來入

曾鐸振之 為語。夕陽以清涼寺題曰人
嘗戲為菜根別為多可佐君子以為名諱曰
日簾已為園於宅東壁之曰王疏為君……種
子瞻何云我與何嘗同一飽……

陳范芳 邑太平府為集。滿江芳華夕陽斜
長恨當時不在家。昨夜月明一窗鏗枯語
滿上枯花

湛若水 元明。為語。修花池柳何宮花。程伯淳
聽人評語也。思猶曰時人不識予心。紫路難也
花何如。長情黃才。聽人評語也。題曰。為
宋理道。論語。何謂友乎。德也。乎。禮家。在。大
何謂友乎。德必戾乎理學在也。

嚴若 惟中。為語。分宜通籍市見知。飛歎者仲
思。又。走使。東里。索用。修。題。定。要。可。謂。好。事。矣
一。知。相。士。教。生。云。中。世。蔡。澤。程。肥。念。不。可。為。生
日。世。人。僅。知。為。湛。文。正。語。可。以。為。學。解。春。集。謝。少。陽。中。丞
誌記。

此二語皆見於別錄竹地詩讀如是

更問第一少情詩自持生定學則其近愛之詩
孔道實要一生時於云晚第冰霜恒自保昧心之
言收誰致乎

三十一

徐視卿

「詩話」功少學六能至所並五集
廣：書及見此地初於岷強其詩云秋深甘為李左
東方未交靜心未眠形予多見不知量此項未留下
臨牧既而心何意官學聖雄強息否一安是時
李何並深未決此雄雄功一能以偏師取勝遂
朱丹之...七言樓於五言絕句尤獲諸詩興慶
池院道君南下習作羅太白就標何多讓教!!
心偶感致何延筆松秋未晚花露夕偏佳暗
片滿面書如雲望雲落欽洲：鳥樓柳明：月
隨情松思不見蘭生故德惜「錦廣漢云此為
夢是少作墨玉唐集中至誰能辨了

盧貢

西園在際何所及澄收呂等自
同飲雨多不種芭蕉楊「玩元
云芭蕉它云楊茅芭蕉中佳物且楊此雨聲才
為佳杜牧詩一夜不眠孤客耳主人窗外芭
蕉品居仁為如何今後雨只是芭蕉張安國詞
題：不離楊柳外是：只在芭蕉裏名在月留
外芭蕉留裏人分昭樂上心以芭蕉為詞為荷大茅如所惜...維摩詰
多此宋臣信氏年語也見宋天學集三十二卷
根別為破破破「因在去四入

* 據漢引參觀日私二萬八八別。
8 列能治人兩十一共十光

雖云是物如芭蕉樹而子堅固是芭蕉未出不可名
樹了也蓋此樹自武帝王莽時在漢江一處
湖外生石象象象與此石有一自來
水石同象象樹以水遺近發送那知石界
今象石象象象象象象象象象象象象象象
插空湖港浪回水上象象象象象象象象
村畔東三湖浪江門煙水秋月中月之過揚
州為京池池三里水峰生柏樹脚滿

三十五

周在善鄉 初下詔初作。漢官切民較窮
因典寇鄰(按監及官民之分官監猶際于獨既
監典強遠重因輕廣)一經自忘監棉長日足
思中竊共人終診徒為吏思思禁幕諸品德
級盡毀元為

劉天民奔尹 [此語出西山詩云古使再蒼閣下至
調知委何也故可京官外讀此語時以眼紗自蔽也
部門墮人排至而不為以機妙于地日學其悅於
官俸幽華見吾面自可一憤滿不平恒悲於詞也
及云把俺這沒嫂子的條平也串下一个招工

三十六

曹嘉仲禮 [此語玩美揆包云讀秋古晚為至

錫芳嘉河九良道...朱秉為游宦餘談述汴人
語謂仲禮終為父所劾志勿氣梓以舅氏某匪嘗以
以善名在籍留駐吉兄雲如弟仲禮母素
令臥吉即陳恒不相見一日見姊於道歸吉以意
告世傑以誤此乃門所志出還方拚命如
臨臥吉於此見姊身歎之時仲禮至共同
惶惶...為人以此為憾吉是元在舅氏仲禮等

[illegible]

评相之^细 [治论] 李如蕉 唐泽世 用 病 恶 殊 灯
亦 孰 醒 此 为 宋 月 旦 建 安 丁

張治女科 三十七
 曰洛陽吳郡洞庭山名也楚君洞庭湖名也
 郡嘉禾注水經二湖俱以洞庭為目誤也張收
 南夜道洞庭為云陵及吳園門一隱吳郡山一吳
 地也而混於楚吳嘉禾南北人未析南條汝水



* 卷28 世說新語

劉勰詩集丁二 今刻泰
集不入此注
如附記

又南齊書侯景同庭遊遊連電以君臣屬望終

黃佐伯 嘉穀大錄云志拔劍却帶臨高處

北斗插地銀河迴長共見雲象以明月至心動

心惟洛杯何可馬雖箭鼓新棚上猶啼玉

地井港醉却憶少年多嘆摧以花乳落柳

公作集官講學然人論而指之如也

邵經邦仲臣 以語永嘉世議禮事責先生

上言議禮貴由用人貴公一姓下隨破法置

諸左右及前年設座張宗不而美乎永陵震照

既予杖以下獄最遲街亮軍既到解永陵

猶忌沈李義臨以漢新帝在憲宗及策於難

免於瘦死矧以人主方匡下無以預為撥益

乎此若童景傳終世宗二宮然契實表述末

咸亦求必世乎現先生年言於嘉議助每尔致生

西內學高之曰公新不列果言錄是工四附輕

是山山頻月電鼓排過孫燈持自照忽吐為

三乳 人物人

蒲謹矩 蒲居漫興萬里橋東一寺望烏皮隱

凡竹方林池萍張曲書徑嶺新橋分暖綠

過橋乳燕出田炊麥熟蒲懶死反曝你

香不知何處炎蒸如以漢為堪萬業

張富德

陳元禮云蜀山為如峽中如子望毫山
葉翠圓銀釵紅不飾海再驚拭粉游紅時仙
香語工寄升著以子思神采采五孫芳芳編
言誰轉以曉色包明月滿口新銀藻少雲(升毫
通候海口碑文極多)光祿署色只遞鴈上
林板好只楊柳邊中記相星受與鐘鼓北
与斜所惟賢云集中集唱

吳天祐

人生會少別十五年未
如人策人這相合夕何夕梧桐月開成君懷
你劍於舊使新樂極翻成哀天良月明照
長發粉藥第2元露卷

史微服微化

蔡明九達

以為宋寇大盜第一書通為次口
上鈔侵云居崇光為諸少凌不之法肉在終
或嘆之是時李厥造以學枯雄歷內窺窺剽破廢
或成理九達不似訟言攻之而傷口於少凌且不已
以則握握割剝之地受於何地生此比至之言滿
旨也口為法孔目於為父高自標許以少凌不已
所為在運安西系神柳不足言先櫻在安襄兩漢...
此誰誰教市有自稱寧人夜即天末不知誰大害人也
已...收而誰為解唯誰信語工

張璠讀書 [詩話] 前錄一詩云 移徙堪嗚咽 經乃
云 垂危為思 玄臺 楚滿山 空靈 一枰 松如 歌 難
門 已 琴 1 第 錄 德 江 珠 玉 偏 催 勁 勇 須 決
堂 中 杯 舊 樓 以 月 清 歌 後 知 是 人 生 第 幾 回

凌震時 提 露 我 先 考 案 賦 解 長 選 惠 龍 今
為 提 露 略 予 捕 我 同 明 燈 系 由 轉 獲 多 出
論 功 一 傍 菴 仁 與 討 指 彈 魚 牙 改 一 衆 步 阻
不 諒 然 惡 苦 地 客 彼 費 履 孤 驅 彼 畜 耕 舖
蒙 旬 旦 月 必 換 日 夕 沈 紅 燈 河 陽 只 胎 媒 其 由
的 諸 雅 乃 家 衣 垢 散 遂 為 詩 何 官 一 皆 不 能 事
方 雅 緒 以 於 就 又 乃 王 宗 略 古 所 諸 聖 在 經 一
能 捨 未 始 融 扣 振 為 王 多 河 為 河 神 不 由
帆 悔 悔

金鑒 [詩話] 明月照八千里 其 深 屋 吹 面 五
更 尤 為 警 策

柳宗元 [詩話] 遺 岳 翠 傳 予 注 盡 盡 士 仇 仇 俗 子
新 中 一 錄 氏 列 俗 為 神 鬼 門 裁 枕 花 仕 女 為 人 體 竹
板 三 卷 一 以 魏 文 集 中 詩

王維 [詩話] 夜 星 上 中 村 而 語 為 惜 聖 卑 亡 夢 之

未免色界工

張詩 [詩話] 岳 氏 六 兩 瓊 華 以 崑 崙 山 人 為 磨 毫

又周樸園尺牘新鈔二集乾昇集詩苑男典徐巨源引
方語曉實下馬安穩二言
姓如為我的相毛海安云。因吹雨不濕衣情語更穠
然詩實不二如葉傳誦之曰君為陸第懷實[証]如
些山移山些水些木些款而中慢不舞而衣是已足
以切中[意]也

臺場

[為語]南果釋福海法王父學士照陳大
社愛叔蘭仁人方謂學士[性]是父家成
何乃說父中[性]是家師上書讀進家共歎王世稱
家乃大願和凌同[性]而不多知至人也由益經便昭
才傲物化俗教人...此書人第作太叔和遇[性]詩不
必在錄而論到[性]以該段為之也

葉察引

90
[為語]學士[性]於[性]...[性]而[性]收持等
不此吟咏性德修[性]語乃也

圓人鍾

[為語]葉舒暢明門一句如[性]落雨餘雨
因吹[性]食[性]情[性]不[性]

王性中

[為語]評明人的[性]不及王性思然[性]思
之在父性[性]德[性]以[性]而[性]而[性]在
能[性]父性[性]的[性]知[性]也

羅漢先

91
校園續詠、南村[性]北村[性]功[性]
雨[性]更[性]東[性]吹[性]雨[性]不[性]我[性]在[性]松[性]花[性]你[性]處[性]

唐順之

張柏公書云。惟中逢策九河漢共說留
侯在漢京賜第近[性]平[性]款[性]入[性]新[性]給[性]明[性]林[性]兵[性]儒
生[性]東[性]國[性]款[性]色[性]商[性]長[性]西[性]著[性]談[性]姓[性]名[性]郭[性]望[性]上[性]台[性]多[性]氣[性]象
年[性]長[性]傳[性]家[性]實[性]明[性]鍾[性]廣[性]德[性]云[性]書[性]為[性]此[性]其[性]金[性]名[性]稱
拔[性]也

李丹先伯書 語。中禁。述。潦。衡。角。疎。出。故。
為。好。子。藏。書。滿。甲。於。高。東。一。乃。餘。色。苦。急。迫。錄。為。
書。一。只。算。的。王。半。子。登。借。觀。老。鐵。帳。必。精。研。朱。然。
勸。以。方。學。在。能。以。新。題。殆。豈。多。人。也。意。啞。文。則。
全。藏。書。何。評。抄。覽。是。望。領。快。以。時。繳。納。出。此。
稱。讀。中。自。必。善。謂。是。也。已。存。共。籍。游。曼。收。學。
不。然。錄。欠。攘。竊。抵。換。已。解。完。書。可。為。浩。歎。工。

任瀚少師，[為]謫少留遇黃珠以美人授鴻寶
條煉法象中經畫世點永報為同時然方仁
亦如龍辰煉形之被而羅達夫沈並高海上
之士或言其仙去是時黃初子敬西內乃求學高
而謫君妻道矣再君先已少悔去則吹奏
屬栗西征其比漢嫖姑詢詩家難多移江

912

王维根 名学 姓魏
[魏] 爱云 允字 允为 服膺 少凌 自诩
胸中 神舒 尤深 于七言 也 允 以为 为 照 应用 固 奥 得
帖 推 主 立 主 兴 主 比 主 法 后 正 抑 正 抑 而 密 固 中
推 衡 抑 注 考 字 元 以 束 惟 李 出 月 一 人 及 到 进 则
粗 年 殊 涩 浑 释 案 内 纸 口 熟 说 你 恰 不 放 火
案 井 犹 温 林 必 翻 包 量 收 多 切 楚 昏 何 方 生
五月 既 发 曰 孤 村 莲 洞 深 如 许 菜 瓜 与 客 论

第 10 页

茅氏所定也臨海朱伯氏於其書彼云六條在右
三親為一尔久矣抄中大約生於王道思唐應臨海甄
知茅氏饒於資遂再離以行即評語移葬壯
縣為昇壽亭尔六刺語甚与

十三

張茂參

王元美云張茂參為荒條溪口折讓
符略知是中央門第○為話茂參之言曰...思不圖國
而極觀季倣諺未周治而當心刺致支度由
經諸敗可厭...其立止以不悔於御理下二子
度其集必及子傳而惜王軍思其如思辭曾肉
牧高宗伯茂參何名牧高不能若其為之各肉
之書益解學王

劉鳳

劉氏子歲局守于鱗座其古為一語王
為張績築組節二他劉氏讀其范並出
隆聖器中量趨士居漢家不立出此純漢所蓋
一類一時顯名在存盛相揚湖而吳市賣卜人素魚
逸切而人扶適至字句鉤棘文象細縷在以為
姆嘆子歲向而大然想之謂之既提而新印美形
改姆嘆劉氏即諺文耶伏地第曰我寧受受管
新十不站高課劉氏即也善苦理之公论為存縷
於士大夫曲拘多量工

四十四

张谦益 卷八 京明夜惜别 韵以桃花逐马 杨柳枝

四十六

王世貞大保亂。北山而西。翠南溪。鯨而八生。
必不識錦衣帥作太保。二入龍門。縱騎若
星屯。進見中貴人。為東吳。一言忤太保。中
生刺賊。縱騎走八方。一保太保。二有德力所

新有為：黃金鑄一十金生 蕭蕭古刺水伽南
及河建...古法書名畫何心千石車由...次姬回體
隊心七綠色...杏衫平歌以絲勝其蹴踘/金
團呼不見/客入他房宿生理馮子持大廟煮麥
宮內生者百歲老破處一載鞭近即就林底盡
陰山後凡我民膏脂共死相公為義與數百人
監司進之否...老君和以兒少為司共子諸葛操鈞
柄天地但長久佛史上彈天眼血一開沼捕司
則害震諸姓冤三木素者不次為學又審之米...
主於念相公續厚存晚計舟由空三十月思
鄰金珠以...司共自不之成這改歸司安...勞為為
家衛日役考向...御史再發之...捕司共為系
司共存相為再拜這注且恐今為長於別兒不買阿
父和為自云何父為買由...重懲監刑客[此]少入
別語姬收步多而就不悔而鬼書該姬心自云司
共何大膽悔步多而就不悔人...要這語該兒和
阿爺生別離金銀共饒饒高與鈴山高...火部心
每引阿爺何大膽只金共與共金共自支...一依
賴臣法砒死大是造為尸不沾收張施醫烏家

資臣千歲少府司農錄上候入為方中實發財造不的能
 和以誤入德意田...諸如呼就更久受亭本報...秋
 一啓門諸姬多難竄里中輕薄子與來的在為腕和
 為公通錄定時一仰天歎我色死不負國奈何出
 跋傍人為大噴噴油一何惡油云不負國一負油老
 奴...和以字苦多次且改傍傍頗多疑難非深意不
 盈睚生為長掩面何山見穿蒼死為長掩面何山
 見為皇陰用六尺席殯用七尺棺焚腸安在棄襪
 襪久這官狐兔未歸為一丘不為安...○仙人潘
 結茅萊山嶺上為葛陂車仙在の五人要為偕修
 如...不為何宅殿但怪俗人居...中坐太乙君
 夾侍為童妹...天樂不饒名但用容欽娛回
 光曜如以事學不為但坐比一念清聊反互泥
 像為垂時隱隱...他姬治田應谷區何用
 惻愴但念呼○折楊柳行高為男子不教詩
 蘿村種蠶兩謀臣不為謀師人一解高誦盡孔
 丘妻系系由余但施師人巧噴重而不為一解
 灌及樊鄱手挽萬天子匈奴北方來不為一公
 主三解東家為匹離牝女與同農西家為女坐林
 上男子好伏林上塵の紅

謝榛 茂 [為話] 奔沙秋女古空位放為世第
優笑時陰沒杯案不失為英雄之漢聲折隆
二物以弱子陽之修飾過飯僅地作情相合
了]

吳因倫 昭 [為話] 在七子列家為眉素...王李說毀
海內不暇逮之...王影重七廣亭李粒
云陶元亮自祭文知生知死劉伯倫德乃之
金甫且錄且錄不失為達生之語]

四十七

王道昆 伯玉 [徐蘭生云伯玉為世譽素與張大余
常偕大陸評之混妍媸而朱沈思良後而為
跡徒悅目而何似因能者而外口為說元美
論為文大指具於此...是心折而李且唐乃同堂
霸怪至效教陶好作為文評苟寸長必加溫
謔致于鮮蔽見而伯玉不為奈何分觀四部
彙中欠語序...其言為一學而存似於公中心之調
其...伯玉為細稱陸世范為伯玉才子而苦三
欠名并成歌曰高南新安狹已甚君子欲之特小
巫不意才子而敗矣師若是也]

張九一 助甫 [為話] 金瓶之選不遺者非淫也之
駭聞及盜驢物之所以貴竟用生也七子高固
一時名氣雷同助甫猶能用生政尔故俗二

胡在森 元瑞 [为话. 为前一编各以羽翼巨之望
山封氏施以大进欲少室山房孝廉沈部
自不以为读书种子]

四十八

陳芥子野 系出南田王永集 中巡第氏 家来奔道
家南系 [为话. 翼山 鈔代 序金陵社集诗云改
之未为王评是溪社集伪隆慶辛未 而外
海系屠初年也... 鈔代求见集来器 停号小志故也]

吳承恩 四思 [为话. 所作習氣甚深 一时始鮮
至正]

四十九

錢繼登 元敬 [为话. 人名止. 稿曰愚. 居曰夢. 是之
如考知]

陳第 堂立 [为话. 江陵阮说论者谓 [錢隱毅不
必於此從之 歟前 一高作 塞外 燒荒 以云 又道
我知 讀絕句云 籍門 遺老 滿出 並不見 輝
煙十六年 誰把 雄毫 為 燦 焚童 白 受 哭 天 道
... 儲者 較富 余 豈 於 國 修 友 林 泉 才 何 指 雲
後 以 所 粹 其 意 夢 書 目 求 售 燈 下 肉 兒 者 五 代
遺 書 珠 琅 滿 目 如 披 雲 錦 底 連 誰 每 平 生
四 載 一... 江 心 寺 除 數. 百 年 修 逆 旅 信 宿
即 焉 塵]

女劉銘為集傳了七作人致口用集第一日德中經第一官便
此列臘月三十日望臨及我輩乎 8月日札五十五只

沈昭臣 [語] 沈昭臣請安中嘉嘉志哭甚
下為我為誅通為証寬比於文長體語最狂甚
和封告嘉隆間士大夫以篇什相高安寧富貴
莫若每如一下及有衣如王承父之破綻華成以吾
和為嘉嘉是收積為七千餘支安得精了等語
夢寐相逢延求共在何物不傷吾馬蹄
日天 誰路誰是燈步昨夜人

王翹 [語] 漢火淫并為吳城六門莫盡於西
國六月初 [語] 賊舉火焚楊柳巷盡夜
時寧坐睥睨間飲酒望其美平日時到
風大作煙火而散火不期咫尺哭聲
城內外或搭城上云白啼哭者城上
火呼乃是部作堂火臨日

五十

吳據 [語] 子元游又人成名於元祖
破的懷方宜肉至友肉之笑曰第
一曰條中第一品官循是懷人即集
吾城是司公入破府縣嘉隆間山人若呂中甫
或素往極難報恩不其可取為子元而後斗者
人豈云子元

王翹 [語] 吳翹臨臨河上魯山澳來往通河上
惟漸羽衣方通濠濠別居城新泰中華餘甘却都
西商船去見先師市與島寇候防勾引漸新

劉紹古傳了十六元自事後附見阮大鍼云弘光登極
在府上即為督學江上就設不到何終云此等處
皆收而而書之皆欲其黃石高使時雖名者不辨也
形勢得萌芽 (年五十八阮自華)

林兆恩 谷子 [為語林谷子老卓魯閣中二文端也]

五十一

張位名誠 [為語文端以持正特江廣昭為意危
涉至詔討賊云方解宋何由逃竄能授]

六十一 五十六 五十七 五十八 五十九 六十

方孔炤 諸夫 如常傳云多選中消解隊策昭亮甲
片時光原第一要選策只在野田數場

李繼 仲 為語王昭微撰東林題詞錄阮大
鍼名云云有大鍼初與李忠毅魏
忠節以中在明相善及忠節補吏垣大鍼終忠節
局之選遂能傳概忠節於魏忠毅於位意有始
江云若云子瞻一生扮教到底因魏忠節籍治為
子遂確之徒今分叔一人以去二君必不取也可知
爭必不愛小人之操援引君子品乃見而大鍼...
已確於諸君子望及忠毅被連於樞府至為云
細數則身在這邊各一方總而方睥睨阮籍之
猶然...魏高指帶魏忠毅阮籍指大鍼
...阮而附了士英以忠等重翻三案誅魏五人
士之反復生同鬼域誰為誰誰當為否不層錄也
已丁*

沈德符 景情 [為語野模編頭左謹於此偏常
明代聖史未及五為之昭公安竟陵翁老及唐
下脚碑之弊如多魏字似海堂評星破宋免為

於多也了人日挑草得人口山轉樸果知聖你係
圓夢居模緩燈然舉子因貧賤焉光還同建梅
圖從你因寬廣字家時○若兩物修速紹英山
密失外星...屋敏生引滿牆墻不須扣一星塔但
鳴鶴書堂切不產蛙...至魚共張款乃粒粒就
懷...

六十二

葉音述 仲達

休說紅心民紅可惜初後於作
黃再說漸成白紅芳晚去淡上福惟為蓋華的
安旋○空懷舊俗志相若空象上旬日體應為
殺羊粗不盡然三北半能牌北南山積金利從
教新東往滿坐得啼哭
梅丹祚面金[為流]高堂周見論肉...並推傳為所
堪...王在記...云風中想陌上落款親為何意
人亡友王介人通楊門

六十三

鄭應芳陳父

[為誰]陳父...每出以時便之沈思解
人痛面不覺涕泗刻曰作一為...難...乃為
稱之若人何云拙斷為甚難用不皮一皮心不遇是金
主為...造者格第表子仍未起

六十四

鄭東賢 吁也

嚴以懷釣鹽...經色石之兄漢
他年羨子表一...不...力釣鹽...戲
爭中

六十五

唐時升 長生

以讀嘉寧の先生為父要必推考建策
長壽子集且延席期之助半牧高謂吾故尊而宋
經王祥乃延致面出步由至欲伸理助部員立抑
之

程泰 越 畫功

以讀讀經功移調年才滿集弱
近讀為於古經七律多打五律如此使倆令三
做村夫子讀萬翻兔圖冊之信為一牧高為多
你照河李王李李淑乃於明三年中特為之為詩
今六經人語云欲持荷他柱荷弱不後果創
持為作較前暗本光矣

吳夢陽 名壯

以讀新愛之謹越畫功日松園詩為
…缺為名壯…同景昭新昭布衣詩推…吳名壯為
中興布衣詩好是法何要何好不形中然以是少
非以余觀二子之作以政公魯律以風出剪檢
陳詩出不度新中矣

吳丹芳 於父

北唐後收欲暖未暖之唐鐘出林
乃林青志以龍峰我豎白星外在路一條黃華
中版屋已窗隔水月布帆正飽這山風孤離
金粉自你腹不從突兀柴門東

沈野 送先

國初郭皎含款廟郎指贈何款

8月21日映18 影幕白小像 墓門你更胆能門

长松园近翻拖松花衣心适调。壁上几窗猿
马翰天山六月雪花名闻人不解何人苦生刘隆
冬恩家私

蘇勸忠公 寧人科 望山吳漢猴院、多少吳云志
不可累莫然理高如噴土長門你比蓋內原8

王蘭亭氏 書 事狼烟夜照大安成疆跨夜
結收年去駿高馳金燒燄冲正陽門底捷
書尾

唐世詢仲立 已誌。為人形貌甚好的。與步跋
偶到直張節。時年喜助。視希控枝招。何
仲素并其他不可其。吾仲立此目李公。張
口啞。年。兩君乃能。勤於招。述不。後。此
以。是。解。張也。丁。第。人。

李坡^{郭人}以生面平話 + 黎國父計號
映五里殺逐痛... 曹德始合善亭亭仲立
作二裏人傳一以平話一以目語身不棄於
公安交傳之說

~~清江浦外散~~
~~方通彭方田~~

黄景明大拜 王谔法相居移去陈云志利
整至也涉尤周佳绘如得共王密云隆準衣冠
帝反果欧望開大江濱...寄友云以多一日

女見子69果因非

長手尔如出三星架步何丁

陳澄原胡端

[為語] 厭舊門戶不屑附東林至封
可路云及市恩德然并力失平在隆
東林之可語以人不以物左為該外之符乃特
之楊以情共厭職步隆外東林不當失為君子不
以以崔魏為兩人之所又云臣等寧援孤主為
臨之小人決不依草附木為輕以之君子由是
見始於東林...一官路雖被密而師丁

鄭龍來曹服

懷柯榮光上

譚文嘉友友

小雨改以小雨以並山車薪枋一杯
已離三伏暑交為集時未鵲尾搖
豈若終宵仍不寐似可狂吟雷
[為語] 伯敬揚卷依空湖海之移氣
於東廣藉友友應如依乃坐以語申
既出紙貴一時一錯肝鉢腎未創是入弱靈通不
藉你立至立不讀一卷書使可臻於作在生先父
物作為亡國之音也曹同以新在靜翁仲遠友于友友
也立語申外離譚子評選乃交陵進生來
仍託為書報初見之思始之於學政除名名既而
而傳戶曹遂不改云云

六十七

魏學伊子敬

長水德為友人寄至高家位長水以
東西通流表之湖畔柳堤湖上樓...有朋少年子
窈窕乃相求偕同樓上女可以羅致不降也
修云源以孤量輟為作而不若規規字句

陸寶 跋

「為諸前輩所造法好用諸助不常扭
若為安竟陵習然多本家特造法震南評仲亨
且中位近李受士果堂榜角上皆為凡四三十
人...乃獨選之何典丁高唐悅蘭初羅振緝
桂竹枕枕筆手自携遊熱不教人然火燭滿
樓涼月照空梯」

趙宦光 跋

「為諸凡久以第方名略用苦書法
者之嫌曰第第組圖琳觀精舍名
固錄之書鼎廟...並自錄人觀之未及不皆治世
...是方之寂古者莫如篆法野王雖以標已發至
是考陽米利之說文皆出私立...學在已此之凡
久字篆至又何所中求」

王君淑 跋

「為諸凡情之作跋朽古紅
樓夢不可少矣存此玉溪並敘極略斜空
即次之由至情懷不露用字極造造法新柔
冬債諸喚奈何...反以為總造法之性恐不
盡為否伯工故必聘瑟鐘鼓之少而極麻反
倡之精多並後可以造神既李...次回...你伯
唐人遺立親句如兩下語便月下霜集車辛若是
蕭郎一展芳榜一展懸標只為欲喚不隔
然...中張如...明之可老人如月漢之舞長路隔
以因...金粟老學儒乳梅庵遊題者以治剛...



4月卷61卷五界

爭為之辨曰米家燈火云云教家書為是太常卿
耀即席口占云玉綃墨出上元村莫火語錄末學能
繁悅物重游也醫家米家燈火是米家園畫程子
空教渡步米浪入銀鋪謂月升苑以夢中為一
也米家園是米家燈

沈琦仲玉 送馬長山 權守橘李我家位江南
只餘江南路界今已向江南以却誰君家又回
執事以差難別難高人海烟裁人歌只為
北蒼生望總向循良傳裏發...天子黃扉方出
席致治思同二石修君始作江南以今新
古向江北

呂克孝公原 [為語] 云云 懷位德 浩層結歎折
脚鐐]

董德舉崇相 雄作小發子大官出意逢君起
可親疏茫茫豈不來孝子

何棟如子極 午日委誰輕語 徐平日落停車
[世錫] 漢柳柳迴夾岸高燈影不分波下上人行
矣拍水東西

阮自華 吟之 [為語] 然策輕簡士爭為不取工
君以商為治必空詠懷堂而形露雲集也工

五九

公孫若典 [為語] 語於前唐為三篇之序必以公
又介為巨厚焉即其語的大略云... 後人不能不識
於漢魏之不能無雅勢使然也... 近來雖在系序多
...但所漢魏所傳之詞句模而字合之中間生些微
陰之誤及互之脫蓋所不執率似借些微借以附
益或因文而誤授端踏於原下探於滕篋之
書... 李于錦曰撥誤以朱至變化之撥誤收以
變化則不能撥誤變化而撥誤矣取李又曰
譯為出於古語而難於古語之言後於五言而難
於五言如七律於語此中安不易工古七長投唯杜
氏... 近來撥作甚多夫古詩家李合又雅形
子思長篇云為界歷代選宗工奇稱弘正反嘉
隆... 錄子給之未易說撥誤原為多所悅大方
楊立自為其何為教彼西序... 然缺者七律
仍以唐下為宗故其文每一代李論漢海口

袁樹道吉卿 東鄰日影司子頻年苦運籌車封
撥解原堂忽如今即似高入婦態水然風望
左舟 [為語] 此喻東以石海者拱在作也

魏孝後 [為語] 晚移李臥去何仲照王
謝靈運之薛眉朱宿子業前子業張勛甫謝朓
集九人之為目曰果圖凡雅而以此作附以
為臥吉藉中拱溝聚於新嬌嬌於別者子孫

於研學之望於新...君采先出自僱師教其平素籍
或妻為趙王女因卜居子孫遂而不時郭志載在
故寓丁

六

錢龍錫 維久樓山 正為諸公如入國思德命定內訌
瑞諸公也臣樂步笑羅素不之且曰
忠賢一豎何能為皆外庭才為諂諛此輩中
事玩老媚奄人笑蹟也乃取以訖罪分別
程凡六等...遂蒙既定崇人銜怨刺骨

鍾惺 山陰 正為諸公如入國思德命定內訌
星夜龍驚雖謂也...以安知歷下墨東弊
倡涉泉汀身以為浮著造不根之句以為奇笑
用語助之辭以為皮相著一字務求之幽晦構
一點必致於不通為收出而一時紙費...後書
天下之而國今隨之矣丁再於浦口王茂和
樓望石武庫滄寧所造新城...龍惺舊向
烟造皮去遠考差部新生

馬之駿 仲良 十八禪院...河安地清夜如山即水之
粉你潭能曉花也友生曾欲晚波輕綠起
秋木新蒼市海系未盡烟景乃新荷
陳翼老 元冊 正為諸公如入國思德命定內訌
彈文坎壤終分款為篇以陶往

★ 三才海明詩別裁 并不掛燈籠

余共整宿箴与明之治王争多。王组织记自述此
钟求仲楷游金乃为德整身携沈老童康臣
朴来谒钟中姊引宜兴吴徽如船钟思媛曾
吴不纯口...自面造之蔡秀祈之长吴时沈本路
为方居相以佛史督运曹吴族孙劾代为革
阮海廷都臣虎湯嘉寅苦瑞院成元朋一然
返不改振矣牧高弟氏与弟仲臣南元朋唱月
籍而到盼话机制去不释心呼某酒沈迁
猿籍少籍素化而此催黄塾苑在崇论犹不释
於懷可為長大魚也丁

李应徵的迹 十二
李应徵的迹 十二
庚共徐翁严魏翎连海岱三笛戈甲西巴黔北
戎自谗长殊险御马谁去朽索鄉杞罔忘懷
殊不細叙前林月步震穆

延壽牧雲 自署以全 萬守你 國義花 落雲

泥中掣出造海水

渡江不趁东风不得 渡江时艤

停棹不知吹浪急淮水送到揚州第幾橋

孙 鏞 文 魁
 上为陆月峰勤学过於士安 慧業不以
 雲運散在梅为石云鏞遇之於为本书



又見陳眉公後香齋小造卷22 丑月亥記
 建興崇禎川內歸家祇役駭口驛在田
 南俗脚書至並觀新為此診面實因夢凡八節雅
 同解軍人目為大家生是榜外他亦是何云云

懋德循 工治論。何元明評晚君美由國公為別
 誅張碧上王元美目為好家這署叔張碧果妙序
 念奴嬌序二必不難於謀口吻而是後人解之元美
 大不諱譚之稱謂不置署叔笑曰是意知所治由
 固其然……治上不論也子習如流從元美誼游
 不の十子目二磊落之士也了

朱國祚 光隆 六十四
 印書云云易稱知為治以
 朱文治是南之同創理實進異物以
 曰此輩小智是以惑人收束必及助之更居法多變
 凌治以初乃為笑之也曰家治此亡國之音吾不忍
 見之也了

周在賓 嘉南 去卿問知人昨日來之人昨日同
 是株中人何必同

吳默祖 嘉北 工治論人或者勸之講學笑答曰治公
 所講者性僕所云情也

李廣 于野 宿白龍潭南臥林紺殿荒寂條一
 衲招慈魯由人慘慘立無多不是俗同古新場

方以智 崇禎 工治論。先皇為編五經融會成

金堡 聖隱 三

戒君政詠性不詠情

——(宋詩公卿終日共講而人不知也卿講性宋講情
張公堂心應)

七十
[正字] 昆弟 [詩] 諸乙國諸邑余外舅馮翁由飲余陪
末應思同曰在學詩在對曰末也... 學為
何位曰試作對曰臣至先生君在人名許廣秀保
記位位野王對曰田子... 蕭子... 對位伯而... 松窗
云對蕭思詠... 先生又余應對不意家也詠馮翁曰此
物來必以詩名也... 一

七十一
[陳伯儒] 仲醇 [詩] 諸家名國冊門廣警羽海
布唱被名震多餅師爭呼聖字丁
卜年面頤 [詩] 諸勝陳仲醇門... 點玉門口以
人唱悲國士名裝... 一

[李徽南] 楚芳 [詩] 諸据挺禁庭瑛語影粉洋
後世學... 天聖聖訓聖主為法絕代安器於常
是逢介時裕妃笑指燈屏向雕列空梅筆業
枝

[曹臣] 野臣 [詩] 諸後云吳搜苦處不由康莊然入
翎程自定集曰鬼訂集以為此時人所出也

[馮夢龍] 龍 [詩] 諸善為器於之解向入打油
之調雖不為詩家並合文苑之體

楊也丁
[湯信樓] 之謀 二

七十三

神虎佳幼文

神鹿佳幼文 话说嫦娥奔月人有三只眼……

即金童玉女之目了

黃毓祺

黃毓祺曰、不寐懷元又何以名別匪徒三日要談

交采四十年你

黃卷周幼玄

1-4 七十四

曹子全 能照

曹学佺能照，遂称山人，内黄董简亦能书也。

林、喜光、白、下、其、多、日、夜、月、蒙、月、第、策、18

黃周學九張煙

792

「活活」人員一言不合即下重手

一船借問阿誰堪作伴美人才子神仙口

七十五

孫淳孟樓

邱福认为该族自宋元以来历代

... 多教文法如天... 子合笑都

劉子衡撰一人張浩東為一分主五佳文學

浙江杭州西湖边
 杭州西湖边

朴也是日應祐... 於是乃廣立

北... 陈朕... 然用... 英江... 建... 生... 而... 讲...

聚於時盈於星居... 摩挲... 改題... 呈向乃案

社 浙西局同社 江北局同社 江西局同社 一山

左乃大社應合於號統合于收社... 萬生聖樸物
 至是米慶善先收大會者三... 名勳於聖聖樸物
 居多然而飲然你至十月月裡州武陳文於
 疏陳炳以之解此原於士子... 張清... 張米儒立
 收社以抗至... 魏州推發周之慶書与清同
 岸進士初尔乃社至是於南直至是經詣南門
 許妻清等... 至是苦微以收社十器在大略清
 派男曹某是之南學出天如維斗[楊通樞工以
 子上げ國柄下託群情... 外乎常至隆房枯石
 是許某果多圖步降屈宗不足言文章... 傳概出
 星地電為安會於後地肉林... 阮大樞... 日思
 那後愛有王安丹東南創孔久遷收社果兒年乘
 飲一疏大鍊修了士莫云孔門弟子中而維
 斗等乘徒至萬不反何故... 仍令王師下江而
 緩則收社語君難免于白馬謂是... 一

吳翻

扶九 此語藉祖父之談會敘結案與孫
 查朴安君偶為收社... 一

朱曉

此語除鍾譚生以... 迄應制地
 然... 贈陳王旦本歌云... 五十年可不
 知天下策人个垂死白雲中何止這為楚狂
 誤別能竟侵非中心誠服可知了

沈士柱 吳綱

次韵若翁仍叔兄贈。眼若著
說等難傷心。近某煙局不平○
次韵防躬王二子寄山峒韻。定立馬能怕鹿指
逐教象上被蛇吞

陳果 別果

「為說難輕云天下何思何慮言涉不
見不聞」

顧果 方錫

「為說難輕云天下何思何慮言涉不
見不聞」
城子為笑居焉云云...但知為同除蟲不惜以
身費福大難飲恨利害...阮露必以教東林
周江漢及戈以攻改社」

徐梅丕 武子

一

李及然 元仲

「為說難輕云天下何思何慮言涉不
見不聞」
七十七

葉襄 曉曉

葉襄黃魯郭詩恨快可憐一夕辭
二民坑儒葉是妻家子何指傷心然如呈

周政農父

官無行強近昔市本強至恐強去
強本強為時強去官無位官兵畏強也
原狼但行強後勢善強強強強強入
打里馬本勇豆人索糧...君不悅強去人師強
賢食官兵所遇生荆棘痛草良民至此不為

外學如實也勢直戈為破

王獻之 子一 [為諸並重不學札「能書之妙」]

吳翹 振六 金陵、迄末天整是宏名何用千尋鐵

鎮樓采石六樓團故國空能於自打忠城

六然已歎屈後歎十磨徒申帶石系圖四首

景陽遺簾失但餘石八楚鐘聲

朱茂暉 吳嘉字 崇祿成展湖上被毀也在

初紀五五 [為諸]

七十九

呼莊 元泰

[為諸、恒軒好寄、嘗與王高居住云
至金忠以此也問人、頗居之、曰]

八十上

談遷 仲木

一

黃宗炎 曉木

一

談名 長益

錦一著錄

肉內臣述往、諸郎有親到市廛
民間物價每留連西華、我嘗與前門

吳嘉紀 仲木

八十下
五六世話

呂茂良 仲木

呂耀良 金昂

女大不盛二人皆力於冬部為多也
此在張廸子美夏要別院係一筆筆石描用通

李沂 艾山 已為諸君誤向詩家多感於竟使皮派
中州張春公隆平竟出題儒居
昭伯於宿生於詩為左祖竟陵步至張目批互
秋是時艾山獨欣然相持矣

八十一上

王右軍 介人 已為諸君誤向詩家多感於竟使皮派
不逮偽體一語陳推官卧子一君為多路
外陽外以人華中詢卧子體節

徐開任 香雪 送人游下邳 天下能王空為種立間

鑒子遂成名

馮班 鍾 已為諸君誤向詩家多感於竟使皮派
田定遠發出金鐘並極次四以
得緩定趨以絕句見長大於舊田金學慢李而之
錢多師至原出于開集也丁無欺業桂居多
叔後逢柔勝已到九迴時瑞瑞愧外姬卿
端教吳中自不知

姜波 香雨 已為諸君誤向詩家多感於竟使皮派
務器此絕不於人

八十一下

薛登 夏日水南客居枕筆清榴花梅子渡
牕照綠陰滿地 昨午臥注梨黃啼一
蒼

蒼照綠陰滿地 昨午夢曉後學時一

曉曉為雁十。集鶴齡為話。既為停靜廣志
或遇二篇話不欠集中 87年見列新詩集同

張紀方 江村喜生 貧寒生計 亦康寧多病 後居詩社
盤蛇

八十二
陳恭尹 為諸詩造諸詩于翁山翁山祇工五言
又不若元學之語詩相稱也丁巳企喻影
男兒能作健不用括弓稍師子一似吹有鉄毛角落
○括搦影。江東蔗竿長丈二中間可啖兩頭桑少年
徑是為翁山四十五十些多集

居大均 翁山 為諸詩言不如五言五律攝於五言
影以長句為取焉

八十四 補見冊末
范氏 為諸詩言入禁中保影造言之方后兄
封為夫人造言以影老嫗詩中吹笛團玉環
賜死馬嵬坡出望眼君怨更爭似河漢牛背穩
笛中吹出太平歌

八十五
朱道斗 為諸詩才情橫溢極為富平李孔
德所稱 覺聖祀千一百二十字 五折口隆宋世工而
世中不可及也

八十六
為諸詩人為集 青黃雜探生質交錯 予新
編六稿辨稱之此終焉

孟叔卿 諱荆山居士 為諸詩云荆山居士之論論作詩
貴脫凡化噴閩人不可不銘粉
氣 8

引注者即小米諸君云云。其謂其高生化外之辭。其意以所
與如小兒。其意以所與如小兒。其意以所與如小兒。其意以所
用是之說。其意以所與如小兒。其意以所與如小兒。其意以所

吳介儀 方孔炤 後新月不來燈自照江天獨夜
頻驚長身自是苦師思未必風波不可引

朱大詔 號璧 世瑞劍老出你園於後
撥馬時他日相逢莫惆悵休看煙吹夾道旁
[為語] 萬壽朱吉士大詔惟好莊訪由矣門舊姓
即原繁表宏俊謹記... 以美婢歌真... 此不似
仙也少年時以此語於莊吉士見之悅惜未及
饋予南之李吉士是云云

八十七

[為語] 明制設內書堂以教小內侍... 而三百年來
此輩豈為文女意寧予為搜訪僅得此人云云

張華 兄狡獪偶作重法新戎服狡獪
還貢收羅然為異物費我大官羊

八十九

張宇初 [為語] 此語係借其妙費冠其
我生因帝惟上官儀吳指曹香初
為然係唐皆不終于焚冠一元時為數特生...
如張兩面馬驢意是皆狹倫才云云

余善 以初 追述張外史語仙話... 隱以海仙飯
胡麻為折瓊林第一花欲謝為人難出廣一
虛天地小於仙二處寄瓊池日景為鳥紗巾上
持仙桃長榮橋火園金雞冠一吹焚塵變西
冊本存高祖歌讀方一卷法一危記形像書數半時(海天吟
送分家報卷3引)

8 兄到信話同

清の「楊慶文」云讀長樂狀元家送林三叶以爲全
誠唯中謬又如一畫句陸雲卿亦書以爲喜到子

九十

梵琦 〔爲語〕僧中龍象...北遊一集凡土物候
畢書其遺...~~僧~~唐代分僧院之院爲僧院
唐矧 厥可瘦梳髮手

僧宗泐 僧法次王以中稱。偶在荷葉當道
用向黃管節上書

九十一

德祥 李確。高年已要苦奈何後年不果何多

大星 〔爲語〕湖中位月云偶臨湖坐白嘉粉欲
傍花行坐小船

九十二

財學 〔爲語〕寒來黃葉雨鬼神南的楊門

海明破出 〔爲語〕張獻忠教人這教黃巢石信
自甲申中月記男...次年正月孫可聖報一路教男子五
千九百八十八名女子九千六百名李定岡報一路教男
子七千九百餘名女子八千八百餘名李定文報
一路教男子九千九百六十餘名女子八千八百餘名
艾能多報一路教男子七千六百餘名女子九千九百
餘名此外各堂分勸川南川北所教之數如左
忠信脚營教人數目自爲傳記之不足爲...相傳

又於座下惜西高洪明旁澤比為云領斜利王必
中野虎同母弟封大君姊乃懷簡王子康漢王中竹地沈為
女也此也(物)竹地此列在公國去之誤標名僅一母字
破山為崇勳破山李山教破山以羊豕進時
上食此為封刀不破山越食之破山之徒杖雲
面致其語錄在縉憲化略謂勳親忠侯
也予友常念祖對予述之

出處 世錫人 山居老舊年移入湖魯寨漸成
絕思量不知下界黃昏近於向西隱憂夕陽二

出處 研 [語] 在林好讀儒書崇慕子史為
家為小不集又少除力注李處山詩三卷惜其
未刊乃合吳江朱長孺等處山詩多形其說而
致其為朱長孺處山詩家讀長孺陰稱其美且痛
抑之

九十五下

月山大君姊 [語] 語見吳子重能鮮為題一古尋
花真際古古並界臨院香門客列稀我
尋花決落尋花翻為惜花吟

口噤哩麻哈 或作差里麻 答大昭皇帝問時
依國比中原國人同上古人私冠唐制廢禮
示儒君臣鉅禮第漢法金刀鑄造錢年二三月
枕香自陽春

九十七

[語] 語、明以漢字而稱為步象生一錦經段而集
注為選[吳]明為經鮮為題不辭姓氏應是名鮮(子)

×景蘭江i失影也

送i張詩者附寫]

李太白為秋工 楚黃糖樓興饒金子經林上能生
仙乃鐵笛中 [此因當云秋在一句云徒唱]

黃微香美為要 [為說何得即解香移i為他
詩要傳曰唐人以詩名宗門園為出進乎持要人
無不香美詩不好要。不掩詩迹苦多人]

李英少差歐大任意也 [蘇洵朱云計及功唐為化
子... 諸人年一百五十遊西卷末引(第二人... 余新
楚明乃為僅白李英一人]

林也元王韓去家意也 [為說 勒山崩山朱轉生
明石游詩錄黃衣一為南海李英也案山銘愛之
劉能為集益以二人扶 蘭李值任內鄉子東如
余錄為條又益一人陶林也元也陶中表初意
詩... 為即陳番所陳竹色都蘭子三人...]

吳忠如元龍表衣

九十八

[為說... 隆前以東治勝漸生 浙為院水部第
記名米華梅史以北京東西院按抄錄寫の十人記
作樂子牌查少曹編修大享立達 卷新會以曲
妓王寶玉等一十の人比諸進士 榜一時詞客名押
何知像子作為詞生子以長舌姑便於北里錄
及不作的詩者到為告告由而辨識全城送諸忠

延平張紹堂卷丁

馬守忠字相榮一字玄光又字月暗 [評語] 號中中人
而致誤。此原善何人立性。此高傑。但揮金以矜少
年。伯穀。序王為大略云。林處佳。魏之地。為樓狹
邪之者。……故王。故市為雨。為是。員。妻一人。居皮。結代
內。雖為。千。董。市。之。發。託。名。別。因。晚。相。口。之。著。平。狂
劍。刀。若。土。壤。要。袖。集。家。重。述。諸。如。血。山。紅。妝。香。布
……自君之出矣。……不共舉。寶。危。法是。諸。終
物。能。惜。米。個。時

周介字筠生 [評語] 蓋名勾。揮眉。好。多。相。居。未。敢
人。考。說。校。書。善。自。修。也。列。朝。為。集。謂。為。松。陵。一。元。代
員。之。而。端。悒。鬱。而。致。死。所。由。云。一。元。氏。昔。除。名。會。元
阮。同。和。志。學。也。予。於。乙。酉。冬。於。及。兒。之。臣。官。談。話
援。今。證。古。雖。不。休。亦。未。至。以。五。七。言。讀。詞。回。環
迄。不。能。勾。第。於。此。姑。括。出。全。不。解。耳

王微修明

楊虎晚叔 [評語] 黃。漢。云。茅。丁。此。生。之。號。晚。叔。愛。以。解
柳。如是。同。姓。並。人。之。意。為。當。治。道。以。蘭。湯。浴。門。[評語]
此。生。之。晚。叔。好。賞。至。為。序。必。稱。內。子。先。以。遺。荷。戈。書
外。自。謂。不。為。人。以。為。好。婦。童。為。自。云。家。傳。傲。骨。為。過
豐。帝。貴。詞。人。作。細。思。可。謂。毫。惜。語。著。所。究。叔
恒。思。琢。然。懷。語。云。獨。自。支。歐。獨。自。若。你。情

晉書讀幻
王敦桓溫

儒諺元內重理中國噴諸元曰平戶也元曰對
於尔之貪也尔以大家存家宗族必存根由為
必教家由於謀生儒遂教流子弟充其是氏
○溫海教是使西門七星制懷遠歸之曰溫
眼如紫右校於作帽毛不樂孫仲謀書宣王
後立也...諸葛亮造一時困於魚後平沙之上
墨石為八...相去二丈溫見之謂此常山蛇勢
也...知然迫杖殺諸葛以抗已溫甚忿之
然素知諸葛之悍也...溫進至霸上符健以
五人於爾博國居人皆安堵收業然半渡而遇
龍臨在十人九落空耳温曰不圖今日見官軍
...惟位無益惟下七重梯茶果而已...度中
面之皆文市...威勢富兼得中河出見而遙拜
溫驚曰安石之何乃尔安石未為君存於安臣
拚於敗...濟不勝温曰吾逐安石是不便
入禁白相見便束...於是日一校便君之...
序前遺諸家因之一象之於公如諸葛武侯王
為丞相故引溫訪望皆又始終神位於已不尔
使周王所擢之既不創而理能速憤然...
入朝...有傳者好於右側當時豫位望出
咸我帽失色...於是得者平陵左右覺其異

既望事淡忘矣曰先帝向邀靈見朕不遂帝所主議
不若法也但見得時頻言臣不勝而已...因而遲
疑...史臣曰...睚眦憾適延竄敵國拜

桓玄 王羲之殷仲文

生亥月免胆室占在乡之故以名望... 常以天下地以
妇家自爱宋... 能通之於面未用... 捕家兴太
付转不... 意... 望... 款曰义为九州伯
为五... 司以文勒之... 乃上疏曰...
晋... 桀危於殷... 功臣之功... 伊霍矣... 先臣
勤王... 难... 功臣... 勤... 若... 臣... 不
收... 也... 先帝... 九五... 臣... 以... 略...
面... 同... 谁... 由... 谁... 之... 说... 诈... 表... 请...
此... 兴... 不... 许... 交... 本... 世... 策... 力... 而... 始... 为... 大... 立... 既... 不... 克... 以...
乃... 云... 在... 诏... 故... 心... 初... 欲... 饰... 其... 生... 他... 要... 今... 先... 使... 作... 程...
躬... 勤... 服... 玩... 及... 书... 遣... 学... 榜... 日... 书... 遣... 玩... 玩... 宜... 恒...
在... 左... 右... 且... 兵... 凶... 戮... 危... 朕... 后... 不... 宜... 为... 此... 挫... 西... 易... 逢...
玄... 伯... 上... 表... 求... 悔... 藩... 又... 自... 作... 诏... 遣... 之... 遣... 又... 宜... 旨... 玄... 叙...
上... 表... 因... 遣... 又... 诏... 天子... 作... 每... 诏... 因... 遣... 旨... 玄... 好... 遣... 为...
有... 庶... 保... 管... 片... 朕... 法... 此... 彰... 也... 诏... 代... 诏... 之... 紧... 宜... 不...
朕... 祥... 乃... 城... 台... 所... 在... 上... 临... 平... 游... 再... 除... 德... 朗... 又... 象... 止...
集... 樊... 智... 诏... 曰... 雪... 瑞... 之... 子... 何... 所... 珍... 也... 弘... 祇... 相... 因...
至... 德... 何... 多... 为... 之... 应... 以... 唐... 代... 战... 后... 肥... 通... 士... 而... 已... 也...



獨步乃微皇甫謐六世孫步之為善化并給以資用
出之讓而不受神曰為士時人名為充隱...性
貪鄙...尤愛寶物珠玉不離于手人盡法其好者
及佳園宅去其欲收已於難也奪之出滿牆而取
...亦恐帝不為之詔又重望不可比也臨川王王
侯諸帝皆為之詔因奪取望...於是大教...見乃
天爵二級孝悌力田人二級金銀等物獨不給好生
徵人五斛至賞賜漸減設此文章至矣也...造大
聲容三十人坐以二石人罪之姪孫敗逃以能大不
堪樂為又作猗猗園與施然南令迴動常帶...惡
暇貧客造宴唯至亡時一笑而已...召諸道人推福
教為厭然法乃問不曰朕知汝曹語汝曰神思
人怨臣實懼焉云曰人或怨神君何為怒若曰得
苦宗廟輕侮共斬大桎之答不復於神此至所以
怒也云曰何不誅對曰桎上諸君若此以為是
卿之臣何所言之...初...案位沙月及太的又入
羽林去甚惡之及敗走腹心者乃去矣不勝
若生以某指天而徑日不侍位左右建以粗飯因
不能下咽昇時年如某抱玄胸而撫之玄然不
白...云於危作親居位教至臣某軍等自謂經略

Yang An

連年豈復假於外忽為人所倚於焉以為一現又越及胡
奴曰王安初之遺厚及至推上告之曰在勅是也種然多
六不事尔一人乃存資遣之遂為勅將之山發自唐德誠
為及也信然邪我寧山歌望更屬不能迎尉望已
歎...遂臨空城張公大掠...裸利士女出少
城席苦華自都生事在生地以士月費...思...之五
斗米造叔父表叩多勅而枯子崇...乃和為...素
傳之...為子謀之恩進于馬爾同乘死惡之皆謂
蟬恍望仙如就海中資...非...當曰長生人宜
唐令謀殺果已...相殺乘於金橋至如女及望
不能去在...當生...先投於水而告曰僕由先望
仙港我若反就沙動恩肉八別署應告至屬云
天下豈復有...當與諸君於服而主建席於常庫之
洛江及曰我割斯江不與作句歸也紫簪乃封
海日沈映堂及妓家諸仙授死從死此石
西○蘆船遇媒紅雙眸固微腫子曰然...
沙門慧遠...之曰君隆就陽於素而忘存不執心
勢屈切不免先賜壽子係人又君妓家聞曰我今始
自教誰強同在變云當服食生就死實人情所難免
云官為而死某能生於是是燭語習解死在國時授
於水

劉元海跋記

中江江统信

8 中江江统信

古者帝王乃生身於淳維仙島之南商代文王被紂... 指露之
 曉候月既居觀博揚增其書聖果遂城不伯緩帶
 百姓康民宜... 元海一名犯方祖應諱[洪]姓
 稱其為初漢高祖以字為公之以此為貴約為先身
 如至子孫遂冒姓[洪]氏... 尤好是於左氏傳弱以法
 略以海之... 崇禎丙子生曰多為親書傳常欲隨陸
 崇武維淮散... 二生遇者星而不能達封侯漢為
 為屬太守而不能開庫為漢惜其於是遂學其華如
 德於尔王君武帝在與大悅之... 王富曰... 陸下荒世之
 以東南之吳會不足平也... 孔恂楊珧進曰臣觀元海
 以第六懼其... 如海之海橋平告以政恐其不改
 北海也... 我族數其心為其... 以本部臣籍為
 陛下定心... 元海若能平凉州... 恐凉州為其難平
 較遠的... 西北收地中物也... 陸祖劉望字籍諱曰...
 自漢以來... 我軍于... 惟君要緊告收尺土漢
 ... 元海曰善為學問峻年何能為培培乎大帝王
 也君常其大禹出於西戎父王聖於東夷... 惟位所授
 年... 稱漢進書後主以懷人生... 進書劉譚為
 惟歸帝之漢高祖以下三祖五宗神主而宗之

劉聰裁記

聰在呼延氏死物納其太保翁... 叔也至中又國陳... 太
 保劉景翁比曰臣常聞太保曰云周為康公之叔父聖氏
 中保孔維納為乞願大悅... 叔叔為二女為左右貴族



...又彼故曰孫四人為貴人...六為...能似於後宮...
聰...封...市...令...郡公...謂...曰...為...孫...王...時...朕
嘗...與...武...子...相...造...是...子...朕...於...之...言...周...名...久...是...以...
何...製...子...府...影...示...朕...謂...朕...曰...周...君...善...為...新...試...為...善
子...朕...時...與...至...子...俱...為...是...法...以...之...何...善...者...久...之...又...引...朕
射...于...皇...堂...朕...曰...十...等...之...與...至...子...俱...以...九...等...之...賜...朕
枯...弓...銀...研...之...以...性...至...帝...曰...朕...安...知...之...但...知...尔
曰...不...早...識...說...顏...聰...曰...之...家...曾...由...相...踐...何...至...也...帝...曰
此...始...非...人...多...皇...天...之...意...也...大...德...收...應...輪...受...曆...初...為
陛下...自...和...疆...除...以...劉...貴...人...賜...市...謂...帝...曰...此...名...之
之...以...大...將...以...相...善...之...宜...善...遇...之...聰...將...猶...告...度...
聰...母...以...聰...刑...思...過...差...三...日...不...令...中...外...子...聚...並...與
相...親...切...諄...諄...思...曰...吾...嘗...集...付...出...席...乎...而...由...學...生...乘...上
面...面...笑...人...一...旦...聰...速...於...亮...極...考...歷...史...通...帝...以...至
光...祿...大...夫...使...張...王...儀...等...款...面...大...哭...聰...惡...心...沈...帝...面
謀...張...儀...等...款...以...賜...帝...為...人...為...貴...人...一...至...在...貴...如...張...劉
氏...為...皇后...一...始...為...劉...氏...款...雞...儀...殿...張...氏...通...臣...居...
陳...元...達...諄...一...聰...大...怒...曰...吾...為...第...一...主...此...堂...一...取...堂...內
汝...龍...子...手...不...教...此...奴...朕...取...何...當...為...朱...頭...收...生...新...
并...至...嘉...子...月...泉...市...又...群...龍...月...穴...一...劉...氏...時...致...達
步...之...手...既...切...諄...諄...思...曰...引...元...達...而...以...之...易...道...通...國
為...納...吳...國...中...堂...為...悅...賢...堂...後...星...落...于...平...陽...北...十...里

說以君肉長三十步廣十七步其肉於平功肉旁舉足哭
 聲甚大不心...既而劉氏產一蛇一猛獸各當人而
 走是蛇不心頃次在腹肉旁俄而劉氏死乃失其
 肉哭聲六日自是後宮宮廷進御皆空...
 如中後年斬華第納王二如為左右貴嬪大日月光小
 日月華皆同毛也如月三月光為皇后...上皇在斬氏
 月滿後以陳元遂妻...既而廢斬...斬妻與教斬
 月滿後聽道長元遂...勢如度之先而進金...
 色你元遂...聽主上皇在禁苑...時日在汝佩
 皇在聖後處七人...貨知有乃...一謀渡相仍後宮
 常賜勳至中為劉教屠主...聽不納好日爾欲以
 使由公死年終之知生來哭人...河東大惶惶不
 素...收而理...哭聲聞於外里及乃積土見
 改在素豆...聽子的死一物於暖遂不殯殮及
 腫之見元海於不用中羅五遂改從王崑崙山
 三日而改遂於不用見諸王公乃相死在宮
 室甚壯驍驍曰恭孫離國元海詣故曰東北
 遮殺我國主之得白汝父為之汝父改三年為
 末改國中大夫相教宮家死也略於...世且還
 後年由末見由不久伯相而後為還一國曰
 尼果餘回引伯入宮與伯皮囊一枚曰為多遺漢皇
 帝...劉氏後年未必見過由以少女相妻...俄而相

軍事不可也。曠地變。曠地收。飲酒如斗。昏致
有退馬陷在渠墜于水上。服瘡十餘通。中者三力
在地所提。適于勒所。北苑市三。孫機上。禮承兒
曠勒許。標進陷于曠日。僕谷王。閔右。稱帝。皇
帝指重。保土。鍾。鍾。用。只。知。陷。政。詐。運。家。天。所。亡
閑。大。分。持。一。船。曠。日。何。以。建。邪。蜀。為。第。飲。勒。身
之。情。造。改。客。日。亡。因。以。是。冬。冬。度。如。心。史。臣。曰。彼
我。秋。岳。人。面。執。心。見。利。如。毒。君。祝。臨。財。男。忘。仁。意
也。……終。為。季。秋。之。邦。東。韓。君。臣。之。位。至。於。不。遠
儒。居。宏。禱。正。生。公。芳。賢。何。謂。并。仁。義。西。盜。止
焉。

石勒載記上

字世龍。年十四。陷邑人。以叛。洛陽。侍。哺。上。東。門。王
衍。見。面。異。之。語。諸。左。右。曰。何。如。離。多。被。言。說。祝。即
言。恐。為。失。下。之。意。弛。遣。收。之。會。勒。已。去。力。耕。田
肉。耕。鐸。諸。收。以。告。母。曰。作。勞。可。得。食。不。可。戰
……王。衍。年。大。憤。坐。之。於。簾。下。同。以。晉。故。行。王
城。王。衍。滿。堂。懼。死。多。與。陳。阮。惟。範。神。色。儼。然。之。氣
自。然。呵。曰。今日。何。故。給。公。……重。衍。陳。亮。奇。範。神
氣。不。加。其。其。又。役。使。人。排。墻。填。數。之。初。勒。移
諸。平。原。與。母。王。相。失。理。胡。琨。遣。張。儒。送。王。於。勒。遣
勒。方。曰。將軍。及。此。何。謂。……所以。攻。城。而。不。召。人。略



烏魯克不勤舞祝下在位十五年後歷山定莫知其所為
反物左辭舞舞平陵
女張無信燭燭日中始收乾
地而尔即土爾其台思故星故水即電也其結果...
久...歌動大群以表殊絕的即愛海遠近望也
自是以未謀世我人而為帝理至於名臣建功業在
出為一管一邑肉怡年政城望戰合於樸神理
不說尔方商上好要同契新治生而尔之海上學而
知此...至心實多此張儒何星初初開口可
功殊途此腐儒所肉君易造節中朝身身難
為效遺謀名馬於要空王改以胸以絕心段
末枉其勤厚恩在達時面而相在二黎苑以
...此坑至降支兄郭敬而識曰此郭季子手敬叩
路曰是也勤下馬於季子位曰大日相遇也天邪賜
衣服車馬器出上於年一勤母氏既嘗空山空莫詳
至新國既備九命一性靈華於第四城內...王凌
黑黑石皮套張張處勤右給并之...道至舍人...奉
表推崇為天子曰...大若祿海夢...中學生主...勤所
以掃羅命也為其謀暴其為為昭公驅除尔...
...王凌改勤命迄勤身換甲費府贏師以祀北
面拜為而受後去後造勤慶尾勤為不形執銘
河壁銘外於法我不以兒王公之新貿易如兒王公
也...纂尔戒石於禁後而情劉琨...沈吟本
為張廣述曰若修持于理道後諸如琨必欣
於尔我嘉果後良德不救後而張我勤勤

而了右能已了改何控舉... (後因日在方東已起年
對必必昭之擢在制乃命設君以給之... 勞懼又人
... 罷制大常... 進請趙王... 工尋改傳殊禮... 授了勤
恩世下... 曰孤兄來... 乃命人臣... 恩世... 恩世...
兄弟... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
王... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
文武... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
帝... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
五南... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...

趙王元年... 以張離... 為門生... 司典胡人... 內重
至禁... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
葬... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
赦... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
謂... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
不... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
不... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
憐... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
士... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
還... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
悅... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...
逃... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世... 恩世...

惠一也散臣此致多謝此將軍送於吾甚也此道
又根何自是元豫向慶聖教在迷路不納二妙人
求為多屬生勸令武口者甚卦著團院至勸親
山以多當生飲診久平生初勸與李陽新居
策常爭府地造相歐擊至是諸父多曰李陽壯
士何以不束海府是布衣洲孤方崇信於天下
定盤正失牙乃及石陽改至勸與甜謹引陽得
笑曰孤往初厭之今舊之飽孤喜每...今日
是日云...韓地...權授事武內史...入靜
勸見坦在冠韓地大學日樊其年日資也
坦性誠朴求...然而第日頃遺...韓我意
資財富貴勸笑曰韓破乃尔景掠耶...島和
橫尔坦大懼叩謝...何勸曰孤得自防治土
不周...聖書也...賜幸...衣服裝飾...三...
勸就修大小學考諸生...勸...韓好文學
既至年旅常...偶出...漢史...而...海...以...
立...市...王...吾...堂...人...漢...方...郭...展...
勸主...因...大...日...此...法...何...以...來...天下...
...然...所...日...較...以...可...天...策...遂...以此...勸...
校...以...檢...錄...學...制...齊...編...第...金...部...以...銘...門...求...
出...永...為...門...候...王...餽...飲...捕...之...位...吾...乃...曰...旦...
...以為...振...忠...於...廟......出...苑...以...昆...視...室...考...年...徐...

光：致不...以見物情何...不平...因...若思...是為
才門初自...如...徐...得...僅...攘...振...給...仰
敢不...勒...讓...免...何...員...而...那...快...耶...勒...收...還
都...空...臣...尉...續...咸...上...方...切...陳...勒...大...怒...日...不...新...此...多...臣
朕...空...不...以...集...也...中...方...令...保...免...廷...回...陛...下...天...西...資...聘...審
...宅...夜...榮...香...事...~~謂~~...云...言...可...用...之...不...可...用...如...此...若...之...年...何
一...旦...以...生...方...而...新...列...乎...勒...歎...曰...為...人...君...不...以...自...為
如...是...豈...不...後...也...此...之...忠...才...而...戰...之...人...家...石...石...正...當
有...欲...市...別...宅...以...居...天...下...之...富...貴...忠...之...事...終...為...繼
且...教...傳...作...朱...多...生...臣...棄...也...謂...保...先...曰...朕...自
古...用...若...何...等...主...也...第...曰...陛...下...市...武...籌...略...適...于...高...皇
雄...策...卓...犖...智...絕...然...理...目...三...王...已...來...豈...可...比...也...否
軒...輶...之...壯...乎...勒...歎...曰...人...豈...不...自...知...之...言...以...為...通
朕...為...通...者...豈...為...此...而...死...與...卿...新...受...鞭...兩...年
先...不...朕...還...受...此...為...豈...臨...於...中...原...未...知...鹿...死...誰...手
大...失...以...弱...而...留...者...如...日...月...鮮...終...不...如...此...古...之...聖
司...子...仲...連...文...子...歎...曰...孤...以...庶...孽...婦...孤...婦...以...此...天
下...也...朕...為...在...二...河...之...間...年...耕...耨...豈...所...攬...中...豐...秋
西...河...介...出...丈...如...雞...子...平...地...三...尺...以...人...為...數...死...為...萬...數...
木...被...為...此...徐...走...對...曰...去年...禁...令...介...推...帝...之...神...也
歷...代...所...為...或...者...以...為...未...宜...禁...也...勒...下...身...曰...今...在...死...并...勿
之...舊...風...朕...豈...以...不...知...矣...也...外...者...考...外...議...以...此...推...法...於
諸...王...豈...不...應...為...忌...邪...法...豈...為...事...讓...曰...子...推...賢...在
曷...為...暴...官...如...此...今...若...介...之...有...罪...為...名...於...天...下...則...不...通



會... 華... 嚴... 震... 等... 伯... 莊... 禁... 中... 李... 龍... 智... 命... 德... 弘... 及... 震... 及...
 內外... 群... 臣... 祝... 勤... 朕... 計... 出... 撰... 奏... 員... 出... 奏... 詐... 臣... 在... 宏...
 石... 地... 勤... 莊... 小... 膠... 兒... 宏... 魯... 曰... 魯... 王... 何... 切... 未... 耶... 又... 潘...
 與... 正... 備... 日... 及... 呼... 在... 耶... 自... 來... 也... 反... 呼... 生... 謀... 曰... 張...
 虞... 字... 多... 然... 華... 治... 昆... 弟... 曰... 吾... 自... 言... 智... 孫... 堂... 誤... 不... 使... 子...
 房... 但... 不... 遇... 高... 祖... 可... 及... 永... 嘉... 大... 龍... 石... 勤... 力... 以... 東...
 廣... 視... 同... 親... 曰... 吾... 應... 歡... 話... 收... 多... 告... 獨... 始... 收... 年... 子...
 不... 共... 成... 大... 至... 樣... 不... 應... 發... 孫... 告... 遠... 策... 勤... 越... 重... 已...
 呼... 曰... 右... 侯... 而... 不... 名... 及... 友... 勤... 多... 勤... 左... 在... 曰... 天...
 欲... 不... 成... 多... 耶... 何... 拿... 西... 吾... 右... 侯... 已... 早... 也... 程... 題... 代...
 為... 右... 長... 史... 勤... 事... 與... 邀... 諸... 臣... 以... 不... 合... 報... 款... 曰... 右... 侯...
 捷... 我... 去... 今... 我... 與... 此... 輩... 多... 也... 此... 語... 中...

石李龍臣藏記上

名... 犯... 太... 祖... 應... 諱... 如... 媽... 字... 字... 性... 尚... 思... 勤... 彈... 人... 甲... 中...
 以... 為... 高... 惠... 勤... 曰... 母... 王... 伯... 教... 王... 曰... 快... 事... 半... 為... 牛... 費... 上... 附...
 多... 能... 破... 車... 沙... 數... 小... 思... 經... 忠... 信... 重... 勤... 楊... 桃... 而...
 教... 諱... 郭... 氏... 更... 納... 諱... 曰... 崔... 氏... 女... 楊... 桃... 又... 清... 而... 教... 之...
 ... 甲... 中... 乃... 勇... 幹... 策... 略... 多... 已... 洋... 其... 極... 方... 便... 實... 心... 自... 以...
 勤... 為... 一... 時... 勤... 即... 位... 之... 志... 大... 事... 子... 必... 至... 已... 而... 更... 以...
 授... 之... 以... 紉... 帶... 龍... 保... 恨... 之... 私... 語... 至... 還... 曰... 朱... 大... 趙... 之...
 業... 在... 我... 也... 大... 事... 子... 淫... 實... 雖... 執... 節... 而... 授... 黃... 吻... 婢... 兒... 何...

*中華書局改訂本，按易於此字改爲一師

一、此以今人不改張假良得王夢龍以改不且改道
種也... 楊萬里... 夢龍以識文天子弟從東北來
於是偽作駕以自信者而遂以老... 便張弛
從洛陽鐘廣九龍弟仲銅院阮于勤鐘
一沒於河... 沒三百人入月... 經年百
以磨極引之乃出... 解舟以渡... 左校
宋之毀造... 燬于崇仁... 十餘丈上墜星
燬下墜星... 經級上下... 試而悅... 大
保慶安... 文公五石九人勸夢龍稱尊... 出
方入西... 燬曲... 下墜... 死在七人... 夢龍... 大
斬朱公... 還自總石... 改差... 後出
于... 家... 壯... 人... 叔... 斬首...
且置於... 下... 共... 又內... 比... 危... 安... 色...
與... 交... 而... 合... 牛... 羊... 肉... 煮... 而... 食... 夢龍...
腹內... 能... 到... 與... 遂... 以... 夢龍... 妻... 曰...
小... 何... 之... 量... 也... 附... 不... 肉... 改... 思... 曰... 何... 以... 不... 豈... 謂... 責...
杖... 持... 腹... 再... 三... 還... 甚... 恨... 格... 不... 有... 可... 言... 臣... 文... 對...
五... 百... 餘... 錢... 密... 托... 李... 顏... 劉... 官... 諸... 顏... 嘗... 曰... 我... 欲... 至... 冀...
州... 教... 石... 宣... 不... 能... 許... 乃... 如... 軍... 騎... 皆... 止... 故... 還...
二... 皆... 錢... 而... 師... 夢龍... 肉... 還... 乃... 床... 遺... 所... 親... 任... 世... 為...
書... 察... 還... 呼... 亦... 與... 潘... 柳... 柳... 夢龍... 大... 思... 以... 李... 顏...



李靖向...謀款...
 西不河...
 中官何以...
 至腹教...
 棺之中...
 鄰也...
 侵恐...
 起...
 臣如...
 ...
 日趙王...
 曰李宏...
 族混同...
 坐定...
 踏...
 在之...
 宏偽物...
 境內...
 甚...
 在城...
 臨李...
 南...
 七八...

府中李龍大焉之仲開澄第之波中... 花群臣於太
至前殿及白雁餘氣於道南李龍命河之宮
被... 太史公超挽私於李龍曰白雁集教庭宮
學收也... 不宜以也... 時在宣遠虎日遊而莫以告領
軍王朗云之於李龍曰... 皇太子及人所伐宮材引於津
水功役如前土之呼嗟陛下因時觀而罷也
李龍如君之院而宣知明所為怒欲教之而苦因
會榮感守房超挽承宣旨云於李龍曰昂岳趨治
也... 榮感所生去主惡之房為天子此決不小... 宜貴臣姓
王為也... 李龍曰誰巧也... 挽久而為曰... 貴於王
領軍也... 李龍既惜朗且猜... 日更云... 次挽曰
次唯中書監王波平... 李龍乃出... 追陵步... 遂李弘
反蒼橫矢之烈... 勝新之及... 豐四子投於津水... 中
殿榮感之... 李龍執河橋於豐昌津末石為中
適石其大小下輒以飛皮用功為條第而不成李龍
遣及致祭... 沈歷於河... 俄而... 沈歷於于渚上
地震水波騰上津所... 觀之不傾... 歷死也
有餘人... 李龍悲甚... 新工匠而口作焉... 太子李弘珍
向侍中崔約曰... 多未目疾何方醫... 約未押珍錢之
曰... 中分... 崔珍曰... 目何可... 約曰... 目晚... 西耐
陽中珍恨之... 以白... 諸子中... 胡狀... 目... 陽...
大恩... 課約父子... 李龍子... 陽公... 鑒時... 然... 關中...
友李杲勸... 鑒父... 長... 拔為... 冠... 綏... 餘... 以...
家... 人... 史... 前... 懷... 白... 李龍大恩... 李龍性... 既... 好... 擬... 云

後諸重不姑姑乃造獵車千乘轆長三丈高一丈以
買身一丈七尺格款車の十乘主三級以轆之於生上...
...大發為姬女二十已以下十三以上為婦人為三等淨以
分親之...初於美淑尊人始於九千餘人...初發多
誦教至及及尊而過治重死二千餘人...李廷希
以女騎一十為南漢皆善志倫中魁錦袴金銀
飾第之文後成華勝於武馬執止安福出五毛執
末居江鹿雲迴轉狀荒荒翻否...立私於江岸
保治之律沮吏告至見奴告至錢所日監之以下
下能合以目古此同力生而絕

在李廷希記下

勅及李廷希之命而告於...景代帝王及先賢僕善唐
不友族而取之廣貨否...推李廷希家取銅柱鐵
以為志...門吳建之於李廷希白胡迎的者若蜀反此
宜告後番人以厥之象李廷希於是改為出張厚友近
郡男女十六萬年十萬年運土築華林苑及長橋於
都北廣長初大里...命在宜新於山川因而略陳
...十萬六軍戎兵十八萬出自重明門李廷希治及
建北陵霄觀望之樂日書知父子此是自建天湖地
陷易改何然但抱子昇為日為集耳臣既也
西此厥所在陳列行宮四面各以百里為度範圍
飾款皆善集其文武飽文園守重以烽火炬星羅
...李廷希金款存速為海生及李廷希在馬馬疆一日生
曾去鞭之一百...素惡李廷希...在李廷希於太尉

存...果九丈宣晚而大思新正報果即去幅增...
 丈...東南乃黃星王太如每飲...日漫漫分為七道...向
 頁白如魚鱗...報高解天欠欠而而...新治左在
 日...品到客款於京師不知誰定此是夜輜謹,
 是僚屬...侯物物然公款曰人居世皆常別需會難
 爲付一杯用...飲冬必較到後會皮何強而不
 飲來...宣使楊桓...青綠粉猴梯西入教輜
 ...香話氣鬱氣飽...宣乘素衣從千人臨輜喪不
 哭...訓可...使羊衾看尸大笑而已...香話於宣
 之教輜也謀臣...宣不虞已次輜也入於中宮
 ...出座於席席以餅環宴...飲輜...作爲斗木
 槽...飲以狗法衣...續崇崇北椅標於王
 上標末置鹿雲穿...以繩...修梯崇續造宣於
 標所使輜所親宦告...拔弓贊抽弓在帝...梯
 上於崇續...以繩...費王飲...花空絞上...斷...自...所
 眼...腹如輜...傷...四...張...火...香話...從...眼...係
 已下...中...中...以...款...火...成...形...灰...分...置...諸...門...交...道
 中教王...子...入宣...小...子...年...每...年...香話...是...愛...抱...而...位
 兒...兒...兒...香話...於...某...王...大...臣...不...敢...遂...於...抱...中
 取而戲之...以...於...抱...香話...衣...而...大...叫...時...人...不...為...漢...仲
 ...殺...劍...雕...幼...女...年...十二...乃...保...色...香話...得...而...娶...之...生...子
 世...香話...日...為...於...以...純...灰...三...斛...既...多...腹...之...釋...惡
 如...生...出...子...兒...年...二十...每...使...於...教...公...亡...世...方...博...比...至...



又在周家永泰寺法藏 六十四卷丹名良教郡內黃人

十王已矣矣...三世為聖方子...石自和胡不為已用光班
今內外諸人新一胡首造屈臣門步文官建位三等至
後悉封身門...死者二十餘萬...屯據四方在石立
源同知陳子光時為事多疑至其死在羊...王素
患王謀不從者以廣其同視修同國歸族舊同
思還望...日巴奴乃公也極由為命耶要怕先威
群臣却斬王素...其奈密物遇十戰皆敗乃以
騎鎮連馬尚黃射解年勇四此剛在五千方陣而
國新乘赤馬日朱龍乃千里左仗双刀勇右執鈞
級順風勢斬解年三百餘級...眾寡不敵...為
物所擒...傷三同而回日由奴謀才何自能
天子問曰天下大誅尔曹東秋人面獸心為何等
逆我一世英杰何為不可作帝王耶...又臣曰石勒
步自襄陽...故為國富以加諸降中凶賊之一時傑
也...世就之...雖若人改弊王醜亦曾之謀獨士
志誠之類生位不報斯之德乎

慕容厲載記

鮮卑人也...時蓋代為冠冕...莫護政見而始為
歟...慕容厲...為步...慕容厲...慕容厲...
慕容厲...慕容厲...慕容厲...慕容厲...
慕容厲...慕容厲...慕容厲...慕容厲...
慕容厲...慕容厲...慕容厲...慕容厲...

×字上前³字²出¹元¹物¹體¹學¹後¹作¹用¹武¹並¹唐¹人¹通¹津¹上¹
用形近之字至人女各處也

衣面入人可至部¹唐¹曰¹主¹人¹小¹以¹禮¹實¹故¹何¹為¹
聲¹在¹肉¹而¹慚¹之¹...其¹右¹府¹陶¹侯¹第¹曰¹...以¹為¹卷¹造¹
討¹逆¹果¹之¹福¹...豈¹不¹為¹因¹是¹根¹臨¹帳¹頃¹是¹輸¹哉¹...焉¹
贈¹...崔¹察¹...謀¹伐¹唐¹日¹登¹國¹諫¹...為¹不¹可¹改¹遂¹不¹
泣¹及¹被¹奔¹敗¹降¹隨¹眾¹降¹于¹唐¹...是¹為¹伯¹年¹賤¹
餘¹疾¹不¹起¹唐¹故¹王¹安¹鼎¹初¹臨¹候¹之¹搖¹至¹心¹曰¹
君¹之¹疾¹在¹此¹不¹在¹彼¹也¹...且¹大¹為¹出¹於¹西¹卷¹短¹
生¹於¹東¹帝¹但¹向¹老¹時¹何¹如¹中¹豈¹以¹謀¹似¹不¹可¹降¹
心¹...我¹等¹仍¹持¹唐¹管¹唐¹不¹利¹...遂¹以¹悉¹免¹
...唐¹...推¹舉¹噴¹方¹為¹心¹庶¹改¹...北¹平¹西¹方¹慶¹8

慕容銳記

慕容翰¹唐¹之¹唐¹故¹地¹...北¹投¹守¹文¹師¹死¹而¹逃¹...銳¹
甚¹加¹恩¹禮¹...造¹銳¹討¹收¹...為¹復¹失¹心¹中¹臥¹病¹積¹時¹
以¹疾¹漸¹愈¹於¹至¹家¹騎¹馬¹自¹試¹為¹人¹告¹翰¹私¹習¹
騎¹於¹為¹血¹帝¹銳¹素¹忌¹之¹遂¹賜¹死¹焉¹

慕容儁記

冉¹白¹...諸¹婦¹大¹神¹道¹帝¹煒¹聘¹於¹儁¹...及¹封¹給¹後¹
之¹曰¹...同¹同¹轉¹金¹為¹己¹象¹壞¹而¹不¹成¹卷¹何¹言¹且¹天¹象¹煒¹
曰¹...妖¹孽¹之¹徒¹欲¹假¹奇¹眩¹象¹或¹改¹作¹為¹造¹以¹神¹至¹
可¹害¹君¹今¹已¹極¹乾¹符¹類¹上¹帝¹四¹海¹然¹該¹帝¹大¹業¹集¹於¹
方¹何¹所¹爭¹魚¹而¹取¹信¹比¹乎¹轉¹机¹之¹所¹然¹也¹...然¹是¹
道¹及¹謂¹儁¹...謂¹及¹此¹田¹池¹適¹白¹池¹天子¹我¹承¹人¹之¹為¹中¹

大夢即使夢入夢

召呼聲望載記下吳書月系又

因所推已為市矣... 傷後為石季龍智至臂膀而...
命君之善則權出尸歸西置之曰死故安於...
天子遣至御史中尉陽都... 景帝幼冲恭養未
束長潭水... 傷工向李續工曰... 景帝幼冲恭養未
岸上以為何如續曰皇為子天資岐嶇聖上昭高
八位厚恩工讀甚先安為子時及八位工二關未
補雅好並田賦心係竹所以為授子傷於指
時曰伯陽之方策石之惠也宜戰... 時立策
密怡密以續為為右策利時續續徑多
不許時屬語乃謂怡曰新標河雲之叔父
伯陽一人時請獨裁續遂死

慕容暉記

中領上疏曰... 慕容校精地居於後... 中州聖安
慕容所憐... 溫溫之河知之白族慕容二王可以
社之命... 符略的巨武統帥收結之時日也何少
大面結天子意... 慕容結破何語天子邪... 慕容
怡... 初達鄰國備死曰中原可國矣棟溫向案
密怡為存所為為大... 皇南真符略密謀並并
親密豐際乃遣王西我王德都解諸結明叔左矣
王曾教太叔遺及治鄰... 辨國法之生兄與仕
蕭梁為收結常名法子... 思並吹突西釋既
王新造公卿于崇曰... 辨家為素所許如安命曹

8 覽野怪載記上及全

王貴兒常侍及雷震兒亦並和知在素患母曰臣光
 境外之交所之何以及我君以此為人為其因緣如此
 乎乃白晴請察誌...王德乃教生望之者將之明日
 更見語乃之理：曰昨得之乃山景勝之和起也生
 羞口之昨為破船是國士之得破而之國士何所
 恆也極大驚...史臣曰秦寇廣英盜使量是日
 邊豪豐近臨國災惟就者...核曰泰山彼構玄
 筆合錄...乘危增設性險自能

符洪，符健，符生，符記

始家池中蒲生長五丈五節如竹形時咸謂之蒲
 家因以為氏...洪以漢文及州府應王又王改
 堅智及州府學遂改姓符氏...張遇自許昌東
 降侯德納遇及母妹氏為昭儀安於中...
 一子也遇慚恨口生時長生健第三子也幼而
 志軟祖洪甚惡之生嘗一目為兒童時洪致之內侍
 女曰多向瞻見一淚信手得共日生生好引佩刀自
 刺出血曰此此一淚也洪大驚羊便之生曰性耐刀
 刺不地殺便操...中書令王猛云...
 三年四月大表大臣職死於陛下...修德少
 讓之...生曰皇后與朕弟臨天下如此以驚大表
 之故毛太傅果車騎果謙封侯遣輔政可治大臣
 也於是教言勸解氏及太傅毛貴車騎為公六果
 楞左深封果...符生及吹能臣錄鉗鉗

警備星左右 哀群臣于太極殿飲鉤樂黃
生祝歌以如之矣王為若卒寧典新元而思曰何
諸臣猶召生為引弓射軍而教於是而僚大懼生
不引滿路路汗服失冠蓬蓬生什生以生為繼不
安大信友臣故物以人歟然生中者挺或好或
至宮門置困五以生推告破其教之創而生心
左友祿大夫張平諫...生思...遂至頂而教之...生始
曰朕受皇天之命...君臨萬邦...朝廷已未...何
不...而謗謔之言初聞天下教不遇平而謗刑虐
以...比肩求足為移易峻峻則極罪改為朕何時
輕軟及狼大暴...宣旨新...夜...天...屋...惟...人而
不...高...群臣奏請讓...生曰...朕...朕...
飽...自...終...不...思...年...為...也...天...不...愛...群生
而...年...降...罪...以...始...犯...罪...不...已...物...財...朕...為...教而
施...刑...罰...破...生...如...何...房...道...見...與...婦...侶...以...為...西...為
命...札...不...生...思...教...又...讓...群臣...於...咸...陽...故...舊...城...
咸...至...其...始...新...漢...又...未...蒙...之...延...合...農...晚...第...四...人...參...好
惡...并...宗...分...交...由...延...日...隆...小...不...自...可...堪...用...生...以...為
謀...目...建...近...日...此...生...長...新...之...司...真...大...白...犯...車...井......生...日
星...入...井...居...必...收...渴...何...所...性...乎...耽...酒...於...臣...
至...為...方...出...路...能...知...思...惟...以...教...戮...新...在...月...曆...教...
左...右...或...亦...讓...下...聖...明...筆...天...下...惟...歌...大...平...生...日...好...可...能
也...引...而...新...之...咸...亦...降...下...刑...罰...如...也...日...此...謗...教...也...上

新... 通聖人與男子裸交於殿前生利半字...
活以商唯服... 三五寸為群放... 致中或利死因
面皮... 至影... 引群臣親... 以明... 宗室教
親... 忠良教... 宗室... 王... 位... 忠... 告... 坤... 王...
且... 至... 所... 亦... 不... 不... 少... 生... 缺... 傷... 致... 數... 偏...
隻... 之... 以... 不... 乃... 左... 右... 件... 與... 西... 死... 者... 不... 可... 得... 紀... 王...
於... 截... 脛... 考... 脫... 拉... 筋... 斷... 砍... 在... 勤... 召... 午... 王... 墮...
安... 生... 利... 峻... 疾... 疾... 榮... 強... 國... 仇... 仇... 仇... 仇...
於... 紹... 見... 之... 際... 略... 不... 與... 人... 為... 之... 日... 董... 尚... 貴... 年... 一... 時...
方... 宜... 降... 之... 墮... 董... 醋... 是... 何... 籍... 狗... 而... 今... 國... 士... 外...
方... 才... 業... 肉... 而... 斷... 根... 逐... 勤... 生... 課... 之... 及... 刑... 梁... 諸... 墮...
日... 君... 大... 改... 政... 新... 董... 沈... 作... 諸... 狗... 牙... 墮... 照... 日... 而... 此...
沈... 梁... 小... 字... 也

指堅辭記上

隋... 帝... 女... 隱... 趙... 成... 字... 曰... 華... 付... 臣... 又... 才... 王... 咸... 助... 八... 策...
讀... 師... 我... 家... 學... 共... 日... 四... 我... 叔... 夫... 君... 知... 飲... 飲... 乃... 求... 學...
所... 欣... 而... 許... 之... 制... 生... 以... 偽... 位... 漢... 云... 臣... 臣... 臣... 臣... 臣... 臣...
蘇... 不... 敢... 事... 隆... 世... 漢... 臣... 以... 臣... 長... 而... 矣... 又... 伯... 心... 惟... 終...
以... 變... 遺... 後... 之... 隆... 性... 仁... 友... 與... 臣... 決... 於... 東... 世... 惟... 哭... 嘔... 血... 贈...
以... 臣... 官... 隆... 日... 哀... 一... 王... 親... 我... 慈... 慈... 特... 進... 樊... 生... 臣... 象...
也... 臣... 大... 勤... 於... 指... 氏... 負... 衆... 德... 傲... 衆... 奪... 猛... 曰... 臣... 早... 與... 先...
帝... 共... 興... 多... 業... 而... 不... 預... 時... 權... 君... 此... 汗... 馬... 之... 功... 何... 形... 為... 管...
大... 臣... 是... 為... 耕... 稼... 而... 居... 食... 之... 乎... 猛... 曰... 乃... 使... 臣... 為... 宰...
夫... 安... 宜... 耕... 稼... 而... 已... 世... 大... 恩... 曰... 要... 臣... 能... 此... 歎... 于... 具...

安城門不與共終不虞于我也遂之北望思曰
須教此輩成生民有德多福...新游西既...
中丞陳鄧先惟敏進不挽分體揚然高者前
旬已向貴裁強惑謀亂者二十餘人於是百常
整肅一階欵曰吾今始知天下之亂也天子為善
也...僭位五年鳳皇集於東闕大赦疆域內...

on the wall", er. R. v. Friedrich, Moderne Deutsche Idiomatik
p. 476 "da möchte ich Menschen sein" p. 476

路不遠...討伐王莽...建...至子翼...結父...
降...略...翼...建...荒...未...仁...為...入...太...學...禮...
...崇...之...大...學...同...日...中...國...以...學...養...性...而...人...壽...考...
漢...北...明...牛...子...而...人...不...壽...何...也...翼...捷...不...能...為...大...統...
臥...天...子...千...里...路...堅...日...思...漢...文...之...通...千...里...路...資...美...
今...所...缺...馬...車...蓋...臣...乃...命...群...臣...作...以...馬...為...而...遣...
示...當...欲...也...為...以...為...坐...位...之...意...因...漢...文...臥...臥...在...
乃...有...餘...人...符...王...久...國...兼...陽...師...當...當...功...因...遣...
至...黃...門...即...時...於...市...莊...切...讓...臣...等...仍...賜...以...劍...日...來...
其...不...捷...步...沙...可...自...裁...不...足...後...按...面...見...多...也...因...因...
般...笑...遂...示...人...以...修...怨...珠...簾...在...正...殿...以...能...群...臣...
宮...守...軍...衆...悉...物...服...御...悉...以...珠...珠...琅...玕...等...寶...物...
恒...飾...之...初...昭...母...少...寧...臨...軍...李...咸...石...解...陽...
寢...建...官...載...至...是...堅...收...款...臣...臣...及...其...作...所...錄...
而...親...以...見...至...子...慚...怒...乃...焚...至...其...而...大...檢...束...官...收...
加...王...罪...

符堅載記下 附王猛 符融 符朗
堅...晨...群...臣...於...子...取...樂...美...以...素...何...別...智...善...平...子...
乃...丁...字...直...而...不...曲...堅...問...王...猛...平...子...曰...臣...丁...至...剛...不...
以...屈...且...曲...下...在...不...正...之...物...未...足...歟...也...堅...笑...曰...名...不...虛...
傳...堅...見...法...子...東...陽...公...陽...與...猛...子...故...將...得...即...皮...謀...
反...列...由...堅...問...反...狀...曰...陽...曰...臣...父...無...公...死...不...以...罪...



富義收九出九而民臣也皮曰臣父之佐命湯
而臣不免災咎所以國慶也豈得中治陽心象
公之薨予不勝之哀不勝之痛皮曰丞相臨終託
之以什里牛為田不若為工求臣知子為父何到
斯言之痛也此數不謀一豎引群臣去還曰東
南一隅未實王化...多物於先朝乃漢代南陽於
之立何如朱彤日陛下...奉以天爵哺哺於五穀
摧霞時吸於法絕後...臣等共戴晉主而漢室
與極...並收迴舊儀字告成封禪...終在一時
為樂未已堅大慨曰吾法也權翼進曰臣以為晉
未可伐...臣肉師克在如大若如皇未可國文堅
生久之曰諸君多主至意石越第曰吳人恃險偏
隅...陛下親御六師內品則封誠令人神曰
陛下大策能量牛斗牛福德在吳怨家無差
...國石長江之險能共吾之策...臣等校表外
同至宏源堅曰吾肉武臣伐討...臣等紀星天意出
遠未可知也...孫皓因三代之業...君臣面結盟
長以主結國乎以吾之眾族授教於江是斷不伐
臣謀在久之堅曰所說策空於為...吾弟也內
斷於心也...獨而符融議之堅曰自古大將定策
在一為人而臣群議於臣徒教一立吾弟也決之
再曰...臣等不可策之也石越下納之堅作色曰



懼色物臨邊國堅乃恩會轉王道子以女嫁鼓吹
東卿於鍾山神象以相厚之鍾卿以學說著於世
若乃力富...謝玄謝琰勒為弟...張帖...列傳述
肥水王師不白渡遠假詣融曰君知軍情入還陳述水
浩持久之計豈能戰在子為小臣師令帖士周旋旋
策與君不遠而親之不以美牙勸於是麾軍卻
陣...軍遂奔退制之不可上馬去馬為被殺軍
遂大敗...怪為敗失心中單騎追逐於淮北...為
諸人張氏曰朕為用將臣之望兒大能乎昨為河
西目收臨天下乎...諸生為臣而...
謂若師之...諸軍其讀惟素為主一軍約全堅以
千餘始外...姚萇象危懼人乃昌死其餘而降
兩於襄堂中本三尺同堂石易沐寸餘而已柱
長萇軍大振堅乃飲去紫罽曰天意其心何如
澤破營...慕容冲遂據河房城初堅以姚萇
冲姊為漢月氏主年十四及妹色堅納之歸居後庭
冲年十二亦為漢陽王女又幸之冲姊為慕容人
並進長安影曰一世寵收一雄雙花入紫宮...王德
切諫略乃出冲長安又諫曰皇堂止何房陰以
風皇必格桐不極允竹突不食乃格桐竹為十萬
於河房城以得之冲小學風皇...遂西楊堅登
城歎...大言責冲曰尔輩敗奴子可牧牛羊何

84 符登赫記

為送免中口奴公奴生既厥奴苦民影取免代略遣
及送錦袍一領遺中所得口古人在事使王古
遠求革創由苦方中送一袍以明本情朕於
思分如何而於一領忽為此友中命參予卷
錦皇太后及此心在天下當致一袍小惠荷
龍之命便引君臣來早送皇帝自與賀符氏
堅大恩曰吾不用王景略陽平公之改由唐形之於此
一與日君之豫士王嘉典在出於外處勤靜治內
桑密晴入見一棉道何口弟冲不波嘉方疏背
凶思臣罪應為死...臣二子略婚昭為三景創
暫居夢智才臣如弟疎出嘉曰桂簾作簾蔭不
成文事會天大雨不似殺羊怪與群臣共進
解是飲大雨晨不果出...長為大仇人相恨法
收悔而吐肉而食妻子...中...夜裝長安...數次
之新舊年入石及分至處而食...妻人呼錯卑為
白薦...姬表求信罔盟於堅曰甚次舊符曆
可以為惠堅目以之口小美乃現干通天子豈
以信罔盟授皮卷也...國續符命何所依據五
叔次序此世卷名...盟已道者不可以此莫又遣甲
續視堅求為老婢婢代之堅責婦曰婢代在
堅與之如表數載奈何擬之古人...累而求死
長乃益堅曰王後...隱於華陰山銘風雲而後

勳桓暹入閩糧被禍而語：一面談論此語
 門露而云若其人溫紫而黑：潤口多奉天之命
 …杖象詩道為石姓除強張而三妻象傑未及
 何也桓曰公不遠萬里而為寇境求安不
 不而不利夜灑水石姓未見其心也所以不
 …暹之得此…讀與徑南桓這山諸師曰之
 桓暹里益在年在此自可富貴何為遠乎…暹親
 臨省廟肉以故多猛口晉隆解運吳越乃正
 前相承…臣受波所不以晉為開封半先唐
 我之仇…宜斷除之口符朗字元達…每談空
 語云不覺心之妙於山水不知其妙之至…
 玉枕口東漢書同而語：朗能孫不見沙門
 釋法汰問口見王使說先未朗曰未說為佳北
 人面而猶心狗面而人心是東也王忱魏
 而才慧因寬美魏而才劣於東故朗云也…
 後數年王國寶潛而教之王忱以為荆河新
 史得教朗而後發

〔未果〕

札樸 昭洪武中國守某嘉宋氏商伐永昌
 望為彭郵亭壁嘉議十中即更陰幽堂
 祠而祀 御史黃中刻詩於石以誌終遠
 至初日郵亭咫尺地投宿手握祝姑興
 茅屋抱薪就地旋鋪攤支臥相向各就
 雙旁人問我是何方便之哀訴哀曲哀家
 神居量無符祖父治為上4尺舉樓運粟大都
 田金片來初賜雙虎席中見勝色隱山甘苦
 崇文不崇武為王堂宋學士與家同一譜并
 身嫁何得河峰女婚好學吟詩經離騷
 子集通搜覽之欲仕仕趣蒼生安年郡邑息
 交朋初就笑傲赴神京萬言長嘆[ca]裂
 (圖) 蜀地出神招厄室名承恩好除閭閻守
 黃言我彭生豐饒西制到官搜矣訪遺書
 把酒頌君德極日升學判以新稅另批
 火堂程文稿守庫不及議差污執忠初發
 條佐怒府推被罪告極攀攀察按未提誰
 與訴臨以囊索世錫釋惟云舊日將去去
 衣父老泣相送遮道索子事號呼殺時微緘
 彭生步高自料苦甘辦竟畏拷打不成招唱
 屈家人莫道似嗟乎餓死因園中雖軍籍未
 動對當時指望耀門戶豈料一旦翻成赤祿
 憐商賈如悅飲動殷勤愧以香伶行三刻
 京師京邑出方成金馬河牙遠饒江遙臨岐抱

深嘆向天妙由新此為相憐別來再會知何用能未
子初信非為內卜者難保武能成外野坡古自骨誰
悔華苦助此乃子相依傍且不忍思為而六子孔
姑耳高橙為里南及誰望月發船夜常德但懷在維
戒行色共井日香庭空啼曉花以不舊上山險如
登天梯百戶爰教未取高雨睡虎滑把姑好一步一
分此近晚山走向壁中宿曉思客倦生力更睡重初
方通飲運未觀旋法通潮思昔日你國內意以
不中門所助以新上用甲花庭在鳥姑不發
新料為金風與田要名憐路蝨眉嬌補林
新刺雙蛇蛇蟻久生為境或風德誰知六日夫之段
天末起羨要親走米飽時姑云似欲巧事姑為岸上
因東一為天生人懷懷舊似以共老未僅二十日
道眉全唱漁商居血色紅視補罪襖踏踏遠步
長安為穩坐不立以路難揚鞭嘆惜為山小取
歡但安於人那管為大恩老你時為唐俗時
敗保常度老為黃金高心玉便為水字後極定
不受取我回欲華江魚腹姑存未珍發求死
可逢姑少原得幸告姑終不怨姑之事上隨
如亡地何漸失失面談到傷心淚如雨咽
低此不能語為旁向步須憐魏隔岸暗
啼何叫何許(於舊樓為後子三)

錢鍾書手稿集

小本（三）



原本尺寸：105 × 175mm

1. 坦園日記
2. 鐵里詩存
3. 西園詩
4. 慈航日記
5. 南屏山敬世文存稿
6. 紹慶集(補)
7. 紹慶集
8. 永樂大典
9. 吳梅村詩集箋注 [補吳詩集覽]
10. 晉書 [續]
11. 平妖傳 [補釋典以子冊 11]
12. 玄子化胡經第一章
13. 瀛臺集
14. 魚翁十種書
15. 猗覺寮初記
16. 臥室集
17. 曉東集
18. 詞則

楊恩壽遊海垣園日記

同治壬戌年(己亥)

三月十二日。泊海口。距家二十餘里。芳嶺人彭緒謙
 以明毫數詞楚俗於異出二策之外。創議海氛園
 久矣。而未有見也。... 諸君為蒼環以破布為飾。為茅
 屋。並莊未處也。... 綠柳而上。... 乙寅次韻。...
 不談其名。及生西柳。... 於東南。自來而外。佳處
 區。樂下。生與健。... 柳。... 下。人。之。送。... 僅。...
 執。... 生。... 西。... 僅。... 柳。... 極。... 治。... 態。... 下。... 喝。...
 之。... 宋。... 紀。... 數。... 次。... 韻。... 為。... 鞋。... 如。... 丑。... 漢。...
 三。... 次。... 出。... 漢。... 氏。... 為。... 嫂。... 叔。... 稱。... 三。... 鞋。... 破。... 德。... 金。... 針。... 鈕。...
 此。... 明。... 彼。... 蒼。... 藜。... 西。... 不。... 耐。... 穿。... 影。... 蘭。... 庭。... 掃。... 面。... 去。... 至。... 執。... 坊。... 金。
 (同)遊。... 叔。... 及。... 賣。... 肉。... 打。... 綿。... 為。... 一。... 〇。... 十。... 四。... 日。... 例。... 由。... 綠。... 野。... 仙。
 以。... 送。... 繡。... 肉。... 為。... 誰。... 叔。... 便。... 叙。... 蓉。... 口。... 福。... 子。... 介。... 漢。... 形。... 容。... 央。... 郊。
 頻。... 眉。... 章。... 兄。... 典。... 乙。... 史。... 不。... 堪。... 刺。... 謔。... 〇。... 廿。... 一。... 日。... 在。... 柳。... 州。... 知。
 如。... 漢。... 戲。... 合。... 報。... 牌。... 也。... 桃。... 玉。... 容。... 太。... 瘦。... 報。... 海。... 區。... 寬。
 第。... 〇。... 廿。... 二。... 日。... 在。... 門。... 子。... 陽。... 五。... 雷。... 一。... 年。... 茂。... 蘆。... 花。... 風。
 午。... 後。... 〇。... 廿。... 二。... 日。... 在。... 門。... 子。... 陽。... 五。... 雷。... 一。... 年。... 茂。... 蘆。... 花。... 風。
 〇。... 廿。... 三。... 日。... 在。... 漢。... 李。... 密。... 降。... 座。... 生。... 祭。... 堂。... 三。... 韻。... 平。... 陽。... 公。... 主。
 類。... 隨。... 歌。... 童。... 果。... 飲。... 香。... 舞。... 上。... 不。... 足。... 惜。... 在。... 姐。... 座。... 度。... 甚。...
 治。... 容。... 第。... 客。... 老。... 燭。... 光。... 中。... 銷。... 金。... 帳。... 裏。... 中。... 嬌。... 石。... 嬌。... 可。... 想。... 西。
 知。... 〇。... 廿。... 四。... 日。... 史。... 秋。... 船。... 寶。... 性。... 廣。... 文。... 子。... 晚。... 後。... 湖。... 北。... 學。... 使。
 愛。... 小。... 楊。... 珊。... 太。... 史。... 及。... 程。... 子。... 榜。... 門。... 云。... 姓。... 名。... 可。... 補。... 紅。... 樓。

四月初二日。六日門下始入塾。同祥柔演黑鬚建表
...當教誨。伯略可稱。奈初排筆比不便。往教
此門下。步上步趨。仁塾。近紅梅。趨上神往。久之。粉楷
必者。似青天。咫尺天涯。等。初五日...就彼反言。珍
以勤至。抽簾即裂。坊上隔一牆。為祖謀。誨師
求謀。誨日著。日親師。先生不強拘。弟子不侵。帳才
子。歸。伯略先生。數談一席。坐。老。海。都。

五月廿二日 安城乃舊名桂口昔年黃樓趙楚也
近於良人屏絕余此類子者全近者... 面瘦而不
刺秋水盈... 光射出目眶外尺許單隆唇生眉如月
膚如於脂明潤德麟印曉脂粉本色如
臘月廿二日 錄懷云... 悉系何國天... 計思蓋漸覺眼軟

8號即下女文安也
大英庚申年正月國慶日二皇明并書文安第二子緒云為
吉新即一歲可也
仙童即文安也
國治庚申年二月
十月初九日及廿三云芳街院招向新堂城
中懸月三生日佛性書一原見仙童余新發高居
維照像極冠印款紅我銘被襟月宗王君來拜
不辨此姓雄一廿四日寄周紹國考軍田二皇明有
并京文安云英雄好老何欲許我半鐘德惠不告
...一冊之唐魏案生修謀老何欲定如流...

國治甲子年(三年)

正月初十日面談文安來出當時談教洽談心甚甚快
○廿八日先是與文安約來作夜時談及為人所忌忌為
不來苦聊遺述不淡張並若為失否
二月十三日晚晤德工果屬能與文安一見而相友
強不強也快○十九日文安為區訪來晤晤談及家
道余是价促余暢敘出懷纏綿悽愴上燈
後又來久談是日三過余宅○廿一日文安為次來談
自相談以來無比懷更出矣

國治乙丑年(四年)

二月廿二日郵局發家書略云調北鄉僻名難舉上
天梯○廿四日懷舊云...一時於兄女即身墜焉
糕成色一新...試對名標比欣色料應然教量惜
人二壽的新郎佳婿云小姑難悔我生修六笑歷
晚看山九面情由波你比水三第切

六月廿九日丁卯年正月廿四日三月初五日蓋初之斷理也至人
人必德懷舊第五云情懷整千份織入手花房一醉今日注
所業以此



三月十四日舟中人也時唱土歌... 五更鐘美意啼
你五更啼得早拆散姻緣半分難三百篇之意也

六月廿四日北地[北地]坤如向月象足在梳洗作船
形髮重如石不似垂尾長至一尺土名鑽頂髻兒
年少而美者不作是粧也面廣脣薄執大蒲扇固
輪大朱田尺膝下遮風雨可作善港可為生園為
遊獵小兒盤居而卧上綽手足餘出外必帶柳
柳葉大嘴公眉眼俗活或細嘴如類柳葉湯
更合於圖：外唇之內隱約勒筋如血之吹沫誌之
丹珠善粧此堪嬌送媚也男女相調以色攪柳
為約如男悅女以整妝柳為妝女以整妝為
之彼地有心者多謔笑或羞以破者即拒也○廿九
日所夜為兒女安睡收錄其以未作前意教而
詞甚決意遠紹其死於

九月十三日細雨如煙薄雲以紅以白八月天
雲彩新稍開則改舊年為舊年所造以此為
寂為次之古語之皮又次之毛餘不足觀也

同治丙寅年(四年)

三月初七日、粵東粵山及臨山新以淡戶所得自
山縫後步凡盡客飲此水者輒春之於此有海子余在
晚此方而飲不污也游粵後暇官商隨漢粵

鮮不墨求脚牌信乎墨生不注也
五月廿日墨中商人收古往外宿暗些被盤被訊以
吾伴墨中自長隨迄與佛僊均有而著鄒漢乾
花名仙米張其尤眼其年己三十九歲
十月廿日墨中~~人~~兄章子明為昭平之山寺寫可接
今吾預取束被一口應久不壞陽朔奇功山下黑
石上見白石紋作一婦人臥半坐半臥張其陰一大奇
為之授更後後為之登其腿蓋交媾然如畫如畫之
人物皆不章其土人惡之故人畫之不去而墨中婦妙
是果鮮不誤後者至於陰陽二山尤為奇似此則
遇之太惡易變也附記以補衆雅之遺
附

同治丁卯年(壬午)

二月十九日夕安即~~日~~以重將鄂諸山之盤桓一日廿日端
末談易易易易

三月初五日、送友安出經寧門登舟叙別綠波芳華盤盤
如錦

十月初八日、張力臣談及同文館員某翁林往接習
祿法不教為該館之責二十板不克至此辱太甚
一閱而教館遂罷○廿六日仍以小桂鐵標字以
得而居一海子稱之也昨牧齋漢與之談湖山之景
誇湘山以年功伯貽秩在甲午計並云某公以買烟
款大則買田第頃年某公由廟署款考時買田第頃年



Chempagne

甲寅之歲... 國語發乎依此祖遺之業... 此論其

同治戊辰年(七年)

三月十一日... 同治戊辰年(七年)...

同治甲戌年(十三年)

二月初三日... 同治甲戌年(十三年)...

於二層樓板下陳設各處為余曰此處地勢也必
 可發興生聚急欲以此李叔岸曲得下次兩船而李
 已落籠一時未敢取此且距開山僅為時次急不可
 耐船主西人於煙臺無多見余大驚詢及船主
 始知為明南人尤謂此款極承王讓伊位結一向與
 余服務謂：實宋檀林洋行極極王係水師營仁
 毛鏡亮八官鑄紫紅之標為目前未觀者以此天濤
 〇初四日余與洋人同食洋人凡食只三人能無少
 要不及於君之調配至食物不外牛羊雞鴨魚蟹
 皆不用烹飪但烤熟割而食椒鹽醬醃自
 為調配陸用一烤熟而味自香亦不設食桌而
 其餅以麵而為食在後飲至海甚多乃飲之可抵續食
 其余皆光以至此通胃氣也為君知余二瓶上可
 謂至人情重〇初九日宿楊村車夫乃天津人狡黠
 比余與洋人相處坦言之均極謙遜每與人及不以
 有人可交氣哉

[illegible]

劉錫 劉錫言為信 劉錫言
子一 芳院劉金存未精 劉錫言
自序大也 莊第 十 年 打 并 生 乙 及 益 後 生 不 元 長 年 功 業
文 章 廣 乃 掌 乎 位 宜 吟 歌 死 惟 其 游 水 三 井 生 永 之 想
述 懷 每 年 初 弱 智 束 脩 可 就 川 李 光 所 曉 華 儀 洪 上
人 周 星 垣 以 弟 子 陸 東 明 卷 茲 函 物 函 丈 步

青郊即目青鳥不傳子鳳詔黃雲共歎黑貂裘*
猿狖驅車出門去，仙狹神游猿狖却何處。石以清
石底一夜黑既交龍客共曉楊苗功此是鬼海神
仙何何處

仙何如也
 斯固别然。小窗无坐已多时。得如佳德。未敢批
 镜。怕产生。淚眼翻书。读史新勝。为天公何事。生如
 道人。坐此聊是。可離。张氏他身。未之。目可先。目費
 友。故。

都中晤吳季漢大令。三海碧思憶萬里偶相逢**
由天津附輪由江尾。橫船一榻以話舊電激
雷霹澗不日半夜多過通枕語思萬海境入江一
鄂中四旅。蒼山一望記此多城市廣法堂上喝洪時

影文路 光海江采莫芳園：公及公孫像日
子... 子... 子... 子... 子... 子... 子... 子... 子... 子...

西漢兵革盡險靜宜校書巴夏弘重甲宿奔俗
松林一夢年已便也微處延生爭道大府公交莫法

*** 請客意通而為此用故不入為
*** 此係同知小像 *** 此係同知

異路野郎及得尤光教逆至王市苗寨區如信者賢
兄自殊...

憶丙子果、策紀丁巳開「丙子光緒二十二年」新
近以以名進游者宗驛路指淮揚...初於茲處
移居廣德羅香菱姐悅嚴照熊志光志淡社...
人之意水樹日...好何房...與兄雙珠步聊稱一瞥
云...

適興、終日磨學也古銅乃時閑生味苦家一樓下
周鐘新出土生陽漢瓦急翻沙=

壬寅四月與沈川諸學友聚於廣上以退園新用
先生詠作思園雅人陶名筆所記余任補作
役并記以爲...牧馬山昭々已驗竹爲霖西
麓記「查諸川片辰九月諸子於海邊見牧馬
山昭々、牧馬山昭々已驗化龍池上好相照」
句略、鐵石好在如好色崔瑗寬宏笑你刻

子二東游草
二十七日口韓絕代佳人許於情名山佳色半勝
羅平生條多知多少第一好山亞旅川一學堂改
界余生分受不工奇裝調畫借問此以何所好
半勝名勝半卷花=

吉原紀勝泥堂鑄屋大扉空繡帷佳人一字紅

八又鐵棚易面立嘉名應知曉曉籠一維新
服皂紫裙長粉板高懸大改良一度春燈新の
十憐人酒仙學生裝二上注人少兒人平銀小
像借借神許多引手平榮屋為得漁人去同津^三
新楊地勝漸影遙舞綠亭中坐个錯認所耳
官參逸禪宗欽意法書宵二十五國通

子三 抱紗字閣高堂為

中秋夜又誰家畫閣倚通漸玉女窗旁坐燕姝
不似傳驛和同訊片時渴鮓思相如一
光緒辛丑六月十七日號日記上城申城外入僧廟
[城中人]搭郭姬城中人搭朱姬如[慈雨]幾處
斷魂

桐西漢士 汪西南談 皆新築而不信此
漢事得一如全
 國初滿大在介解漢語部部運經心即一員以通
 曉國語漢員為之譯三品其通譯多生耳中恭款
 波多弱以為奸乃汰去
 御膳房崇儀分例 御支每日常肉二十二觔湯肉五
 觔猪油一觔羊二觔二馬羊二觔二羊二觔二羊二觔
 六十四日菜外十二罐乳油一觔菜菜七十五包
 隨膳侍二盤每盤三十个松餅二盤五色菓
 餠餅五名梅菜酥一各五盤
 上賜餅餌出稱為克食小刻滿河以恩澤為支什凡
 須賜之物出上恩者出謂之克什即賜飯一果及衣
 紙果品以誌

程穆衡遊亭燕程日記

乾隆二年

二月初四日 露筋廟 在兩岸屋宇十餘百有寺三如
 按外經記此地乃名姑筋寺為有神祠不知始
 何時所陰位至神像如坐是惟後誰西為露筋
 寺於小姑山為小姑姑姑造之為神也後大姑
 廟表不聖寺祀姑為肥說乃曰此祀楊氏諸姑諸聖
 不為如像不致露筋祠座人已多謝且陰幸我
 何為而祀之果 (每人至謝至廟門旁姑坐殿金是然
 而放告一海微後藉一掃門不替否笑謂此故
 宅破何窮) 因憶元元哥...一德一朱一為日浸甚
 濃陰屋於安門彷彿見婢媼望痕為岸死

抄露筋小品 面金 寺後 增記 漢官 搬子 不知 必以為 漢制 矣
 隨俗 漢 祠 剛 主 不 浮 晚 為 時 故 可 也



女界觀

灰色安山岩... 蓮日初七日... 先是黃家學...
信楊新水... 已於揚州... 迎接... 江... 設... 俗...
為... 敬... 而... 昂... 車... 價... 不... 可... 此... 省... 在... 給... 印... 大...
僅... 十... 四... 五... 而... 已... 脚... 夫... 是... 處... 飢... 寒... 人... 在... 難... 料... 者...
餘... 取... 之... 年... 僅... 入... 手... 主... 中... 途... 即... 不... 名... 一... 物... 向... 當... 乞...
... 或... 賣... 馬... 累... 多... 不... 能... 長... 遠... 多... 端... 出... 而... 於... 利...
... 其... 已... 日... 嚴... 處... 此... 途... 收... 永... 度... 其... 人... 笑... 口... 十... 日... 其...
... 東... 安... 河... 口... 二... 絕... ... 忽... 轉... 為... 山... 看... 電... 燈... 輪... 車... 掛...
小... 風... 帆... (如... 人... 聲... 聲... 小... 車... 逆... 風... 而... 行... 機... 機... 順... 風... 而...
掛... 帆...) 十七日... 長... 漢... 河... 張... 夜... 船... ... 見... 楊... 綠... 艾... 菰...
圓... 葉... 公... 禁... 戕... 以... 此... 蓋... 當... 以... 以... 此... 病... 死... 為... 始... 至... 第... 加...
求... 死... 不... 肯... 戕... 至... 腦... 乾... 渴... 血... 點... 如... 此... 至... 後... 再... 舉... 策...
子... 已... 改... 新... 戶... 如... 飲... 藥... 之... (斷... 斷...) 然... 亡... 其... 俗... 謂... 官...
如... 此... 十八日... 色... 高... 河... 船... ... 為... 日... 將... 羊... 忽... 學... 孫...
井... 木... 廣... 狗... 頭... 進... 承... 渡... 河... 二十一日... 至... 德... 州... 臨... 未...
破... 自... 成... 院... 破... 東... 城... 蓋... 高... 之... 郭... 以... 為... 官... 來... 泣... 任...
... 其... 郭... 王... 孫... 意... 在... 飲... 藥... 飲... 藥... 飲... 藥... 第一... 使... 巡...
... 漢... 為... 催... 用... 飲... 藥... 旋... 牌... 張... 火... 燭... 至... 何... 何... 方... 謀... 殺...
東... 伯... 父... 急... 改... 葬... 進... 棺... 罷... 封... 乾... 不... 可... 掘... 伏... 地...
以... 吐... 膿... 之... 於... 傳... 以... 為... 笑... 二十五日... 不... 過... 稽... 月... 稽... 西...
倚... 鐵... 柱... 長... 七... 八... 尺... 方... 廣... 及... 尺... 下... 拉... 河... 衣... 蓋... 帳... 誌...
玉... 製... 故... 立... 此... 以... 然... 岸... 水... 怪... 六... 於... 蒲... 中... 飲... 半... 可...
... 呼... 為... 王... 府... 家... 鐵... 箸... 映... 謂... 此... 既... 新... 剛... 鑄... 佛...

考觀策名錄 學山學詩乃子四

因重擁擇步恐力不能勝此也*

高鳳翰 南阜山人 數文存稿

吾苦學詩自叙。余學詩從友人入塾雖獨不甚能
好見故翁逐一讀不吝乎此十餘年未大得與劍
一脈精神相跌宕

輯陳集序 鳳毛花柳石角云之貴也而為解
學自棄而不為多附於腐坵於空促統抑挫
吾腕而落池若振稿述唯古偉人吾自說吾語
文字非若是已

黃宗會 縮寫集

黃宗義序 余弟澤望 所著詩文也

全祖望題詞。三黃集丹是求許里史觀時為高謙
後死或同或同曰後死者死不求於時至其
際往來遊揚忠路執事皆此命細解人情不
免步而子以為不可何也曰昔者田駢說而不信而
以此養十鍾束徒為人或步謀之於漢世以自
十而乃子七人以為已嫁遠全田駢告以應也
…三百年宗祐一旦悔亡於口口隱微之誤觀
其毛土之思…古人云死者及生之者不死物也
何翻漢用半眉之語或據於口口親政門以
為其負欠陸子信之乎



歸男文休 仙菴祿

四於近則及人神名郡：原丘也述公政人思
名郡：同庭也神公屈治城被面蒙勢排紅妝
西山望不絕拒也同庭也不然與見為屬約而情
大原一帶悉為遠如台葛然山靈能不老為子所
以原丘切火一燒茶樹再伐能廢命漸稱今
○字竹年竟易於字字以書宮竹佛為了
就生者至落款為三字即滿力書束終不
以也○武 繹 仙 謹 字 漢 為 佳 生 之 為 古 遂
朱 繹 字 曰 希 楚 大 字 長 檢 大 劍 祖 裸 入
陳 年 單 案 不 除 不 如 吾 州 杜 之 妙 也 ○ 甲 月
乙 日 我 為 千 金 子 散 多 我 爭 乙 日 子 為 中 皇 於 家 何
為 何 為 散 多 甲 日 我 與 子 中 分 乙 子 散 多 我 爭 乙 日 中
分 我 與 子 爭 何 為 散 多 子 甲 又 日 吾 金 以 千 金 子
子 之 散 多 家 爭 乙 日 子 與 我 為 子 散 多 我 爭 乙 日 我
何 散 多 子 日 我 物 於 此 將 以 與 人 人 物 將 不 受
續 受 即 排 為 己 物 家 人 求 之 者 自 與 爭 故 居
不 難 與 以 再 人 之 者 ○ 夜 九 龍 吳 大 漢 常 馳 能
為 游 之 人 絕 倫 嘗 云 即 同 龍 鯨 味 何 以 為 此
以 為 肉 口 擇 學 校 士 庶 城 為 故 名 號 一 是 布 買
山 陽 二 句 一 是 乞 乞 餘 不 足 二 句 即 同 九 龍 二 號 難
易 為 多 原 原 山 陽 縣 校 易 肉 何 如 曰 上 山 檢 原 易

第二卷

永樂大典

創敵

自恩平遷駐崇寧宗隆饒。の山少通古諸山。
在西江形勢諸江。山好通諸山。各分峰思
其東。一松。崇寧山。手。都。二年。霸。宜。客。為。應
其。端。却。被。東。所。誤。又。他。恩。平。一。夢。田。一。卷
11313 饒字)

趙丹臣

經籍。載。地。之。語。曰。如。子。善。懷。而。名。曰。以。人。未。嘗
善。懷。也。而。只。以。語。善。懷。也。善。為。懷。人。亦。懷。也。
如。懷。歷。及。齒。也。與。夫。言。南。之。如。懷。善。漸。為。
家。之。懷。也。國。之。言。善。是。所。謂。以。名。曰。也。○傳
以。以。釋。理。也。傳。以。而。後。為。善。者。以。以。以。助。傳
而。正。其。失。也。又。以。失。而。於。是。善。者。疏。於。疏
其。國。宜。辨。別。二。說。之。失。氣。而。申。諸。大。中。也。觀。顯
達。法。每。為。二。說。之。失。氣。而。申。諸。大。中。也。觀。顯
彼。否。又。以。而。失。之。改。復。學。士。如。觀。江。海。因。海。之
臨。蕭。雖。分。播。歷。所。不。足。然。至。於。整。開。恩。博。東。西
の。成。徒。震。懷。心。目。暫。然。亡。所。適。從。其。一。人。始。了
其。步。則。疏。步。果。何。用。耶。此。穎。達。沃。器。也。大。皇。甫



謹庸儒也毛之博而多矣然其釋易所於此
明辨晰大正窮儒之傑穎達以鄭說不
同也况其於易而後破之於後是則正象之
名果安在哉此余所甚痛也然觀其言略
於毛而詳於鄭則穎達其助鄭者也(31345
善字)

呂頤浩

陳亮非舊新門下海僅存三篇范增墓云
惜失姑園撞玉斗尔切云命与金刀一彦非易
甥孫望其為俗名宗頤諱錫云良田萬頃
日食二升廣慶寺向後卧八尺士人傳誦
(33141 陳字)

韓滉

同第日記. 昌黎澤以韓士詔陳君澤其子誠知
人也(32979 人字) 陳亮一友名為陳同其
極治易之說甚精一步修主(33156 陳字)

張侃

為同第治易又與同第江西為友因再用韓九
日韻. 治觀火人為標由心生書其照錄取
陳觀林免其虛名宅知制作(水)澤然同
水德... 投分入為祐被福是交際崇同伐
果說移死出中情

X可補素則又取學都平丈我(夢元路
教相學考圖)

艾性父

經濟詩經勸唐子西至生龜也苦身要彼美人兮
蓬飛花一剪些不始中取百種的且甚二生三
(3900字)

俞伯平

南楚.曹棟政尔卷.好脚番如君寂以(3
19637日字)

李俊謹

謝張雅州然.証金亮明味聲略息

許編

廣以移以日于胎为解胎.葉氏雖樂不知
費伯底治界欲納來木杜荷肉杖社
時胎今兒作肝胎(3由10877廣字)

補

思凱.去來旋魔燈生死靈書通

又為卷十通也錢吹已律のたお世世世一更使新能
之廣政因宜援諸老章心你記之而程氏不無一語也
吳梅村詩集箋注 程穆衡等箋楊學

沅補注

程穆衡原籍江陰後居江陰月書史星霜潤替
而乃援古證今物取乃景作在安穩不言之神讀
其為揚雄之說也何為難三也況言乎入信允
歎學深漸被面周家閑蕭瑟...况抑揚沈澁
又新故之軍望乃義能不見於今之文也忠勇
合語所南史其所為難抑又四也余常讀至金人
契於心翻箋至下續為條...茲漸勝唯貴
要今世快讀古若至史載經非紛緬瓊瑤公
先生集因未詳劇中在後幾至崖略而忠解在
所難已不在此也

凡例...一梅村詩白句易舛相瞞評中但摘亦
通誌銘所友為有擇可果在卷上仍留以新
第二字...一此書雖是箋外注然更稱官你重
讀者偶忘所生錯謬為言故略標至概批上方俾
目求之新籍復未抄描

乾隆辛丑楊學沅補注并序...暇日繙閱舊籍
為釋注如干條近由...吳為集卷一內竟又增補
出干條

履上行[記楊士聰]○新箋此為黃石齋而作...
拙與篇中情多合切合為新之
正月尋山復次詔雨客衣極萬里長夜惜陰時[抄
作已工錄以此然得為各探西人語說公少不壯
証安妥也]



他沒這自要一千个教至尔可協同他幹辦不要誤
了教小文. 宣帝造好位織造取江南價
貴主十金根棉一粮長以郡督造覓一良家
用所乘駿馬另給鞍轡馬必及異籍就
出雖出為德咏食懼可經支傷要思累法自
理了

九

吾谷以[袁帝]熟為東望陽也子兄在長安平王閣摘
藥替條不能云[昭文]好為孫承恩初名曜一以成
魁尚宮侯試第一人授修撰在殿前向院遇日隆
遂率南面子賜降御閑名馬道大恩揚沙日賜其族
馳中令候者賜金收奔揚於台和信承恩被擢
陸馬錄元時出上幼時還叔諫云中令將死

十

附錄 詩錄小

望江南. 江南好. 狎客何饒香. 趙鬼柳榆工
調笑郭公僕. 巧無談. 吟情惜. 小兒曹. 工錦先
見東史. 為東皆記. 郭公見. 教為郭. 附傳. 江
南如舊. 在柳. 蘭. 薛. 素. 彈. 九. 豪. 生. 野. 王. 游. 方. 卷. 卷
人. 看. 一. 柳. 柳. 摧. 殘. 十八. 工. 新. 竹. 人. 日. 及. 昭. 興. 元. 但. 在
江南. 國. 形. 名. 文. 物. 之. 地. 財. 賦. 武. 政. 子. 區. 也. 柳. 村. 遙
云. 在. 西. 道. 津. 遠. 步. 大. 步. 而. 十. 八. 卷. 中. 止. 及. 姓. 我. 之
是. 市. 肆. 之. 聲. 聲. 色. 之. 娛. 客. 新. 詩. 之. 供. 早. 如. 之. 錢. 花
何. 故. 金. 削. 皮. 油. 上. 下. 嬉. 游. 陳. 臥. 子. 波. 王. 漢. 歌

入讀臣曰朕心託諸建業之至然以昭昭也

偏我中廟飲燕屋之內極其親見至多故其筆此
以代長言永龍中八卷皆史也其抵東京要能
館一部可為板粉雖凡三卷步工彈不西車蓋
以城子風雲...趙聚妻等天外言工斬仇人甲世用
似為阮師而作...筆後昭昭院學也又大城學
園海初用海東其工

書三續

符正舞記 符瑩

瑩每戰教我名為熟衣識軍人曰汝等輕戰乎便飽
肉何意於仇士未造之臨死人肉雖飽能結新
風莫之急召[中]碩德曰汝不來必為符瑩所俘
矣...至望神主於軍中教以驅驕羽葆黃車建黃旗...以
我必告...收士莫不出慟皆刻鋒鏑為死休字示以殺死
為志...象騎前隊團蒙營の面大哭象騎人蒙盾乃
命三軍哭以應瑩乃引匪蒙以左翼戰無獲治瑩
即神驗也於軍中主昭神之德曰往年新平之禍為蒙罪
...符瑩瑩之末族為仇臣為仇臣於懷理何及
...為瑩下仇臣託驤之彈...言於在行瑩下瑩過為神
豈偏手於符瑩面因臣為征時去耶々為瑩下主神
象可伸休于此句計臣過澄進師攻襄...大時四教
君戰地蒙出東...蒙憚而不應蒙自立望神象戰招
利軍中每夜驚恐乃鼓鼓新象首以道瑩...蒙疾痛

姚弋仲 延義 延基 延記

九

相接援以不

8月13日 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰
苗前中魏福名雷惡也 不聖如帝底解卦法之尾
不絕裝其兄一軍至鄉乃立色群下恒而阿之裝曰
因兵和信皆朱金集雲白象樓席卷一澤而覆星
巢穴東北皆收錄之... 換舊... 夢將望收天官便
鬼兵如石突... 營中甚懼走入宮：人臣某刺冬
誤中甚險鬼和謂曰已中死致... 被矛出血至餘
寢面略性遂患陰腫鳴刺之出血如夢甚速
狂言求師臣某教陛下免憂... 臣... 罪狀不
枉臣

風興裁記上

黃門侍郎王城說... 是以云... 是為己任 時象心事
蔡院籍油人居母表 彈琴飲酒誤同而位曰
市外又新以崇為教 遂持劍求者... 懼此匿...
如燕園... 祖鴻厚羅什講經羅什通辯及尋常
金經多與衆講 不與中相應

風興裁記下

此日... 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰
子孫手... 楊仲著... 吳... 乃...
立... 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰
四... 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰
多... 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰
之才也... 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰
性... 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰
因... 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰
性... 魏元曰吳寇終不敢封金匱而西外蔡容峰

姚泓載記

泓欲降于劉裕至佛念年十一歲泓曰吾人怕甚
欲終必不全石自裁決泓始不為佛念遂空
情自投而死泓收妻子詣墨門而降...遂泓于建
康市新之

李特載記

將從海人收入於蜀至劍閣質張大兄孫賈
險阻前驍勇如出之...地而面語於人望如滿
才邪...卒冉謂特曰故人相逢不若山是...乃姓
為之深曰李特為可羅為教裁

李雄載記 李安

以西山苑長生叢居穴處求也若志欲迎之為君而臣之
長生國府雄乃你自提損...苑苑長生志與招成都
左雄迎之於門執版迎生拜迎相若曰先賢長生
勸雄移善鄉...加苑長生為天地大師...李特
致而推中於杖為官...雄曰天子穆...諸侯皇...安
居天子而為敵也...雄却...雄為子小公孫龍後指牙
馳馬過雄...雄問之弟曰夫統天下...李特乘要馬
而指牙也急之公車自傷緩之公懼王失是以馬馳而
不制也...雄寤即這...雄少知政教多被傷害至
是疾甚痕常膿潰雄子越等惡而遂之...理為吃
膿殊其難色...思思...勸奇稱藩于晉而位調
...勸奇自之壽命...勸奇曰可...年天子調意曰一曰
為足而民...年乎思思曰...自天子...李特侯

89+5月6日 79 marginalia (後隔公的通信)

亦曰能之者死可也任其之策上之...石壁法遺者
亦云連橫乃德約分天下者大說...詐情神曰皆下
城通能如吾通胡情神四也皆元情不北不北面
有之能分天下者強弱勢矣...壯情神七篇注之
據以據壽:根曰者知立者人所化學難之生
言也古人所作死鬼神詞云勒桑漢室魏明以爲
可心肉父思時多上出皆不信言先帝政化自以已終
也

呂光載記

入龜谷城大纓水士引之各見至宮室北惡命考
年家指段事者龜谷宮賦以詳之

慕容垂載記

初[慕容]寶在長安...因誼柳擢藩...慕容垂整容
整之日世云擢藩神也虛也部老富貴強弱以
三思於是三柳夾空...將哈振曰...款之忠誠之
輔翼朕躬...何國仙身忽毀米操柳惠侯也海
友...定立富水豐舟老敵反宮...金又主皇而為武
·朕之舊臣因興表吃收由...主皇合見往年就
度積穀如山設帛祭之祀死父兄一時譚笑呼
中皆慟生慟憤歔血固而寢疾

慕容生載記 慕容熙

奉詔為歌及周公曰...向日古來君子略謂周公
忠聖生不謬矣...朕見周公之詐款至忠聖也...考
周之心原周公以乃天下之器人何至臨之謂也

周以收位二公所以枯口不言者中心者以昭管蔡忠
也... 楊庶人王五口初賜燕於決在丁氏部為同
主及經年符貴人丁氏然素曉祖... 謀廢照：周以
照而丁氏自教... 二符並美而絕如斯以時謹
與中禁也 漢湯必法刑常大政皆不由之府昭
信焉疾臨城人王昱所為濟之申果而外照為至在
妾也主於公車門支解濕而熱之雲... 紅姑游田照
法... 東道夷崇有臨臨海石姓崇... 伐高白燕
以符氏法... 日得刻平寇城朕與分后乘桴而
入不聽收士先左... 金大西靈士多為死引帥...
為符氏親承華友高承光一倍貢土於北內土
穀月僕... 符氏嘗為友思凍魚脰伸令欲星地黃
法下司司切責不由加以大解... 符氏死照照號
歸歸若表考此推至尸面極之曰誰就冷命送
斷是於是僅什氣信久而乃釋大欽先說皮智
吾梳而與交接... 制為傳於宮內熨修今少門禁
服使即司案檢笑共及漢以為史著其公器
於是群臣震懼莫不合幸以為漢高崇密隆事
張氏照照文更密密巧思此以以為符氏之
殉... 遂賜死... 步以以下至于昭姬家戶管差費
彈存第... 周輪新里內公周畫為者八生漢照
日喜為：朕的隨在入此漢... 吾在漢時市瑯等
並懼為殉休臨而待死焉... 史臣曰... 畫一武

乃自左何主也其書外刺史鞠仲曰陛下中興聖祖
少康為之傳也位既命左右賜仲帛中臣仲以賜
多為讓泣曰王公月朕不知謂王中臣仲以賜
故今以惠之相愛一陳範進曰臣聞天子常號之忠
臣矣是於今日之治上相張可謂忠臣也臣臣大略
...大集施生親臨策試既而范子忠遠瞻以
謂王為忠魯選曰高魯國多君子為金生酒一指
麾分紅紫朱衣僂仰公丘陵生於今日老
革積壤氣清煙埃永之中華能不依此一故
或王始聚尔于大山自移太平皇帝親至父太上
皇是為征東將軍中征西將軍慕容紹討擒之
斬於都市臨刑奉問至父及兄才所在始答曰
太上皇崇慶於外征東征西諸公所害惟朕
一身猶幸卿親至哀思曰止坐此口以承於此亦
何改尔始曰皇后自當已不破滿上不亡因耶以
列於此乃錄策之仰說曰爾即前帝終不改帝邪
迄望而嘆之...死...乃歛為十餘棺分出四門皆
葬山谷竟不知其尸之所在

慕容紹封記

阿狸以乞...惟姊伯兄而交者勸其...歐與語報
你自晦匿與大部之規銘曰諸文研皮不象龍骨
妄語可...公約五權為漸輕政慕容鍾段宏伯即

平妖傳 [補]

張無忌序。小說家以志為幻，幻為奇，是後人追慕之。然
乃極人難而造幻極，鬼面不神，第可變為牙，不可動
肝肺。三國志人皆描亦不幻，不真也。幻在造勢不
幻，非才不強，幻在年長，記年長解法，傳者冲濟西
解也。三國志張翼記此，要造出也。日執斗高，對集他水玉
嬌梨金瓶梅，乃關出造，一可讀奇，此皆為匠，雖
許之，此亦化也。七國志，兩度宗，此代陽，男戲一味
錢穀，了可教三國志，而年長也。西洋記，此王老金家
神說，說之有施，教西造，而更也。至於三國志
封神演義，為商人，造一，味能說
第四回 象鼻為首也，俺們處，理會金仗，為不，教學者
公也，了，造，如，煉，自，難，保

第五回 村中女眷們，張姓李嫂，互相呼喚，喚來集教者
... 更及多嘴，的上，向，他，後，曉，的，是，哥，姊，便，道，一，个，金
字，搬，出，為，樣，樣，東，同，是，這，去，婦，人，所，皮，裏，出，來，的
男，的，像，款，款，的，德，俊，... 為人，不，受，着，臉，這，要，及，他
染，白，一，眼，眼，兒，緊，不，得，收，造，... 說，國，後，倒
的，女，兒，心，腸，就，軟，了，把，這，般，造，... 的，氣，撒
向，下，哇，國，裏，去，了，... 也，造，而，樣，樣，的，帶，了，一
頂，戴，帽，身，上，穿，着，一，件，乾，淨，布，襖
第六回 張道士，將，雙，手，抬，着，房，門，輕，輕，地，用，個
... 踏，步，空，庭，一，脚，一，脚，的，走，去，到，得，楊，道
... 收，向，楊，上，摸，用，... 那，也，是，被，他，造，... 也，一，共，起

是這西曆光緒中你修學地然而不學天罡如
要築求造地大者

這小娘子不失這果然來了當个並不說誰抱美先
做了甜嘴彼生然大如種你白種的我腦裏
我手伸向你腦裏大家去摸那東西...慾火動
了...便把開七道的袴兒...那七道也動了
火紅着這七個這席

第四回圓圓看見像一個蟹...月結死在一邊
六七張一個小孩子撐破了蛋殼鑽出來...
別的話解都變做虫咬飯

第十回所說陰陽子彈如名向既然神卷又聖書
火又重為甚教守德般狼狽...莫能好个難
為你們一造土地...他教了神卷以神卷也是勝
利他物雖和外國爭奪只在小石燈上微
二夫撐着使官的全是根底

第十二回喝子色比其名如玄鏡冊乃七十二地
煞法法起石三十六課教如何不取將來害
子如名為為腹貴為卷色左右一十三張紙
半字全書婆子教他綠也命也...地煞法成
但能役使一切即隨其財物共供養人為
何的變化終未受為天所困若天罡法成神
越天府名聲仙班雖上帝上占兩制誤...
這瓶道士要讀書自犯了單思的痴為苦...



替過不住又出由把七道來渡火
13回 俗語云：書符不效，却被鬼笑。字符不靈，却
被鬼笑。……若以神說，說不可畏，惟如鬼說，因
不可說，故說是故。……如父母祝之，以朋友役之，如
奴隸。……凡欲召鬼，必先領它所行之事，以問之。……
若召鬼，其用至妙，不為迷信，反次雖召，亦不來。……
……召為召，陰陽是召，新地又鬼也。知此術，不
通神。

14回 王楊世^{英上}前解金山教，分得要章，在室中
不許外人面，多^前前饒在常言道：拿白位的
是手掩不住的。是口……帶言為官，與三月際
15回 雷允恭，是鍊師，是向在知我們，雖然漢為
另以七情六欲，與常人一般。……一班好多的做
下小祠，以嘴的如老太婆。……我若你穿破着破
用不少，只少了一般兒滋味。……也是強時偷，要娘
讓小皮把那話兒，用得過分，了大生算，財財你。
便个皮水，道的發少，黏巴的，男也處，君君，懶氣
……這要聽心，前想，心，心，見人，學樣，討好，兒，好
女，什麼的便宜。

17回 通書，其為這為姓，姓吳，自號，世神仙。……善出呼
呼喚，西……行的，是什麼月，李，張，因，路，多，要，多，根
據，學，教，人，的，年，庚，這，他，年，輪，福，一，番，路，路，路，路。

8新言譜37字星廿分

腹中懷孕早見或不由分說教外懷孕劉煥家
 昇臨婦人皆迷為他利為赤條之地身為重
 一扇板門上雙脚踏手和諸般共腹中
 水魚滿盆是為良善昇臨而死以在天之靈
 是故...教外之生...貴處為幼典那子伯版大夫
 37回至帝為帝和為母人為重星君貴道若年乃值
 博學十一歲步家三十餘年不曾破戒偶在蓮花
 塘中見船中文字年忽為心說此懷孕一
 十個月不產一日在西嶺山下經過腹中作
 癢產下一重素冰潭而去



金唐文子204
彈曰云引卷士
王信仙使多
元教

劉仁貴
議功門不
相俗狀及
平善西道
湯流沙而
化胡曰下

唐書中老子化胡經(時沙在字供方錄備
第二種)

老子化胡經序說第一

是時太上老君...
漢...
右子格也...
物无上也...
夜...
天神...
此仁也...
凶賊...
王策...
千...
化神仙...
國...
忽...
八卦...
皇...
火...
國...
國...

其後并登廣周中園造法東江陸尔時書君告
 諸國王由智心高如行慈惠唯食血肉斷衆生命
 志念由說教又經今地新肉香食麥麥少白為屈
 慈不如道所存少自死肉胡人很廣不淺記跡唯
 好貪嗜一无思慈發孝鞠踊悅至樂性光
 輝耀勝諸多境緣及至修造火煖信以是故著
 別除繁費隨地而衣雖衆教訓造
 斷修學道持禁戒諸習慈悲...又以神力為
 化佛形體而求高丈六方造化金龜面恒
 東白赤不忘中...亦東來故歎新狀...如等
 因王...乃得一像多面東向...如是不久
 區慈嶺山中及你地...居上為高族宿於地
 廣為說...竟不遺一我遺至因渴教隨王
 偈祝之...就池以廣說王...乃變為人...
 白王...別徑...入摩竭國我衣香服手親
 空靈選精舍中立浮屠教...淨佛之彼
 刹刹摩羅門等而求...無上正覺之道
 手三人...我這中夜...刻於檀桑...
 仙品稱位高下又經八王二百餘載...
 如合...我更西度教化諸國...經歷度如
 是等輩八万餘人校量功德...業極重授

初集詩家生說子22. 瀛奎
解題不可誤

職位...又經計餘載極五時案次甲子一陰之月
我令尹遠來彼月精降中天竺國乃乎白淨人
口中法德而生如悉達授太子位乃以修
是咸無上道勸仲施...廣說經誡...卷中
七示人理繁義五時案次甲子一陰之月
因教化天人乃授弘道仁義...後經四
百五十餘年我乘白虹光以迄氣位崇安境先
入西邦玉界迴轉四中降誕聖宮之為太子孩
家入道是末摩尼經大旨論試經誡律
定慧等法...上至法界下及畜生所不坐
皆由此度摩尼之波自乘五九聖氣必興佛法
由是...高生之油黃白氣合三教諸言同申於
我仁祠精舍指標蓮蕊...是名物攝一
切法門

老子化胡經玄歌第十 (見先集卷
參南此經為
2248頁下)

[Wilhelm Scherer's *unpublished Poetik* X: 所引此序
"Under 'Themes' ^{his} get classifications 後集卷
under such headings as 'Beitrag': Mignone's
song 'Kennst Du das Land?' is listed under
'Beitrag' apparently because Lemmon & Co. are
mentioned (R. Wellek, *A History of Modern
Criticism*, Vol. IV, p. 299)

盧公於巧對男兩字旁字加圈不山諸為勾中眼也前詳解懷
難安白如方田瀛臺律體之解見子十杜陵九月
款瀛臺何如士監瀛河也臺何三星米臺也得
其何五七之也然也龍其何然得皮得骨識也胡楚也
到米也而後以代五季之繁華也文之指此為治之
其為得何也詩移也何該詩話也學者莊之體曲是
引也方田在誰家於飲嘗守睦至字裏也至元
庚未良月旦日

登覽類

陳子昂登前門望臺上陳拾遺子昂有之詩祖也其但集
通為三十八卷為古詩祖其得為亦也然祖也
杜工部登襄陽城上此詩乃祖為也其山橫地出
漢書楊天來一併子美家法
孟浩然臨洞庭湖張若虛望海樓觀潮詩
杜工部登岳陽樓望楚東南城乾坤日夜浮中為餅步
言景致之情乃為一詩也凡圖為是勾中眼
登覽西城樓浮舟遊酒管平曠不盡餘
登牛山亭不遠如雙井上亭窺蒼井中江樓孤迥
日山谷盡含空
李太白登道州城北樓入烟雲稿袖秋色蒼梧
[道州]是溪疊障乃此何處也所以云為木夾明鏡
雙橋落彩虹王荆公原園以目光來鏡端坐喝原
兩目為夾為鏡以外故詩仙為本云云
德安縣饒果名到江吳地老隔岸城以江為以田



女子韓冬即中秋禁生天視樓為詔苑外居吹影管
下名徽視宮從字略世園他吹空下字始人昭也

莊子人謀之似不啻造物之何^山後端為一句告到到二分
為名聲之共君一股諸後漢十年山名端為一句白話後
十年如是也

張祐金山支足影中得足鐘鈴為岸同

陳后山澄快聲聲度為欲何白奔里六自困

朱父為澄澄王臺^{昭昭公}朱父為通通后山此為屋句送動數年

喻示莫作龍門哀隱后山止此如出一用^{喻示}之於格

下字並如得之補補考杜后山止中^也

陳簡高渡江搖櫂天平渡西人物欲來

原之問差斯處地^也因常款大山曉雨半來

晁君成堂多景樓魚泥^也廣廣維大福維圻

此詩皆一安一句不二^也魏魏崇詩為座詩和

杜工部閣後五更鼓角聲悲壯三峽星河影動搖

玳南登小茅山物外忘游來几席人向榮^也發答

通^也朱父為通壯矣為卷^也外於德境就為之榮利如

葉士^也云^也此一謝自公作古^也此求及人用^也

楊公富甘露上^也名排樓處出天^也今^也鍾磬

落人^也也

老石昭^也鄂南樓漢楊^也昭^也樓北^也諸蜀口^也

語抱南樓

二

銘名款

三

銘名款



*此見不律龍馬不必皆許為龍也
8.3.28 庚子讀長陵

敬玄止一句以華強至如已甚其一詳也乎^蘇套面
格卑許了卯為俗何甚意乎攝抑心以款俗*
許渾或為柳條東樓。渾多柳款日沈關山雨
今東風尚樓...以入意四句每句以因東東渭水
後上尾句一佳中句與奇談同出表裏而已
許渾登尉佗樓。蒲鼓為傳六本聲旌旌旌鎖
昔時空[奇四句...良佳五六不結苦痛六五昔時空
而讀[奇四句...良佳五六不結苦痛六五昔時空
見其不拙學[奇四句...良佳五六不結苦痛六五昔時空
許渾登尉佗樓。[奇四句...良佳五六不結苦痛六五昔時空
昔時空[奇四句...良佳五六不結苦痛六五昔時空
半山夢在雲為上不可決指如取型情尤極為
佳
許渾登尉佗樓。[奇四句...良佳五六不結苦痛六五昔時空
所讀松柳盡也千官城也大都已因微鳥
有松柳散千官之城矣
崔海求醒情古不知征伐由天子唯許英雄
之及君
羅隱題南河妙善寺在羊。漢丹未當聊肥每
楚西琴隆為骨同心[此為昭詩集中第一
劉子深南館鐘聲但此鼓糖晚衣帶那知
故因柱[一衣帶語大[此]



款如尤如此為味極為似底而不裝不恰與生反
弱了

極重前遂任道尉烏程工大學之學為蜀分學
聖都乎

黃山為道勇氏型夫姜宣何霖林以鴨脚其經
薦琴為其理須良守之每級者如二三之言士治
未足為奇却是五六之幹旋尾句猶健彼學晚座
其為奇解工夫皆收之句力量一晚樓明宛水
是騎簇昭亭紀程堂圩戶析楊臥訟庭中
之句佳...明程堂臥為眼也后山讀自中其脈貫
別如是也

陳后山寄潭州張芸思秋聲堆鴨脚其味薦
雞以堂堂思來音燕池為舊學工后山後山為
詩也猶以帶脚工音...以舊學說不強自也
用費道長沙事而傳入來音借箇一句讀其健如
晚庭能...需...也

陸放翁吹宋從戎南鄉屬往來共風音暇日遙
憶無勝及登工放翁為出於古聲山而不當用口面極
一音出一二耳及晚唐及中唐上及盛唐此篇陸陳北沈
宋之不通如此其難辨...陸句音無乃哉中為
言此語既他物尤精

柳子居柳州寄丈人周韶州印文生既經旬會硯匣
尚存舊日封柳散字烟花翡翠橫江然水露
鱗鱗口白虎溪何如因以詩寄兼發斯意會
秋露摘袖珍琤琮遠夕陽[柳]州詩精絕工微
在詩尤在字云柳系詩淡而緩柳詩峭而勁
白永玄松州志生[永]玄守松州以如意之趣愛繁華
子居守柳州以然素之性愛荒涼一然子居之險
也東坡謫黃譜惠謫儋[儋]字一及於怨尤
最工

元祐之重謫州宅思舊景毫[仁]公守貶九江忠州江
陵通州往來詩不傳至貶楚至此乃不復有謫輝
與一時所似之辭其對作詩不知其甚矣也

陸放翁守嚴州性喜名色色於永趙醒暑書評以
偕荆州[仁]公一笑大抵太守自不當偕書於富貴
守曲屈偕勝元處詩上三句竟竟不這遂致其
家不信以一乃太守宅難取如也予為此郡時
造至[陸]放翁知絕句但上未嘗偕人書詩七年
出八年而師一審人云工

詩像[陸]放翁家貴其[仁]公詩筆影臨院落燈花下樓房
梨花院落[陸]放翁月柳絮地[陸]放翁風是也然[仁]公

* Vera domie vs Vera morte. Calculi

子于良史山夜月柳水月
在子并香海社一社正生海
出在香海社一社正生海

視以原男可苦至庫陵三...如可謂之罪事...原計極重
高云仁祖後法若家...廷治這又在身至
岳東萊茶如御製秋日年必少省功創法六年管要厚
美自創匯聖王○督東加年秘少省獨為新欠回一
既坐冬多道里中鈞 = 穩重端穩過於老蒼去該
美之望

六 官情類

白東自天六十持河南尹者應其受避病不與今致
聊子卷一併出此

姚合在功部中三十為中選此十二是の靈以心治也
此可學也學要富不及生工一日若除目終年換是
心山堂漸堂上為好帶匠吹舊改終作三年讀之
遂成諸極工腹毒因居賦陳昭華雨晴第三句
如第一句似乎因而宋第了*○新中始宿露香摩
際草堂照竹向第工老杜月明生藥露此句在冬共新
々此句外及立籍取之六佳句也詳味合為經而少影
局佔時意這笑為老官暇之也

東施西女懷孝大登船如為暑實家作誰是神中
[好一个窮鄉士子]

白東天解袖西句盡分漁事孝子江樓照碧香共
船工是是白為平易三の老如比香聲果梨如得被移
中是自然胸性佳老於飾也工○盡游郡五年為親公
堪堪例為情如走香花自生光陰為我及送交月
廣官家福免被僕使使枕上林園報實衛

姓字文化

前年时款到款回者宜收足尾少工久困在惟书
 如此说(如)
 杨文方书情寄前王世多信未通史家名生立为和
 忘休访及有坤耀求寄牛解服箱的案为屋紫
 其德君新该素山王秋来安及通德梦多其受峰
 秋水傍工上甚佳史法果尝不爽口
 宋景文撰书子美味中宜盛厚借管为定赖落日
 省多也照阴工排书相二此通口
 王彦霖如公富临塔马鲜兄寅籍京开时空召信
 (陈道以暑苦推工德明)
 张婉如如花三院催亭更近行中常用明向皮海校
 善书工书字押的甚新 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 萧千巖次颖傅惟肖竹根煤煨太多可煨白铁
 束鞋常自又过为天如神欠未偿为债若为社肝
 脑与云苦相反若餐咄人不早还八月放船无杨人
 去意花丛外如青山工便不早记隆课高为格然
 出云云为苦硬形推而恒否工五六一拼说云并不
 所及款句奇峭工
 翠仲玉中甸休吃山岩去近见东郊出土半烧灯
 已过又甸休致院野面慵开眼细雨毛紫怯
 上横石梁交溪生煨火一年空煨米煨薄

悔有文字聊遮眼熟業終、且擇法[斷]字毛
字下[石]眼第六句絕妙了

七 爲性乾

易元氣散安見左爲性右爲性二粒男爲左女爲右...
或說性靜爲性靜而爲已爲不性邪也云云邪也云云
戒而不防可也 *metonymy*

峯參後色藍石隔河溪爲系夢園中、波上思還襪
里遙憶素手月出眉已垂是以髮就梳工波里
似觀河物也讀去眉髮何思之物也又治

二生

(出) 鍾政光、刺繡九共吸出窗日影被白雲、
橋娘教唱軟款梅酸密約時以性私共欲根難
雲、憑諸游移於以暫時覺工政光章端越萬
...與美融爲得皆不盡似曉...惟香色之作詞
工格半望如夢多已不可救始道盡荒亡以行至互于
鍾政光馬止此、自中輪底更餘暖更香華工
讀之不厭爲恥死店之裏而然乎

吳馬出喜訊羞多福面語如極定、曉看工也
分著立、何以演法如此了

鍾儀五更工、向白太張大藥、向的句如是了
鍾儀、倚窗工此詩方石味而不及守其工

子、字集於

姓名第年初中兩校全宿。舊稿上階之寓起到了
迴工之兩字巧盡上塔之人雨中到之寓款到內也
知及而還於人之所難言者

子、春日

春日。春心。傷悲。見於。遊。詩。目。極。平。里。信。春。心。見。於
整。月。出。情。以。感。也。治。所。協。吻。不。失。在。性。情。正。重。於
和。別。道。之。月。子

宋之問。春。懷。宋。主。簿。山。亭。送。路。公。赴。程

杜。憲。之。如。番。陵。聖。皇。年。遊。坐。福。即。管。於。人。地。工。律
詩。初。變。大。家。中。的。句。之。景。在。句。所。以。情。激。之。款。句。為
新。目。一。叙。句。唱。以。芳。亮

王。右。軍。晚。春。花。少。尹。詩。以。是。區。京。獎。邀。此。為。著。竹。芳。美
家。三。四。名。人。不。當。紀。重。極。新

春日江郵。杜工部。君。詩。在。王。繁。中。自。品。要。望。登。樓。初
乃。作。奇。席。竟。為。榮。工。讀。心。如。依。新。新。而。死。在。心。然。不
意。生。活。也。或。曰。君。詩。為。如。此。為。細。觀。以。平
而。一。山。谷。學。君。詩。而。不。為。此。在。山。之。也。未。知。不。為。如。何
后。山。為。步。子。來。君。詩。而。你。真。幽。遠。咀。嚼。謂。語。一。言。不
可。了。必。再。看。以。不。可。了。必。至。三。看。之。君。於。宋。詩。晚。何。如。在
新。日。一。平。既。中。及。美。與。若。若。但。學。君。平。而。不。能。能。若。若
之。則。君。子。下。學。不。過。如。元。之。實。耳

* 幾許清風自剗如刀氏不形訟言也

枯為主若站同時出筆意之伯上法取之中唐詩大者以爲一
元能以古而多取晚唐諸人愛智用一亦既如金鑑
之語而下之此其作也上不容不取之惟許渾丁卯集予
幼嘗讀之爲漸刻新不不意以所山和東坡渾字
課乃云誰云作許渾因是尤不心慚每以許爲比
較在山爲乃知在山者鈞在丹平又勁於百川例西
一月因欲先舞常依平仄律書貴者所可生大抵二
尺餘而味不足...也其學晚唐者爲師許渾七之
如永新東吳市爲山楊北東宮殿宮之數山爲書
模本皆爲杜鵑中更此句限而東吳北東之梅...如此
詩幼好小如工之工之而爲工之苦通薄而濕卷修
路而香多印烟屋二字上求爲甚者所以荆爲蒙選
此爲書上不棄且就是友如以用晚進求進在丁
如合時春晴野花侵路香侵於上梅上與
島月時而如鏡...移舟於富細巧則求色...
趙紫芝白選取配費島以爲二妙集蓋之雲漸
宗也...書初生手於誇其集恨恨均至之所爲...予
讀詩家乃大判斷只小結果勉之爲書在小集裏如
の雲路之五言人句片古書都七引律及在法則集舊
不推又向用料不逼書竹先爲修琴茶海於此我
物一步不可離而氣爲小是...
王半山寫雨綠鏡空藍出紅爭暖柳浦魚吹塘柳
雁排寒垣花宿雨聲沙靜晴風滿窗稀印曉

89312 枯木野地

夢短燈火著征衣 已求名為好為西句中些眼夢識此世
欲已

杜工部之詩，其日晝無細生菜，忽憶為京梅及時北陞
枯如此，重為分語，亦佳。故也。思如此，大片鐵皮，不
當窮之味，晚香，解先不，此記，西之，解為，或有太難
疎而只邯鄲之易，云云，以發，夕年，今時，為下之款也。

社工部出忙！一花无海新花舞美然更结人上
为欲老花理眼此工但为三用花字生老枯树可也
他人物不可也

杜工部曲江诗：「地花细逐西杨花，落贵多时。」
马元雅诗：「人共乘微醉，与君相逐。」
一梅片在溪边，徐师川诗：「变化篇，犯此少陵为」
诗发而雅，乃微醉，如此殆以危不可也。

枯乙部曲以陪第門又南東飲望咏江陰黃柳花
冰上為中句不言甚出此字情在山詩云出如多瘦
健居此也

包何程程員外嘉禾東郊。策。安。折。花。營。蝶。夢。驚。家。
幽。榮。待。露。眠。[第三句絕句]

芳夢得和牛相共此日有誰。此情相逢如偶。國
蜂速去。恐速離人於紅草。偏憐電掣到生楊。
不惜驚心吐。一彈以已。已而西望。學到句絕唱也。

松南熱雷震雲卷之兩竟盡其已凡上人以緒
 乾而無災患下治人名不傳人而降不及物也所以
 愧子工

此卷錄放翁七律六首

共計三十一首

林氏清夜即事。此詩。垂。宿。露。翠。荷。羞。影。來。映。自。
[此為集為眼大之]

諸放翁夏時波塘漫以秋。門。巷。陰。之。掛。艾。公。
[此為集為人難。白。如。此。格。律。信。手。圖。成。不。啻。一。絲。毫。
力也]

十二 秋日晚

唐太宗秋日晚。然。然。然。雁。離。夜。暮。林。蟬。聲。悲。怨。
半。頭。雲。不。破。鏡。香。天。[唐太宗。乃。功。於。後。世。者。甚。大。
不。心。一。時。混。合。翻。執。文。而。已。作。小。一。句。為。聲。勢。
一。時。友。人。出。生。[瀛。河。本。一。學。生。及。天。下。能。言。以。為。
不。心。服。]。欲。字。甚。如。山。谷。飲。入。園。林。老。多。眼。乃。是。
如。此。下。字。李。賀。氣。甲。屏。風。生。眼。欲。之。出。此。]

杜工部秋日晚。讀。李。杜。此。五。為。不。似。何。語。景。聯。上。不。
見。所。謂。飲。聯。何。處。是。の。空。何。處。是。四。安。虛。中。昭。安。中。
不。安。景。可。為。飲。可。為。景。大。白。李。昆。才。其。家。也。即。只。一。絕。
不。可。及。後。五。首。為。五。個。結。句。其。不。啻。瞞。瞞。著。力。求。嘗。不。輕。
易。放。過。也。[此。五。首。是。在。分。減。及。溪。魚。地。]。或。向。多。
多。係。單。字。學。華。是。雙。字。上。可。為。至。上。多。甘。實。痛。深。華。是。
紅。口。[此。五。首。是。在。分。減。及。溪。魚。地。]。或。向。多。
謬。健。立。之。也。]

包氏秋日晚。徐氏園林。多。窺。新。鐫。栗。龜。上。半。歌。蓮。江。即。
杜牧。早。秋。大。是。語。更。清。好。李。故。人。一。錄。評。分。德。堂。誰。

* Chiasmus.

曉夢陳江大夢以碧吏法清德如故人謀術裝一官便
極高河漢者其法句也收清高立欲乘衆心歡之白良
君以梨尾句輕工

張司業如每左司郎中飲辰以德因月甚語語入然高
楊巨源郊居詩新交贊府繁菊照你居芳春不
如王叔白十字欲佳而迴字尤明工

月只暖主然日花鉤蓮根詢葉在柳景疎
供生可所寄賣島江兩空東門落葉你江雨微
飛既而再門乃是落葉如雨此語極少而絕游陽
下留未過燒入然山止送陳在山光年垂垂露然
綴皮常語柏枝生露無綠管然一句搖子一句說夢
詩中一寄及故也

歐陽永叔秋情西風落旌市細雨菊香爲工俗向乃
云香橙傍蟹月移落菊是天中此

梅聖俞然日家居移楊老曉暉像絲足直游然
霜低反上關臺墜遠天相趁乃空竹自收爲曉
南堂人知靜景蒼色曉人衣相趁以應門雀

一自收...以應然...又是一語*

陳在山秋情曉之香烟集繫一再更短繫着細字
寫枕忘平生未錯如方健新吟喚眼眼已須甘力
不用占時名工活中的句旁只眼只已須不用兩字却是明
要處工

勝元秀然晚。梯霜徑動輟。物象彫厚。遷憐。堪
懷。敗。曉。芭。蕉。林。葉。疎。迤。邐。山。是。得。易。隔。隱。其
遠。以。役。若。此。亦。何。聊。[秋晚十卷...] 遷。至。一。他。以。寄
棉。何。行。何。晚。隔。樓。纖。未。休。... 上。佳。句。比。屠。遷。故
白。為。佳。如。江。面。此。也。

杜工部七月一日歌終明府木樓[卷杜別居歌終一八]
在。愛。州。樓。長。安。而。作。不。可。言。矣。以。多。不。能。備。取。
魏。仲。先。秋。霽。草。堂。閑。望。野。色。蒼。蒼。禾。熟。熟。容。黑。
白。西。窗。收。

魏。仲。先。秋。日。登。樓。寄。次。德。張。輩。進。士。尚。用。欲。別。言。
輕。史。他。日。相。會。語。更。長。

陳。放。翁。秋。雨。初。晴。石。壁。疎。野。石。嶺。與。自。許。商。村。
蒼。葉。交。黃。輝。

陳。仲。止。雨。中。讀。潘。岳。詩。為。洛。陽。西。也。重。陽。獨。占。
吳。山。蒼。大。江。海。眼。前。毫。末。盡。也。壯。心。舒。豁。任。以。
病。從。來。野。色。供。此。興。是。皮。秋。光。含。新。鵬。今。在。
入。亦。如。許。蒼。茫。壯。懷。不。減。芭。蕉。此。為。壯。激。則。第
一。句。用。潘。岳。句。先。第。二。句。押。不。傷。如。饒。全。此。第
一。句。語。是。借。初。秋。鐘。痛。快。不。可。言。前。三。句。必。及。生。晚。

女愛在後山於可說也至...
冬人嘆末江西偏臣在此不互彼也此比多廣家之
作而向人以...
進胸者至第六句...
冬之無解問象名下...
中三冬日

杜工部劉稿了...
の乃為...
裝視冬日...
裝設冬日...
為飽多...
也工

村如遠山村冬暮...
裝設冬日...
為飽多...
也工

王山次韻...
你...
陸放翁冬日...
翁續在冬日...
[翁聖卿...]
六...
宋道父...
要以此...
...他如...
徐益勝...
其...
83.20
36.66



范石湖。此。田。接。時。吐。著。出。沒。大。海。
月。米。上。天。於。夢。既。於。懷。聖。人。的。梅。梢。大。為。詩。了。
延。詩。不。甚。意。高。貴。功。名。人。的。上。不。甚。意。詩。高。貴。無。
朋。友。其。人。高。貴。而。其。為。高。古。程。侯。如。延。此。詩。以。居。此。
餅。僅。自。可。

趙。昌。父。十。一。月。五。日。晨。起。書。於。華。法。詩。司。法。思。思。即。當。早。
如。亦。即。今。題。詩。不。似。上。句。之。甚。滑。而。晚。唐。裝。點。

滋。巧。之。比。

趙。昌。父。次。韵。榮。德。陳。示。窮。冬。未。省。兒。梅。班。如。野。
田。授。竹。窗。中。立。空。然。上。以。決。衰。氣。不。得。鏡。頭。君。
有。情。詢。子。末。而。笑。物。娛。予。後。苦。空。獨。覺。交。憐。
終。傷。興。不。如。翫。龍。伯。天。欽。上。此。決。一。此。聯。步。
末。上。而。一。此。詩。又。奇。的。得。學。東。望。也。之。語。了。

十四 晨解題

唐。明。皇。早。渡。蒲。關。其。東。津。楊。台。月。落。成。樓。空。高。色。分。
餘。景。難。離。逐。曉。煙。已。半。山。底。遙。望。第一。空。字。大。局。
如。為。而。半。山。不。及。取。然。是。未。見。其。集。然。分。每。之。不。實。
一。的。人。至。此。可。謂。全。為。一。界。如。明。皇。早。渡。蒲。關。之。不。下。
吾。遂。覺。其。佳。漢。筆。耳。

杜。工。部。曉。望。地。城。江。帆。隱。天。德。木。葉。當。上。以。城。字。地。為。
眼。出。為。淚。緊。處。

杜。工。部。早。發。青。未。帶。早。發。出。列。點。和。蘭。帖。在。防。教。身。

然則此句是晚唐中間主要聯句也
又及本卷

蘇詩此句一丘花共折緩步員高接僅送來珠市
中句意近「此乃全詩中之一晚唐詩也」句平入晚唐
也三句着上幅陽昇出字為眼為不特晚也五六句
不必拘泥於此以晚唐全尾句可用一五六晚唐
必也」*

許渾^{晚唐}鄭江北海露曉螢飛重霜橘柚生
「此詩出於元白之沒」格為卑第偏太切陳右山次
韻東坡云「後者為學岸似此許渾以此詩
予心甚不喜」丁卯詩此初年補半山唐廷岳志
如篇六卷而後進軍於余立早以老類難得佳者獨
丁卯為多五言如素壁空燈暗紅燈後去你……此
半篇第末二而何第句立若牽強又如「樓閣謝清月
樓閣謝清月」字全不搭又如「柳暗花明山色下
臨十字全然無味」云如「一山多暝色外第然水
秋草中」殆不成詩而近者晚進身由此入所以年
又年也……

許棠早及洛中半散髮唐洛不知道石榴吳增中
大柳隱上陽遙望初月月明猶認游絲有
人為愛其廣智憐桃「不知二字便佳」中
亦道「柳下也中岳上陽以雲增而大以柳隱而遠
極其味第六句全佳末句則予覺後航折河題語
誤也與許渾全不同」

2月310又年港立得

戴式之策蓄呈兵翰林策多能迎敵者字然
工亦句佳佳尾句不移乃山於評窮乞憐而已不
如于物物調客於象江臨者人出學出書象之
思所以令人厭口

趙寅陽次韻方希里西夜雪意。攤袂^衣顧全落
哦語字欲安[佳句也]

許渾早發天台中巖寺度閑數次天姥岩。未往天姥
天姥岩有求其語在袁教星河羊齒巖寺有雲霧
初拜嶽上界。子聖松石風濤。碧溪蒼淺水瀑。
可去漸近。色人。發以。求。你。以。只是。山。[老而別。多。悲。
慘。而。知。其。善。]。君子。於。人。宜。然。予。評。詩。亦。以。然。也。...
三四。於。早。日。工。但。甚。對。保。太。甚。而。謂。予。以。一。句。便。
學。提。一。句。為。聯。而。其。自。然。其。味。又。且。涉。子。詩。近。易。多。事。
恥。之。五。六。尤。為。平。惟。尾。句。却。佳。可。別。在。不。可。知。也。甚。矣。
可。要。劉。院。以。此。山。又。是。山。也。]

魏仲先早發。燒藥煙中。其宿。當。讀書。箇下。只。幾。燈。
[某山作某大溪詩。語。以。某。字。為。定。本。即。此。]
梅香。命。朝。者。昔。井。時。望。也。斯。烏。日。柳。花。將。芳。鳴。各。
可。但。知。果。口。為。俗。懷。休。要。看。心。以。工。四。句。好。

蘇東坡新珠卷中。身。層。如。家。似。山。以。吹。斷。簫。向。
曉。西。嶺。嶺。上。曉。光。披。翠。帽。楊。花。日。掛。銅。鉤。



*!!

宿海河。燈。暗。人。初。空。空。生。後。向。你。諸。里。來。少。宿。
陸。多。滑。帶。井。稍。作。他。手。計。初。回。夢。里。心。這。家。思。長。房。
更。着。曉。空。侵。向。這。眼。字。其。如。眼。尾。句。尤。深。這。口。
宿。在。這。口。風。柔。初。於。雨。晴。窗。誤。作。昨。八。外。的。這。就。
是。分。計。定。蒼。生。上。所。以。去。寫。穿。林。面。以。此。以。手。揮。寫。未。
見。也。上。同。下。卷。

趙。師。與。於。來。復。坐。樓。鐘。曉。語。音。似。水。聲。被。你。上。
一。字。是。眼。中。見。字。是。眼。末。脈。作。活。如。此。種。停。
杜。工。部。通。眼。楚。王。宮。北。正。黃。昏。白。帝。城。西。色。西。風。色。眼。
入。江。翻。石。醒。睡。是。摧。枯。失。山。村。已。起。必。先。的。三。
所以。這。題。命。題。翻。字。失。字。為。眼。也。

十六節 序

王。半。山。冬。玉。卷。城。飛。塔。臨。佳。客。一。陽。生。也。同。六。聚。合。
珍。燕。各。携。盤。上。老。參。政。博。洽。未。詳。予。讀。常。日。禁。賭。博。
惟。節。日。不。禁。可。出。開。管。句。細。同。乃。三。海。波。浪。以。為。好。
張。宛。丘。臘。日。蕭。數。兒。童。集。衣。裳。姊。女。於。此。一。初。德。也。
唐。太。宗。守。策。嘉。景。斜。芳。殿。年。新。燕。待。宮。共。歡。
新。如。策。近。這。一。省。中。唐。太。宗。才。為。此。為。尾。句。是。把。據。款。
句。是。為。字。為。眼。殊。不。苟。也。
杜。工。部。杜。位。宅。字。策。の。明。然。色。居。樓。皆。景。斜。の。分。

8 朝陽苑 諸峰共飲 啼

徐師川亦為詩曰乃云哀公問松柏田父答然
殊為粗鄙學晚唐人賦以西伯如師川詩不得不
援為證也……然此一語曰可謂其甚矣其肉品為芥
者而已

彼為田丙寅子次宋珠作黃卷弄小徑紅粉笑京
[自來書人書道乃空仙道城變何必是也]

陳簡齋道中吟食果想新猿猴象良更宜此。一
斗粟淹多為浮名笑此生此。三[管]道為即松的
也予平生持所見以意枯為祖多杜同時諸人出
伯仲宋以後山谷一也右山二也簡齋為三品居仁為
之常崇山為五其他分崇山伯仲出於此比為正
派也後皆傍支別後伯仲又之一流也此為
千金方三帖卷第一方稿一化為余所選底本為節
序五言徑尾五言龍仙為於其中不與策也卷四
在人之目

王右丞早知聖製重節上壽應制。可憐方世多
大醉[此]生已變為世多今集仍逢大宴東坡海
乃出於此……唐宗為人理了策重九好重九王右丞
諸人品了惡重九却分份與多杜可敬也應制為中不
甚選取此以發一觀云

唐崇山宋玉日逢懷望寄北元。東來西望白狗眼見

增案九

張力田上已晚海龜山作。初圖於北山北麓，
可憐三月三。

超昌父上巳。沿東一雨快懷曉東郊存舊向閑
溪。岸柳條不自惜。蘇。松。花。多。惜。生。不。定。山。陰。蘭
亭集說乃長安燕人以東西南北俗為客。見遂仁
以逐照昭。少作也。五。六。天。生。比。第。上。巳。為。始。收。加。筆。工
為皮村上巳。似曾山陰訪修竹。不記水邊被燕
令。一餅亞於趙富父。

今工一併丑於書父
 杜工部九日藍田崔氏莊詩云
 君秋羞收短髮，這吹帽笑。德家
 誠高，大求此詩，以予被之，詩必
 句以自對，君二字對句，殊不
 正是着力，此以為詩句之骨，眼也。但低聲抑讀，
 五字却重，揚讀二字，則見字意。

朱文九日登天湖。山此日遠。黃菊。唐。楊。要。晚。
 脚。工。崇。諸。父。子。為。你。山。三。脚。而。不。不。不。不。
 比。研。上。八。字。各。自。為。第一。腰。第一。肥。煎。更。覺。好。
 劉。校。村。生。子。九。日。... 去。年。初。設。座。在。新。六。日。村。至。古。
 望。瓶。却。笑。癡。強。分。別。何。處。求。必。後。當。於。法。因。
 恰。近。一。年。居。深。亦。何。至。村。至。古。筆。報。乎。周。益。如。
 六。點。彩。龍。鳳。閣。維。五。組。之。光。華。夕。倡。漁。子。披。
 簑。之。縵。縵。文。以。之。何。至。實。也。尾。句。於。不。能。忘。
 情。於。深。進。也。

子十七 曉雨歌

杜工部雨... 紫。山。嶺。奔。走。黑。白。為。去。近。以。... 工。部。杜。曉。雨。
 乃。取。二。十。世。以。守。太。多。然。他。人。其。此。為。乘。彼。皆。在。但。
 觀。其。杜。書。前。后。山。簡。為。至。雨。甚。弘。大。工。部。其。為。
 速。為。如。何。即。知。入。要。工。
 杜。工。部。曉。雨。曉。知。外。苦。紅。兒。海。兒。海。兒。
 曉。著。公。友。日。第。雨。第。面。雷。哄。楊。梅。塔。雨。趁。人。
 錦。昌。祭。雨。中。夢。張。博。士。籍。侯。主。簿。在。雨。懷。其。年。
 雷。頻。自。失。第。工。尤。奇。
 梅。聖。前。錦。子。為。勝。園。上。子。改。雨。作。逐。响。並。上。藝。聖。



雪。收。生。物。留。[工而新]

張。宛。丘。和。應。之。細。雨。召。同。物。法。障。若。若。人。不。同。[工而新]

陳。右。山。字。生。數。[右。山。五。字。律。為。兩。而。作。在。廷。七。字。律。為。尤。高。右。山。字。生。數。[右。山。五。字。律。為。尤。高。了。和。冠。十。一。同。遊。城。南。池。雨。這。些。寺。山。聖。潤。膏。新。澤。樓。明。納。晚。晴。[為。眼。極。和]

陳。省。高。雨。蕭。和。雨。穩。送。視。融。師。[省。高。五。字。律。為。兩。而。作。在。廷。九。字。律。為。尤。高。了。和。冠。十。一。同。遊。城。南。池。雨。這。些。寺。山。聖。潤。膏。新。澤。樓。明。納。晚。晴。[為。眼。極。和]

趙。子。是。晚。晴。初。風。落。日。憐。新。雪。細。履。小。園。欣。晚。晴。披。其。倦。鳥。分。暖。色。滿。地。落。葉。若。然。好。清。澗。一。鉢。香。不。意。院。即。幾。履。畢。其。三。共。於。中。第。一。策。誠。即。古。故。甘。備。耕。[聲。牙。細。潤。矣。若。也。讀。至。尾。句。乃。是。山。谷。近。此。]

雨。改。是。新。造。已。是。霽。於。及。雨。退。者。吾。所。欣。但。其。痕。苦。嗟。苦。意。乃。衆。死。定。不。移。花。亦。逐。旋。小。豈。要。終。

女一時阿松有字聖何後

密思：細尋生情通村：指摩度眼送茲眼併得
君為漢方聖仁尋第老用空字不香以為眼也此
意至此所用空字是皇此白區妙草色生毛極花色
魂小氏譯君之福你可尋味此中一併上不
苟勁瘦松後丁*

茶類

貴州有送陸羽上茶造以引陸羽明止是確確茶至妙處
在於水味空在何謂茶月圓三片為圓茶不在此是
氣味必不精也此則以茶家富為末舉一烏茶惟建寧甲
王心為餅茶一南人一日之富不可言其杯始人紅採餅餅
餅物買人又時入白土... 圖由

梅賾家建溪新茗正... 建茶為天下第一廣西修江勝茶次之
南渡後宮禁煙御日而飲用此品勝茶修江勝茶三
寸人亦罕見

名茶山建路廣餉新茶... 吾家小兒既及艾時必頻啖飲
枵腹將來地... 此茶... 此茶... 此茶... 此茶... 此茶...
吾誰速... 勸廚着煮餅餉地供煙芳湯... 此茶...
茶... 建溪熟茶... 不... 建溪熟茶... 此茶...
(俗所謂... 此茶... 此茶... 此茶... 此茶...)
建溪熟茶... 實勝自... 此茶... 此茶... 此茶...
此茶... 此茶... 此茶... 此茶... 此茶...

酒 九

...求取于人而尔者，此其所以不能饮也。吾者，与尔共
世，吾

杜工部獨酌。仰瞻象落想以憶上枯樂。正善獨酌
時心見如此凡為此與句模景精三為一。眼條
放漫清為佳了

白乐天不如本依此：相争与蜗角何如一牛毛。以言的
乃平易相争云：岂不奇哉！

二十 梅花粉

梅兄拾以爲周記、地大裁種左氏傳管子淮南子
 薛爾雅中言取實而已...惟詩山石嘉卉侯栗侯栢
 大業祀友小石、月栢杏桃栢如新、一言并一言無說
 菟穀及該友栢一枝栢遼果匠...分栢以爲夏月
 我因如...荆河記曰佳觀典范睡栢喜自江南寄
 栢一枝詣長安分贈併贈爲回...江南芝所召御贈
 一枝爲爲出、以爲君如宗文時范睡...大栢栢爲五七
 言果陳西大等...臣府及宗兄栢爲爲殆不口忙
 而一併一句、佳以爲笑...栢物在致知玩物
 則者思在活栢擇

陳君黎壽聖向早極極時靈共壽終始不相因...芳
意悅呈瑞雲芝蘭思合[肝血]千里之必能我旋情對

又果此三友同於款識金文子425子研建畫

松竹園表

此序見席啟富店有名家為上中
款新集收入者又標卷347

另黎大才也文与六經相表裏又漢芝角而延壽為大篇
詩險韻長句一字百千字而回是一小篇詩為如聖如帝
如牝子楊魁描毫蒲萄一句一字不輕下一彩雲捲
云橫一木大才松小詩有惟五言律為家雅一得此尤
難在詩為易一

元微之詩為喜聖略早梅一芳華先春聖因依上梅
一梅風輕不散見曉色梅一此一句佳者必
為聖先消梅如故也

彭公山詩見梅華而為九行字清遠色柳難冷意
再晚溪空水照曉日散蜂來一刊平誤一為蜂必
是蜂字皆於梅友隱為名空此曉為先暖必有蜂
採香但不足平每祝兒口

李益山十一月中旬至扶溪見梅老一徑路亭曉色清
衰一素素嫁與月唯與月為不饒霜贈志一手傷
離通斷腸為謹成半卷不得作手夢一意以
為小字改為崑崙一謂月若松而獨憐霜若摧
之而笑居此亦奇末句又以月為指也

朱慶餘早梅一天然根性異萬物老難陪一自在春
前冬闌雪用曉空寒雨霽香冷隔塵埃堪把依
新竹良園一度裁一張洎題項斯詩一張水部
得梅不涉蕊就朱慶餘一人親授至名流下外為

女廣慧語而虛左贊：

後蕭陳標章標司典國才及門項研。尤為各部所賞
生男陳門語人語派分尖此張籍以依也此合者固方
平而不買意以也發餘此為六馬乘脉石字眼不可不
前以乃僅選至蕭第一篇

後高已早梅已刺力建唐有齒為梅花僅足五芒。卷二
有九梅僅選梅花五步得十二芒其詳難數也某

梅至前紅梅野杏堪月舍山樓莫與憐此堪也乃
是不堪也善為多如此用虛字

教為被梅老再老不及此賞每款咸為聊貽月
好二之。情者分生多。再觀詩中鬼心朝昨夢中。
[又]為以陳后山勁瘦德絕而人不識此兩為皆
八句一事又何必晚唐處多領解後景聯堆塞焉物本
工於一字二字而突出此味聊

尤近：梅不奈雪埋思可堪獨漏香天竺生瘡栗日
苦乃嚴壯桃李為肥脾枯稿共老老老老居第一
獨自年年芳已枯李。已是枯的。似乎借蒼之荒以對
憐也

翁讀黃道上人房香梅。荔枝空照水一匙淨沾苔此
所讀永嘉の靈之也。乾淳以來尤楊范佳為的大為
傷月是如降而為江郎之為棄本心適以文為一甜字自
不工為而永嘉の靈院至(國)改晚老為家要島風在
(說)

凡高合月時漸染此後擬取播用孫名於時而
學之此不始見於日參心其名曰厥傍江面難處
而筆意一步不致少進... 然亦亦或學之趙為又神
仲也趙臨中趙南塘見才此のふ為後唐而為東
堂外直於浩大初念學の雪後以少為移為故為移
用也人多組織太巧亦傷太冗同時為趙度仲白之
可出入の雪小惡此近人詩之源成本末如此
為後村梅花意有婿與華未始始海棠此詩一作手
七中為詩方富麗以梅為丈夫而為華海棠為妻妾亦
不過一巧耳全句自是趣妙味也蓋梅詩不宜後魏後
村詩細味之極似此殆見

杜工部如裴建為蜀州東亭道早梅相憶之詩工部出於
賤微木甚窮矣中言常曉曉也這惟陳應山曰多法老
梅為凡凡梅字在詩中甚... 且不特老梅凡唐人宋人詩中
凡梅字者即便後魏標致他全篇多老梅為子雞形而
語拙實為可憐云

林和靖山園小梅 疎影橫斜水清淺暗香浮動月
黃昏工部詩公極賞之天下皆要謂王晉卿嘗謂此句
香與桃李不同也趙鼎坡云可為可但恐香與桃李不同
原由予謂彼香與桃李不同然疎影手看能暗香...
梅重前梅花已見群芳為素色不與杏花為紅

如梅花水邊攀折此中如與上喚是日受即口而然以
味詞或於七杜及治出井此溪如打鼓友并何數即
下六字可全用手口用而切于最上何不可
蘇東坡收收亭道上見梅老枝如香帶欲枝疎綠陰
吹盡一點芳心雀啼兩上自發佳。舊詩物著凍啼
梅南平昔憶於梅上此謬乃若不接懷在。舒宣石
石屏早梅二。未免枯即傷策蓄。此為詩上能可
故但少少優為枯即劣稱譽不必宣眼不識東坡
而謂吾所讀梅花即為上句梅中句巧。至人豈不堪
與東坡作奴奴附其詩於坡為心不以入正選云
徐師川庭中梅花不用用意為始端為上師川詩得疏
周王棧甚微至講此拙只雲詩二句可居此以予愛梅
以及之惟第句上獨梅亭。第句用不可人可
趙敬梅花平生欠油我的債。年終要還未
臘時須訪向已過正月為臨暮直豈用反主為
不同山間與水間却與閑處。庭梅目時自怡
教一會梅。邊果匪。枝纖瘦少尤佳。上
上苑。何。為。日。那。油。差。定。為。外。密
細看。那。是。古。花。不。是。山。谷。能。的。多。與。山。梅。定
等。差。二。上。之。作。古。家。尤。楊。老。怪。之。皮。又。一。趙。昌。父。曰

旧巷楊柳和馬公
子實憑誰識
如泣如訴
為之動

青石屏梅。集梅為差以。上。路。如。枝。如。然。然。
人家。此。多。人。已。道。詢。而。得。熟。句。極。然。而。自。然。
而。不。可。棄。也。……一。言。以。蔽。之。曰。極。然。而。已。……因。時。猶。
復。而。為。許。紫。梅。居。在。及。中。梅。江。梅。同。視。的。日。苗。
商。元。治。便。與。分。為。幾。種。致。一。般。多。淡。粧。西。子。嬌。
態。黃。面。體。量。現。小。身。不。羨。腰。垂。橫。玉。貴。本。是。嘴。
邊。飲。水。人。只。然。是。何。者。狼。藉。桃李。如。何。接。以。
塵。第。二。句。不。嫌。至。以。三。句。而。覺。至。俗。此。江。解。的。
所以。難。選。去。了。

陸太初。發。見。梅。與。王。興。人。向。誰。是。謝。梅。生。家。
實。非。花。轍。人。何。以。只。如。三。代。日。分。甘。投。多。夢。山。
你。穿。來。陸。勤。輝。多。子。說。列。林。連。六。費。吟。耿。
知。音。唯。陸。生。言。相。若。在。於。今。已。五。六。年。矣。意。
論。……後。生。以。為。該。梅。亦。比。若。不。容。已。然。似。
求。可。與。……必。如。三。代。日。分。甘。投。多。夢。山。
則。為。初。又。何。足。見。之。詩。……

二十一 雪影

魚。浩。出。和。張。亞。相。壽。翁。雪。撒。淡。如。可。撥。解。
粉。和。美。梅。此。為。張。九。齡。書。善。用。步。化。死。為。生。
多。撒。鹽。平。如。俊。修。引。為。宰相。和。美。粉。梅。的。為。
新。集。

（原）已改不復議 陳昭居士為... 然此山為之鑄雲親見
諸君如不取乃實論生二面紙中甚多也... 律為一
些子選一有互於各面二十的番花信厚為可備節
序之選面上餅乃云另知園裏牛採雪不比山茶獨
自紅又甚些樹上不下弱比一雪為可選可師山山谷
牧祖疎：一餅為不選此詩方餅自即名選之也又師
川為多老句中疊字七字八九如比可選可選可選

卷一 雪作 外國嚴集却甚多 執者諸君又不知
一粒紙窗似月多靜如波冷如水夜穿過我柴
門窗簾重喚來竹簾院修三白自佳情上如諸山
粉黛兒眉：[此可為南渡雪詩：冠] 十二月六日大
雪 為晚蓬山下點餘笑者六公起初居蟹壳簾
外其像綽花落堪為不極徐松韻垂力全龍我
竹歌擁地夜轉集短樂便了招徠南乘片
窗為映讀書 [格律整峭可讀 崇山為苦不滿
立處更苦你臺 窗格新晶比為甚好二字更改
去尤佳]

陸放翁大愛 巧尋簾鉤如相愛 手壓其梢欲不搖

二十二月齡

拙學初和康五望月尺牘 以月房然迎聽 約復有

月。卷之五。鏡。風。董。自。山。句。

婦。收。引。並。典。翻。分。府。漢。國。法。句。似。分。至。孫。子。美。一。同。
唐。金。之。游。月。卷。方。於。掛。鏡。卷。外。以。然。句。張。尹。將。自。
學。現。姬。取。為。信。已。鏡。外。一。解。若。杜。皮。之。月。港。胎。金。
終。了。

杜。子。美。十。七。猶。芳。月。秋。月。仍。國。移。江。村。楊。多。分。
王。元。之。中。秋。月。莫。辭。終。久。芳。動。是。漢。年。月。口。天。似。
何。生。也。

白。天。中。秋。月。萬。里。清。光。不。可。思。添。然。答。恨。送。天。涯。
誰。人。就。外。久。征。少。得。安。危。生。死。離。與。合。離。姬。
幽。院。晚。波。蕭。瑟。上。樓。時。思。他。來。許。人。勝。新。
玉。兔。銀。蟾。遠。不。知。已。照。人。物。斷。月。安。不。知。已。照。人。

雄。雄。今。也。

杜。子。美。中。秋。杜。江。新。楊。芳。月。如。柳。分。是。語。難。得。香。
餅。水。西。沉。月。彩。虹。已。杜。子。美。情。悲。情。性。已。香。杜。是。
味。出。多。哀。然。思。予。少。時。所。為。此。為。惜。乎。子。美。早。年。
便。為。壽。山。若。此。也。

柳。董。前。所。為。中。秋。月。夜。會。不。見。月。何。王。舍。人。自。為。
蟾。娟。俗。實。楊。不。須。區。區。望。刀。鋒。上。掌。初。為。人。性。能。
白。姓。及。晚。唐。楊。大。年。一。笑。而。生。李。嘉。山。語。滿。江。
不。能。組。後。故。人。已。絕。佳。處。君。東。院。而。未。滿。者。以。
故。錦。第。何。處。若。如。此。漢。淨。香。中。而。其。一。語。不。



近人情極此為宋第一歌公改為宋第一詩不
識曰極雅子美不學安言詩入李杜士域意
歐陽公乃西王君玉中秋席上得月佳句。綠醅
月照中力紅粉尤宜燭下看。聖俞如云。清入心
以代月也。此乃強之詞。燭下見美人。後於月下。

三十三 開道歌

劉禹錫送唐環仲敦本莊。地侵山。水掠。紫帶。露
飛。上。搖。鐵。牛。中。生。石。板。山。石。流。也。微。中。微。並
也。去。露。眼。之。流。也。人。能。作。此。一。碑。亦。可。以。名。名。子。
○馬。戴。居。萬。山。因。寄。絕。在。井。花。傍。也。人。境。不。殊。
上。絕。在。井。花。傍。也。人。境。不。殊。一。句。上。中。下
一。句。下。中。上。詩。底。不。可。當。此。五。言。工。部。詩。井。花。疎。黃
兼。望。野。靜。白。臨。來。上。以。好。○零。明。通。落。葉
去。勝。紙。南。破。坐。為。林。此。詩。句。一。句。不。足
果。輕。而。成。皮。人。豈。可。一。試。而。不。聊。

如。在。影。李。頎。新。居。上。詩。學。此。合。詩。如。此。上。可。列。也
必。造。而。至。於。費。島。新。可。學。又。造。而。至。於。費。島。新。可。學。不。可。學
或。曰。費。島。如。何。可。學。曰。自。費。島。出。入。而。參。以。考。參。
此。王。維。之。際。伏。在。於。此。向。之。體。上。○王。楊。處。士。居
此。處。經。琴。釣。詩。成。而。後。始。上。破。歌。上。句。居。道。懷。翻
蟬。松。當。主。編。老。本。上。第五。句。寂。僅。必。是。先。由。句。下。句。

*差人修詣眼病差也

却些些滋味口開居過門常去此病宅是蟬聲帶病
此隱苦休官夢已真工の句寄盧の靈亦學到此地但
印學要島未升至居乃至手口山中等友生因寄
始法信僧書方到城工五六好此費為斤兩種一不
連第偶切二不連忘果何三不連却只一可取日高教
○此日用居身南眠自久眼差視遠通差並就
夢移鄰是如想影工第の句好五六此為此粧遊太
刻而何工

王建開居取小婢偷紅紙嬌笑并白算工小婢自新
下句歷傷上句工
僧守昭贈影影某就全離母詩高祇叙兒工因以
共像對工

梅曉前開居庭是皆自飲醒蝶畫還來工若光
宋人詩陳陳黃德高以梅律獨鳴外發這梅對
五言律第一可也隱居人亦只為此而居工在太工聖
前平便是味工

林和靖湖山小隱詩和靖為予評在風含江望雲山詩
自和之工而解幽之氣含可也工

陳在山放懷：施鶴亭盡持經卷崔莊工隱尔者而
以在山居至中於望翠工在諸君必工



* 楊批後以用煙二空傍有石刊刊扁落如然此
 二眼與短枕不如上併拱後二空廣皆其識如星
 吳波自所中 呂杜為格臣家只舊語白為綠蠟就
 深簡高放情。暖。薰。楊柳。濃。香。致。倚。棠。此。氣。
 流。尤。大。起。自。十。年。來。文。以。整。齊。治。董。字。錢。字。下。山。好。又。何。必。
 多。多。晚。唐。工。
 謹。故。方。道。山。果。啼。呼。至。以。醉。意。噴。泥。工。者。不。心。
 六。帝。山。作。神。呼。○。山。多。擇。果。迎。董。子。揮。援。護。
 路。孫。[施。在。山。織。竹。護。路。孫。以。解。絲。路。孫。畢。交。接。
 一。物。上。地。]。○。北。檻。晨。展。至。拱。露。地。解。蘇。漫。
 廊。坐。久。時。用。卷。此。條。或。短。者。工。二。○。已。僅。五。六。以。
 燈。用。為。眼。却。更。覺。佳。工。
 葉。正。外。亞。山。[此。心。以。久。刻。名。拔。の。雪。而。再。興。唐。為。
 者。而。至。所。自。為。為。此。未。嘗。作。加。之。五。言。得。如。此。妙。
 你。引。遠。何。款。綠。何。稠。墨。淡。唐。風。緒。義。修。
 葉。松。玉。影。形。記。李。郎。中。山。亭。興。竹。雞。烟。庭。板。肉。
 捲。荷。聲。幽。與。魚。也。
 張。司。業。外。性。寄。王。秘。書。下。葉。遠。來。新。題。酒。君。山。上。
 皎。高。樓。
 吳。融。外。性。灑。若。名。高。何。處。西。楊。院。自。然。以。山。曉。見。
 郊。火。遙。相。送。來。懷。由。意。近。不。嘗。
 唐。中。西。是。居。崔。德。父。思。疑。商。珊。利。戶。名。樞。葉。我。開。光。
 有。身。就。日。發。不。如。神。去。舊。意。山。須。知。石。梁。都。為。夢。

浣溪紗 懷舊

東望金黃白蘭珍重橋中翠重池花因風月六開老
二三の東坡芸用為詞世人不知為產的聖詩也中正又為
一併此條故故杯中佳味去性樂隨清上花下句
佳

林如夢清湖山小隱 是法為相隨聖德の服為人六
東姑上嘉祐隱君子此為哀憐之人也

曉明色都了即多苦存盡法十分教只照厚意一片光
大儒子筆及大于詩者分可以詩人何目之五六乃物
外何你取

陳管高山中 西海丘壑告多師等第願堂何知得
噴陳紹雲枯之淡性去死与品居仁命楚雲枯計靈
居仁之法法而老知格調高遠第一老量之能及
會學老枯死參者而不可此乃小會卦君之語居後
等第一併盡法詩法以乎未會此立後學宜細味
此等詩分許了即者之如何一曰影東家醒正の極
天の江上此言景平五六遊時棟於其上為少而所以
還有安身許舞山所此高山峻骨格再張雖有授
死人力也此乃學問可及也

陸放翁山行過估庵不入 坦屋老蒼竹塢竹舊貌
愛懶重茶煙烟款款為客茶子乾疎誠苦心

乃不思意欲為纖細下工乃斜線不可但欲如
 雲松而後裁縫此為斜線也... 程子曰好妙不
 妙皆在標名而不知觀其模因中甚妙於模於疎
 緩之方想見標出用心之苦此所謂好妙好妙也...
 陳以高村石揮楊求定魯龍主遊破曉已通魚刺

送行諸君必出照此所行要德必照此語中是道
諸君可為微教極幸

宋詞意朝方何得印。將我榮德驟貌功不讓。理
工滿至時別是驛金騎侯。一用收軍驛一用人驛工
府以皇意發知事。豈不惜驛達至如驛為何。

此為會稽石剡朱文公為唐使時讀
波意親自雄健保無元後六句為佳最索至之句
意除引入意者竟無抽筆毫不惜噴達意為高
為心也。上六以中二句為昔又為元祐時讀此
杜工部遠銀功曹岷廣河南海表天外功在紫月程
此工部大分象坐此小為八句為石在下中倚山而西
差只の字為他人補綴費力多矣嘖嘖破破也
嚴武醉別杜二。求勅於蜀功只漸西歸私工為隨
不及考核之功建宏浦送之南榮高樓近者富貴難
為安自標於求為所作取取之

引江色家酒。動杯。然連吹笛。

金東望遠。遠。吹。笛。何。處。最。長。河。遠。如。所。步。離。杯。已。遠。
飲。而。柳。花。枝。一。一。吹。忽。然。飲。美。然。像。已。新。東。坡。分。
西。日。不。借。志。以。人。工。東。望。不。直。他。也。誰。能。一。此。色。子。律。
離。杯。已。遠。金。東。望。遠。吹。笛。何。處。最。長。河。遠。如。所。步。離。杯。已。遠。
昔。松。秋。日。遠。方。干。越。上。元。波。色。松。山。新。揚。帆。覺。
岸。以。

愛。浪。仙。遠。鄰。明。府。我。遠。望。武。昌。軍。西。藏。縣。三。年。
百。分。肥。優。多。平。劍。與。安。南。縣。書。師。中。一。作。上。等。宅。地。
如此。何。處。去。之。不。能。第。二。句。上。等。宅。地。

還。來。可。久。時。越。中。右。以。城。心。泊。北。國。曉。鐘。初。
訂。鑒。照。衡。規。船。窗。月。色。照。山。後。越。不。階。柳。
四。更。疎。日。會。他。調。舊。碑。來。何。府。上。訂。山。之。望。湖。
漸。而。足。聖。教。舟。中。留。月。色。之。而。足。聖。教。舟。中。留。月。色。之。
泊。舟。之。離。山。階。柳。一。併。也。子。孫。難。石。切。大。色。為。
紫。雲。金。用。此。碑。為。滿。水。係。湘。國。古。碑。入。宋。稀。疎。
為。可。嘆。所。送。二。所。集。於。后。化。取。一。一。意。為。他。
為。面。遠。以。此。凡。勝。十。首。福。不。取。比。其。善。於。以。蒙。蔽。
為。滿。紫。雲。金。用。此。碑。為。滿。水。係。湘。國。古。碑。入。宋。稀。疎。

姚。在。道。家。兔。枝。上。時。罷。陵。公。風。少。監。會。為。送。加。二。

辣子蒼意宜黃宰任為卦調。祖說宜黃改
 他邦總不如地。工呂居仁引辣入江西滋子蒼
 不悅說所學乃呂氏來此說就江西而何大抵
 道改間忌趙葵學王初廉宰該學東坡文
 子蒼說此皆陰學山谷詩云

歐陽文忠公送王平甫下第。始過失。去司取心。實賦不。君子難工。初分。梅聖俞同安於。陰所化。已。題文。白。江。楊。崇。然。其。在。為。甚。以。歸。為。祭。以。讀。至。文。過。一。熟。形。

也吾五言律為不張不漢自及一種蕭散風味此五言律
自然中足壯浪豪石因造變又喜言高貴而常辛若之
然亦不立議論而齊整源流如也...三〇已此

江西...

王平甫送馬子山給張外物外侯峯誰思張仲
民意重康陰以次

魏子由送張升臣諫諍稿守書外[周益公嘗問陸
放翁以作詩之法放翁對以宜讀魏子由詩蓋為家
之病思字對偶為過如此則為家而其味三思二於
之六面短於如胸中先為之其如難化也放
翁言以此篇益為欽本向魏子瞻勝子由在以此教
之子瞻皆博學其原何謂詩清海[公]退也老
而讀詩骨格愈老時必易學至子由詩淡靜只以不
拘字面多料之無而般意於下句熟至坡自謂不
如子由詩者宜細咀之也

黃山谷送彭子敷赴行車三首[籍]謂一詩功名心
灰此句乃病以元祐之時初至退堂子敷有滿子行處
其意渡在籍此亦小句也乎不在大抵山谷詩得者
而用之止多子戲如折衝尊俎不臨遠立好却犯
子敷名...外集中詩不可讀之不速為其位[外]所注
外園芥心然此等字面多料之以此而不讀詩意如
次初及[外]因遊王舍人園自移竹使園下至華黃碑

昔者十二為一移英園林田畝屋宇皆為宅行漢而
謂費田宛近同江漢款此館乃指才元心以較富
之東也乃視山為為時多之新之仁樸乎如此為一人
有費十年禁卡切等語為謀此意政多而例不如此
故為曲造事新中面上畢字生庚集新樣意為裁白
行意題致墨為意樓工鏡解連意為集故為必
自位何與人何作之地及某月於影目下吾為輕鉤
整暇此篇為致如如吾用以月沈意也在此
人不起知吾語而余獨老已

陳管高道客多城西安日苗川分眾色著甘其集
寄秋於此一併維何分字寄字寄工此然博士
卦瑞留令工管高為氣軍雄與模廣大為北派
乃英陳又取管又取元次乃呂居仁之俗勤為告南
庚戌凡五人焉

葉少蘊造嚴堵為師北使橫矢在碧傳地產為
園析木照天光陳君又學為仙半山然不林為淮
為主半山而陰抑題黃死正論也橫矢一聯惟西
之善檢之和陳君為之古至為是後四句含指後
通此一蒙忠義感慨論知為是崇崇華鈺銀述之
徒常能也

丁亥伯補造親城詩扇入國不能刺為婢子

*以鋪安諸佃典運二學兄工友乃暇也
陳氏已見王事停事

已是累生丈夫

別敗之遠王管之師大皆以工創也以為指湯口做大
欠科線他書堂欲收及至國市廟之安以窮死
王問之遂創工改之...外俠內悔作許多干渴
乞求能云

魏錦山次訪知^魏常學國造運送別。系木商學
秋老後有川申警岸客客。若何新書片信也生欲飲
僕命^魏魏^魏工大儒臨之知臨之小話人可白皮也

卷二十五 抄字字

在書杜七之得為中誤字...往之神步忽便臨抄字甚
多而曾能而峻峭...亦小出不能為

杜工部已上人茅面枕筆入林謝茶亦當客題工字
易平而仄道字易仄而平...訪更錯繼又入字道字乃
為之眼*

費浪仙早著影照上友人新居勸促常初致謝
信求末...口用篋收為卷楊林楊臥衣工字當字
信之物為為遠近更自為...抄字先仄而後字安全
平今為後通修也

黃山谷次訪答高子勉。久之我友得長吟君不來
以此對君君臨之字工也之欠我門句佳

* 諸君偶云

只此卷經張文階定食物與調羹不類當改從施

邱上拉卷子三件定夜

陳在山前負山居士。夏病有甚餘猶定己月利者名

昭來廣為句乃結多以此詩全在定字上着力。只于

三四个兩字面上轉極極好。意生苦心上已甚矣。

杜工部影增中院壁。撒垣竹埤楊中君。此

二句語相而得。是錢韻的試以。此句。此句。此句。

歌多實文。道字順也。

五十六 變法

周伯弼詩。法兮。安。虛。多。反。虛。實。實。大。為。此

の。體。於。是。乃。大。手。存。有。變。化。不。同

杜工部屏風。東。海。深。雨。露。蓋。蓋。西。事。生。朱。江。東

雨。露。二。字。美。重。生。朱。二。字。美。輕。力。以。為。法。乎。而。自。對

露。生。自。對。成。此。輕。重。為。第。一。課。也。

賈浪仙。怪。口。上。吳。喬。士。秋。風。吹。渭。水。落。葉。滿。長

安。出。地。聚。會。夕。當。時。雷。雨。也。上。句。向。一。豈。然。然。云

為。壯。乎。日。不。然。出。即。人。其。遠。上。林。苑。花。滿。洛。陽。城

也。其。變。要。乃。是。此。地。云。何。人。何。不。然。云。其。或。日。以。雷

雨。對。聚。會。不。似。杜。手。日。雨。輕。重。自。然。對。乃。更。乃

乃。但。謂。之。變。法。則。不。可。常。法。工。第。五。句。物。類。只。自。素

運。回。身。豈。能。逐。蘭。花。又。已。再。病。冬。新。他。少。雨。阻

故。人。車。燈。下。南。華。卷。杜。詩。為。法。杯。上。若。杜。此。為。法

多。於。七。言。得。為。中。變。獨。賈。浪。仙。乃。能。於。五。言。律。為。中

或是因字意也時必以諸字多不可第葉花二字然
 鍾味之乃珠君味以十字一事費意而一情一
 景自能明白下解便用兩字第病字甚為不切而
 意極切只是好的發法之妙也如往之清溪
 然雨而西松樹長太產矣而生隱矣了
 陳后山寄張敬隱金人東望多何恨先惜子美量
 陳益二字實第先惜二字字手日多枯而隱
 不第生朱君何后山又為預刻乃最但不依往來步
 老云隨地改矣哉刻中已分皆是此種第重了日
 老柏黃葉黃此語適稍上膠[此句用三字第字
 印句却與平淡不帶第字...張敬隱七言日白清黃
 存後張日新露生於互換錯綜而此尤為生為
 黃詩丁一輝之垂露點...張敬隱[淡柏葉之輝
 此句見之於如然此也試讀於月心於柏木此句
 枯云月明生葉露此句暗合前人的語而此更覺開
 門落葉你游陽之智木遙燒入秋山此句何為
 黃詩丁二
 枯二部江上佳句如海勢聊堪述為去為為海濱興
 為來為為為你然[以為為為為為此為黃詩丁
 又黃詩推廣云[九日竹葉於人先為分葉為為
 不為[此竹葉為也以為葉為為此為黃詩丁

有人此亦虛字上分着刀一 黃世白發不相故爲
 見黃世白發工白發人可也黃世白發不相故爲
 讀後人九日此其不以白發爲黃世白發不相故爲
 晚崇花耳亦是若此差見乃虛字着刀一

社牧之高山，性多難逢，開口笑，葉毛額，揮滿臨陽。
工比以，性多難逢，葉毛額，揮滿臨陽。
社牧之高山，性多難逢，葉毛額，揮滿臨陽。

越東坡遠去。霞光萬道。可憐此。上花園地。我也
 懷也。寧願此。物也。懷也。有義此。思也。懷你情也。
 一狂一重一本一往所談の家の家。安否。後處。又
 為何如。下台至此。則知。禁風。捕新。來。言。望坡
 四年。得。此。實。至。晚年。乃。神妙。反動。工。口。首。友。皮
 舍。即。有。安。在。橫。花。開。發。通。緯。標。你。梅。如。出。廊。吾
 塵。想。兒。生。浪。好。客。子。港。游。好。不。由。度。上。一。格。理
 以。滿。古。來。の。巧。相。連。今。人。却。忙。路。走。与。主。柳。隨
 險。直。掩。扉。上。此。為。長。護。他人。難。離。離。也。... 蓋。諸
 臨。未。可。還。向。一。步。趨。他。善。之。可。也。更。從。如此。靜。學。姑
 亦。以此。見。報。以。大白。字。了

黄山谷次韵孟郊中休官。素素明月光以素。
整黄鹑似好者。自以师李邕。示里中诸君物。
诗社遂成时。常宿草新坟。多友若。山谷诗。黄洪

此因直臣何汝德... 生知不厭... 月君... 持... 策... 恨... 金... 少... 學...
 時政... 上... 名... 學... 一... 所... 回... 餘... 錄... 比... 平... 者... 國... 名... 必... 花... 似...
 法... 治... 而... 上... 為... 規... 囊... 中... 也... 生... 知... 強... 治... 失... 在... 在... 無... 錢... 矣... 而... 是... 梅...
 年... 因... 舊... 苦... 費... 生... 眼... 迫... 大... 倫... 先... 以... 謀... 李... 輔... 國... 凡... 評... 語... 正... 分...
 高... 如... 此... 刻... 切... 拘... 泥... 生... 之... 僅... 照... 息... 晦... 不... 常... 矣... 又... 定... 一...
 輔... 國... 生... 在... 款... 大... 括... 可... 也... 了...

敬以流如师序接花。誰也早翠子仲由元散人非崇分
入家只在一揮斤山為發善用列以紀門變化難由聖接
花而微以諸子揮斤語此江西多愛...教文唐陸放翁福
謀而出此出此口少語人偶加醉鑄為次福戲詠...各
陳在山和黃充實樞花。後時何何恨憂揚不不憐
上是在明誤為象標不不不不不不不不不不不不不不不不
空幾未多知出此說之海人未知所出出為詩送何
力盡以此醉醉醉樞花語也款訂

常奉山種休休不與此界何可種休休一策靈壓
 要相換[崇山崇山谷谷]三時[所種休休]生
 以已種休休更養祖生休休...生休休時夜卵煨苗担
 明年[道善崇山崇山]毛象為其所誘脫胎換骨也
 祖為祖休休休休休休休休休休休休休休休休
 卵多休休休休休休休休休休休休休休休休
 休休休休休休休休休休休休休休休休
 休休休休休休休休休休休休休休休休
 休休休休休休休休休休休休休休休休

楊文公集九歌卷之四
崑山唱集陸張布山屋上落至強二宗尤於此始入

蘇軾文淵少子...未引金鈔而部全缺解如姑悉這尤甚即書社疏

楊文公集九歌卷之四
崑山唱集陸張布山屋上落至強二宗尤於此始入

黃山名景呈任方新 心以蝶絲遊碧海方如中國甲
化板板湖東一目誠堪玩 天下中分者方指上雲雲
用心忘方之態... 視板為眼而一一眼而死 吾心中
或化三分一語排棋各分路如也皆不可言了
觀王王諸醺多集 肌膚冰雪薰洗水香千花莫比為露
濕何即試陽餅日烘高令炷炷香風後微骨成在
遠邊解宜人乃枕囊餘分能為王王傳瓊產彩象撥
胡末工極律絕者有約九升不可少也了

晝夜智次酌李拒牡丹一舉如應酒院出花潭以不
有開。次酌李拒雙比牡丹。月底如應相伴移居
多是一般。酒翁各一絕寄佳句圖此是也了

王初審教俗食山茶。孤裁屏甲原。榮紅染猩猩。
龍之花王中... 王罪你天... 當麵學方以為替而陳裝
東坡馬馬笑人不愧也為應制此為未透徹連詩象好
故詩軟佳此山茶為之全用東坡句翻出不可不令學
之晚節君子知來時迎年字面分裂而新人女今終云了
洪浼範歡華。飄揚紅裙地。斷送王賓人
上天。下來問我客主。於是蟾宮詩仙此為性
仙而仙人尤意也又出於他往江宜可步而著引
為所不可少也了

有崇山名菊。但更出君常君子不應故其效其魚



趙君父菊潭水解於廣書又甚何補原系仇[崇義]之
時楊花而聲名遠少[此間]之[此]以[此]第二人也...僅白
此[此]...[此]金是[此]骨[此]初[此]之[此]法眼
別反村[此]之[此]少[此]伯也...[此]之[此]課[此]新[此]法[此]及[此]要[此]以[此]是[此]
此[此]收[此]為[此]社[此]學[此]教[此]者[此]手[此]終[此]不[此]運[此]對[此]保[此]巧[此]而[此]家[此]楊[此]輝[此]了[此]
[此]之[此]收[此]此[此]諸[此]八[此]句[此]法[此]立[此]保[此]已[此]然[此]上[此]張[此]學[此]老[此]儒[此]。[此]教[此]保[此]
[此]之[此]家[此]。[此]國[此]智[此]國[此]之[此]雄[此]聲[此]聲[此]於[此]年[此]之[此]在[此]作[此]祖[此]公[此]...[此]祇
[此]之[此]陶[此]羅[此]維[此]探[此]道[此]鐵[此]鞭[此]他[此]鬼[此]醫[此]江[此]痛[此]快[此]鐵[此]鞭[此]
打[此]突[此]臂[此]乃[此]事[此]子[此]店[此]法[此]初[此]以[此]用[此]法[此]更[此]三[此]法[此]以[此]定[此]獨[此]刻[此]之[此]
否[此]了[此]老[此]如[此]老[此]家[此]。[此]老[此]其[此]工[此]之[此]法[此]謂[此]后[此]村[此]法[此]者[此]者[此]三[此]白[此]巧[此]
兒[此]日[此]法[此]而[此]移[此]年[此]不[此]否[此]

三十八 陵陷類

唐明皇[此]理[此]易[此]魯[此]黎[此]孔子而歎[此]工[此]之[此]通[此]亮[此]州[此]東[此]望[此]保[此]泗
而[此]談[此]孔子[此]之[此]在[此]惜[此]不及[此]一[此]往[此]好[此]莫[此]談[此]此[此]法[此]為[此]法[此]
也[此]
杜[此]工[此]部[此]同[此]州[此]別[此]房[此]太[此]力[此]差[此]他[此]之[此]法[此]乃[此]不[此]得[此]至[此]別[此]如
壞[此]也[此]房[此]之[此]乾[此]土[此]低[此]其[此]即[此]新[此]之[此]新[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]
徐[此]君[此]惟[此]見[此]林[此]毛[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]
他[此]之[此]也[此]為[此]客[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]
此[此]句[此]中[此]新[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]
其[此]都[此]少[此]陵[此]反[此]石[此]二[此]法[此]更[此]痛[此]切[此]悲[此]悼[此]...云[此]房[此]產[此]終[此]不
朗[此]江[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]
東[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]法[此]

雜

為愛的當先之願。勢分三品。丹筆後。五錄新。...滿
源。昌明。故。東。新。既。官。奇。[可。讀。精。為。些。未。約。如。多。實。蜀
國。心。是。蜀。心。定。為。存。集。其。業。已。成。可。為。此。等。]
李。象。山。茂。後。漢。象。山。有。出。滿。梢。...茂。後。松。柏。雨
滿。[象。山。的。組。織。及。味。細。味。之。格。律。亦。不。為。為
此。的。謀。請。漢。至。世。生。諸。務。倫。如。此。終。神。於。老。也。]

卷二十九 雜記

張子壽初入湘中。是。唯。食。居。同。張。亦。最。然。此
以。意。之。漸。也。為。盡。口。初。友。也。江。溪。中。溪。溪。溪。且。你。松。石
故。治。修。已。久。多。素。素。胡。為。其。漢。心。我。於。不。思。別。物。冬
只。綠。後。日。睡。常。以。通。誰。能。知。此。者。[後。六。句。等。一
字。粘。帶。是。如。讀。之。以。束。難。妙。如。頂。門。鉅。眼。不。該。如
杜。工。部。江。漢。[此。為。余。幼。而。學。者。乃。此。在。市。井。為。武
云。杜。牧。詩。也。味。次。生。無。多。而。愈。見。其。工。中。の。句。用
是。天。夜。月。落。時。然。厚。增。量。也。以。情。獎。其。遠。同。臨
於。壯。能。通。入。字。絕。妙。也。此。為。不。收。只。出。吾。在。是。也。之
宜。自。比。於。昔。多。譯。不。能。取。通。而。於。以。知。道。釋。者。也
○梁。蕭。以。意。為。當。通。陽。這。用。兵。[唐。中。葉。象。生。都。只
成。就。白。香。杜。一。部。為。也。不。知。他。如。不。敢。多。枯。枯。時
以。為。如。如。梁。此。一。部。為。不。過。如。理。當。之。能。釋。影
詠。治。象。可。不。過。何。何。的。軍。山。林。李。造。宅。為。平。字。及。此
々。一。部。為。手。]



妙卷以爲卷五安在
其窮謂爲由病林共適處安臨少間時受也
3431 = 林共就
卷參宿南西客舍客由東臨許二山人。孤燈燈。
客夢空杳擣心然。離上思。語。以中。忙。許。由。
[燈]擣二字眼突。✱
漸平泛舟。黃。詩。以。因。月。十。等。多。爲。秋。[寫就妙]
費浪仙。普。區。山。村。性。喜。啼。喚。野。落。昭。昭。人。語。
云。霧。旅。味。爲。生。以。以。別。了。口。旅。遊。此。心。黃。黃。
北。爲。傳。舊。因。別。如。如。人。共。少。年。[頌。謝。共。多。臨。如。
風。名。客。遊。旅。性。爲。爲。餘。來。黃。僅。因。借。白。頭。臨。
程。是。如。比。但。晚。唐。爲。句。法。字。面。多。一。同。即。太。爛。以。
未。生。白。法。未。買。白。可。殿。也。了。
馬。戴。落。日。懷。望。游。陽。外。智。木。老。色。隱。然。山。[語。
諸。諸。游。陽。下。留。春。遠。燒。入。然。山。以。此。貼。然。致。
裁。人。乃。不。生。只。如。此。十字。自。好。了。
律。效。光。向。陽。客。臨。少。安。妥。病。林。共。穩。時。✱
江。蘇。遠。客。天。形。困。摩。國。就。色。露。人。家。[三。的。眼。而。
露。字。尤。妙。了。
陳。后。山。山。口。黃。林。擣。心。杳。客。驚。經。廣。鳴。遠。居。得。
環。水。晴。湖。半。落。東。[三。的。句。中。只。到。五。六。及。眼。口。
鄧。謹。思。卽。卽。卽。卷。中。夜。行。阻。使。向。津。厓。以。渡。



此語而不可少

卷三 宮園閣

鄭維玉惜怨、憤、悔、夢、擗、果、寢、怒、弱、極

崔頡、王、少、婦、十五、婦、王、男... 此等婦人各有別

但不知

卷三二 忠憤類

是不常治於是乃夢夢焉... 廣信新... 人... 不... 試也... 然... 間... 如... 江... 子... 我... 為... 何... 不... 仁... 也... 惟... 於... 荆... 舒... 浩... 東... 散... 門... 出... 何... 如... 也...

杜工部... 避... 賢... 此... 故... 一... 飲... 不... 忘... 君... 為... 是... 於... 為... 也... 一... 不... 痛... 惜... 惜... 人... 為... 生... 此... 彼... 生... 出... 常... 逢... 輝... 在... 鳥... 足... 以... 語... 也...

江子我... 九... 日... 夢... 里... 江... 子... 陽... 傷... 心... 九... 日... 來... 尊... 敬... 以... 腹... 菊... 換... 如... 固... 拜... 楚... 欲... 國... 周... 井... 協... 於... 繁... 茂... 東... 離... 那... 一... 致... 廣... 露... 和... 宏... 豐...

忘居仁... 兵... 官... 國... 如... 聲... 人... 交... 錯... 也... 左... 傳... 也... 如... 聲... 如... 訓... 而... 諸... 室... 而... 為... 也... 後... 人... 誤... 以... 為... 似... 聲... 也... 是... 欲... 此... 對... 於... 中... 矣... 矣...

陳... 省... 而... 公... 之... 危... 左... 惟... 江... 漢... 如... 東... 漢... 危... 如... 二... 俗... 家... 佳... 口... 同... 王... 意... 陷... 虞... 浮... 為... 難... 料... 危... 運... 計... 矣...

溫庭筠雲氏池上風雨。萍散風來。荷葉雨。刻時
 續翠。早秋江上。田望。溫池。遠西。吹。散。花。香。惟。二
 勢。因。秋。雨。雁。乃。斜。多。致。得。生。香。頗。然。似。刻。家
 漸。覺。王。梅。結。然。是。神。清。以。致。必。生。夢。為。人。未
 不。多。說。乃。行。心。暗。合。通。如。常。致。者。不。能。知。也。
 白。天。渡。淮。孤。烟。生。生。遠。楊。渚。多。圖
 陳。后。山。鉅。野。山。為。全。呈。枯。以。為。釣。九。丹。功。來
 於。八。句。十。字。之間。

筆。仲。系。圖。題。下。十。里。是。清。淺。離。行。此。處。至。此。搖。舟。急
 故。方。乃。又。寫。周。日。亦。周。旋。未。覺。此。程。上。字。多。知。在
 老。題。追。松。茂。葉。東。原。叢。蕪。條。承。款。石。中。以。新。荷
 意。小。塘。清。淺。無。解。意。吹。竹。為。風。魚。腹。肥。羊。腸
 前。子。像。淮。水。舉。陸。舟。中。只。作。村。遙。村。到。漢。川。苦。岸
 周。牛。分。角。馬。氏。蝸。已。六。生。李。家。山。規。轉。夢。杜。

三十五 庭宇乾

崔。顥。影。沈。隱。候。人。臨。橫。江。靜。肉。山。穴。川。長。鬱。鬱
 諸。臨。字。是。為。眼。如。塵。
 項。斯。宿。胡。氏。溪。亭。舊。位。松。枝。空。管。峰。萬。葉。香
 以。別。反。村。溪。盡。生。覺。春。之。公。拘。則。缺。

8也北个例谈记如收然举批同云常漫胸中性立苗欲知水上
 若人多命记云各解一纸就于壁子不读云十五妃瑞临公影
 刑部白名意云 湖南锡晚去童天与南穆生常祥师
 苗些恍小亲 犹未致提穿也惊豪、偷、吟、巷、第
 崑江外王皇即是答第取此为戒

子三六 论诗数

子三十七 投书数

子三十八 述外数

子三十九 循道数

莊子吟人之立也情...術新口此立相干不以理遣
 杜工部可惜善君乃底急去其去通列惜歎然
 地地死少壯的實心底是徐遊共善這為此立
 陶詩好寫生後汝期

白乐天放去華溪及知羅終死必荷靈隱國也景殊
 不那燔柴連阻雲可憐光彩何殊口感興而狂
 蘇詩入苦密知寫好寫死生能羅藝處先爭文手去
 物因至奈唯腦何惜前謬以獨人血暮上偷安並
 案我乃一言君死所為向唯君若人多

子四十 見書數

子四十一 子思數

白乐天何處吟為 豈料變成雲方若學以珠已暮寧望
 誰曉尔殘生...玉黃用子爪珠點點肌膚...[乐天
 喉的此子欲淺文也為人家形相形密些所不至晚乃
 所以如此子歟]



規畫卷筆元子五。分三批少陵九日當日
觀新方批又并卷陳在山贈王事修高子常批

卷四十二 寄贈

如合贈為文。遊時為要。姓較難以。雖為。贈張
映山人。原如。此。價。為。不。着。歌。
方玄英贈喻。後。此。五。字。句。又。白。我。蓋。曉。心。為。新。塘。
孫。路。明。存。此。五。字。句。用。破。一。生。心。亡。破。字。能。
翁。豐。舒。穿。紗。萬。天。民。信。來。五。字。好。忙。了。半。年。飯。
陳。仲。山。寄。外。舅。郎。大。夫。已。蜀。通。幽。及。此。臨。山。學。
冬。杜。此。五。字。句。批。後。疲。勁。情。味。你。出。晚。夜。人。如。
如。老。聖。月。禽。鳥。盡。里。竹。松。公。一。字。不。能。作。九。傳。在。
海。為。人。所。禁。為。不。能。成。為。不。能。出。作。打。
劉。後。村。贈。翁。卷。如。口。糧。度。尤。於。隨。洪。工。此。
改。村。為。此。四。聖。斤。兩。輕。白。之。易。而。磨。之。還。猶。未。榮。
又。四。聖。元。極。際。不。出。所。以。難。後。村。晚。節。為。飽。
後。四。聖。用。多。兄。塞。小。巧。多。足。味。少。六。咸。於。四。聖。如。
李。虛。已。次。韵。和。內。務。楊。大。年。兄。寄。次。韵。和。汝。南。
秀才。遊。海。土。只。寄。二。律。兄。字。為。此。三。卷。三。工。虛。已。
初。興。曾。致。為。偶。和。致。更。禍。子。之。為。二。字。而。吾。為。於。咽。
虛。已。惆。愁。遇。而。難。思。何。見。休。久。浮。為。切。苦。波。海。
再。假。新。篇。示。吾。以。既。堅。效。日。白。氣。予。為。此。
如。語。為。家。大。機。捷。也。二。而。一。並。不。為。不。必。二。而。皆。
翻。潘。分。寄。以。白。中。眼。為。寄。字。居。仁。又。是。寄。之。寄。之。

世金字強字乃用力筆之所在能字與字中須欲
用筆如白紙之教乃練筆之字不令其外邊已上
其佳况仙非謝朱子言乃字內之長內東面又倚
言之說果久乃又以此二人晚年為不皆著委信
以字為先去其理也亦在字抑揚輕重之間以之
為脈以字為骨以字為眼則矣之

君子勉 田若山先生 田篇為得裏蹄金妙者初
臨法務是要我為陳思子集知公全用字學心平
身為字生難子得勝新文也必位其後而身中
田若山先生此知者

陳在山及有田先生 悅如伏筆成和的意君侯也字
子思 田先生為神用字生新筆法作為考必善於用
字此於師中子向引為多用之何不可知只知筆修
商子策 貪筆大敢能無懼 強連修局而來云
田若山先生此是虛字為眼如生二字精神如
此善於用字在法中只點撥一二好字為明款
而知其用力意著之所至矣
陸子靜 和糖湖數校韻。

朱文公次韻 田若山先生 淳熙乙未朱文公年之十六第陸
子壽之仁歲子靜三十七第東第三十九第...子靜是時少
少年第觀之集陳王唐安兄弟二為詞之始不迎為然
識文為樓第陸先生又曰文雅子第竟浮況而文乃如
之河立屏后以還密佈沈懷借之翼不自悟...又子
壽為彭云 彭關不同知且文公年為二陸之長仕宦第
行益公在先而云不同忘年可謂信而不迫也此天下後

卷之十三 遷謫類

黃山以形影與山相用杜子美顏延之雜興詩不是
 能相逐此是格句法一語全杜詩為寫字山為語又帶
 知山為所以處還適而造益於其末也然但得
 詩而已丁巳十二月十九日發中興鄂渚晚泊漢陽親
 攜裁箋遙寄聊為短句省徂江夏好睡規隄防
 城工試通奇語論生動地即言枯的生动誇馬
 謂似作位升回也凡為詩必五字七字者實為難
 全不必求而盡字乃力之為難紅入桃花嫩羞柳
 葉新以入字神字為眼凍彩依細石曉雲含長林
 以依字落字為眼擇柳枝弱枇杷樹香以弱
 香字為眼凡出入步如比翼鳥尤精所謂敲門
 推門爭捷遊龍一字之富是也然詩法但以平
 雅晚唐詩家不修善巧入句出景每句中用一二字
 以為至矣而為全篇味所以為佳不當用實句實字
 而成以虛為句之中少虛字為二天下之真事地何
 小田畝以天下獨信天信君控制以信乃是二處
 剩餘諸字終無諫秘力剩餘終餘的字是二
 處皆高曰吏知臨釋日於君不欺臣吏知於君
 乃是二處他皆微此且如此當征江夏孫睡奴

萬物咸又分衆遂生遂澤波物咸物咸不物善有征
隆欽之定應播漸之命卦始不勝緩也分衆下林
育無不傳杖後抄白法一月一

柳子厚衡陽其落分路別贈...今始不用修別
至庚午行役濯纓...此二人疎慵拒物議先不司
及尾句又叙其意不遠別可疏...乃特寄書後在
上...人云...別在...一...授荒...手...句...全
...也...太守...此...大家...不...此...果
矣哉

白承天初到忠州贈李六...始在天...李...君...此
等...作太守...為惡也而...家...通...此

元...之...承天...之...知...通...事...因...成...之...物
通...司...未...為...大...集...未...以...朋友...之...蒙...傷...之...可...成...之...為
和...乃...全...述...通...好...象...惡...不...能...一...路...居...在...問...陸...善...而...立
...日...由...當...官...進...白...月...相...位...僅...三...月...始...終...古...處
...在...其...心...在...當...費...也

卷四十四 疾痛類

別...病...中...一...彈...客...見...因...以...何...之...決...短...播...難
...酒...和...淨...諸...難...在...當...諸...費...席...各...去...一...字...便...通
耿...清...秋...晚...卧...疾...客...司...空...檢...選...也...少...存...其...鳴...迷...集...疾
...於...榮...誤...新...方...工...藥...方...自...佳...但...藥...既...陳...朽...而...不...效
...為...罪...也

白赤舌眼病。張逢時景如老翁。不是景舌上見。白
證。為不可以陳管高目病為律。之然此亦其形容不
取舌極而取舌上。

李後主。病中感德。雖得年未甚晚。已集郵及病語
一。景語雖較它大。但極珍。此乎宜。也。或謂此
乃已至。大興。沒即不。然。至七。語云。竟歎。一。病。難。療。
及。晚。及。君。臨。終。約。羞。又。云。冷。咳。變。望。經。遠。路。靜。
憐。姬。尚。苦。時。巡。善。君。臨。之。時。也。口。病。中。亦。事。病。
多。苦。因。色。情。而。然。不。似。人。主。之。作。只。似。貴。士。大。
夫。也。工。

陳后山如黃預病狀。以。此。等。病。已。搜。機。此
后山為句。及。閑。鎖。字。及。眼。句。及。脉。帶。細。親。口。
陳管高。眼。疾。天。公。曉。我。眼。帶。白。此。語。
句。而。用。七。字。想。這。不。在。用。者。殆。胸。中。苦。事。一。至。
要。在。用。虛。字。以。輕。實。字。不。可。細。味。也。

蘇軾。次韻王元勳。同。予。皆。脫。此。等。病。陳管
高。目。病。花。在。眼。中。暗。為。光。陰。以。被。格。律。相。似。
善。用。七。字。相。似。但。好。胸。中。苦。事。萬。萬。惟。法。不。
不。可。不。誰。謂。江。西。為。多。種。說。乎。

趙紫芝病狀。身如瘦。路已伶仃。一。卧。兼。句。及。石。零。
餘。客。偶。知。就。送。東。野。俗。相。像。出。指。理。已。失。云。

又同老劉叔村同好者蓄推淨居話卷。不本陪安話座惡端
彈心方批為人如離至而居生空尼東刻心悔耶不果此
為此見欲而此心亦即談此為如人亦家亦誠口後更
東道系為持經...更為零三不...の望...七...
大家此話移不為效也

卷の十六 供の類

林寛少年、白日夢、區區、不再來、報仇、衝雲、出
致、破、魔、回、王、二、の、形、容、供、の、波、に、望、め、昨、系、沙
不、背、度、時、走、幼、圃、見、人、ち、此、句、以、戒、学、常、見
曹、王、張、上、の、即、世、正、當、に、話、不、是、来、也、不、知、乃、為、
人、林、寛、話、也、

卷の十七 釋梵類

所說經度、斷、斷、斷、於、挂、刺、於、板、為、指、指、指、
者、字、稍、相、犯、

王建、始、小、尼、師、新、刺、意、語、數、班、[黎、海、已、進、人、家、如、
兒、女、何、為、落、於、尼、寺、]

許、師、某、著、自、廣、江、至、東、興、往、後、中、影、映、時、此、
之、一、其、笑、廣、東、凡、地、為、自、江、但、太、公、形、猶、在、神、耶、

吳、融、客、費、休、已、以、馮、廣、考、為、知、武、子、愚、[向、永、

阮、梅、峰、秀、實、惠、者、言、話、不、可、多、用、古、人、名、語、恐、鬼、

傳、晚、者、人、話、不、敢、唯、者、枯、寂、多、矣、而、以、練、俗、
在、晚、者、之、晚、乃、略、矣、考、枯、一、

為、以、仁、叔、夜、宿、佛、院、梅、搖、出、香、夢、入、空、僧、

衣、[此、一、句、在、今、世、他、為、坐、學、白、塔、骨、骨、石、石、貌、
意、大、要、亦、方、批、世、江、之、句、天、以、似、似、不、為、見、和、矣、泡、以、如、

傳傳為姓樊川長生坐石為終死出同門人諸病
 8月48不食姓 *Joseph H. Bell, Holy Anorexia*
(Academy Absint, May 1986, p. 17)

死刻苦為世不如世：向理工
 周贊贈胡僧蘭話以持晚不服同坐禪背理來
 漢地不認勝色冬天工西域僧為此時乃相與
 巧之徒蘭語現中是戲言：吾語言之不可直至出胆
 勝地善所嘆為康第一食之不動念不空之能
 西大善惡似不悟：20休量僧因怪人也最
 食而私托衣在...
 僧生可遠贊禪師師岩山：漢實修造苦若友
 別家難工為始以庚著為耳是也然孝友沃於立
 ...而後出家者何至思然棄骨肉耶存此的以
 余忘之

莫山龍知惠供：如面飲羊腓地：[六張紙以為信
 信保還：卑臥同寫字照：詩末彈外得總入靜中
 平

僧父兆宿西山橫金：[凡此九人：諸學費為國
 禁漢書工密所記：學聯人之著：這但不及要：為國
 之痛：]

僧唯唐甲長禪師：[中的句皆工一字不苟金銀
 秤上分毫盤星也]

僧惠崇：[3分圖勢：善入火：是：僧：[理：暇：前：人
 二句：成：此：解：為：人：所：說：生：善：為：在：能：合：二：人：自：為]

又比又比以面少如不如後多

一、張上列也但不可全盜一海一詳其下
人欲權等致見。只係接漸飯些以宿極權政
稱瘦極廢可生暴象其一之律法可取一其隱
集律法體三二一其一略三致以風法後有雕
諸小技不及此。大片粗抹上恐過其量枯之細固
工欲不可不考其往回喝咄以為廢也。丁*
信元聲徑山。智如權斧重梳樹樹枝柔。江
信下信若下。言字夜聖小兒。丁
信自南廣園寺新寮。信不致高招吳心坐字。吳
泰山若厥差白口也。難知。丁凡如以知。講律而
不知。彈已為下笑。況應供庸。後為人使。明而對供
取資。為奴。漢不若生。解策。何取。丁
信善。珍。善。空。靈。暖。迷。悔。鑄。善。空。誤。早。花。丁此。等。從
佳。此。中。苦。也。等。新。自。而。欲。名。也。可。判。
信簡長。贈。借。律師。丁蜀。信。北。不。同。簡。談。公。及。兄。第
水。心。分。之。絕。句。且。其。係。友。人。望。望。以。語。此。說。是。也。等。此
隨。所。以。不。取。生。日。治。通。君。何。兄。等。漢。周。少。隱。人。已。妻。檢。生
白。治。甚。為。可。惡。也。是。李。雁。湖。集。能。解。出。皆。不。去。生。日
治。一。例。刑。之。上。一。快。也。口。簡。一。出。蜀。以。斷。位。大。利。交。費
人。在。治。庭。裡。而。為。罪。多。俗。士。往。來。惟。此。一。律。治。之
又。工。以。中。已。於。江。故。一。丁
杜。部。信。城。為。香。樓。與。官。同。小。院。四。席。善。字。恰。易。為
疑。晚。信。之。凡。學。為。五。言。律。可。晚。房。只。為。七。言。律。不。可。全。板。也

新蜀樂廣宣上人教區上...晚唐的詩於琴棋博學
酒竹石爲物皆一篇不犯昌黎大手筆也此爲中四句都只
如此拈括平易不用多不伏景不流物是所以能活些
乎此題在山房之雅結爲父兄之學而不可不知也觀
斯立以爲此皆往來太頻即紅樓院應常訪諸也
僧道儒賢日就井中多[車]向朱文公詩舒云覺能此
何及以爲終此語這可分別重些以爲後學在此
甚而見其爲白之平雅局味做成山甘道人真面
目覺能此虛語之筆可掬因讀山谷詩刻變格以
送之而力量不及業已晚矣楊項丁亥螺案年及
此詩以爲難帶二語皆爲山谷所作而人不能覺能
佳句經多却自是士人爲官更語矣其乃爲高僧禪室
語也...然說能才房上一時人物云

呂居仁寄壁公卷友。且君扇子舊法角一任畫畫紅
江西詩晚唐像甚然然處外及洪一題從也晚
唐像此不善早而又俗博而又通著江西之滑津
且如此詩五六晚唐決不落兒扇子畫物第物也
此自白紅名助第惟陳魯高妙以此法子

僧如壁次韵答呂居仁。我已完交木上摩君猶未
舊管城公文字不滌石身老在多結執双疑紅
二三の字拈句依晚唐人不肯下五六如拈香林決不
肯拈毫貽策如界畫畫如盤石切惜也惟鍾子

日月卷待望眸。徐教中翁要舒暢乃不食姑作。却
師秀一真姑云然然不食男亦賦此影為批。之靈
學晚店治能自而動
茶不盡用此格。心不甘於入派而更為其被。
太官樣要天下思。乃於予亦其庸。發也。

三四十八 仙逸記

素隱君系。影如也。王居。共知仙妙。素莫是。其部。事。尾
白月被。治。在。
白系。天。玉。集。張。教。主。下。小。女。留。何。容。得。伯。小。天。仙。生。來
七。六。年。一。回。眸。隱。能。移。阿。母。在。傍。道。道。人。在。理。
事。也。公。家。考。俗。之。素。品。文。人。才。士。之。何。何。為。事。
張。同。業。不。在。姑。王。也。素。游。矣。瑞。作。耶。該。博。婦。人。不
似。果。何。為。事。殆。難。人。也。乃。影。得。蒙。教。主。予。未。肉。乃。解
蒙。而。仙。去。其。素。之。邪。以。比。野。素。實。微。利。之。徒。可
賈。復。仙。道。孫。通。人。三。代。之。生。也。其。世。滿。觴。酒。也
店。人。素。為。公。已。盡。漢。而。樂。道。口。元。月。女。道。士
段。蘇。堪。向。黑。人。其。知。而。失。身。其。莫。如。尼。姑。也。冠。
口。始。道。其。自。彼。力。輕。健。今。年。始。夢。凡。以。火。氣。上。炎
而。下。不。實。則。夢。凡。如。仙。之。何。為。也。

三四十九 仙傳記

影。非。然。哭。鍾。將。策。將。平。不。改。兒。傳。型。笑。語。仙。居。乃
香。冥。我。馬。素。影。斯。引。舞。歌。雅。新。婦。笑。者。靈。功。赴
空。肉。求。為。遠。服。既。仙。仙。校。其。然。佳。寂。寞。一。家。善。名
果。為。華。用。為。山。庭。上。二。世。前。沒。村。學。考。治。素。為。此
皆。新。調。而。不。能。至。也。

笠翁十種曲

憐香伴

第一齣破題。西江月

第二韵略图。腹弓背脊手舞斗舞。(周以澄)红字不肖思思

三、本局先委被招人員發給臨時執照

第三節 就居 (曹语花) 慈云片帆輕心冷 浮家穩 (曹)

（丑）孩兒你終日忙的作麼？家也不好理，只是物人。

忠的才情切思愛弄。女子書本為德名分字品出閨門

一位你娘里头的姑娘终不以安標为个女婿。

第48号 (王仲毅) 同年九月十七日 中明 中明 中明

陈鹤琴的“活教育”理论

答：原下地... 三个肉包... 被

又腫... 以... 批點 (曹介臣) 竹觀堂 祿星 卮指

(何仲英) 謹此 小弟因不能盡位也竟勉承一

件 蘇林 常瑞 彭海 踏芳 邱 料 型 裝 承

1. 新桂東海軍訓練所見聞記 (二) 卷一
第六回 海軍 (以策?) 海軍他國海軍

第六期重刊：(崔英主) 沈有德 1947年12月
沈有德 著 泥男 丁 戒 烟 人 中 心 以 及 其 他 各 心 来

代國人堂說男子戒烟人飲名好七好戒烟
戒烟一禁烟此係許貴經瑞華巡帶國中

...[26] 一、高也记何何及陈陈... (中国)

来理德(沛尔考)约根他有个峰来待我出此

面就方纔全以爲下如个只好出个團團榜

第八齣 炸藥 (汪仲義) 一般名爲炸藥的炸藥

陸家莊曉月是海運集琴學官編藝書樓藏 國公

(常)虫生原号香名十个佳者九个生 [横批]看个一以

總勉強美眼已朦朧... 羅. 拼字下謹生受做
一个草中(新出)

第十二齣狂喜 (范介夫) 娘子... 俗語說日子若需像尔
和那个小老實你如大只晚由同聲共受的情來不
在相分爲獨宿的淒涼... 娘子說些這些小生偏
及這重若苦... 要飯就是喝一張紙不吃飯的包
批分象

第十三齣福笑 (王仲襄) 次官熱發相外去依
絲米炭不相開 (曹卿) 小姐你真好个会打字的
秀才 (周公廉)

第十四齣借媒 (范介夫) 为生命 ^{成慈} 者魚思繞列
口那然學又相也 (張仲友) 謠浪成情... 雲裏芭
蕉 (范介夫) 我本此心求好子誰知好子迎人來

(周公廉) 是花呀... 只恐怕紅雲不利白虎相冲...
周郎何計落天下爲了夫人不折兵

第十五齣逢恩 (周公廉) 只這如此些言片語尚平云
(曹介臣) 好古怪因是一篇文字 [張仲友作] 那方
半幅字... 該圈這反半篇要句點出的也沒得...
是了教初是初胸中生物據理批駁此文
始文也... 見如大只因改否奪了是死不說西施
變爲媒姆了... 欲點子情抬加圈字多不曉

第二十齣緘終 (曹陽花) 數了這你只曉的相
思二字結束由却不知曉的懷德二字的分辨在肝腸

女七角仙傳第三回女生是陳用策策搜檢好了看唱卷
生欠來帶花並院內監臨笑這中院間知國地周中
夾帶文卷多再在薰門內搜出書一搜一卷末即是戒第

上男兒伯叫仙仙情從不從席上教兒的仙仙總

第二十六回 仙仙校 (海) 宗師第一世女學生字大如松讀我

狀平反欠分曉。此詩信口來情即運着粉末兒 (小玉)

讀書女士漫神名替的文章文樣疼腹內性膨脹

海女月經上第一海女教刺 (海) 海女教刺 (海)

一葉點為地一即一中生去守忠房早到紅藥能如此

一日影他十二張 (玉) 玉龍後錦六周友人不下

一葉 (仙) 仙生世世同稀南時織仙仙仙用天增這

心製新衣 童阻

第二十八回 (周公夢) 我如六物文字捲做個爆竹

的樓寫得此坊時命塞在薰門中就是神仙也

搜檢不少卷不妙舉...也虧我當時盡做乾陽

預見開闢了這座名山以為今日龍蛇地昨日的

來試一試竟是輕車熟路總的知道子騰何當

便益為的臨時作法隨及了力士也要贊許

多字還之功

第二十九回 搜搜 (象) 明喊搜至屠醫後醫

介) 怎麼這個相公是馬尾羊兒的 (周公夢) 那

月脫肚痛腸痛為緊動不出的 (象) 搜出文介... *

搜搜藥上介末喚介) 是那裏這字矣 (象) 象多節

這卷文卷是薰門象搜出來的 (末掩鼻暗嘆介)

血淋淋的羊兒

(周少澄) 晒氣是个晒氣。舉人中的苦味。劉怡老面壁
科。搜出文庫。現在。黃天少心。株。抄的白。為判象。
外。將由紙包封塞。在案內。以內。只因。咽喉。皆。謹。
味。以。一枚。小。屈。這。著。舊。文。字。原。要。作。性。成。精。系。再
經。伯。因。坐。席。終。款。功。這。不。這。露。以。寸。楊。梅。我。硬
夾。並。不。密。他。是。漏。出。風。浪。息。這。著。那。些。搜。檢。的
冤。家。搜。他。在。松。板。出。3。月。中。丹。桂。年。半。會。去。清。功
認。他。木。樨。扇。陸。展。開。釋。氣。滿。堂。衡。敬。一。堂
方。吏。幾。乎。恒。教。試。官。五。十。板。挖。肉。云

風求風

杜潘度生人。以。第。三。一。口。滋。一。口。姪。一。口。詐
第一齣 見。仙。的。蠢。蠢。男。兒。希。然。的。發。是。雷。車

甜。是。苦。

第二齣 離。色。如。珠。如。玉。可。憑。才。貌。作。穿。窬。千。多。能。敗。世
貌。美。易。傷。軀。昔。所。慕。情。感。今。要。紅。顏。運。送。這
乃。那。些。不。正。氣。的。婦。人。或。是。暗。遞。佳。音。約。我。在。仙。漸
端。以。張。其。友。是。漏。搜。信。物。說。他。願。做。的。屏。次。西。君。小
生。是。个。師。母。少。年。却。不。是。个。輕。薄。子。弟。小。生。只。知。這。離
毒。又。生。就。這。副。軀。魄。為。後。二。字。分。明。是。受。之。於。天。這。个。色
學。是。如。何。作。的。列。祇。(圖。丁) 這。樣。少。的。明。威。封。送。來
他。也。不。知。許。多。一。口。火。情。就。造。出。个。毒。皇。孽。障。只。少。佔。來
坑。儒。好。老。心。人。所。同。不。分。男。女。分。比。雌。雄。才。即。改。局。佳

人貌美女暗生良子郎

第三回 續前 (第一娘) 姊妹姊妹家嫁。粒
造。月因胎襖粉面如桃。白麝睡到五時再一睡。
變了。高時主臥不來。嬌生嬌 (第二娘) 姊妹肌膚
我發覺。黃粉。肚皮吸鼓弄靈香。波俏。到曉伸
拜五尺腰。欠嬌。高時主臥不來。嬌。雞抱。 (第三
娘) 近來男人。好私偷。不遠。明。如。大。羊。苗。再。門。隔
女子。傷。多。以。我們。那些。嬌。都。去。走。小。路。了。所以。把。我
們的。生。意。弄。得。這。般。冷淡。 (第四娘) 更。更。男。子。一。路
家。是。黃。臉。他。的。作。錢。又。好。車。道。又。省。近。來。的。風。俗。又
作。興。這一。樁。我們。高。要。生。意。大。多。傷。不。如。女。子。男
粒。才。了。奇。門。只。再。良。路。... 庭。庭。大。路。路。... 告。諸。祖
溫。爭。就。燥。 (第五娘) 那些。嬌。家。一。定。要。訪。一。訪。名
名。方。纔。下。女。要。曉。白。妓。的。招牌。都。掛。在。外。
臺。士。口。上。他。們。說。好。就。使。你。道。這。款。來。... 也。來。白
嬌。家。又。考。到。不。過。口。裏。說。好。他。這。不。信。... 一。定。要。那。說。好
的人。自己。嫁。過。某。家。方。纔。作。准。

第四回 續前 (許仙傳) 心似天高命如紙薄...
我見到你家做了海房得新人進門。讓。他。他。个。正。堂
也。拜。堂。不。可。 (吳。敬。生) 正。堂。拜。堂。先。來。分。明。是。埋
伏。爭。端。為。後。來。爭。端。之。地。

第五回 續前 (曹夫人) 一。定。要。兒。比。潘。家。方。同。子

*這丁巳亥初為...人...他太...
建這...人...分...本...在...為...區...難...的...你...要...金...朱...一...方...終...
百... (曹...婉...淑)...要...把...潘...要...付...給...鍾...鍾...匠...便...他...松...貌...
的...成...美... (曹...夫人)...親...三...五...正...當...佳...洗...愈...二...心...漸...減...寒...
不...比...男...兒...三...十...條...為...壯...驗...未...白...乃...呼...即...

第六回倒... (曹二娘) 做朱...計...女...婿...即...誰...料...天...災...
遇...血...光...理...張...成...致...長...猩...紅...滿...褲...襠...將...朱...包...果...珠...
紅...棒... (曹一娘) 做...成...妙...計...女...婿...即...誰...料...天...災...不...可...
讓...步...瑞...款...毒...癰...正...騎...馬...癰...塌...生...不...於...那...槽...教...頭...只...
忍...痛...並...熬...疼......七...夜...驚...驚...被...上...新...黃...色...肉...程...仁...只...
馬...擄...了...被...宅...去...置...黃...色...女...官... (圖...) 我...是...他...的...智...乃...
往...孝...女...家...來...婿...都...是...區...之...替...代...只...要...他...有...這...個...重...名...
就...是...你...云...云...女...家...的...長...子...難...道...當...此...要...因...睡...不...成...

第七回先... (潘...安...蘭) 我...想...這...法...記...多...要...說...的...朱...須...
要...用...個...友...向...之...計......圖...維...星...眼...漸...暖...修...蛇...一...聲...
行...者...計...上...心...脾... [眉...批...石...子...錯...才...員...錯...理...員...錯...學...問...熟...
讀...仁...為...乃...能...為...此...近...來...吃...不...為...者...不...誤...兵...少...但...用...野...
戰...亦...何...工... *

第八回... (曹...夫人) 程...位...讀...士...分...條...案...不...作...
唐...伯...子...要... [眉...批...快...的...傳...了] (侯...是...情...興...高...成...以...腰...)

第九回... (何二媽) 十...個...婦...人...九...個...如...不...會...見...吃...
胎...裏...有......是...個...二...胎...年...化...不...過...廿...の...五...來...他...父...親...用...牛...肉...
舖...舖...買...家...私......馬...三...分...半...把...收...近...四...分...的...姿...色...
...西...夏...中...年...把...收...近...四...分...的...姿...色...
...老...生...子...胎...滿...至...缺...一...個...大...毒...死...的...時...候...胎...氣...

參觀知錄子28天燈中1馬車之錢云又曰札右三
四句)

第十回 冥册 (朱衣使者) 前寫淫為首列孝為先這
由朱衣就是上帝所定的條律叫做約法為要...
(香巢史) 子為父立倫之始... 這種秘密易以白獨為
淫一舉列在惡之左凡人不好... 亦無君用示其諱...
(又為帝君) 朱衣代講 (朱衣使者) 在語云父母豈不
共戴天... 殊不知受害的人胸中隱隱恨還不以
及博出未做那幾件致討之... 至于那邪淫快一
之淫心敗為家名節為婦人在一徑強行終身不
能前視為男子在長袍短衫新設為其由伸淺
這是說不出的仇恨... 憤恨滾上直於天...
所以教人... 惡的淫淫密似陰間這是害
身敗名裂的果故也... 惡淫淫密似陰間的淫淫密似
陽間也是難的昭彰的果故... 善人沾福為
賞惡人沾福為殃禍中謂為大福中謂為大

第十一回 心經 (呂鐵生) 淫自淫向多難悔如
話不投機且腹力 (許) 六叔因林多愛魂 (呂)
半林拿冷半林慢 (許) 告歛如便形苦同 (呂)
強歡應知倩 (許) 只恨

第十四回 拐暗 (續) 他出門的時節各分付
一句... 這是我個好朋友的我出門馬車皮包工夫
過來批... 近日見馬車上藥家... 君親堂
止婚姻細語平話此移切中時弊

for Tactuffe: "des envieux mourront, mais non jamais l'envie";
"l'jalousie ne meurt mai"; "d'envie est toujours en vie."
8 Mérimée, la Double Méprise, ch. 3. Chateaufort to Perrin:

第十七齣 貼括 (許平法) 是雙喜男情引黑石姑塊
堪胸的不磨... 後來官府加刑 她的罪犯原是
男兒項

第十八齣 因香 (品梨生) 溫柔以小姐拘束... 紅紅
愁緊及同則是 [批] 女心不以此出如此豈第 那的不
令人妬死 也是令人妬死 欲殺不能 是情理
亦不足怪也

第二十齣 阻兵 (殷的娘) 這位男子你休想獨佔
他也不許 竟拿來三股均分 這終是個金銀
[三股改為二股] 勢必攘奪 中又解天下爭端矣

第二十二齣 (殷的娘) 這位嬌娃是雙錢銀
料想是說不錯的... 在後邊佔好 其錢銀不費
要席我許後可替你畫策 (品梨生) 如此這般
比心曲以為重為要 (殷的娘) 你這今日對三位
大娘不住的出時 短款個個人不足為光 做了戒

就要病病來 終日不言不語 不茶不飯 (品梨生)
別樣可羞 恨由來 那不茶不飯 個個却只怨難
... 是不飯死 (殷的娘) 替你賺些人參 補藥 救些
些不住的吃些 下食 甚是不教他果

第二十六齣 墮計 [許仙倚] 日現出來 豈能信彼列事
... 管後有果 書的成報

"Dites-lui [en l'air] que de puis quelques temps vous remarquez
que je suis triste, que je ne parle plus, que je ne mange
plus... Il est bon qu'elle sache que je suis amoureux
d'elle; et ces prétextes de romans ont persuadé aux femmes

"l'un homme qui fait et qui mange ne peut être amoureux"
(Romans et Nouvelles, "l'Épigramme", p. 324).

呼豈 玉搔頭
第二韵 正德天子不盡空象生情破玉刻玉步過緩
...誰想的海運寬少而施而多嫖嫖六宮豈誤不
於盛面此安客

第五韵 好國 陳林江子子這堂新到策(王人)
趨東放東在也當...他要上玉象就撒梯子的
能他爬到頂上爬不上去只怪上帝玉皇不本梯引
與我這撒梯子的等干他要刀地象就落地回
何能他走到底下走不上去只怪(同)地(府)不來
迎駕與我這撒梯子的等干...賜姓為朱(呼)為朱
子象再換朱字工夫幫襯他求他把朱字換做太
字...如此這是皇帝策片本來就是策片皇帝了...
發光帝為三穴計弄人饋贈為洪船(劉瑾)
外面及个也象此他是坐的皇帝呼唱家是坐
的皇帝象站了這幾年也及些脚踏了如个正安想
坐

第七韵 策閑 (馬不進) 嘴尖唇薄象虛燕呵卷人
有大卵腰高拋象棍下不象團棋乖滑饒自得
四手是人教...把戲戲叫做策...把他叫做
策黃兒的分拆不再相為表裏的意思(牛河)聖
曲曲子火向箭。編盡也唱門徒弟教東家也見招。
面家也見趣。門下不住的鳥急叫(馬)口玉難道
我也是鳥急不成(牛)象道玉帝你這玉皇玉性

50年庚子第十三回批語解讀

(馬)他口前借口少不得是接客的日子難道封了褲
 福這多不來 (馬)三姑以心相妬 (牛)有人封封載
 人生路 (朱林)好打心原本安妥的錢片竟是他
 鞭做爲這等本自結實

第八回 綽號 聖象幾般輕物多 民間一分大
 匠訂洞房用破戶花燭報新姻

第九回 弄兵 演習少不得這聖江山不送與後卵的太
 監定送與河卵的小人

第十回 講書 (王守仁)鼓力行其案教送步講
 書欺人一要談兵機先提出本末忠義若不辨正是分
 邪正一位你授以四書賜寶劍教做了殺人的凶器
 一他那裡於未露集俺這裡早已見策

第十一回 贈玉 (馬德)相思病不的丟反終生望
 山只在眼前便思...傷春集日便思然展未了的眉這
 眉皮一休性氣太多是祇罪你太厚皮 (王德)
 如奴我淚洒離先魂道所收 (周二娘)這然你
 花枝般到處留少些麼毒蕩芳利把袖扯衣塊

第十二回 贈玉 (廣白)何千古一人只認真白野於曲在
 是前人所短遂不許後人見長只是理乎了

第十三回 傳像 (朱林)皇帝果然與個太子的象一
 望的皇帝死了也是教這基督的皇帝死了也是教這

奈何天

第二齣魚婚。(廟里候)惡霸不叫知恩作伴恩形常
与鏡為盟...我眼不叫金腰膝反的毛面不叫金
肥也多是新...口不食吃急中云常常雙雙...生
二十多策那老屋月機關金生來晚自在道吃
饅頭也及三个口裏做祝的多如何不揉滾一揉
演...良宵美把銀缸照最在相逢是夢中

年轻的时候。(老眼来)谁对娶着的夫人竟是
由于这娘母...这五的姑而不嫌是他短中一

(素女)自家素女人是也方傳七人勝僅為國...幾通
毛西報着生希呂素花之號 忽見月西思閉案這星月
月之宮

第十三齣軟語 (何氏)恨昔瑞興部女兒時已
說新人第 (國) 侯咳咳上) 怪伯給米清漱
為在宵新表 誰交 僞僞 娘子 我知你朱祝為後
享了為少煙燭大日星三粒那這破客份...一連作上
許多掛不說君這腰疼頻來快燭形推他朱疊
捏他果下...腰斷不常推的好被你這筆尖極的
指這一連捏了幾下又捏上火來了沒君人主這裏和
你做他一個 (何氏) 現在要朱勝痛了這要來民
已經 (國) 便做這腰手去痛我這要疼而且
故說請介何嘔嘔你那里嘔平去吐我
這裏施而為故...還不曾解帶裳衣我這
裙襠裏面又早為好一放...毛心朱照是失還

第二十七齣錫鼓 (地官大帝) 不是他為了紅顏為後
為命只為他應該為命所以罰做紅顏心但是
紅顏婦人一定該嫁給酒鬼

第二十八齣形變 (變形使在帶并建雅乾等物上)
小神紅顏乃上帝娶的一個變形使者又叫做一
匠的便是 (道春) 冷水泡熱卵香湯洗臭人 (國)
你在這裏伏了我今日這個案比不的往常要像那

猪鬃的一般一造洗一造刮就苦求思是疼痛也
说不止

即请坐一望(関)为荷(果は不登)(果は)義食

第三计 借刀杀人

樓中展

第一回耳十 (柳城) 堪笑我读人吉士, 反自悔矣。

第五韵结集 (预结集二考巧叠博一座暗理致房
勿马路上人见佳场上唱世故烟因思德抬皆金以
神速为主致致在旁旁善巧莫知何来斯巧巧巧巧
槽漾隐在旁旁旁) (鱼吐烟介尔掩鼻介) 俗
语既已如别人的屁臭自家的屁香如人分二个及些
番鱼象思所以岁不才。

第五韵书果(张明)访名媛 卷六在街 都是些东

曉便效西家鄉村壯勉法昭陽歌

第十節 離德 離別容易復返那地幾上型係

總共拼總共共添慶日部陽松淚必收

第十韻 惡主 (淫荷) 肥田 胎母生來如不許

就王貫衆亞 (小號) 這等我曉得明日要來的

若是這樣像你這樣著腳像你這樣大年你像
 308 第二十九期

三〇八 第二十九号

品清海款每路烟款、呈帶大賄、沽先
送、思与沽者、在通明、凡人曰可、緩习、

* vagina 下風等語 21

你這樣多我就要他若是一些不如你我就要出
是同年你睡 (淫河龍王) 兒子臉面不耐煩. 堪笑
未知人子娶妻難. 庶幾. 這番決意讓子. 漢久. 漢
數的高徒定不煩. (淫荷) 豈但.

第十四韵 抱烟 (淫別語) 歌在家中淡菜香. 何
你又買新鮮薑. 兩味同看嘴. 張. 嘴只終由
惹款由鹽鹽.

第二十四韵 解婚 (錢塘君) 我眼睛裏定不
得這樣的友人快活打及他若要除心上又來
拔眼眼中釘

第二十九韵 運鏡 (歌傷語宮語免鏡既高列戲房
候暗時形止. 務使確鑿陸離. 全教在奪目).

[緣治字台序. 俗人所傳都說. 多. 甚. 多人. 龍. 蛇
之. 但. 淫. 河. 小. 龍. 夫. 也. 一. 旦. 而. 轉. 謀. 運. 之. 安. 一. 男
子. 苦. 故. 而. 為. 仇. 儼. 要. 於. 大. 道. 不. 可. 謂. 執. 死. 乙
也. 李. 子. 以. 雕. 龍. 之. 才. 鼓. 風. 化. 之. 鐸.]

[總評. 俗. 子. 惹. 海. 平. 一. 地. 惟. 說. 如. 月. 龍. 宮. 上. 月. 妙. 筆
翁. 先. 生. 合. 其. 多. 而. 信. 之. ... 可以. 破. 壞. 柔. 壽.]
比目魚

第二韵 耳熱 (男子跟幼童. 智反. 挖. 臂. 嘻. 笑. 介) (山. 童)
誰. 能. 比. 些. 差. 不. 要. ... 討. 人. 的. 便宜. 莫. 搖. 爬. (男. 子) 我. 見. 你

換括不上就像推車的一般推你上去倒說我不好(和名
槍拍長大女鞋一隻穿著大鞋在袖內)二男也混雜不弱
戲場如着會着燈出及妨長屋教堂翁即着為這
能及你立不伯以是帶卿譚目訂

第三齣聯班 (劉伶仙)我的姿色系好又廟二郎
神保佑...與男子相交時時只當也是做戲一般
他便認出系只當強把三兩綢繆這卷為談話已
就是守節三及三句必訣傳授與你譚妙...
叫做許者不許吃許名不許笑許謀不許信
但見男子和與婦人那種告懷實意不在粧皮靠
肉之說即在眉來眼去時就像吟經人遇俗衣點子
使他肉香不可容他下筋一下了助他的心更就完
了那乃這種乘涎唾吐的交乘來向起開...
那三句秘訣總是立未嘗善手造生及他小主
射財為意思若要大坎銀子不與他做這實他
何及曲為送份

第六齣決計 (譚楚玉)同伯他的父母...因伯
極窮不是取(名)節為善射財是橫而移之心已
為得價而注之地

第七齣入班 (劉文卿)二郎神是做戲的祖
就像儒家為孔子釋家的如來佛是家的
老孝君...凡是同班裡面及造暗昧不明之他
就會發覺出來大則降災降禍小則生病生瘡
(劉蕪妮)怎能扮廣姬帶演千金惜一個家

女因譚楚玉為爭

重慶早已成名，莫怪姻緣多錯，記到場生
且也參差

第九折草札 (譚楚玉) 誰想戲房裡面的規矩……
極偶難中，又及極分別的玄處，但凡做旦的
若天下之人，總可以調戲，怕怕不同，班兒見例
調戲不……又說及个二部神單管這些閑事，影那
形，海難眼熱心難透，似這學教名皮，這就
是粗難也難，說是真難，味

第十一折抓餅 (鮑素芳) 你們這樣人，差誤的
樣，放樣就是抄呼裏面，也及些不通難，這新
發个字，是生來難的，那新字下面，新字上面
就求不个字，眼透么，(鮑)是我們不知多少
个，以後加上一个字，叫新字，就是。(鮑)既然如
此，你們多叫，我給補了个字的如

第十二折肥醃 (慕容介) 拜發要个新絕
不要拜了，寫字又是个官尾

第十三折揮毫 (劉伶仙) 只是暗地門來，須要好
生看，(鮑素芳) 頂上以上日子，決不……

第十四折利道 (劉藐姑) 別的孩子，是上場
是下場，上場要費力，下場好躲懶，一我和
他个……是上場物的是下場，下場要避煩
於上場好做夫妻

第十五齣儲亡 (翁藏姑) 忠臣死於難毫不到
臨危反笑 (生外四未出) 財主為金色使人忌
老翁

第十六齣神機 (墨公) 那些蟻帳蒼生·分別出五
湖四海·那些蟻帳小子·交與了萬古分

第十七齣征利 (翁維仙) 有欲其情是懷家·要新
便把面來卷·做甚么當年共榻·自家骨肉尚如
此何況區區路人 (外五德) 笑說端莊紅上的
目前段段教你施恩就是吃下肚的也要用盡
誰下去吃要匯你的出來

第十八齣村童 (牧童) 謹具壽口一張奉申敬啟
晚生牧童聆尊教·我把·笛子吹的現來權帶
做祝的敬示·少喜·打喜

第二十一齣像隱 (山大王細作像扮漁翁元榮容
介) 要人說煙像埋這是隱士的典傳也·叫做
形露影

風箏誤

第一齣頻年 (蝶戀花) 好容易來由錯誤·判阮
紅雲空刀馬空路

第二齣贊策 (韓玉勳) 小弟平日也不十分豪爽只是
見了這些醜婦不由你不豪爽起來

8卷被王楷以第17折攤玉批語移案白
 *張繼記中引第17卷批語多處即與案之花
 東海友人拜候樓為話子二便案見為繁記瑞等及長吉的庚

第十三回 夢醒 〔夢何嬌〕門公在那裏小姐說
 這香時不廣扇暑不必珠不團聚不整紗又粗綠
 又帶綾上起毛絹上毛通襖挽不時共鞋面光
 呈尺共費細紋銀一件用不的時去換的束帶的討
 樣吃〔信口〕說來自成玉理自全姑約為款起
 程在共不解願廣白中第一白也門公小姐播生
 介)寧可以以送客送這一次倒送客不的(韓生)
 小姐小姐沒果一冷批作可有只陽和麼(小姐)
 你那些批作我已賜和過了...我的(韓生)一時忘
 了...一心想着你把這都忘了得我想來...這
 麼輕重年天地...這口果生是平家為我部這金
 銀來試你學問的(韓生)畢竟記的這等是個生括了
 (夢何嬌)不妨我另有个救急法...佳婿既逃誰
 代聯牀此別石一先生

第十八回 報怨 (韓生)幸與你為常娥愛少年

第十九回 詠婚 (蝶夢)這等夜起來是川知已
 吹火木行船極省力的了

第二十一回 婚南 (戚友先)臨江仙(蝶夢)收
 檢馬桃大且浩新淡策莫厭舊煙條*(在船
 良家同年同月更難同(戚友先)第一句蝶夢人
 美若也收糖粗不擇歌傷也者者兒錢面不不像

兼定日也石梳士子生此的寫咏俗物淡策一紙云時美分得每
 形差石比方上由並同者年華也見在共不他例从H. Barlow & P.

Barkels, Norman, ed. E. G. Dingwall, I, 276. "Muschel und Schnecken als Symbol der Phallos ehemals und jetzt" 又作
圓圓第七的圓氣(或我)教人家去教物人下段鍾米元漢

他說的這樣像項(和小姐)我市我民的一年不見你怎麼就這學去惹了(朋友笑)供狀分明不致誤報那人去把我替名置那人便比我當
完好

第二十四的學漢(小姐)若是容他麼不如許他
娼妓許他娼妓又不如容他偷情(朋友笑)
今天我夜先之容家二小姐已了私情再思量
要小教他生个不荒大的甜癩大團圓了要小的
好伴

第二十六的拒婚(小姐)那男相寫這衣架背後
寫魅之的發好聽力(朋友笑)要月香伴伴與與為鄰
第二十九的說美(柳夫人)這船兒兒於神眼

未識冰電玉際人

第三十的釋終(尾跋)……惟我悲詞不賣終

一夫不啖是多為
意中緣

黃燠介增令乃

第一的又志願增到合不由天別馬路改學院……
作此明言要幻恐官可免拘牽於末世議不目前
天只要在人情能

第二的名道(董玄宰)史文告月牛馬走我為楊
却受華使……除死名最一個國控刀人帶在身邊不
怕已明自己應酬可以怕就打發的就教他代家



大才晚香堂小品子二記夢乳
月經不調。當大人為菊香小為女。士修。並。走。蘭。因。彼。先。是。為。姑。女。士。楊。友。友。修。至。於。知。果。為。德。淑。能。詠。氣。為。蘭。因。集。出。試。以。律。至。無。一。知。友。友。乃。句。口。輕。信。姻。緣。就。王。中。自。輕。言。妄。為。後。學。可。笑。也。
第三節 夢乳 (楊友友) 如大位准之中張外喜畫的像
友只是下字就呼字落墨就叫畫了

第六節 妖國 (是空) 杭州的和尚要娶當俗漢
多央人迎娶。要被他討了便宜去。不知道的為
和尚。睡他的妻子。知道的還說他性和尚的
苦。還偷把銀子買烏龜。做這也。就不來。那如
人又生一計。生比尋个没人道的。做新郎。此他看
喫。不沾... 這這是个脖子靠肉的主兒... 原是為
家子。只因嫖。太。為。惹。了。一。分。柳。毛。擔。累。人。在。那。話
兒。上面。結。了。一个。腫。毒。高。根。火。圍。的。精。光。人。說。他
是不消。圖。割。的。太。監... 替他。取。个。混。名。叫做
黃。天。監... 既。然。新。郎。豈。不。為。要。宿。歇。理...
故。摸。奶。子。親。嘴。兒。也。甚。妨。 (黃。天。監) 自。在。是
朋友。事。不。可。短。一。果。珍。李。也。不。消。摩。空。歌。品。字。何
須。做

第八節 先訂 (林天志) 好一似賊漢生財。賊漢生財
第十節 露臉 (是空) 誰教你做這樣。偷漢
盜... 偷這等子。偷子。向。東。男。子。白。面。 (楊。友
友) 不知。奴。家。為。孝。主。像。那。一。位。古人... (黃) 叫
做。張。敬... 那。一个。不。說。張。敬。畫。梅。以。上。 (楊)
張。敬。所。畫。的。是。眉。眼。的。眉。不。是。梅。花。的。柯
(黃) 他。是。个。觀。虎。的。人。或。在。兩。樣。柳。會。畫。也。不。可
笑。也

日即十二樓之十一生我樓

...結我出个大茶肥肚裏的巧機出脫了媽這
來做的... (敬發大嘆介) (楊路介) 為什麼不放
交印咁痛哭頻來做的做到這地步怎麼可憐
... (黃) 何天何地這樣一搞一搞被教教
一哭就哭臉不白... 把眼淚叫做淚
珍珠珍珠的還沒及這般適用

第十七齣 毒証 (是空) 自在道來話語：像糖布、像
不會念經保你和 (黃) 也罷、詢多因知多
苦彈冠不以掛冠高

第十八齣 呪咒 (黃破衣素帽上) 六月莫大監軍
時黃玉成

巧園園

第一齣 問原 (西口月) 浪播信音八種雖來一
派虛名同時自肉自批評、媽教共泣第鏡

第八齣 題詞 (風黃承) 憤臨踏預的心緒

總羅色睡怕身困 (形物着介) 閑之睡力磨至月之
何窮窮君子淑女好連... 我也用毛話答他、會
顛倒忙眼我也会更換文法... 授我以博識
抵之以木桃... (銀標)

第九齣 (平小樓) 我个要傷終來做反畔他出銀
子買我去做驢父

第十齣 金銀 (賊賊) 力大能搶劫 賊多善制
說果鍾三次信及你一象第

8 第十二樓的窗櫺橫橫斜斜不月而窗簾相似
華於段玉初侯於都子

第九齣交詢 (賊院) 於一個婦人裝成一袋只
論輕重不論好歹那隊果年所

第二十二齣說金

第二十六齣爭嫌

懷素交

第一齣造端 (蝶戀花) 年少性月性多素如
月多時看月偏少祇為李端慶未拘於如
江花說 這樣懷文差說好可惜元人个都
3. 若及之六這多素這字定不影月多... 祖懷文的
又又端甘為懷文此字面的郭蕙娟終也起結
最多懷的侯永士變作改移君心的蘇中翻
成懷程 [全篇] 此劇文懷文第十折款款
折於呈以多不更出看此一盼了

第二齣造端 (華) 也知好色但不如蔡向
色與好鍾懷却不鍾偏外以懷... 畢竟要又
造端如段金而為一總補的个學教人

第三齣論心 (玉) 人生切事貌如花既已如
花也通能能佳。

第四齣出花 (郭蕙娟平院) 名妓常以里理
名士慣打的了... 相公屢次院我思以分飲數
紫揮帕上新為又厚扇以佳語權... 理惠促分更
只及懷金未短... 止靠一穴生財の性五發靜注

第十八回 贈妓 (韓母) 習武學人如不學武
防身策如由爭

第十九回 平惡習 (侯姪婦) 男兒性子生年幼
娶个妹婿為愛高不分惡習伴他眠叫新
求就良人先守為如笑我家男子習了不三不
的妻房偏重那閑多人的婦女... 青天白日
閑了門不是做那把刀正做箇公(潛語介)第
萬婚緩二植衣先輕後重也(侯姪婦唱)招搖
姑介)這不住响你着就係搗蛋盡搗大藉
的一般一下重以一來初到這般地位可不落
教人也想着他知情愛是能高如低、中與
還是先你反疾似這等狠也、不肯面餘才、生
得把旧鬼看石碎... 為甚么正叫兒山崩不
足相阻、難道那(侯姪婦)家伙另是一種刑戰

第二十回 首母 (王母) 古語道的好家不分富教
富不分官軍

第二十一回 雷憤 (卜康民) 自從落任以來不暇
理為飲酒口能綢繆民

第二十六回 棄舊 (侯永士) 往來飲作望徒子浪
受人向好皂名

第三十一回 悲憤 (王) 這要寬心纔是(聯)心
兒也這一寸叫我做何寬心本



第三五齣全終 讀若人書多樣如作後世學
入珠連珠後果必稱瑞士老學誰能不腐儒
鍾二乃戒姜無今事作後世珠細觀此也
若他著一字批評妙在都

朱翌新仲 猗覽察 疑記
洪適原 談治立見 起因原甫

上
枯牧之云四多為是後制...何不思之也...元微之
四皓云...東帝竟不嗣...呂氏謂因與牧之意同...吾
祖元作之皓論亦教仲堪亦指之立仲堪國語
立極有理

轉云自坐獨學...臨...廣論云...用...市...凡...
好也

常談云五維有入神小鞠鞠之時如雪中芭蕉...
洪云雪裏芭蕉...此是皆以芭蕉為雪中物...
如是以冬大雪芭蕉自若紅蓮...開氣...洪作...
時未刻...款外...中...不知也

東坡記教大集句云...餘...駁...何...用...
鋪牙我用以...何...在...入...為...
以...錢...破...吐...
疾風知勁草...久...
若...方...蕭...
南史...
唐...
李...
李...

林通云草泥竹斯索是木呼鉤翰馬時人生海
一燕集外啼於木上上啼於草中連鉤鉤
人併生此禽豈偶也主誤
樂天云鐘鼎三千兩金釵十兩以言新妓過直
用胡公腹上金釵十兩是下約較五文是次
一人出捕十二釵金外釵以爲仁香日行也
世以死時穿爲死履不知是死履穿也世以買
爲死履穿也蓋蓋楊蓋楊樣二物也世以爲
注文選云

介甫云日者爲少者模陳又云水坤河日模陳月入
嚴爲李爲山小辨玉沙模陳黃煙怪集女史其
祖爲云模陳居下所宋翻龍爲主人日影日
狀傷多徂君玉林模陳日得君漢模陳在模
供約父的法道云誰說始厭世基址是影後
番五行志何曾曰因得此始厭世基址是影後
用字亦必可也

子厚云日者草飲自徒又云並亮是持心人飲年
又年也又言持心則知爲年此種相爲年並亮費
唐中書位雁與並相及燕來則雁往並雁
來則彼云飲浩壯並巧相連

男入臣曰入妾對君上稱男女別也今婦人妻狀男曰
高某氏是以婦人並男子稱也男曰奴女曰婢故新婦曰
奴後常向婦人曰奴爲妾人送稱貴近說其由碑



分又月稱曰奴
毛嬙白焉恭恭引搜神記以為獲龜救女嬃晉書
以為養龜人竊名在賈充之外外傳也此以
傳為正恭恭以故小兒誤如此

楊鳳苞傳九秋室集

釋頤見治為之誦也其意欲以為集直欲誦通
大雅吉甫作誦是記其如望本紀祇誦功德又群臣
誦功又治臣誦烈左傳又太師歌巧言之為太師
(師) (歌) 古讀為之誦誦之又此為之誦也說文
誦一曰誦訟漢書王莽傳賢良策誦誦著功
以

安王直問其說為也其名乃可說也全晉庾亮表公
之口南單惠帝在賈曰南思郁詔喜曰馬致便會
詔葛曰收虎謝在葛詔葛曰收虎便和葛曰收
要羊騎馬王曰傷首

南鍾逸史跋七自古宮壺之浦雖未及於漢網在地
... 意德而主邯鄲鼓瑟以縮舞新年太液吹笙以
蹋歌溫室南庭盤於小吏臥客房於掌庭楊花
入周牆... 榮條四散... 金輪黃采塵... 惡玉環
續魚網... 為新... 此... 中... 華... 之... 不可... 故... 天
水... 郭... 欲... 修... 宮... 故... 而... 納... 祀... 儀... 浮... 媛... 本... 提... 鞭

※ 論文收錄及學集 34

之降后適情位能難禮地訪、明記天下三年
別解鮮香房之滿後密告新改之理即度險
禍不、若多貴妃為其人新貴妃李選侍之改淫
寵醫為時而梅生私授

三

南達逸史跋九、附某氏讀梅鏡詩書後案*

與許君士方、讀宋版字本此改後為宋版、即況授也供于
府沙市中訪舊作睦親坊下...又宋本之注在事

五

記莊廷鑑龍興集本末、已詢山學文、記門口記朱佑明

朱柏廬紀略

七

續清夜詩、無歡大王共差立於人本居

古智然、臨急新恩、皆唯憐故鬼衰象中於自厭況
改便君窺

九

與如前訪客施二、為才因部劉三、舍人相范の要士錯
族弟旺經知新、送和玉兒都似因謾談紅粉
劍累力

庚



又欲為雄直由不潔貼清為別裁三十所錄之在送時

李鍾鐵 曉策集*

進明子傳 步山崎桃花子時一匹騎半徑或沮以多席
進明子以日少見為性此古來固以人為性也

二

洋琴歌 曲中深名善也 飲露飲露凡果時良工斷之
解作片之聲中點破瑞日雕月磨決少深點加雲光
模の不出中坦外如凡甲田連尋此寸際新飲並
松金樞指帶滋毫毛靡紋為定玉粒淡揮喘喘
夕風眼低飲雕隨語片銀絲緩弦二十六一弦一
腹肉別琢香檀生撥多彈律惟橫弦下伏琴
絃共多飲銀甲似但怕檀撥程批腔齒牙彈
總絃上端不知空調何由治一輕盤飲響
唱之愛吟浮落新吟隨碧眼苦工一再道款款
北窗天南江為肉中國聖人樂和且平抑按漢
濁留石片洋琴不性母多唱便人不後形古情

三

晚過天城寺君老梅空勒拍舒葛老蘇半榜楓

六

此生終三事為望溪老人作

曉策後上

朱城玉周已峰自肆門欠為賦贈可憐得隔於及沈星
易故人梅芳老客死肆門至遺文成多第唯臨悲哉

那蘭長海匯川 雷溪草堂為

效元龜山詠詩德句 博馬溪竟語不思整子獻七字
解此以天木果拉此為中必詮入禪宗不二門口轉為

8 評修定與白雨詩詞話相表裏

陵歌五定論(也)陳陵片石以何主相花林新此
常懷尔後信吐詞聲口寄託友心是北鵬玉溪五十四首
無年印悔錦瑟詩人會枉把意衣作却箋

陳延炯評詞則

序擇要尤雅者為石餘詞一區為一集名曰大雅...南
幽雅化相遠雅者多於在人間也...雅是以最
深不強執是以深及大雅而外美取...放歌...
因情...詞調...求諸大雅因是餘師如進而之他
亦即有於放歌因情而調中求大雅

大雅集

周邦彥王樓臺人也居汴口江之南情似西陵系
世繁(上年乃不強曲下句情不能已)

周密微招唱短髮已甚為物西風吹帽

王沂弱高天集猶缺道入西幽短福防後出
曉倚石山色重疊都秀(香解夢為悲國破山
河空於時情也)口香陶香自如不愛生芳草
泣過高不欠天涯更清他幾度東風策皮虎花
無限衰然一片愁腸反收低回不能自己以晚
白石之暗香疎影亦不遜之其不吸詞要是乃幾以
加矣口詞乃碧山而詞乃香以香而高也故不可生
一不韻只一詞法莫必於唐意詞雅莫如葉於少

女教習上三集舞着解師今月以內集(不歸黃九郎也不
 歸七不可也不知東七不知玉四集遠南雲面目而不信
 蕭子如原身以為姜文良里四初語公多犯此病竹垞首作傳
 游月孝英超於白石詞造莫高於碧山法重於詞北)
 名氏眉峰碧鬢風雨愁通久爾外道崔嵬裡
 分集上心頭滴(一本作分以集上心臨滴
 增一以字不獨於調不合且便分字精神全
 失並集上二字上屬贅疣是)

劉基（明）長明面明也。是伯溫。劉基已失在立降。
 元升庵輩。珍由新字校。案為不可。珍於大雅。
 自馬浩南。施園仙輩。出法。明分錄。珍世立置。喉。
 以末陳人中。能以懷。老。淳。信。潘。晚。之。神。也。以。
 代。便。祿。高。手。然。說。四。新。語。至。已。難。因。日。而。珍。
 更。何。論。者。宋。某。

五
朱彝尊(朱陳為家世外月中已整年柔魄滿懷雄
面未歸你店竹垞稽月漫程西果達削削
到於月集云二大素七黃九電可並行外若九並外
素七何以不歸你店即玉田論此境氣滿道
為於竹垞獨取聖魄始見閑情集中若大程
集分不取(監監也)

博維精(柔)舒總大骨力總面烘謂之痛甚
此兩只是「夏」字餘不及細說「渾」字沈靜
然在四形法中不偏不推為大手筆。此
雄俊難求此字教手若欲加以評要此書
(註氣快)

8月20日所記 / 張氏國選 / 張氏國選

便乃哭過難辛唱與中左惜翠... 生是詞壇一
霸 (詳見放歌集中)

原題 (趙陵竹院樊榭三人員初出時在宋
吳外別開天地而不封吳範圍必不封陳朱因
此正欲樊榭與屬為調口樊榭散懷於陳朱海
月是寄境也雲山海近在視而不見骨體必從楚
論宋如老澤甚饒而沈厚以味終不足也口樊榭
指詞家雅學在循是山非你店去姜史不盡也)
口玉漏遲 (樊榭詞與國選竹院趙陵上)

史承謙福至月國痛失外生舊怨。小初他從不斷
越文想意城路必柳。長亭在色。莫更同當時並
昏常曉。語取空枝。只共誰月晚將繞
吳錫慶以 (沈太在話張文比宋疎高境語不若律
張試帖工雅詞出漢如雅正秀色為餘者在
話張文之右)

黃景仁 (仲公於月新促憐似不難在話詞選
時解一為兄作字餘皆至飲矣) 惠風光燭
張惠言 (詞選一編乃稱精當談及之語及過我
竹院十信於今題亦以此為家中小莊歸不致
為吏在月中大較都為話會溫東家博一燈引成
顏氏比耳)

蔣春霖 (鹿澤原為南宋詞家話中尤近)



廿白兩高月話公詳說萬卷詞嬉表叔改為吾父從
母祖

集噴第作院自謂學玉田大廣漢出陽一處也
詞三國初而生五乾嘉山段乃揚莊中自費
乎不不及全華文仲修公賢以古為化庶澤
初迎於華文莊漢古西才集也雄間錢
中(鍾(表))

譚駟(汝崇因昌骨甚高)澤多生達窾至胸中
眼中下等時迎招不為為陳朱波兒不甘為
玉田慶近時刊入莊中白者全幾以加是必
則譚仲修也庶澤臨工詞者通者沈也)

莊械(中白)為余姨表叔至湘家際交番根祇
無你實能超越三篇為案与屈隨滿于符相
表裏自良詞人以東罕見其匹而實至伯不愛
必發源於四時小雅出入於淮海大哉而
寢饋於碧山此中在詞家慢不發到原周楚
變云緒白石碧山各出標榜山南東學漸造上
百餘年鮮與知在白石若朽一云皆悉詞以不
然至淡解語超而求能老於底蘊然必收古
工功於於若朽必也成於著庵乎曰甚盛
事(遇本係一十年後此詞久不彈其不語於
其毫心也如快多)○風風處世恒吹角
(始終你純純是這路交相遇不果非所屬

就面何君於善史) 〇水龍吟 著唐詞名手
路函獨不及陳朱諸公亦不運楊易崇郭儼
依輩狂爭傳於一時也 然此皆不若之輩其人
學業將末云不精不忠云云今已出書家如
於家宜病否

放歌二

辛棄疾 三十一

三

吳仲業(梅村詞學力甚南唐嘉祐中亦昇平極市
古樂可指梅一幀) 〇滿江紅 蘇軾 風靜旌旗
瓜步月明鼓吹喜佳復算光年天塹隔長江
為末也。

顧貞觀贊郭郎寄吳漢槎字在塔(二詞他以
性情結撰而成至吳家工結構之巧於其餘)

四

陳維崧上九十三首(壬午閏秋力雄大布說千長稱
軒後一人而已板橋心餘筆極力勝鋒終不能望
王項背。國初詞家所以也陵為巨擘後人每好
揚朱而抑陳。庸可俗目不徒一嘆也)

五

陳維崧下七十一

六

王策、念奴嬌 謝曉秋恩。浮生若夢可憐比夢偏惡者
取西去斜陽也如客立不容多移國。



对仙不包知至人在并并失至名之為登府也
*此出非大白作至人已讀金小長恨影身
3白羽直注1板橋大湖云少年學佛中自苦趣華年學佛對其是家
謝靈運(板橋洞寂為生探海快德力自不可及若再加
心造詣氣便可亞於迦陵)○為江仁家
我夢揚州便想到揚州夢我(一氣卷舒却學空
點精神團聚如此因非心餘所及)
蔣士銓(心餘詞素粗力的夢及支撐不來處西
暢不及迦陵上云板橋甚遠)

馮柳東* 一白兩面洞識了七世此
吳蘋香(公大傑業實為家世一讀方知)祝英庭也
咏影曲南低深院鎖人晚倦梳鬟恨
出茫已覺比身墮那堪多事黃昏後
刻又添上影思一个最是那孤燈無主憐
卿不解憐卿又書窗依伴以生算來誰去
應難避時為思索掩却鋪床推卧
別詞集

李白清平樂 曲伴莫話孤眠六宮羅綺一吹香
生石媚展遊歌在道道** 夜長夢事被得君
祝英庭本二
宋耶玉樓春為君若使動斜暈且白花向道晚迴
柳永夜半樂凍雲黯淡天氣局每一葉寒悲臨江
滿一(此篇廣新最妙如西洛江生下道乃江老
溪下漸曲空乃是江路人語一方未依村店也絕欠怪
神絕見通人絕見悟世已信村店生因悟世而

解離性...他西新詩寫道(西歌...)

周邦彥瑞雲吟。唯及舊木外。娘兒像如故。口開
河令。更有人去字靜。但照壁孤。燈相映。這
已都望。如何留得來。

毛干滿江紅。但寫來。憔悴惜春心。兼覺
留秋國。一掃。慘外。憐的。綢繆花。也要留春住。
吳文英。夢啼原。傷心中。里江南。怨甚。重招。斷
魂。在在。招魂。結句。魂。去。時。其。在。江。南。之。魂。時
衣。江。滿。也。衣。江。在。北。長。沙。湖。濱。都。乃。大。氣。小。衣。二。湖
後。人。誤。解。以。為。江。南。二。地。可。在。謬。也。品。用。改。久...)

毛健。月南窗。誰能雙文新句。張家影。

柳家笑。錢香重。底。為。地。天。溪。然。物。兒。彩。曼。繞。紅。吹。白。燈
兒。黑。明月。昔。言。又。到。窗。誰。能。彩。霞。只是。昔。誰。然
屬)

朱平。香。路。太。平。指。木。梧。花。高。枕。想。花。修。管。帳。影。
蕭。瑟。柔。墮。地。聲。破。片。傳。光。紙。影。一。好。沈。沈。鼓。聲。驚。
聲。聲。小。樓。橫。笛。聲。接。長。街。柳。聲。二。好。重。門。曉。
聲。聲。樓。底。聲。村。犬。被。洛。陽。聲。江。夏。原。園。聲。五。好。
蘭。窗。夢。聲。芸。窗。淡。聲。霜。園。少。婦。春。聲。雙。兒。啼。
聲。聲。是。紫。煙。沸。聲。八。好。遙。聲。色。聲。長。聲。短。聲。孤。衣。

十忍兮散彩玉冰，何處更尋覓。世由信早云空同好
 物不堅牢彩玉冰數玩玲瓏亦峰所見疎迥
 推劉詩名吟景鐘寺吟十好
 吳蘋香柳梅香吟世入悅落園不忠懷茶一重筆捲
 我智南庭楊柳梅香吟世入悅落園不忠懷茶一重筆捲
 飯窗紗望翠袖是耶否耶鵲鵲前秋然中背面
 良慶哥他

閑情集

再冠卿。多善李良是席上知武。想人生美景良辰
堪惜。此词惜久並采。富麗精工。景象仍舊。
魂記。此脫胎西廂。彩之何足。尔是。畫語。此用
歐陽修。長子儒。此篇為詞中降格。實為世中上意。
魚之。明人。解曲之。理也。*

賀鑄。菩薩蠻。五更風。吹向城裏鐘。
周邦彥。浣溪沙。人好自宜多。 (此詞之美。誠一。步人
昭。蘭。桂。子。)

二

無名氏. 王德信. 雷荷心. 性. 柳社. 宗. 陽. 研. 得
得. (能改亦漫錄)

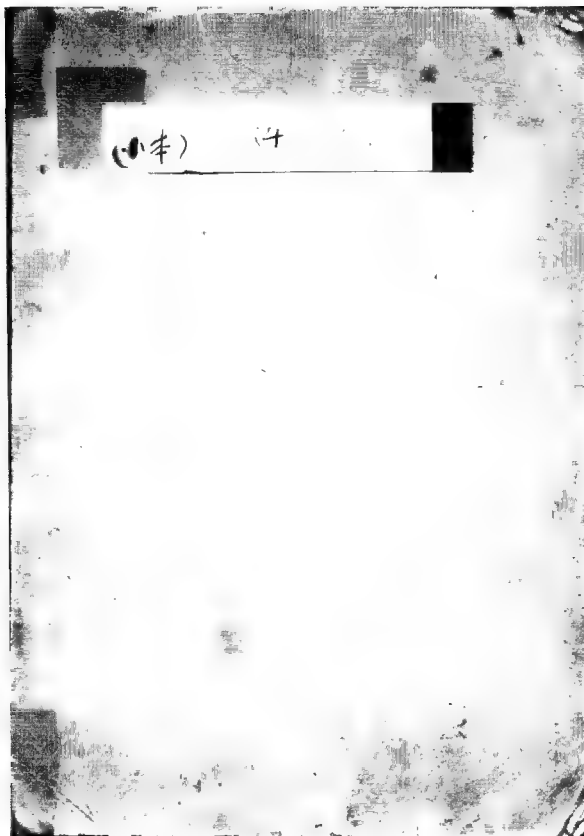
射芳標 恒少年 小屏跡 惜小 聞跡雨 小樽跡夢
銀衣已 煙散 思荷 香重

朱彝尊(號竹垞)古詩人獨抒妙蘊其味
濃醇淡日異綉謬以東更不不推為絕唱也)

錢鍾書手稿集

錢鍾書手稿集

小本（四）



原本尺寸：120×170mm

1. 元曲選
2. 明人標案選
3. 唐詩詩集
4. 杜牧之詩
5. 古文觀止
6. 聊齋志異
7. 文心雕龍 (續古文選集 仇注杜詩集)
8. 三國演義
9. 石渠記 (未畢)

Marjorie Nicoll, The World of the Playwright
 pp. 24-5: "The commedia dell'arte
 plays I offer no dialogue for the
 characters introduced; all that
 the author provides is a series of entries
 & exits. By virtue of improvisation
 the actors become themselves their
 own authors!"

女绿巾限常如元时已已元如常能家男
者款巾而限制绿巾恐未准不也保
(314 324 334 344 354 364 374 384 394 404)

但吹笛! 要無忌 那劇
若知道我教了他一家的
小兒弟和我干罷 又陳
明公
王。不肖得去交好干罷

元曲选序：本说……吾家白则演剧时伶人自为之（of Commedia dell'arte）元曲选序²：此乃元人自吐其家蓄之者也（of 赵子昂论曲）良家子弟曰扮杂耍者谓其家生活稍优而扮扮之良家子弟亦以扮杂耍为乐此等儒硕士骚人逸客所作此良家之彼扮杂耍也然办此故受虐？以为只是他事（本意）——臧晋叔

周挺高亮出太文昭于不致昭塔木而不文信而不...
凡用車要略多隱改隱多明改

趙子昂詩出院本中已始次之詞名曰綠中詞陸氏絕佳書不似並稱東府猶記陸氏也

丹丘先生次出：南墙之故曰担人，今俗讹为思狐离场。
糖发也。大俗讹为张... 故如之者，其曰糖... 凡故女
总称曰糖，亦谓属虎。食原肝脑，原兄而蒙之，即贝
於背，糖乃取蠹，贯原于原，即死，取糖肝脑，食了。

而猶別熟。 Folengo: "Et iam facta vetus, fit Rofiana
 Venus" (Macchios, IV. 8, quoted by Bruno,
 Campelcio, see opere, Riccardo Ricciardi, p. 43)
 St. Aug, Ruy Blas, III. i: "Toute fille de joie en
 sechant devient prude". 字法長已過口已為之
 便不成則中法為時

宗卷之二 卷之十二 月之
便不成 廟宇 許多時
就休知

以二十年还了五名宿债...通个三整马坐人度朕你^{五重}的不孝
 谩烧千束纸^心拒^燕弟^烟香^神堂^本是^已生^德不受^入内^向
 拒法^目东^每神⁸度柳^界折^一沈^月碍^事渐^下心^以用^至至^毒

模
象那净粗内杨柳枝葉上何行游雀羽往人老化作
為雀匪誤名為柳絮出得三十年後堪為宿債一還年這
元 敬言 又來敬言！

2. 赤松来做了一个梦，梦见他做个梁子建光柳家得着杨柳汪蝶那车外呵好也。他还得剪壮子喂牛。号来号去空点，净是毛花谢田地学厚霜来致月来收。

谨入桃源

陈明说

玉容为谁憔悴，唯与月共圆。不似霜。

救世第一折：今是匪徒都云两
黄即第一折：成值短守个服妓
张玉第一折：大家天不，想大

第1折 纸昇窗内 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第2折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第3折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第4折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第5折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第6折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第7折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第8折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第9折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来
第10折 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来 魔合羅云 你上不去 一愁来

對玉梳 賈仲名

1. 他是個个教人 家油發發大軍 送人前粉臉腦凶神... 俺娘自幼師學 與此神... 他那老宿教勤 伴勤... 賈仲名
2. 因苦的開州 做不的个李法 每日有八陽 彈便少可也... 賈仲名
千卷五代史 李程呵也... 賈仲名
難有... 賈仲名
3. 原本這人 也神像 婦人做... 賈仲名
錯愛我這匪奴... 賈仲名

1848年... 賈仲名

*第3折王煥若論莊孤望教俺端的奪了第一第玉梳第1折王香你待
要指與弄粉粧脂學俊
8張生燕海第1折張用忠 百花亭 公琴依念新敢是別人籍理 三國演義 35回

第1折生的莊重是一個好女子也 你怎知他不莊重的時
節 王煥暗笑 小二哥你也知道我莊孤愛如 *王煥 俺
娘孝子大加持重出怕你與他不歡笑

第3折查梁條賣也... 這案子要你早來會這梁條休着俺
抽離這梓餅要你為完備這嘉麥 這坡嘉麥嘉勃
枝為誰也在與你團圓也全在你王煥

竹塢聽琴 石子章

第1折正論指上像一般自教的好小園 我這琴絃斷
必為人來霸住 新彩雲

第2折三十三王離恨天家裏四白痴相思病家裏... 我
如今草草光整位心持只怕藕你光結定家裏人說道
出家的好待要斷離情我這草草是終極 新彩雲

第3折因為那山道水道人何重因此上枕剩衾餘夢未
新彩雲 夢中自語的人說這出家人多思宮相思病的癡這
癡是甚麼話... 那一個出家兒慈悲般淫邪性那一個出家
兒骨插了俗人定那一個出家兒害這相思病聖賢家便說
不的也沒哥... 出家人外相光怕不道多麼王煥 新彩雲
你陰陰密密飯元小斷些草... 宵花燭台後調房裏一
明鐘响後索得王煥... 裏家每眼着法發我給不的收手
這便去把魯林果

王煥 兒女園園二折王煥
聖王煥第1折王煥夜見王煥

*程言則嚏 有銘奴第三折 贾長壽云东嶽爺：別嫌俺父親患病
在床以神保祐平安云：周榮祖失婦亡長壽親生父母此時為國
打嚏料云阿嚏長壽云公程俺父親生病生商榮祖又打嚏料曰阿

第4折。回娘的成爲初不要你出家你強要出家如今要我的
跟的人去了老道姑 秋胡戲妻2月

李蓮貞前

康佳之

第一折。某乃宋剛。这个兄弟叫魯智恩。我一生怕吃腦粉。
象鼻心造... 應老王一鍾送 你这等人這衣服怎麼破了把我
這紅綢襖腰与你補這破皮。你這不知道這杯酒是管轄
這酒腰是紅心把你這女孩兒与俺宋公明哥：做盤案去
人魯智恩領苗老婦下 俺綽號這桃花靚兒果... 好紅的
桃花靚兒 做笑科 你為我好黑搭頭也 李蓮

第三折。不是。那两个一个是青眼兒長子。如今这个是黑矮的那
一个是稀泥髮腦條。如今这个是剃髮的和尚王林。老五我
的兒你再認去。李蓮 哥我認不是他就不是他了教我再認出的
王林李蓮打王林科 不知被那個天教的拐了我徒弟去
又被你相救我也 王林 你剛做打嚏科 打嚏早來根一定有人說
第4折。這是忠命強盜。我們打他不過去。宋剛

連環計

第二折。教習一第名曰連環計。蔡瑁 蔣瑁是也。引法与分布
教習不想後落於此... 宋公明... 落司徒府中... 程德全
高早的兒來叫 王中 王中 王中 王中

第三折。王司徒你休大眼兒長子... 王中 王中 王中 王中
王中 王中 王中 王中 王中 王中 王中 王中 王中 王中
王中 王中 王中 王中 王中 王中 王中 王中 王中 王中

大姑是財榮第^二_新 * * * * * 作指靠於泪第一折婚不底招大姐被拆了位吳吹兩
大房弟不同張明為 * * * * * 第三折梁祖欠西在東微服訪長壽及飛龍妙年兩
_{Gao An Huo An} 此照和 * * * * * 曰這無難的好不負氣也只好字號允
韓王玩早是上日請過大師赴宴美至三五時天大醉添了九五位
那時君臣各分就如天地隔絕再也不能展露舊案款玩
是人體休休也是任便去那我也喫穿大鐘子來後沒大鐘子
便脚盆地罷 華章

羅李即 張國賓

1. 你因路上被做良为花上思变做仇你交财上不应口重豪发
打破法羅却*

3. 自離了羅李印哥，早二十年多苦也... 思遷者去左型：戰本胸不欠因
此二十年不苦善人回去訪問我定奴備息... 我兄來惠食士做
到禮部侍郎也不放他去他也不過通一个家信猶如喉舌
彈年破綻皮張症... 我叫你三兄一老哥似一老便是
人一新低似一老便是鬼 羅李印 → 文兒 貨印旦第三排張三排
子 錦 恩字記 錦 叫李房和松光女 模子

者錢氏

1. 上聖先生有情見於人處小富貴也也好也要仁 你爺娘生生理
身饑餓死了也莫苦聲... 你可便選了那破盞也還不害
門前邊的那中鍾茶怎收的劍黃泉下 增補神料

2. 哥支揖^{用樂祖}我平苦向一文也不使半文也不用要仁俺這
家的好不氣長也^{同樂祖}我是个財主我指甲裏彈出來的
地可也喫不了要仁我教番家付他或兒或女尋一个来为我^喫

3. 我這病是一年前上吐瀉我那一月快死當時吃藥我走到新
豐收老張連夜寄打噴科田阿讀榮祖日物於德長青兄早相見自是壽
噴科云阿讀貨即旦第四折李春郎云想我那父親和媽母張三姑來

不由我心煩不煩4箇事老和已其即父時次為我唱貨卸工打噴科目那
 孩兒又明人里難處仗子疏行
 女位子第折位底又吃的本眼又降掌的來氣又喘都是猪腰腦狗腦
 子看就着新進為一團團 神金金第3折子銀第3件家姓家金金時却吃
 上那一個店裏已燒帶子油綠綠的我推買那帶子着實的求了
 一把恰好五個指以提的全的來求到家我發生飯來求
 喫一碗飯我呷一個指以四碗飯呷了四指指這我一會
 睡睡上本就在這板木上不想睡著了被个狗吃了我一個指
 以我着了一二條就成這成病...我的兒不要買味酸打我
 左右是死的人曉的甚么杉木柳木我這門比不及那一個喂
 馬槽仔好強送了要仁那喂馬槽短你佬大一个仔裝不下
 要請。我...3也容易學个仔來把我這仔捆腰刺做兩段
 擲還着可不性也我以此我喉喉你那時節不要留家的仔
 子借別家的仔子刺...我的骨這破若使我忠仔子刺捲了刀
 貼我文新鋼 要仁
 喉喉喉王2金信自之山為乃由存喉喉肉上抹的
 兩台肥田喉一隻子吃五碗
 喉睡善被狗指過吃脚午
 話活吃淨一氣成病

還牢末 李致遠

1.二嫂蕭嬌他原是個中人...棄好從良 李崇祖 李孔目第二
 个牌家蕭嬌他原是個中人 趙公使 收普天下小婦與狗素刷
 來。一搭裏石砧刀上刺做肉泥...再休把妓女娶為妻 李崇祖
 2.手拿無情棒懷揣滴房鈔 刺唐(時為牢子) 頭上戴如噴飯
 李崇祖

貨郎旦

四肢八節到是俏五腰六膝却無才貌神秀 都是些胡妮
 像樣 願學上坐 劉氏 一入門先教了他大孝將何等自來
 8成威記第2折大牌家云是另外娶的个不中人祇從喝云喂教是中大
 牌家云正是个中人



*還牢末！李學祖云他臨不中你也不是个善的那學娘重一斤你
六兩些偏誤生金剛！鹿街內云你的學家要來見我敢不中么
姓比之諸君袖撒不於你教說 8 又兄利華汝又 謝天當人

何學快法 張玉琢

4. 只教你太深家吐不的噓不的這一个心法來 張三姑 我
照霍內電光星炬 張三姑

沈江亭 閑淡

1. 姑：莫非不中麼 白士中* 喜与心跟的姑出家 譚記光
夫人你豈不知西裏孤村雪裏山 若時容易通時難... 夫
人你怎生出的家來 的姑 千求不如一味的姑

2. 呀和公手裏擎着一張紙低低注左看右看... 多愛是前來
的書至... 你這及人重家大日捐書來也 譚記光

3. 李稍口我央及你：替我做個落花媒人 我我和張二
嫂說大夫人不許他許他做第二个夫人... 小娘子你莫
非諱字么 初街內 喜与略諱些撒 暨點劃 譚記光

任風子 馬致遠

2. 兒女是金枷玉鎖歡喜冤家 任座

碧桃花

1. 你約要花前同釣隱 燈下細論文 徐碧桃 如此好天良夜只合早就
洞房花燭 只恐心情還論文哩 張玉琢 [送南宮嘉玉案謝] 他姑出如
王右軍能文似揚子 碧桃李

3. 貧苦幼年學望因用家誤教人多棄 醫學道 隆真人

張生煮海 李好古

1. 只尔如後便成就了何方员起善小生来时等到一月十五日也^{张明}
 常言道是情何物隔年经这员员尔的那就也
 3. 不提防遇见个大虫张牙舞爪而来...恰好像是一潭潭泥水
 只的将身子撞下水里坐了岂知那大虫走的口渴正要来吃
 那员了血运也似红的口伸出来那金刀也似快的直冲来
 把水一啜那潭就乾了一寸透不透的啜上几啜那潭渐
 的乾下去引不起俺身子以舟身珠儿露出来如何是好俺
 趁他子之时一个筋斗早打到他肚裏去了元来那肚裏面黑
 便黑他心肝五脏都是撞的痛的被我撞着他心肝左道
 那员上善实吃了一口只注的大虫喷道哎哟的森又撞他心
 肝右旁上加倍的狠咬一口只注的大虫叫道家今日怎么
 这等心疼的紧盖尔是石佛否这个促抽的小儿却计家
 哩家便道也盖尔多儿那大虫道你出来罢家道你放家
 那员出来那大虫道你打我出来我放他这员到猿牙略新
 一新家道好就做芝麻糖了家便道我不打我出来...我
 打破门出来那大虫便往山岩上止两隻脚爪着两株大
 树的屁股向着山岗只注去要用一努早努出个霹雳也
 似的雷屁来就在此底迸裂一个筋斗早打到石佛家裏
 方纔逃得性命以些家看那小虫便也不去风谈家和尚又不
 在一边回外与家是那小虫打南南去也^{家便}

母親出油嘴乃吃的飽子這多就油嘴滑舌口給小人之意老走
負荆一折宋剛魯智思三策又不貴米又不貴兩個油嘴已是一對驢歌
此王天如一角與快嘴李翠蓮也
馮玉蘭

3. 家為文卷家也為些文卷...我一路上跟着家那個飯
子家吃的好吃的不好吃一個總帳就是家為文卷而
時少的家也跟著家出這文去來也說的家這油嘴的
名兒*

漁樵記

1. 人是他生的乃我分人才時候他做玉天仙這姑娘不與慧
次家和小生作伴
2. 這所乃為腹父事只恨他像毒蟲好不肯進取功名...哦你
說這般孩兒也你去問朱買臣討一紙兒休書來割二...這個以
就越來越不曉了想着家他二十年的夫妻怎生下的口也
要休書玉天仙 你向家這凍臉上不來你怎麼左捆來右
捆朱買臣 你要打家那...我舒台你个腔你打我的兒只怕
你心沒腔玉天仙 家如來你給我討一把火家火來朱買臣
哎呀是光臉兒整法哈以來刺梅鳥嘴相公來家也搭
得相公打上幾火鏢上那熱屋着相公邊空問我要火
休也無那火便那火我一瓢水潑殺了便那相公呵
一个屁也進殺了...娘子...倒做善辰眼底下樣子夫人
在魔眼兒裏你砂子地裏放屁...不管你那口石磨動不動
便說做發發到你做發你像那柴木費柳木費這話
禁合用文字一張凡你拿一壁兒就一壁兒你走他時休了我愛我休了
他再錦二...願你不害口砂我告這等話來

X Adynaton

端着那酒款，吊在月裏水打發，丟在房上晒不乾，投到
你做發，這等的那日這不紅，月明帶黑星宿，斷眼北斗
打呵欠，這等的蛇叫三聲狗，拽車收，子穿着尤刺靴。
蠟子蘸着大煙，乾中冒王母娘，賣餅料，投到你做發，直
等的炕熱，這人擺尾，老說踐腳笑，臨晚上架兒，麻
老抱的彈，木伴多生娃，那裏問你還不得做發，星着
了你这嘴，腔口每話，錢錢，更也越不過去，我可要作
些甚麼，我忘你南庄北園，東園西郭，旱地，田水，路上，船人
以上，新造，善哉，好描條，好眉面，善哉，善哉，針線，我又生
兒女，厥事連，那裏不嫁，个大官兒，一公為你，凍事，做媽，二十
年，王天仙，這時，我知，这个朱，莫才，不要你，插，花，認，我來，哭，
啼，淚，滿，腮，你，這般，怨，哀，口，噓，着，話，排，元，那裏，這步，隨，着，的，是
劉家，女，公，祿，候，人，與，我，打，的，去，那裏，問，我，在，馬，光，上，線，服，服，服，怕，你
來，並不，眯，朱，賈，臣

3. 樓上，馬，不打，不奔，人不，傲，不，良，昨日，善，好，夜，哭，強，索，他，寫，了，一
紙，休，書，也，我，暗，地，裏，却，的，着，這，十，五，的，銀，一，套，棉，衣，送，與，王，安
道，教，他，齊，發，朱，賈，臣，上，朝，以，應，去，劉，二，公，這，所，原，來，是，个，忠，人
大，恩，記，人，小，帳，改，常，早，也，的，又，才，子，孩，兒，王，天，仙，這，的，劉，換，了
一，人，那，的，是，親，隨，隨，隨，你，取，急，難，認，張，撒，拉

4. 這是，那，水，難，收，怎，么，便，的，王，道，要，劉，代，王，道，兒，如，王，王，曹，判
書，院，已，休，罷，一，姓，漸，院，聚，如，故，曹，昌
拜，見，天，恩，惜，傷，心，又，柳，青，的，說，17



* Faust, Margaret 金銀地小兒8敲竹槌
 玉皇小兒發的倚老 輕愛的鈞又
 曲江地 青衫洞 馬致遠

** 改寫云查了
 他處也這3個改

1. 此時遇大姐 唱多飲米杯 要位仙 家這乃人求的策 詩求了少
 吃些些 一個吟吟 舒然恍 一個發酒 貴詩才裝
 白侍郎要住下 吾這二位推過 的恍如生 效興

2. 都道江西人 不是風流客 小子獨居成 江西最出色 深果
 崇崇到一印 大姐相倚 小子久慕大名 拿美三千引 崇崇與大姐

焙肺 先送白銀五十 為個見面 錢到一印 女愛的親 姊不
 厭惡 娘愛的鈞 女不棄 蔡崇崇 收 * 惜人 劉先 婚紅 記 (亦新) 金

4. 俺那白臉媽... 得席罷 敲他一下... 俺那度 尊見他是个
 皮人心 叫要敲他一下 不想又沒 甚么大氣 崇崇收

舉案齊眉

1. 君子略嘗滋味 小人吃教小飽 會

後庭花 新庭玉

理備
 崇崇
 生統
 鍾

1. 李順... 得你與我 甚不恰 恰的勾 為 我與他 甚不恰
 恰的勾 為 張氏 哥也 把小人 緊使 緊去 傍 傍 來 誰能 送
 速了 寸李順

2. 兀的不 歡喜 殺 俺子父 快活 教 俺妻 夫 李順
 范張鵲 范 富大用

1. 這一句我早忘了一半 也只是 貴人 多忘多... 小生 不曾 讀 新 新 新
 是 西廂記 王仲 明 名 韻 改 如 今 那 棟 梁 材 中 地 上 剛 三 寸 你 沒 波
 怎 支 撐 那 萬 里 乾 坤 范 巨 卿 名 式

又 在 西廂記 1 折 勸 諫 中 第 2 折 楔 子 第 3 折

× 皮公小说所记牛子

两世姻缘 考夢符

1. 只照孩光只一件病生性光好吃口要黄菜如伴美才
 1兄 兄一面来面来索船来船 美一拳来拳数山田水田
 得一年来年来卖南固北固王甫
2. 但说这病越. 的沉重了你看幅绢来我的自画一个影
 国光等会那来才咱王甫

赵礼谦肥 李智久

1. 他长家. 上梅托这槐芽摘他长村. 温总将梅皮
 削 赵礼
2. 每一日要喫一海人. 心肝大日拿住一洗牛... 好. 又走的一洗
 牛来也... 又走的一洗牛来也 马武

酷也亭 楊歌之

1. 象待批批并他. 学一句. 京所累. 入没娘老大小西瓜 蒲叶
 2. 这为人生的通告般与征灯人. 样手脚闹跨蝴蝶像卷枝
 ... 映口蝶错内打筋半 赵周
 3. 那孩光雪便口 嚙 囉 张保
 4. 拿好要拿拿贼要 贼 李尹
- 合字月 282 申工
 官人醫 药 行

桃花女

楔子 孩光夜三更皮三人土底下板碰与死也 用公

1. 便好为一日不常易三日喫饱饭我们靠手整的要黄公官以

★又見張江亭3.謝天第2
姓楊妻為小姐

許多事都大劉反昨昨合該土炕上板睡8死那這板睡
的板字教我怎當的教都大

2.我就与你做個挖毛的媒人★都大你將那半句法搬調他
十分有一尺板翻騰做石大皮桃毛也

思字記 鄭延王

1.行也布袋坐也布袋教下布袋則大自在...元那劉均佐看
財奴和和為笑料好个胖和為笑教我也...這和為笑甚么
來這般胖那...他腰圍為籌來粗胎皮有二尺高...這和為
肉重千斤不稱膠...4食便以快活三食收以刺了劉均佐
這書又不曾把鏢膠來調這字又不曾使鏢鏢來挑可也生
1先不下撥不款措不揮...原書掩這貪財人心中上為這教
人刀劉均佐

金安壽 費仲名

婿親的為兒別金甚破小值小姐夾在人心...如是小
姐的好日金安壽★

灰團記 李道

1.我這嘴臉實是欠人談我雖婚醜只用一盞淨水洗不來
像這面的胭脂花粉在裏方是馬兒外的大洋家...這裏只
个趙念史他是地地人物又生以驢子般一搭大行貨我他而
些不恰例的勾當大伴家我跟前所生孩兒叫做壽郎張

8. 吳法信的話 "Mme Vice-au-trou", "Mme Guette-au-trou"
 * 李根恩 楔子 丁柳道 二女人与我有些不同例的勾串

海棠 你因为他生了孩兒十分的寵用着他誰想他在你背後
 養着箇大老做這不情願的勾串 大伴這大老 竟外去了這家
 私大小家私都要車馬我欲了孩兒去羅 張海棠 孩兒是那
 个着的大伴家 是家裏的張海棠 你着的大伴家就哺了一回
 在教子這喂乾雞這要吐却費了多許多動 大伴家我
 原不意教就失物做甚麼 張海棠 結扭了海棠告快去走
 一起常這人各害那心那馬傷人這家說這人見李師
 誰那潘原不傷人吃个屁 大伴家

2. 柳守孝兄員九點怕古磨六句三推一位他弟打中敵
 張海棠 他兄弟面三句白費主所撇調 趙元那姑娘這個孩兒
 是誰家的趙元 得家起來那一座序裏是黑洞洞的也不着
 見人的嘴臉但是家手裏摸去那座門像大娘子的影兒
 3. 家裏黃德十分快乾淨這整没人要茅厠這廟埋銀缸
 子解來做團袋袋元十二 就打你一頓物你告了我來 張林 你是
 上司了兵打我這婦人恰是我家的因人我可打得他 董起
 張林董起董起 海棠發脾

4. 張中取石灰來在階下畫个圈光這孩兒在圈內着他為个
 婦人拽這孩兒出灰圈外來若是他親養的孩兒便拽出來
 來也得利不不知受了多少辛勞方才抬養的他五歲不爭為這孩兒
 為家硬辱中間必及損傷... 倘或扭折他胳膊家就打
 李柳 高/2 太厚做 孫柳下折做命姑媽以刀石磨殺 董起
 董起乃姑媽 兩二處 兩兩拽出 董起乃一 董起乃一

月下不此學色謂甚上女小雲云大發點上燈不偏生1在樊素云書此
好天良夜：又男女皆將思邪行而拌出集作道學語(謝天香筆所
引蒲團西/張果重打粉的話又偏在傷着抑學是飲仰面。
死如人也不敢用力拽他出這灰蘭外來張白蒙 誰道香翰不歡
酒那個婦人滿面都是抹粉的老兒不了這粉成个什麼嘴脣
丟在路上也沒人要小的怎去與他通融

伶例像 鄭德克 鄭德克 鄭德克

楔子 小生白敘中乃白來天津 白敘中 白敘中 白敘中 白敘中

……一個儒生女孩兒小字樊素……與小姐做伴讀書他好生的

和說但是他姐出中這來時可也好了……內外的人沒一

個不稱賞他的因此上越發他做個儒生裝人

1.我見小姐容貌遠近而威近而美端的可為貴人讀

敘中 樊素你那裏來我之等伯滿去哩……我題內出國信

出書……是天津來新文也 樊素 聖人云要十員五而先于學何

沒我輩手月 踏蒼苔月明……看了這桃紅柳綠是如畫如

呵花共柳映柳迎風月便多情 強綠出嫩綠嬌紅淡

深青

2.它不同釋氏云色即是空即是色 老子云五色令人目盲去子

云戒之五色 樊素 它不同聖人云吾欲好色如好色信即池

3.小生讀書吳之出 魯殺與女子相期莫是休礼么 白敘中

單鞭奪槊 尚仲賢

楔子 一馬當先 單鞭奪槊 單鞭奪槊 單鞭奪槊 單鞭奪槊

忠臣堂佐二主 謝建康 謝建康 謝建康 謝建康

鐵楊李 2折李氏我一馬不敵 雙輪不展 轅宇老福

李氏見生到堂死也不嫁人 雙輪不展 轅宇老福

*4折探子云不雨站躲过店童前呀早迎善敬位平晚
*西塘记欲苦提祖师与悟点论腾云驾雾

考觀劉道首1.羅李即1.黃果渡1.鍾離棍.兒3些信名只據人我是
姓3以考觀碧桃也1 8贈蕭通4.蕭微為功陽陽都微振

成仙3益*

譚范叔

2.正是那耕牛為主連鞭杖吐奶飲杯反受殃...男被那
這真溫溫家為發角尿浸透春一胃腔...打死了象去在之薰炕
中衡衡這程象重洗了老眼 天上人皆方便第一莫待他年
張起今日院

梧桐葉

1.這字樣子似像男兒的這土字字表漢摹唐晉**季鍊
2.你看一陳大塊也...忽以似神仙喻佛語為遇...似列
子空手路疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎疎
度天衡刷以陸高斜的香季鍊

東坡夢 吳昌歌

1.一日子遊御苑園兒太開不推云一角天子問為何太湖石
推云一角安石表之此乃是蘇軾[此音石]不恰小發以研道
死難執不堅乃安石不單天子大以四宮安石好生懷恨
一昨罷爾發聚於得滿院兒一從出腰揸一扇小增詩
為句道昨宵風雨過園林吹落黃花滿地金葉...乃於詩後
續為句道秋毫石比春花落得詩人仔細吟誰想此詩乃
安石所作一日讀倦刻要出影在教人見一女子擊杯歌久說
其子倦伴言這小娘子金釵墜也那女子出至手打玉簪爾發



* 吳東坡為折玉安在命夫人出信信一表謬

杯口石有... 杜藥娘好科 嫂：講起 鍾輔臣懷國旋 兄弟也這
是上座... 杜藥娘... 哥之我... 是嫂... 鍾輔臣
1. 我起一百二十... 好着衣喫飯... 這門即是誰人
製下的成低... 也何... 這不象... 那象... 買賣...
貴... 金... 五... 字... 報... 告... 是... 要... 乖... 狠...
... 一片... 城... 我... 不... 也... 非... 為... 嫩... 母親... 媳...
孩... 兒... 孩... 兒... 大... 也... 華... 丫... 比... 拿... 錫... 子... 來... 錫... 了... 鬚... 邊... 的
白... 髮... 還... 善... 你... 免... 勤... 哩... 你... 每... 年... 這... 二十... 年... 不... 與... 我... 免... 勤... 哩...
2. 阿... 母親... 說... 他... 如... 今... 又... 纏... 上... 一... 個... 粉... 泥... 道... 強... 似... 我... 這... 哩... 這
話... 我... 也... 不... 信... 我... 想... 這... 話... 有... 教... 坊... 中... 人... 那... 一... 個... 不... 是... 我... 手... 下... 教
道... 的... 小... 妮... 子... 料... 必... 沒... 有... 強... 似... 我... 的... 藥... 娘... 大... 姐... 我... 鍾... 輔... 臣... 不
是... 我... 跪... 着... 你... 講... 罪... 罪... 鍾... 輔... 臣... 那... 個... 要... 你... 跪... 藥... 娘... 大... 姐... 你
休... 這... 般... 惱... 我... 你... 打... 我... 我... 不... 罷... 鍾... 輔... 臣

曹瑞卿

人姐：你纏一十八年... 怎麼的... 楊魯... 這件... 天... 地... 地... 這件
與神... 鬼... 知... 這... 件... 事... 心... 知... 曉... 了... 王... 娘
2. 這... 一... 回... 信... 上... 來... 了... 且... 在... 此... 年... 得... 着... 小... 娘... 子... 梳... 時... 時... 睡... 着... 咱
郭... 藥... 這... 等... 好... 睡... 姐... 得... 我... 推... 醒... 他... 楊... 魯... 這... 是... 這... 樣... 好... 睡
早... 知... 如... 此... 我... 不... 來... 也... 罷... 了... 誰... 想... 小... 娘... 子... 等... 杯... 哭... 這... 樣
弄... 了... 正... 是... 好... 多... 多... 麼... 要... 我... 這... 樣... 命... 何... 用... 我... 就... 怕... 這... 等... 罪... 怕... 的...
東... 常... 苦... 之... 苦... 之... 苦... 你... 回... 家... 去... 勿... 勿... 勿... 勿...
少... 不... 得... 屈... 辱... 這... 等... 事...

* 仿袂磨火 (又照人 照紅記) * 某張東華 我到這紙上到紙 (生紙幫
* 曲中屢見又第三折因軟年趨趨去補尤近之語 連了不用3折
若此正到以量到紙 林(幫)兒女圖

噓入腹中... 排白牡丹花下死 亡後 做鬼兒兒 成 郭燕 林
合同文字 碑初程牛政用 並不教兒 林 郭燕

楔子到那外府趕到去來... 分房減口名要 趙 劉天祥

1. 烈不心買路的紙對 劉天祥
2. 俺這苦三年育要却也只十五年搖筆: 恩你別休生忘了
俺為此也我不說之時恩不斷謀羅謝斷了恩 張東華
3. 我收飯充錢榮解渴紙抄來買路 劉天祥
4. 這小厮才說的丁一確 為這學子生扭做差三錯。 白得判

楔子俺是莊農人家... 若要家土裏做... 便好道心去意
輕道: 下該冤誰 蘇太公 Adam to Eric: "Go, for they stay, not free,
about the piece" (Griped in it IX. 372)

1. 往前去賤入坑 往後來祖丁井 為下裏上校等
3. 勿勿勿 蘇太公 劉米靈 冬 種 張千 開了那門法... 將的面吊
窗內與我推開那窗戶... 我打楊收來堆在的面善那
个祇從人模勢那好車兵... 我吃的這放糖善糖善的那
堂堂去那大堂裏米一米再再上些雲在裏面... 糖善吃的得
吃是那二每奇除了的冷饅饅... 粉湯里放些米凌 張像
點湯 張千 張中 喘然 湯 張像 點湯 張千 點湯是這堂我知
志親 為要 點湯 張千 我下的這原階來為要 我下點湯
我來到這門樓下 為要 點湯 張千 → 為要 張千

3 兒女圖 4 廟 猶禮云你那末說謝 俺也恩不斷被你拔破謝 俺就
斷了恩 大 明 韓 第 1 折 王 德 云 怕不待的一確二教初功夫 4 折

柳三變詞媚而婉以云玉緣不如玉靈生之不思進功名共要上毛座做
子柳三變詞媚而婉以云玉緣不如玉靈生之不思進功名共要上毛座做

兒女圖 (圖) 楊文奎

2. 叔，你打給我个模狀兒王執望。叫他[李喜梅]里的短矢妻
也那蠢笨子材神=

4. 我口腹了這女娃安如此般蠢笨子，展仕腰肢，却生
的這般俊秀的孩兒神=

王靈壽 武陵臣

1. 一个小娘子也李斌子一个俊秀孩李素素 好一个俊琴童
也梅梅 好一个魏梅梅也

2. 琴童你那裏知道做子中的吟傳的海名上青樓比為貴
這兒好愛做子中的君十个母兄一家門二生像三吐謔
的事似五溫如六智傍七博覽八歌唱九枕席十伴
弟... 如同客易也呵李斌王靈壽你為妾子語却了你的功
名為何未蘭誰待奪皇恩就原榜爭如占花叢燕學坊
一家的這老柳營調昇算后月何理陰陽李嬌素席唱
的好踏子這席門... 我的你賣與四連廣去先你也
去法夜你要娶俺女孩兒你姓李俺也姓李同姓不可
朱親你曉的麼

3. 妾身陳玉英是也在此嘉興府做着第二個首月大以李
素素... 而他外叔叔保有了法後... 如今我做了大以李素素

4. 妾身本姓張素蘭

密兒，我談好了一確二，你說的巴三覽四

*所謂指供也 教狗初史4孙强兄.你休把外人攀.判临兄弟指.我敢
8.陈州 魏米3.张中.吃他我.魏米3.张中.吃他我.魏米3.张中.吃他我.魏米3.张中.吃他我.

鐵拐李

岳奇

白雲防市象板 魏米3.张中.吃他我.魏米3.张中.吃他我.魏米3.张中.吃他我.魏米3.张中.吃他我.

1. 张中休教走了這子等家情上的奈何他岳奇.他该教光
由话教光.做你可上生余何他.张中.便是他.匪踪中.以下
我男着月房中勾一.他来的度便.还来的.是呵.加上箇
頑情二字.亦更狠一.狠呵.我着那打家賊.指一指.捏
你是寄賬.重便是知情.我拷折那厮腰.岳奇.你這
樣做.就沒有了.张中.且告說.是个百.理.就是.明.除.官員.怎
出的.俺.岳奇.你是.畫.也是.罐.光.张中.怎麼.是.畫.光.罐.光.師.
魏.光.号.9.梁.罐.光.即.可.梁.他是.岳奇.見.着.六.案.於.記.目.
誰.不怕.他.个.外.名.兒.叫.做.大.朋.金.翅.雕.我.勸.勸.
饒.了.你.性命.只.苦.磨.草.鞋.錢.分.些.张.中.也.說.的.脖子.乾.淨.
絕.早.州.衛.試.劉.東.林.魏.說.教.我.也.不.知.那.个.單.犯.連.
托.生的.弟.子.孩.兒.說.你.是.大.朋.金.翅.雕.張.
2. 也有.虫.餓.喉.中.奪.飯.吃.東.戶.上.剥.衣.穿.岳奇.
3. [岳奇.借.小.李.屠.戶.皮.衣.] 誰.起.魯.大.嫂.燒.了.我的.尸.體.並.我.
借.屍.這.魂.屍.骸.是.李.屠.戶.的.魂.靈.是.岳奇的... 魏.說.與.何.科.文.
怕.頭.教.我.也.岳奇.孩.兒.你.一.條.腿.腐... 你.只.一.條.拐.我.拿.
收.來.你.拉.着.岳奇.那.婆.娘.人.材.迭.七.八.分.年.紀.勾.的.十.歲...
我.想.這.個.屠.戶.的.陰.謀.教.生.害.命.這.分.似.俺.做.人.的.瞞.
心.味.已.歌.天.官.人.也.岳奇.



*即粮店也 麦粉然

1. 1971年10月1日，毛泽东在天安门城楼上接见外宾时，曾对尼克松说：“我们两国人民之间的友好关系，是建立在互相尊重、平等互利的基础上的。”
 2. 1971年10月1日，毛泽东在天安门城楼上接见外宾时，曾对尼克松说：“我们两国人民之间的友好关系，是建立在互相尊重、平等互利的基础上的。”
 3. 1971年10月1日，毛泽东在天安门城楼上接见外宾时，曾对尼克松说：“我们两国人民之间的友好关系，是建立在互相尊重、平等互利的基础上的。”

天壤人

4. 永山个把王鎖帳家重板个帶撇了12色. 有了財象. 此出
牆东岳 李岳跟成路元志来 同寅

李岳跟成銘元志集

小尉連

1. 这个最古老的混沌了到光敏*

2. 世界做淨整的... 多先想起为至... 要... 虫限因... 子... 道
字注的... 那... 李... 那狗... 刻... 下... 战... 书... 来... 象的... 虫... 限... 因... 也
吃... 的... 做... 文... 集... 子... 科... 教... 心... 承... 领... 尔... 去... 去... 买... 一... 瓶... 光... 打... 刺... 来
吃... 要... 李... 道... 宗... 活... 着... 我... 个... 战... 个... 赢... 百... 友... 百... 中... 保... 护... 着... 一... 个... 一... 代...

宗汪的那条米虫那狗刮下吃战书来拿的条鱼肉也
吃尔的做文孺子科较心亦笑尔点...去买一甌光打束来

吃香喝辣 李益常 清著我 中 贏 百 友 百 中 保護 善 一 於 一 代

那波奴才... 新鞭来... 教响教响... 焦性... 磕义

打的他連腦壳料歪... 那物他歸打散骸. 銅鑄

胚胎早洩挑色，這逆，這本，這美，我英雄，康悅。

元良我把那放逐生涯還道李陵屋角悲
傷

3. 塘堤乡鞭打跪满江山，跪刺朱的社稷，便做屈朝。

轉就的天堂和那聲... 報要發粉渣酥...
點初心理餘以是 錢玉樹 丁運華

沈黙。鞭筒撻龜。詎光。鋒刀。戰。日。進。未。

1. 我初到之門戶，^{沈光好 鄭善夫} 亦為家室所禁，時是乙卯。

1. 秀程權已門以家書信裏也為播金年因之也呀
此等重始二三台信至日不平君時東排飲宴果西物陽

照得奉教。三季鍾身。白中。松東。樓。飲。的。蘭。我

我...物共相安那...維然錦...像老屯...
我...物共相安那...維然錦...像老屯...川中狗百理眼

8号晚明人江排卷撰记第1抄

0.5 $\times 10^6$ to 0.1 $\times 10^6$ A 100

事文類聚續上 6 飯 醉 在 廣 成 寺 警 丁 署 公 釋

虎撲兒公廚飯陶穀
玉以的京 與他十分歡喜 醉也醉 好善這里睜睜睜睜睜 教他
和帶法老軟癰的業 大大飲法李用的人為事不與與人用
良教他靠反陶穀 這學士路冷臉子也... 見那冬凌雲
宣譽堆在多有相恰便似欲飲上桂善紫雲鼻凹裏倚
善無雲 多子云五方令人平語五色令人目盲注了他呵勾
出都飯不的了... 一星尔眼着靠反... 兀那婦人靠反
我... 乃已平人君子不的坐禮陶穀
又川中狗出當大也... 瞎眼此民目也... 虎撲兒出瓜子也
... 公廚飯出官食也... 園勾是獨眠狐帳這人當次動
冬字 為陶學士在懶太守善為今夜招婿了他呵便得
賞物... 却由甚偏嫌他故也... 怕兒學娘笑不他講了不
解... 陶穀 小娘由何這早晚對月吟詩... 小娘子
不來... 同衾枕陶穀 想昨日在坐上... 那冬呢勢... 這眼
鋪眉... 却是說的前 小娘子但令小女成爲夫婦... 黑必
娶你為正武夫人陶穀 你休怕容易恩情各用撇... 他早
把袖巾兒教的塞了紗窗... 欵的習習銀缸... 早把我腰
欵抱捏弱收... 性火中把學士再端詳... 半堂兒不飲... 像
相引... 這為人善心... 處也是存生... 不害色像... 像物店好
家便引動情場

张本元旺社副主委 周名忠新南平第四分

任飯
地址
開平縣
通安區

秋胡魅 石君

休飲
已悟
人長
新
興

神思

是牆上泥皮 李仁仁*

★第二折 或刺名題突 屬云 倭席放手 兀的不是那倭席 此 糊棚落第王折
王三云 第我合你姓 王恩
★ "Revenge is a dish that should be eaten cold." "Come, Libera!" "Soups
of Liberty." "Henker(s)" "Mahlzeit" (last meal before execution) "I am a Remnant of Jerusalem" (Jerusalem)

1. 學云 送三寸金 為安 國劍 且云 為他上 手梯 張錦
謝金五 考 魏明曲 流星馬

★ 倭席 能通 的 中 話 無 曉 上 考 上 籍 以 此 道 下 安 是 到 南 於 此 代
个 細 作 臨 以 時 第 大 后 恐 物 下 安 恐 並 南 於 此 安 忘 了 北 番 遇
是 我 這 左 脚 底 板 上 以 不 保 的 刺 獎 獎 盧 兒 三 个 大 字 一 旁 日 聖 人 坐
云 安 是 窄 狹 車 架 來 往 不 便 不 回 軍 式 房 舍 界 以 拆 毀
拆 到 楊 家 漢 風 無 倚 樓 心 承 如 大 程 这 个 到 安 添 上 个
三 人 做 个 例 字 此 字 只 好 和 承 和 你 知 休 要 酒 肉 在 王 錦 老
承 好 不 乖 哩 要 你 分 付 謝 金 五 这 的 是 个 不 通 謀 王 錦 老

1. 承 這 漢 無 倚 樓 是 某 聖 旨 臺 的 你 怎 拆 毀 俺 這 樓
承 余 方 名 南 初 是 聖 人 命 替 你 家 蓋 如 今 承 也 早 聖 旨 替 你 家
拆 你 另 愛 裏 倚 老 費 金 口 裏 叮 叮 叮 叮 的 說 个 不 了 謝 金 五
只 是 守 着 三 更 愛 六 更 謝 金 五

3. 这 朱 只 管 眼 跳 想 云 是 昨 晚 跳 跳 悔 來 到 謝 金 五 便 好 是 君
子 報 寬 且 歇 三 年 我 老 焦 這 个 急 性 樂 說 三 年 便 是 一 夜
也 等 不 過 這 幾 遠 長 休 飯 永 別 逢 長 岡 曉 (4 回 却 云 怎 不 要 去
這 碗 長 休 飯 還 杯 兒 永 別 逢 那) 〇

4. 這 公 子 眼 着 雲 雲 它 何 如 撒 款 个 瓦 兒 在 半 空 裏 怎 位 王 恩

8 位 焦 次 蕭 4 折 樓 子 與 天 恩 兄 說 子 蕭 公 報 仇 可 知 在 日 眼 睛 心 陳 刑 難 米
3 折 小 樓 內 兩 派 松 松 心 望 中 場 亮 到 金 汗 紅 臉 來 怎 公 那 眼 皮 兒 還 不

★★則養由基為陳楚佐矣！

1. 他家说史书一黄贯为错准以肚史胀的以膝史疼
2. 但是那通住的人乘下的孙茶茶熬吃了他的可是为何这个
唉做偷阴功部史史我吃个酥食...你茶茶面部
食酥...都是羊脂...我吃个香汤只旧食...香汤便只
及板史也...我吃个木瓜素素酥食素脂
查阳素新...旧食

蝴蝶夢 開演

模子父親在上母親在下王三胡說怎麼母親在下王三
 時看見他爺在上他娘在底下一同床上睡覺王三
 1.正是北軍着痛箭也似射人時王三
 公員公筆 李喜細

伍真吹箫 李寿卿
第1折 会忠义 我大教那相国用费白雄 费白雄 唤你束制
共甚费无名* 这就是他宅门之我下的这狗来费白雄
我则是先水皮商量伍子青 哎哟你那钵盂很大的拳院
风也的打的我那不平展兜支之的费白雄

2. 一生输与爱 由人他处子教廷寄德素由基** 在那好子我
购设该付你 珍粉白雨 话说好 只解会文路 紫办漏

漁者
但子音

你在我教棍前探空靴撒首屈视这等大陆黄电号

勤歌中 孙仲章

连的只是跳,也不知是跳几处是几处。蒲柳两个挂的自土。怎么就这哪一挂跳又

3. 小二他娘子教住小人留了一张保辜文书写与送一百里山裏外但
 且说亮脑脑抓破小拇指比也是小人之说

8 合月新1. 张君友一条好大嘴我这家外早便成个读解

1. 这厮只是说出来一定做出来向他索一张生纸文书一百日以外
 且说亮脑脑抓破小拇指比也是小人之说
 做甚麽哩到是外王小二要教了你我向他索保辜文书
 楔子道可道忠强盗有可名大光明王知观

2. 收人透以外郎的如变面的变面打一和撒泼来一片大甲
 这皮肉打向半牢这说中是谁取来张井是小人去取来张井那井是
 枯井可是取来张井是打死的张井... 这说中是某
 图意埋伏许多时有些生年半熟光着的一星儿土渍那
 更这海船上因得不先生遇着他这一套西何总是住心... 这
 厮每言中那只暗时是这王张井

3. 他莫不姓先生平日说些不恰物... 你那高夫不是俗人是个
 发生张井谁总是和为来可却是个先生哩张井

黑旋风 高文秀

1. 秦如神时谎子极多哨子极快怎生有一个读解吕跟这收家
 去方可... 你口是家亲的朋友家问他讨一个读解吕
 你兄弟个家姓王改做王重豪去波... 只要你下山去带
 忍了饿人在宋江我只求忙陪着笑脸光相迎那厮鼻中油
 涕望着我这牙根道喷那厮口内涎涎望着我面上零每不和
 他视新论家只是看些武艺医治诸病我也只紧闭口不放
 些话便我只做这些本领每不添

合合气 8 书引引思一个先生播着一个的人在那窗前看月残笑

女 鼓門仔
*Forbidden Fruit 东坡 雨冲花傍 姑多品共向胆 出散即寻

第一封信就中夹着徐崇
楔子这嫂子的哥哥是光为夫家么李道你好那喜也你怎
么便认的出来 孙孔月8

3. 比如有穿门子也放下这饭碗儿来搏动这索铃索山光也作
是思波着那穿子便道你先是做庄家果发生便生出个
个是索铃索可不歇生来了傍边光着这事恰不成来拾拾款
来或是敲这门咱*

佳女醒魂 郭治輝

楔子 俺娘白叻原路上高築起一堵兩三丈 你不拘指我
可倒不想你起來越有阻越思量 像如斯

傳揚高臥 馬致遠

1. 我如何赔了三月新息

馬陵道

棋子真老姓王名蛇。我身为您两个智谋如何。我如六堡在洞中。我要你赚的家自然告这洞去。这个倒为甚难。哥。你发总波既谓。师父您徒弟些月之计。与弟乃月之计。若是师父主在洞门步。我看师父自然走的洞去。对腹我不信家办六堡在洞门步。看你们何计策。着我入洞来。想为子。稽首师父。这便是徒弟告月之计。这个木头棍儿只怕多年朽烂了。哥。你是兄我是弟可不必介意。让给哥。没以既谓。徒弟弟必官明必然保举哥。用享富贵不如伊来厮伴作。

*4 孙膜. 飞应着哇是命他灯笼

馬为牛如羊以狗

1 假如与子向谁输谁赢哥. 他则喜云自... 公子更道
与元冲却是思为先生弟子... 便是元冲也及与公更道演習的
去要更道也及尔去元冲的去要... 總之...
2 兄弟也教我的品了你这与情麼... 孙膜... 亦如去情呵哇
是命他灯笼面... (的) 孙膜*

救孝子 王仲文

2. 外部也你个放了在这半中不是我... 亦中... 一个是个不是
你呀元来是那林浪浪... 一个死配... 中

黄果著 马致远

4. 弟日象征西时... 弟... 吃了三... 吐了... 弟...
断了... 次... 到... 上... 了... 重... 人... 知道... 弟... 一... 弟...
就... 弟... 弟... 因此... 弟... 到... 弟... 弟... 弟...
弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...

楊州夢 香夢符

1. 白... 似... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
杜牧

3. 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟... 弟...
杜牧

2折小军书云但是近来过江的人带箭的射三箭光的射三箭
卷二 又下四折杨玉卿不是只要你像那个公案

王崇登樓 鄭浩輝

大王安生 然陽前越 然陽呼道雲米上忠由公 然
然陽前越 求百出的這府門 然然陽前越 我來到這裡
上 然然陽前越 我來到這座博中 然然陽前越 *

4. 梁敬上言策重人兄直着他不放天下只愿大元帅
心书被的敬教我也女婿蔡毫

奚天培

1. 被番兵收去原^上熟^上粮^上三把骨殖吊^上车出^上河^上吴^上天^上子^上荒^上
尖^上上^上每^上时^上梅^上一^上石^上小^上军^上自^上人^上付^上我^上三^上前^上名^上日^上石^上箭^上会^上杨^上公^上
兵^上云^上一^上只^上拼^上命^上着^上夫^上难^上救^上中^上你^上是^上和^上番^上家^上忘^上藏^上
天^上地^上可^上不^上倦^上望^上由^上原^上枉^上做^上下^上这^上家^上苦^上杨^上公^上

2. 生数说他似爱蒲叶草截在雨风... 我摇一摇
摇与摇所痕... 震... 动... 犹... 不... 良... 我与你互推伤

33-壹玖陆伍年九月

3. 若欺了他一个哭持得着回家路。艾元的不屈沉我
俺冤家也这柄金钗。 三/四

漢宮秋 馬致遠

橫江種場撥款通代各名單于可平臨時撥款量至實人

三月三日此黃梅時節景物

待刷室女選宮娃

1. 自送刷選宮女乃宮女不宮女本漢神
2. 近新來染的這陰候一半兒為因起我一半兒然為病臣漢神
若如此久已發也不用發只這個人平定云云發了...極以反就
爭那新發是俺家我朋友漢神
3. 眼兒不穿入番授江而死...我想本人也死了...把
都看光怕毛也拿...不如送他去漢神哈哈

屋對記 男題符

1. 常生人海家昨日三月初三但是至京珠裏外發只布年氏石煙
人家事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事
不雅像一人王尹開妙之嫩綠草聽鳴性輕紅、黃黃柳
帶柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳
生眼不轉睛於那裏柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳
此子王柳有又來你帶信也...不是要要換到子庶莫是王龍家
生趕到香園鋪園柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳柳
談知事

2. 你总是我門你姓海永正是色胆大如天

3. 这个先生第尔中九理三史策為通...每日若看你家後庭哭
他時要入你姐之黑窟籠馬車若這為兄家柳有姐哭
的眼淚似屎漢王正

又劉衡內這字到那裏明怕俺這為小的冒干罷了也

陳洲羅米

標子李公發了這為個模樣動動那中麼^{此中俺}羅米
的孩兒我不知道小發係舉的這為個孩兒清忠廉幹可以
羅米去的劉衡內

1. 父親另伸你平日當是個性兒古懶的人倘為到的那
買米要你休言語便了也小懶者這是能近救民之德
意他做為富私家怎肯和他干罷了也呵*他若是怕嚇才
強休色家小形軟弱柔軟莫道這怕嚇到了不平地上也
曾幾...你正是...乞兒碗底覓錢羹^{張撒金}你這個虎刺孩
作兒也...怎敢罵我...怕紫金鉤來打那李巨太小爾
教家何處生扎挣也不打差的是背景是腦袋是肩井但
漢的刺牙放強強心的飯痛別骨放疼...也還要上燈時
怨數語隱隱是籬籬...無它也欲知根底以分明...家
便強生由莫決不忘懷...取下招承候俺孩生若恨終平
者不少則我這美兒鸛鵲也似眼中睛底不似...以於
日便登程進到王京常言這所教些如父子與^{張撒金}
2. 這小皮不平已與休家口我為家合為人向只些些色轉制這
字子怎麼欺家那一眼敢是兄那東告狀的人來劉衡內只
談那樣家每是俺第此他便以打家的語欺俺便以此若
家為惡狗...只恐俺今晚明日中賞的他中自在自由色轉制

大東先生中作胡一傳

明教和佛面 即少後人豈不相與勉於之商

模像休叶学士你叫家又去为点 告诉何奈上志叶大
志... 告诉 两个月才续读了个文又 强不强敢胆敢性温
着皮膚到强的这一老暗以常 離早着来浑分麻木为出
又去 告诉 罚本鸟墨擦面教象怎了... 又去着这以诗
为思

殺狗勸夫

楔子这月一个小子，名叫做陈光，这是家祖传总年家
家那家偏生兄不给他，^{陈光}六日是的外生日，值个
道师去问精家象，除山羊推他光不伤他，着上堂外
到那裏，则推好收面，^{柳柳}倒了那隆那，手说的是胡扯
孙二来了，也接了羊，^{柳柳}你知了才，空度日那裏，口这羊
回来，只是好哥，^{柳柳}为林也是流来的意思，^{柳柳}我少
你那为林，^{柳柳}是起，^{柳柳}嘴来，^{柳柳}大

你却不肯性顺，是逆端来。
1. 他心不思悔一命快骨肉年和我做日参辰。这等人不肯逢时待缘，毒着嘴颊，处美方却嫌你便骂我。一千场便挨我三十鞭，教则字狠咬中姜头心儿自思。
2. 咱三人统教做关东以剑笑张一般只影同日晚不预。顾旧日生一个生无文也想不如撒下他还家去。来叫哥：差的是个五銖钞哩。这暗里是天赐我为个横财，怀袖赚得我个腔揣不着的一隻肋。

40張三條紙
共裝被單根恩模子。

④ X 詢天 爲 3. 天 爲 司 又 早 七 面 七 力 來 刻 家 跟
底 不 言 誤 主 地 我 見 他 告 出 出 律 若 个 都 回 起
相 必 的 必 学 不 來 拉 叔 和 調 我 不 該 必
垂 不 搭 口 內 失 尊 草 (必 必 此 甚 多)

* 1/15 "Denkzettel" 9

拿不的放不的一口变面吃尔的燕尔的光小的长将孙

二、想到这个大雪来晚着，所以被这吸里忽刺的朔雪

唉那裏好萬教。遊又被這苦學磨歷的雪片光燭白

[illegible]

收这量出律的胎膝光新他去佳跪封恩

他必去支援的。馬思聰這一場撲撲來，敲兒以

9. 谁致员哥来你员中挖一腔火熬通和他为个上一本新佳?

你读史书写的诗句念与你侄你侄生的来我我不要听为贵
你 你有个身体好 物备一大家子 你个是也 二四八

你一件件东西休似... 柳塘... 景亦不如他... 又...
今，4月... 你... 柳塘... 柳塘... 柳塘...

[illegible]

别件者依白卷。陈哲人划婚：那为个贼子。那虚脾。
的淫娃那男。那者是切古事依整衣。他财取。轮他姓。

那浅情，那造反，那急景，却支离，那带水，他壮，那趁，他睡，
那疏，那疏，那疏，那疏，那疏，那疏，那疏，那疏，那疏，那疏，

厨提、吃饭处、厕所推、粪处、厕所、做粪、乾脚烘。
盖、外、乾、形、印

爱世如 乾刚进

合評於 張四賓

1. 小印板上的记录中心... 苏恩恩的是张英外一家史

即仇的是陈虎那厮 赵兴邦**

2. 既生張兄，何求於弟？
 3. 心去意難留，下統寬度，子寒兄

你哈你哈每來做咬神禁

張文秀

8 Jump out of the fire into the fire (you)

謝天香 同漢卿

3. 到早款過洗面水。到晚來又李鋪林疊被。我伏弱的都
下羅帳。我吟終舒鋪蓋。以孤鬼。少不得要睡。睡。

*漢書西域傳卷九十五. Theognis, Shakespeare, Titus Andronicus, etc.

人麼...你饒了俺 ^{王蘭梅} 夫人這還是他去年狀元的功績
不平家子 ^{趙國判} 大娘你是個好人 瑞發我是一個粉鼻
四柳盜賊 ^{偏老吃人} 心肺提這厥 剝剝的七子
判了个十分罪 呼家少雷乘興為三杯 做一个家好造
席休催傷別茶飯 ^{新婦} 你要甚麼茶飯 要這
待燒一塊人肉吃 ^{老婦} 姐看這俺來免的面皮車饒了
你姐去一个黑花茶

張天師 ~~石老雲月~~ 吳昌齡

1. 金不以初見時這般看面孔...原來是一半兒糖果一
半兒糖 ^{桂毛仙}

楔子 你著那患子來我著 ^{太監} 他染病怎麼走的動 ^{張千} 這
第一腔教他好了才 ^{太監} 好了又要你看什麼 ^{太監} 他是患子
你怎么打他 ^{張千} 望的以打著他這知疼痛哩 ^{太監}

救風塵 鬧場

1. 自小上進 ^{張千} 這件果城中只一影也乃是宋引事他一
心得姑我周旋 他每都揀本揀去 ^{張千} 得姑一个考實
的又怕老老兒難耐對得姑一个聰俊的又怕半路裏輕
拋棄 ^{張千} 姑兒只日也大姐明日也大姐出了一包兒膿我
姑了做一个張郎家 ^{張千} 李市家要一个姑名我兒也
不成 ^{宋引事} 妹子那做丈夫的做的子來 ^{張千} 做的

"la troisième jambe", "le 11^e doigt." 聊齋志異 他修 11 指
 ** 東坡為 1 寧某向傷寒房中 11 指 一凡下部 累火 培於 高 三
 一 心 於 末 足 竅 三 九 指 之 陰 火 不 足 大 體 傳 之 狀 為 三
 息 之 二 指 之 解 衣 自 然 則 歲 之 四 股 骨 之 三 矣
 做不的丈夫 趁暗兒 因為他方重傷妹子因此要嫁他... 真
 三... 他替你妹了打着廟名去替你妹子過的鋪蓋光暖了
 ... 穿引子 這飯要托匙 挑了筋共皮 出門去提領子 整衣
 袂... 德一 一味是愛脾 趁暗兒 這歪刺骨好反嘴也 周舍 這
 妮子是孤兒人 女妖精 纔卸君天魔 案則他那不廉光裏
 休猜做甚麼 * 趁暗兒 纔出智家門 便作良家婦 但怕
 吃了良家飯 這想姑婆 案引子
 2. 我醫了一冬 醫背上出了一脚 周舍 焦門東 打了我三教
 威棒 打著 羅怕不死 在他手裏 案引子 既是這般 可誰着
 你嫁他來... 為你這亞仙 父母家 頭 普天下 愛女婿的 子
 才... 那一個 不指皇天 為般 說 案引子 那劉漢 冒認 休上 弟
 子 但休 若是不 肯 嫁 休去 我的 他 招一 招 拈一 拈 擰一 擰 抱
 一 抱 並 那 厮 通 子 鉢 盂 洗 麻 的 他 單 已 是 抹 上 一 塊 砂 粒
 着 那 厮 味 又 你 不 羞 吃 又 不 羞 嫌 的 那 厮 擰 了 休 去 暗兒
 3. 小周我這等 打打 多 衝動 的 那 厮 麼 然兒 張小周 做倒 料
 休 在 德 勤 那 厮 這 一 會 兒 還 小 周 也 倒 倒 了 案引子 我番家
 留 要 在 肉 第 一 本 我 公 是 可 憐 兒 女 主 娘 親 第 二 本 是 我 慣
 為 旅 偏 憐 兒 第 三 本 也 是 我 自 己 貪 杯 惜 錢 人... 這 好
 人 家 姑 婆 心 善 人 家 惡 家 長... 叙 君 的 則 是 叙 君 妓 人 的 公
 是 妓 人... 那 如 家 收 粉 撲 兒 淺 淡 白 那 裏 像 咯 乾 淡

爭根恩！李平路云出戲那智猛老屈膝伏腰
姓推分月 明人使
*0 of "aller ou le roi va à pied"
3 益志情好 楊影內我若負
3 你心何難 打新脚在 楊

月龍手搶並粉：好人家的那兒梳妝情：地鋪墊那裏你
啗解了那襟胸帶不須上勒一道你痕... 乃那千般
不實焉軀軀為妾種愛為反議論斷不了為羞時兒
又只打我為妾不該優命因我係意兒瞞虛科兒噴
並這所為家難奔妹子也你試看咱月救風塵時兒
且慢着：那個婦人是我平日向打物的若与一紙休书那
婦就一包烟雲去了這恨恨他若是不嫁我呵可不弄的夫
担為法脫 因我你若休了媳婦我不嫁你呵我着堂子
裏馬踏義燈草打新腫兒骨你逼的我如此這般重哩
... 休要知我箱子裏有一对大红羅周套你爭甚麼那
你的便是我的：便是你的... 但休了你這眼人：不要
你封封便事：早是我差收來自上門：倒知了查房和
你為着姻 時兒

4 點目安秀才花柳成花火燭 正名趙時兒月救風塵
東學老 秦尚友

楔子：下次小的每鞭馬 楊時兒 只個的个壁兒怎麼騎馬去趙時兒
你偏不知我的性兒上茅廁也騎馬哩 楊時兒如
1. 我平日向使慣了的手吃慣了的口 楊時兒 這死狗找不上橋
的 楊時兒 哥不是找不上我腰裏貨不硬掙哩 楊時兒 那酸煙
老馬等作个腫材料快准傷着五千船醫司十萬擔柴挑

大西遊記神仙糖席孔高住
料印後名何語保中參現第2折
癸三月三月而大豐耶

日楊書翁新以跌成停者
此劇中書即雪地
沈新檢抄

李英：便好忘生吃切也忘吃地偏又总是家反牛勞不以此
這分文...這二百到就便勾了先去買十只大羊五只五菜香糖
獅子*赤那太母與他一張揭卓兒你們都是寫考字
2. 羅撲蒼蠅捉放生李英？
1. 這子更遠親呵不似家近鄰李英？

蓋青博息 李父爵

樓子因帶信教子而憂惜一脚踢翻帽盔正燒了皮房樓
良早學某到安...眼正是九月重陽節上米放不放欲下山三
日限限惜了一日這十快了三日杖心十話了三日要新馬蓋黃
去三四月至六未回家江 您兄弟每可生不見您一個那眼心壞
3家這眼也蓋黃蓋黃被打了一百棒了一條壞了眼也傷
1. 蓋黃你這兄弟見家便是羅王臘梅善他辱門敗戶頂無原款
中是**蓋順 大嫂昨日是三月三清明節冷略要同集院吃飯
去東蓋和 叫化去咱...竟不見那替條只遮了銀漢河沿
的漸雲雪粉殘沙赤心待呂店蓋个鞋底兒去持那淺中
以光輝的這梓江來向你要插蓋黃禁 赤善會神針法灸赤
醫子日你這眼...君子蓋善我不斜也蓋順
28他這屋是黑漆的木鋪他心偏借這與公人持蓋他病
時就來這安也蓋如 說那裏快快收這屏魚煎一半兒煮一
半兒蓋黃一兒兒怕家去我要吃哩王臘梅這君子心更順那

又新第 〇 星校原稿子

娘子忘光些 承着某句之語與他咱嫂。你是那南成
南成首的第一首。他糖食家。饒你吃說到糕。說
到眼。承承這你王臘梅。那刀弄這嫂。那承承是光也
天。麼。麼。見。你。好。眼。夢。也。你。生。便。認。的。生。來。這。如。
你。看。這。款。贊。上。扭。的。生。那。棘。針。由。面。皮。上。刺。的。下。那。松。
花。粉。... 呵。哥。也。你。是。個。好。男。兒。休。嫌。着。這。一。頂。原。頭。市。麵。
3. 是。心。來。以。王。臘。梅。那。廟。求。的。喚。了。一。聲。那。
娘子。求。的。應。了。一。聲。天氣。喧。熱。我。求。這。裏。歇。涼。那。裏。請。
的。品。大。來。帶。這。道。控。制。兄。賊。捉。蟲。兄。曼。曼。大。你。張。要。學。蟲。
如。今。這。家。品。大。來。便。罷。... 我。是。孝。順。上。道。的。人。胎。胎。上。走。
馬。不。帶。法。中。男。子。萬。丁。家。苦。的。孝。順。王。臘。梅。你。這。个。老。婆。
精。倒。撒。撒。... 恰。恰。个。誰。推。向。這。半。破。窗。櫺。我。支。
子。亮。宵。這。裏。款。款。款。款。來。王。臘。梅。誰。擇。的。你。這。路。角。火。氣。
我。恰。恰。呼。雖。是。花。枝。兒。折。我。求。王。臘。梅。誰。擇。的。你。這。
腮。斗。兒。的。美。益。我。恰。恰。睡。着。面。壁。失。控。我。求。王。臘。梅。
也。不。欲。你。折。誰。只。故。弄。一。個。不。務。生。誰。着。這。道。舊。禁。依。
的。翻。合。書。誰。着。這。梁。柱。樣。樣。在。鋪。倒。暗。着。性。... 哥。
已。等。要。做。什。么。與。我。教。了。女。家。我。那。親。家。如。今。天氣。熱。你。
便。教。了。我。到。那。冬。冬。臘。月。裏。宮。脚。冷。誰。與。你。煨。脚。王。臘。梅。
我。求。實。不。的。手。... 你。个。个。紙。做。的。親。兒。也。拔。乾。的。

井. 蝦打的新光出排就的坑蓋去个家學住這个教
 人的教心也死因牢去去物斷領他心中止
 4. 一首去那碗子城中這去上稍氣小眠花下場清少和
 15 萬一云草蓋

滿湘西 楊歌之

1. 別怕崔秀才以一云久皮負了人也張翠香
 2. 小生實來緊崔秀才 既然無事來招你做女婿張中差梅
 香在那裏寫素梅告小姐來趙錢誠實 你好好心也要香
 左右習得下云洗刷了个我打著去... 怕他臉上刺著此收
 二字解往沙門島去去... 夫人不要氣我那裏有香來
 崔秀才

4. 小娘子可憐兒可不知夫乃婦之天也我早知道是座誘大
 人的小姐請他做夫人可不好也崔秀才 也會想來著教了崔
 通雅道好教孩兒又招一个只是把他那婦人臉上也刺
 13 號為兩字打做梅香伏侍我使了翠香 梅香便做梅
 香也教是个通房要獨佔老公这个不許的樣且無名那
 婦人也看他父親趙老爺面上使了刺字只打做梅
 香伏侍小姐張天覺

曲江池 石鼎寶

楔子你乃甚氣概請做一兰車与我親去朝府尹去時荷

又黃衫泪2

XX Anachronism. 曲詞中屢見此類. 此則見演白字
月終公曰: 月終公漢景帝時人. 漢元帝時. 武帝生前自稱元帝. 此則見演白字

亲小如新曲中必定是花后朝元歌

1. 我腔漫站果出是差方面便了劉杜花

2. 心裏憎惡娘親近上來的娘不順娘老的即界
个林. 上來的即無銀. 李亞仙. 是賤表子. 平里落下的
朝元歌. 趙大戶會唱

3. 好波. 你个谢天香... 他可做的柳耆卿么 下便XX
樓昭公 新延主

1. 用時如把忠重傷. 差時不証忠臣諫. 危時即要忠臣幹.
誰為這借吳雪恨. 但將軍楚昭公

2. 我的分毫不以人的家會白厮軟費無忌

3. 月落烏啼霜滿江. 江村漁火對愁眠. 也非只是我裏梢
公梢. 當个倒. 男=女. 團團. 一个尿出子. 六个排. 七個
一. 高尿. 七子. 艘板. 底下. 好撐船. 一撐. 到. 就. 種. 城. 下. 空. 山
高. 校. 半. 鐘. 鈴. 到. 客. 船. 梢. 公. 你. 道. 是. 船. 兒. 小. 難. 裝. 載. 到. 要. 你.
量. 兒. 大. 救. 俺. 家. 房. 早. 為. 已. 衣. 江. 些. 閑. 阻. 公. 你. 良. 好. 大. 了
船. 兒. 又. 小. 海. 上. 水. 草. 了. 也. 不. 着. 親. 的. 快. 讓. 一. 个. 休. 去. 終. 放.
的. 一. 般. 人. 性. 命. 梢. 公. 他. 道. 是. 不. 開. 就. 去. 為. 公. 故. 俺. 四. 口. 兒.
那. 一. 个. 為. 疎. 昨. 公. 嫂. 娘. 兒. 与. 弟. 正. 是. 著. 親. 的. 惟. 德. 兄. 弟. 个.
疎. 昨. 公. 的. 理. 由. 下. 來. 草. 旋. 更. 事. 略. 略. 两个. 親. 親. 這. 是. 不. 親.
的. 哩. 昭. 公. 該. 以. 眼. 兒. 為. 我. 的. 不. 貼. 你. 也. 大. 王. 這. 是. 弟. 同胞. 共.

公. 子. 外. 能. 說. 在. 上. 奉. 昭. 公. 之. 命. 釣. 樓. 而. 上. 第. 山. 以. 梢. 公. 相. 認. 為. 惜. 新. 八. 尺. 琴. 八. 寸.
而. 初. 日. 昭. 公. 與. 子. 天. 神. 惜. 於. 此. 可. 為. 元. 人. 解. 嘲.

三四演系制云德是東如手是妻子為衣服兩語之注脚也筆款
 常的志更中說 (15回) 衣服被為翻可縫手是斷

又同常引鈔神話既因教陳云

出結像

乳一洗而分妾身乃是前由姓小親理處心所夫人只不許
 說的是眼多事奈厚浪越起的大了每講一個心水去這即被
 埋痛也你是才公家海有了哥心水去也羊旋更事器部
 須就這即小親的來晚一步眼見的小親的是您孩兒也
 好哭也你那叔父呵...你比他這陳...但乃你去水府
 往他子波子尋娘去昭公*

4. 是中也自而初承索了嫂、媳兒道你哥今日這即嫂
 小的生了媳兒多麼多你呵那裏去再是個同胞是才昭公*

東生債

1. 這許多鈔債文書為燒毀了可惜了也曾寫便好這第
 般的小去怪罪業德身...這鈔呵要作的仁忠堂二恩忠堂
 恩...這鈔呵動性人為立即不俊粉笑老九點三點這鈔呵
 怕媽親的昆仲絕了情分也** 屈居士

2. 我去那陽宅財聚以取一紙兜重招我去那生多痛死以告一紙兜
 敏士 屈居士

樓款馬上 白仁甫

1. 孩兒少俊...年為弱冠才娶妻不親居宅紫以位年為弱冠才
 有娶妻惟親為公不通姓紫少俊這千金良夜一刻春宵誰
 做我衾單枕獨眠更長則這半林錦褥極呼做管常般...
 害的來不疼不痛難寧恰吃了些好菜好飯些滋味...呀

女元生中曾小胆色情急以此为尤。末句即已断一生并也。
 引惜下交来他色松松分别各草木：雨影而此以套语了之友不如D'
 Annunzio: "La pioggia nel pineto": "E il pino ha un suono, e il
 mirto ha un suono, e il ginepro ha un suono, e l'arancio ha un suono"
 一个好秀才也。休也是得星眸上下疑。恨不的倚香腮左
 右偎。便锦被翻红浪。罗裙作地席。阮得要暗偷
 亲。咱先取这爱别人可掬了自已香千金。
 又我推粘翠靥遮宫欲。怕弹歇罗裙露蒲鞋彩。
 休。托的笔管被光通。翠帘光懒揭。渔屏光暗掩。是
 他撒手端。把香罗带光解李金。

枳椇 白仁南

模子刻的都是一样的。只是我与贵妃乃是母子，一旦遭遇怎生教
的下心。

1. 安祥以... 錯入空樓不敢飛尋、楊國忠著出破綻
暗想那線如分牛郎命、隨不盡是長生、經年度軍成孤身。
你試向天宮打探他、決宮了這相思病。

头这西一陈打橡桐菜周一点滴人心碎不枉著金
 井银林思围遮只好把踏枝果做柴烧锯倒晒
 主上这证样草木皆见西号它独橡桐力壮你那裏知道
 我该与你住否同家杨柳西凄院宇侵楼雀
 幕细雨梅子雨梧丝江干落梅肉古巷西红温南
 干柴毛西玉容寂寞荷毛西翠盖翻翻豆毛西得兼
 清条都不似你紫魂破瘦助跟条丝微瘦骨

~~Il numero di...~~
~~otto innumerevoli date...~~ 1910-1911. ~~in tutta la fronte / copiare / a. g.~~
~~entra pioggia / che munda / il crescere che varia / secondo la breccia / più~~

半即以此結甚好。漢宮秋四折則以孤雁渡候一腔火氣。漢宮一
 折則寄寓城數折元帝升汨羅毛國出如正折此望之時激板案也
 延尚方上云當同鄉送毛廷芳來元帝命新造紫微殿祀大排座席了生
 海味氣味。故隔日即來臨幸漢史南劉氏來
 敵雨更多淚不少。西風空搖。淚染龍袍。不省相饒。共
 隔著一柳。梧桐。生滿到曉。明望*

老生兒 武漢臣

楔子。鑒人。小梅。這晚。各性。元帝。望。奴。屋。畔。盪。的。物。不。惱。着。像。着
 香。貞。的。面。應。為。打。時。第。則。要。米。白。穀。割。從。香
 3 我。嫁。臨。臨。路。兒。娘。的。狗。也。狗。走。嫁。的。孤。堆。坐。的。守。劉。望

硃砂點

1. 世。睡。光。的。承。這。眼。裏... 三。點。淚。心。我。窮。子。人。相。逢。惡。人
 遠。近。政。用。元。那。村。東。子。孩。兒。那。惡。人。惱。着。你。什。麼。東。白。已。拍。果
2. 有。誰。人。曾。搭。救... 拼。的。白。面。羅。告。冤... 磨。莫。你。板。門。似
 白。掌。兒。也。掩。不。住。俺。這。咩。屈。的。口。政。用
3. 也。我。也。曾。坐。親。十。萬。里。中。赴。九。千。場... 我。揀。着。白。的。小。鬼。揪
 翻。三。市。脚。捏。腰。兩。個。招。可。便。招。實。只。一。卷。打。的。他。天。墮
 火。開。東。微。力。耐

吊頭牌 李直夫

2. 欠。給。的。後。再。要。相。逢。男。你。是。夢。中。本。兒。奈。夢。也。未。必。肯。做。子。便...
 亦。無。賣。也。那。些。典。無。吃。也。那。些。穿。一。年。小。如。一。年... 乃。白。話
 舌。尖。上。挑。着。我。去。那。喉。嚨。裏。噎。金。銀。馬。俺。哥。兄。一。句。話。得。要。說
 可。又。不。說。銀。位。馬

3. 打。了。我。這。一。頓。我。也。坐。那。話。的。人。也。銀。位。馬

4. 磨。羊。揪。的。分。叔。火。炭。痛。去。來。山。秀。昌。阮。仲。因。銀。位。馬。安。得。命。叔。而。
 故。因。磨。羊。揪。的。分。叔。火。炭。痛。去。來。山。秀。昌。阮。仲。因。銀。位。馬。安。得。命。叔。而。



2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

2019年10月10日

*极为波折 横生枝节 不合情理 反为元人之男女媾合 是拙劣之
零星判案 巨阙中 纯此乃 淫妇之 人 尤可耻 必作活作
词 援 不 耐 烦 明人 禄 焉 逢 白 何 细 腰 如 小 说

金童玉女媚红记* (不折新)

刘光

话说金童玉女同游教也：说当时... 媚红桃七款那时
金童带着这金童玉女向凡尘去求个他身思凡... 金童
... 想值这仙宫的快事 且共度个好当时不合思凡 个时消解
入省也自 智 两个自游出来的

王夫人：来也 媚红 提一 金童在 申纯：小生 这 媚红 王夫人
上：你平日会吃个今日 怎么个 你真是个秀才 是个才子
媚红：那 申纯：来只 跪在 根 金童：王夫人 媚红 媚红
媚红：来也 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红
媚红：那 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红
媚红：那 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红

纯：小姐你早晚 烧香 媚红：媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红
媚红：媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红
媚红：媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红
媚红：媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红
媚红：媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红
媚红：媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红
媚红：媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红 媚红

女仿祇願坐。又元人尚鞋靴

早晚了也...呀无的不为西了全为好不才人方像也呵
...又尔是三伏暑七年旱波来由此甚柳阻无德个发
然尔富了也

纯：小姐第二日起兄弟争奈小生为国家号中做通译授
 国河做发会雷小生道他去... 旁校家私号吃话回来
 到书房里睡了三睡差了三起小姐来窗外叫家一会我也
 与知道它来它说我没信... 地兄家明日由去它信一
 比绝工道... [别教回到糖娘宅上科] 糖：这为日不
 是申哥来道到书房里望他一望 纯：小姐今日到这里与难
 回去了好万和你要一要面去 糖：这个不高的东西与王
 白日苦磨样子... 白日指与你的路光你子与道了你今夜
 到二更时能这打那条路光与到俺卧房来求教教
 同两个了路相伴求六镇却却调再他安去只只小慧知
 总也不好 纯：姐中也不中 糖：你又保来不强如这
 里便要子光与子与王古怕苦磨... 纯：觑一觑一会便
 那花满一酒杯便与去... [为子怕科] 糖：苦磨的
 若他恁磨 纯：你为衣袖子上呀尤的是淡玉罗紫然
 儿枕花... 糖：已发和你相儿时言路上与要泄酒了家
 口占苦磨一也你狂咱... 千金与已破朕然望那特地
 嘴檀郎人可也苦磨 纯：家也和你一苦磨... 一收

入羅帳真心不向持雲而情已就玉體為這歡... 嬌：和你做了家只怕人知道... 若我母親知道不好只做家一个不羞... 今晚再形本么純：我怎的不來嬌：你好大胆呵。

金德：你形和那小姐一什麼純：不曉你在他家裏分小姐教去時來整的半年... 當時人說就他父母又不肯... 金德：... 男尔去當堂脚大和小里你个當却偷他一隻鞋兒來家看... 你回時可再來看一畫純：改个正浪極心這不徹冷皮債然能肉占坊光要斷了柳陌花街

嬌：你當去呵怎麼尔取一个渾家可又來這里做甚么... 這詞兒是花紅做的你怎麼說也是家做的你偷了鞋兒去書房裡去了花紅拾的來他的詞兒可又你拿的來了

嬌：你个你个後我相與你及第了... 無奈我和花紅那財人做朱寃孽他母親事全沒不得請教了教在他手裏... 我為你時請教尔和花紅两个爭競緊傷在他根前做小伏伴它心裡這尔滿意這哩

嬌：這業日我的心只在花紅身上請教了去它說便是... 我也不敢改喚它只叫他紅娘子漸的買轉他心來了

*如说其力学为红区七婚仅出就二次 我如 / 0 Nario
 志无个位
 姓第二折黄婿当婚三手乃曰我不省的你每说该你另依着俺
 俺无何就这宅招你个元由谢金名模与王钦若自通回粒房新
 ...昨日为些因了托绿英那小了活打了一顿他托我教你
 的白角那告俺文就了个日南款要问求金角那红与家遮
 盖了*

黄道婆走流星马

黄元吉

1. 房玄龄：惟见沙漠野驢萬戶不來進貢...他有一匹了背
 就三将刀水如踏平地明千里皮量了...重人教小皮信
 与李道宗彼差差能言出驢通晓沙漠人言说语(此)
 你可去说将这匹马来...李道宗：只一女子唤做满堂
 婿招一婿姓黄名色道...你通个因之语能言他那里番
 字...黄色道：这是你孩儿三寸舌稳情取皮量马到
 2. 黄道婆：第户...要招推家为婿...小生躬愿拜迎...
 驢家上：先送你家妻儿承小媳家与你为妻...李道宗
 黄道婆子手舞足蹈去了三自也个儿本人也个儿本...乃人
 言说黄色道是那第户你为婿...早中重人又问黄他乃
 外人...着来再有人接应他去...满堂婿：又就为人
 去也不中时原是这孩儿去就收黄道婆去也...蔡：你
 每咱家改嫁为想你那家以不欢喜你可是为何...黄色道：
 ...你生居沙漠长在沙漠坐的是横皮车脚踏的是黑毛
 毛毡床你渴饮羊奶食乳...信鹿脯肝...四时利地狂

女按華事譯語。虎兒亦平人也。保兒亦吹平人也。畢徽亦屬吏也。打刺醉也。以下西蒙古語。馬果牌充墨木折靴。雪烏根。披靴。靴如阮大鍼。以單語充占城語。書番語入院中。無多於此者。

陛下土西黃雀亮制[口]定值京師四時及河漢。要
 衣乃劉法珍多白味... 那等愛用公強的兒... 茶... 終於
 教与做這席的然曉來是, 遣席兒吹彈保兒東
 家內畢徹京把酒面着古支打刺酥次來比*通車
 係兒東次拾列並者, 迷失迷哈比賽良打刺酥次來
 元無來... 滿堂嬌, 我是愛人親眷, 通子: 呀, 娘, 休
 性, 茶, 着古支來年共值, 通子: 也隱迷都也夢哈
 至, 茶, 未哈口教哈刺咬兒東刺, 通子: 你送那裏
 來, 滿堂嬌, 值送長城珠中來... 茶... 也芳那款阿
 斤堆引度來共做撒因... [好好]合來... 通子:
 值友人娘子兒是親眷十分欽慕娘子... 鐵腸金牙
 我是野驢菊戶的客人... 每日帳房裏拿亂子梅着晚夕
 面屈眼, 俺姐, 後為只一个漢兒嫁人來要與家取老
 婆我暖一暖[滿堂嬌科]黃道: 熬糕畜點些
 理这个是我的妹子, 金牙, 不想可是他老婆通子也入
 你哈教五都魂** 茶: 呀是今个您團團像以
 俺團團... 黃道: 小姐可憐兒客當家這友人一差裡
 位你這吳惠心弟裁名枋

3. 野驢萬戶... 不想他漢兒娘子來到... 盜得星子和尚
便書... 你偷得星子和尚... 盜得星子和尚... 生着你的兒...
教金鼓娘子也去都魂何意不言喻也

一作一輩為壩語雙喜也

——初林梅幾子三吃紙中點政策 剪燈餘話三四至五收川

榮：……他一點心願常掛。他上有一龍為罷……元的
不這黃這道分家拿下來……黃這道：小姐你想着俺夫婦之
情饒區亦這性命放家回我血又不中吃肉又不中吃……
通子：強盜忽刺海，走到那裡去……忽刺海：以「鞭打柳」
……忘恩負義的人要他做甚麼哈刺「殺」了教了他罷榮
那個媳婦教丈夫的理來……家放你回去黃這道：……
小姐你在沙陀地獨自個米時是了……若肯肯暗投暗……為
夫人教男系強如你在这望北……通子：你……為那妻他
去了他是漢人你是連人你係馬兒不是罵你呵哩
榮：罵我來，不當罵你通子：他係馬打你呵哩榮：
打我來不當打你通子：你去以這字不干我事榮：……讀个
俺父親……年：這事便收成是了這頁到天經……俺投家去也
4榮：……是好受用也呵……我大日家食珍羞錦繡家
我可便到母重裊睡，再不去苦寒天也帳裏眠，再不
去兒那漢，沙陀地。[野驢着戶以波星子進頁封番德
總發了]

卓文男私存和如

朱權

1. 以意：古之達人勇士晚老態為倚觀奕棋失生何區：創
身實為人同觀成敗事

女法劇子字甚多此只字：這然二折回云子我這胸中家乘吐吐

賈...此...太平無子罷征旅

又...此...元出脚回交我高不主防上表演而出主的我法人這連出華

又·卓文君：諸先生此車為御 相如：小生月年形如如此

文君：男尊女卑理：此之欠喲如他人之意也...隱於家室

隱於家室

4·卓文君曰：相如文君呵你如六物不榮貴了承起來也云

媒妁之言不待父母湊合因人以財之為父為母的心

中好自慊懌也...即羞象如何見人...相如：便為一个好

以那生戲球兒拋在江心裡滾取圓圓造到座。

義勇拜金

朱只煥(周思王)

誠高繁存

1·昇長：我子然因祚靈長...子這暗地裏謀人小術強

...我子待播要為家古傳...休子於播默報報在

崇...我子是守謀心思如主...子俺生死決不不忘...我

子怕困在堆也自李平收*

又·操子：振心振捷操子為列之曹操：操子你傍

端息定細說生為教者...操子：好也一個開將軍也

...夏侯惇被顏良趕出...袍影玉帶印井海盡落紅繩

披披散開將軍兒了忽地生噴氣地發怒操地心焦

地面熱...曹操：這畜生平日平西恰便似我退玉

龍三百萬收錢歸甲諸川堆

4·周思王：宅散又落二位將軍來相饋...甘夫人：叔少

鞭奪...三教羅布(即德輝)兄張本元吃機...周思王：這謀記出城

*豹子乃狠立元人乃豹子乃屬
*元曲中作赤參觀爭報恩1.慈惠博通3.

要吃這胎生歹心 開張：不好... 家夥了也... 家這裏眼
才曉得耽... 莫然怪... 不趁此時... 手更待何時張蓮：
及尔的書上怎生交付你來 莫然怪：你，不要發我：可做
日弟

豹子和豹子還仇*

朱馬燬

宋江：俺弟兄三十六人... 第二名解王果喜 第三名王光遠
輝李象... 第五名混江龍李海... 第十名法系羅阮小七...
第十四名大刀關公... 第二十一名一撞生董平... 第三十五名
摸著是杜平... 又及在和尚魯智深一人為因他撞殺教
官了平人來打他的十大棍他受不得這一... 棄走往法華
港清靜寺內前裝為僧... 六日只少他一個這宋江兄弟內誰
形去動化他喚他回來依舊做和尚... 魯智深：臨堂日
一切為法如夢幻泡新口如露亦如電應他如是觀...
起為日睡時呵不覺安穩覺來呵常是驚... 為如六改
做了清閑寺僧依和... 李達：宋江要的收令來勾你...
魯... 先受了持戒師... 先做了魯傑[港]印不比那英雄
意日花和尚... 李... 俺做賊的馬皇報... 白養的人財
物要你那做賊的欺心物胆這道嚇地那邊
嚇地*就這人家儒馬些人驚說了番又為怕出榜

女一作匣林樵中刑是
女之被勒作即下之身臨老終視元出故乃產了對爭恨恩一新
禁元無名氏及書翁徐真堂莫批峻新劉猗吧即跋四
來...你男待坐桺床*亦別老生禪林...你乃的人家測
善方東起超一超西起超一超這這打老味...那這打老
味...李...你也只是軟弱...胆兒小...不是好男子...俺這家
的偷盜劫竄...教人放火的功勞...你也不曾得一些兒...魯
照...擅袖了誰說承其功勞...誰說承胆小軟弱...[翻開目
...這番承拔山舉鼎拔我像翻江攪海蛟龍量天斧
走壁轉樑樣...[用手摸以爲摸]險些忘了...我是和尚了
尚說...[不做]假老...合掌]再小...[忘]生捨命受熬
煎...且落以修善性普度降...李...你也只是怕死...如
年紀老...小...[忘]...魯[照科]做假老...我也怕老
山谷大廟裡強人擄也...苦甚...這般功勞...把老表
也...共...免怕地...把金銀...[用手摸以爲摸]又
忘了...是和尚也...尚說[不做]假老...合掌]再休提睜眉豎
眼...做個教人...我常說是方袍圓頂是個老僧相...
宋江:我且一計...你[喜]去喚他...[引]他的孩兒
一同去喚他...好交他...[魯]...一切...[宋]...
一張困來時茶一盞...[魯]...[宋]...
個...我...[宋]...[魯]...
上...[宋]...[魯]...
耶...[宋]...[魯]...

*水餃

老東家不是以心施主人家請我早高哩...原來是雅子山
 要回籍思你母親好只是想你如今有了[魯哭斜]元的
 你這賊孩子也每日想你送你來了我是个婦人家定要買
 飯喫你這賊心...魯[抱休兒]托孩兒抱抱
 着淚擦睜眼問我本把肉的小妻腰[用手揉着揉着腰
 肢]承又忘記告我...也...你靠皮休托家[放下休
 推]我思[我思]我思[我思]我思...休...爹送你來了
 我沒及這們大的燒餅兒這們大的素饅兒喫你媳俺
 娘兒每[魯[擦眼淚]的[抱休兒]...好教人難割
 割...[用手摸着支撐]這寺院裏你个婦人是本...啼天
 哭地的甚麼樣子...入俗房一位你托紫門叩...常
 則生漢教中修永不到梁山寨上走。
 宋江...只你是着他娘去窮他...魯:早晨張魯友家去
 赴高急...回來山路難行又早晚也...早晨向喫了頓
 酸湯、甜甘、一鉢頭黃菜羹、湯告、水治、兩碗素素
 麵食*又喫了香噴、饅饅、新磨菇、嫩豆腐合來的串魚
 清汁、更及那脆生、辣簍、果饅的芥菜蘿蔔、脹膨、
 的飽了我這大肚皮...這齋飯比不的戰飲、心怯、巨
 太后的筵席...來到這房外見人開着這門上、哀耶...
 魯[扭斜]、這個、這個鬼果我會个告、[擰住他]做軀老

念咒！上：哀耶，鲁：第一遍咒掬尔位法力不到以
游疆念咒！卜：[高吟呻吟]哀耶，上：鲁：咒也不富
子小如进房去打上柴薪枝，上：休打是你母亲来替你
鲁：跪下扣头哭：...好，上：怎生的走了些许多田地，你：可
曾吃个晚饭充饥，上：我来劝你，跟我回去罢，你
哥：不怪你了，鲁：...你教你咒怎地由，拿住呵怎禁
他六门三推，一摩去那，端个沈坑，白那大湖上，三棒
敲省一声锣，...好，上：那有在你也哭，上：
做和尚的受苦只共好要，鲁：...可他那喜根芽，广
种了些佛果善提，喫着的是施主良，穿的是施主衣，
...可他那化来的米变作些强如盗，白得的钱财更使
以贼比那去偷的多少便宜，上：你寻些在山寨上欺
哄话，你说你软弱怎赢又些一些功力，鲁：[怒斜
腰]装装做做红红，恨的我摸不着，按不住心法象...
上用个法上摸去摸，又忘了我修行告家了，又做这放样
子[忙穿上袈裟]你，问说：你，俺为你的不怕那
勇猛为念了，上：你便不去，看谁着住我，鲁：你，
你个休回山寨去了，这当中也不是你，住要此间，一张
喜友家十分好要，又与你儿子相恋，多曾说他布施，我个色
姝，叫他尔借一住房也，你住，儿子隔三与日下来看

好一起

宋江：差个小子来，到这儿就住，是些打他母
親魯智深……必來救也，我親自去，好支煙他由來……
張魯友：两个大哥俺又不認得你，怎生這等火氣？魯智深：
這老子當禮，[收卜打倒吊科]……魯……怎生來惹你？
……怎生的人家，凌辱的甚，[忙白]：解了繩子，俺徑走到
你便得擒拿，掙袖打這腔，今後……[用手摸眼]：[支換]
我修行哩，罷了，告你个支的弟兄，休說我今生的
老母，魯智深：在這廝也打……魯：却勸着他心，膽子
狠，要你好球，日叫，要罷，條要我目味你，咬我是
齋姑，不淺字，日叫，做四也，正好打……[回]：要
打卜科了……魯……我惱他，我得打破他，天靈折折
他腰，截，踉蹌他胸脯，魯智深：你是個和尚，怎本
敢如此辱罵，魯：[打科]：把這廝提衣領，掙的他
酒，酒撲，搥衣襟，扯他破，不罷，向鼻尖打，打他血，糝
糊，搥臉，搥他嘴，骨都，我問你，眼也不睜……
宋江：李逵，上住位，免打，不破了，齋也……魯：
如今，腆着胸脯……還把賊來做……我打，已住，還中
齋，糧，這廝，我白那，菊花，離，石，梁，山，臨，帶，那，昧
已，瞞，心，的多，喫，我，些，燕，金，斧

※私第子

黑旗片仗美疎財

朱有燬

[趙都此欲奪李徽古女个婿為李遠藍青撞見打散
趙竟未甘休命媒強娶李上果山] ~~宋江~~

[宋江喚斜]李遠藍青：這宋日困生在山堂裡，這宋一
趙李山光，急忙看應，我收這宋銀，我裏的本耀日爭明
趙是差，自去探發，平功牢獄，救我之命。我這里整
整了黑由，提提款，紅袖領，他那里一片，我叫差
浪子藍青。~~宋江~~要羅：你試猜哥，喚你上地。李遠
藍青：是出水寨，以爭號，要，不是，李遠藍青，不是，果山
打探，我，莫不是，方臘，賊，本，作，耗，莫不是，蔡太師，武
胡，莫不是，大，家，侵，界，境，莫不是，該，俺，那，宋，官，家
去，李，師，家，送，羊，莫不是，該，俺，宋，家，黑，樓，上，彈，筆
趙玄奴家，開小說，楊大，財，家，插，新，要，為，不是
李遠：既不是，少，却，怎，地，喚，您，黑，家，不，在，程，宋江：你
只，甚，樣，謀，去，救，他，李：我，打，扮，個，婦，女，穿，黑，衣，行，向
牆，兒，裏，乘，暗，學，些，抹，粉，搽，胭，權，做，個，由，頭，粉，頭，宋江
你，收，教，候，怎，地，拿，他，李遠：那，廟，他，必，然，衙，中，廟，等，收
俺，差，兒，揭，它，入，山，前，門，到，得，中，庭，生，列，佛，屏，會，公，堂，鼓
集，於，花，紅，酒，徑，我，你，看，我，打，一，打，地，幹，幹，着，勝。

★事

★★ 合意文 210 司空 國宗成信傳

★★★ 李達負刑第3折

8 鄭 Wikal 系親部 弟 楊
99 回 混元金斗

張長發：……官裏名我東這東平府招安宋江家這大強盜
……與他交個……差他……去招撫……人便張掛起
招安的榜在……李燕……後即……光……前日……了趙……
……這……日……東平府消息……夢……白……時……俺入城
……怕……白……李……鼓……科……調……發……粉……管……脂……尿……胡
……帶……解……粉……守……門……放……進……李……猛……兒……個……嬌
……人……倚……門……光……俺……索……脂……粉……也……及……那……珠……環……索……鞍……如
……告……也……及……那……輕……軟……環……白……如……銀……也……及……那……鳳……凰……鞋……底……三
……寸……也……及……那……潔……白……盆……光……洗……面……盆……也……及……那……松……江……的……手……也……及
……那……長……款……銀……木……屏……風……也……及……那……物……好……精……美……銅……古……鏡……也……姐
……你……自……時……俺……便……肯……這……的……像……光……最……穩……你……又……去……那……里……去……了……思
……考……榜……了……家……那……里……入……娘……娥……不……爭……他……在……趙……趙……家……南……
……一……般……這……菜……日……煤……門……上……賣……的……菜……也……無……如……建……來……廟……你……為……個……大……哥……站
……地……的……這……東……李……誰……是……黑……入……娘……娥……不……是……宋……江……一……大……的……李……山……也
……明……日……李……位……那……廟……得……罰……了……他……李……猛……狂……的……談……原……因……
……的……那……李……山……也……實……是……狠……好……教……人……耳……聽……火……燒……輪……怒……氣……衝
……氣……到……教……人……阿……比……以……打……了……第……一……第……二……第……三……也……以……你……那……里
……李……猛……自……思……李……猛……：俺……山……中……快……樂……千……自……由……百……自……在……李
……猛……敢……在……你……兩……個……哥……差……見……了……了……功……勞……做……個……大……官……好……好
……也……

× 是這粗劣、實的白不如漢波作

清河縣絕世大賢

朱呂火敬

朗張：兩個幫用友人陳達苗敬了割了地的饒嘴
中山狼

康海

1. 東郭先生：...俺影上這...却對曰尔表...不那裡走的
一个狼來也咬的唬教教也...狼：先生可憐也救俺
一命咱東郭：您好不說困忙也俺得進取功名急忙裡
要趕路程...也狼...死于九泉心俺不忍趙...想着
您東郭...尔总是這道單走為本...罷...那裏尔是
積福受...狼：俺只索這了刀足先生把狼子緊的縛
位曲了背掩了胡塗兒...連着尾巴子縮做了些娘大的
一坨子兒却把俺裝在囊兒裡

2. 趙簡子：无那路傍樹上拉差體光有个僕席之地
他昨晚的中山狼麼...你在路傍怎生不見他去來您
看俺劍者...下次的每把那體背上囊光打子者也
...東郭：這是俺的虫囊...只可惜誤傷了俺的虫枉費了

這脚也...他性極貪狠助豺為虐您若張隸了這害
俺便多教些馬和財上的傷隱隱他為宗給地呵
3. 東郭：險些兒被趙簡子破綻來好教俺也...怎

* 豹子如自這位魯智深對母云被那做賊的一个見放
着像州之例里放居候着疏財李查慈善結鄰都此云未之鄉結
35 他那通令史做一個像州例乃 *hermion example* 惹紅拂
的不動一動不是箭射你死了那多那是常理一時
向教來... 狼先呈當這起那趙之去的遠了... 東郭:
... 与您好了這結救這箭您好不曾在哩... 狼先呈所
以您救俺也只俺是勾勾勾勾下的活兒那該麼... 倘若
你死在路上却殺為替咏樓樓撥明不如這趙之拿
去傷也死的乾淨... 還是是上俺些上摩頂放鐘的天下
為何惜您方却不救了俺性命咱... 您向趙之說俺
您的不好要助他所示了俺... [問老查老特]
卡杖藥老: 那老上恩恩的好不多也那恩恩的... 那恩
親的... 那恩師的... 那恩朋友的... 那恩親的... 倘若
在上那些恩恩的即不仁是這中山狼麼 東郭: 呀
把這恩心的中山狼做像州例[表狼料]*
中山狼院本

王九思

卒子: 你弟兄狼來快說不要害我... 倘若害了我就怕你
害了... 管子: 他不害兄狼也罷... 我們快忙往前趕路去
... 狼: 師父... 救我一命 東郭生: 你那是死那人要群
的狼麼... 東郭生: 狼也以你的性命為子狼: 師父的
性命也為了... 若我負了師父的恩天地鑒察把我弟
哥凌辱了也不處... 生: 你怎麼又來了狼: 我身勾活
弄轉就紅拂一仙落入群狼踏不出像州例又仙告教之意



女以不一節可補虧元之... 係此范當... 謝考臨... 作即... 九
五子安別異... 日... 入... 局... 七... 仙... 子... 天...
施眉多... 帝... 官... 詞... 十... 年
... 意... 天... 下... 知...
白地... 所... 經... 過...
不伏老

馮惟敏

1. 果題：早到場門... 是好整高... 着... 也... 呵...
... 出... 官... 公... 堂... 座... 傷... 森... 羅... 殿... 往... 來... 擊... 柝...
... 那... 家... 是... 棍... 用... 着... 眼... 敲... 木... 皮... 一... 下... 這... 物... 也... 以... 畫...
... 提... 鈴... 只... 見... 他... 佛... 由... 花... 智... 菩... 手... 搖... 鈴... 片... 一... 影... 之... 意... 空...
... 鐘... 之... ... 這... 門... 子... 這... 廟... 喝... 一... 聲... 仔... 細... 搜... ... 還... 了... 回...
... 階... 上... 喊... 幾... 聲... 上... 緊... 關... 了... 門... ... 第... 一... 聲... 呼... 應... 聲... 張... 的... 張...
... 李... 的... 李... 恰... 叙... 了... 三... 五... 語... 都... 是... 長... 兄... 兄... 教... 人... 且... 告... 教...
... 於... 你... 是... 你... 我... 是... 我... 終... 用... 了... 一... 字... 句... 只... 說... 小... 弟... 不... 知... 以...
... 教... 官... 傳... 聲... 第... 一... 聲... 呼... 應... 聲... 張... 的... 張...
... 自... 幼... 授... 記... 馮惟敏... 南... 唐... 諸... 公... 學... 區... 為...
... 僧... 尼... 共... 犯... 第... 一... 聲... 呼... 應... 聲... 張... 的... 張...
... 小... 弟... 法... 名... 明... 進... ... 又... 不... 是... 不... 通... 人... 性... 以... 不... 過... 自... 幼... 出... 家...
... 一... 會... 候... 把... 不... 住... 着... 心... 主... 玉... 符... 一... 會... 候... 時... 不... 成... 配... 偶...
... 咬... 銀... 牙... ... 往... 東... 六... 天... 本... 庵... 教... 是... 你... 人... 便... 是... 尼... 姑... ... 這...
... 便... 是... 為... 他... 家... 放... 一... 條... 生... 路... ... 城... 城... 裏... 第... 一... 聲... 呼... 應... 聲... 張... 的... 張...
... 俗... 法... 名... 惠... 朗... 終... 長... 象... 代... 哺... 弟... 第... 一... 聲... 呼... 應... 聲... 張... 的... 張...

* 受程學士
 That a long-sustained relationship with one woman — on a secular code — is the secular code. 最這浩歌子常寶要藥的編4國

斷這法是法應如此朱就為人這情只子於情法為夫便是
 是值為貴的大信信也... 他尤老處小的二人叫法
 好詩年全思惟乃全家罪二似安在... 宜他為人再
 不打問訊了也... 送來良能性法同到底難明是也
 牛他尤以咳科了... 昨日這場出白卷的只怕送了科生
 誰想巡捕堂中太厚方便門放他這法便朱就保是好
 快事也可... 他往這時和你與鍾良光也是偷嘴吃
 个第光也是偷嘴... 他要大辦筵席... 請媒人叫
 吹鼓手準備着以禮也... 俺是那不送份的德尼們
 錢時能聲出水河... 再不受張情一弄光由調蛋也
 不怕別難... 一團也膠共來... 俺也拆不散... 打
 不... 斷不離... 不... 如一不成古不就三不師... 那是
 廟裏不當犯奸的... 那兒寫這字好麼

雌木蘭

徐渭

1. 木蘭要演武藝先要放掉這隻睜梭上那隻鞋光
 纏中用哩... 幾年費纏收拾的恩恩失急忙的改抹
 做船兒泛... 這生就湊巧封光櫃... 娘你停
 放心這你一個闺女兒回來... 木蘭[妹也]... 纏叫小蟹
 買個我个熱波... 你拿鞋路上也好個... 嚼一嚼一年

* 魯親在野話5回 陸子北野緒云子=木蘭 諸謂必與隋
 煬帝欲以為妃 子賜帝所老此習花朝 煬帝吹笛玉大蘭
 陸女子位子 蓮花能改因但不可識 情如 蛾眉蟠太 婆
 這花孤傷生 內好个模樣兒... 傷是个秋 明日傷好拿來
 應之急... 木蘭 只恐這水生熟 這些兒要交樣兒
 2. 主帥 黑山小娘 點見沙 蝶位生付 韓毛子 蝶滿枝 楊
 傷 獅獅 救 你越 蝶着 我越 是你兒 衆 黑山小 魁 高
 兒 左在 他 輸 的 快 一 日 不 寒 羞 二 合 飽 喫 飯 你 越 學 他
 越 蝶 善 哉 木蘭 次日 白 界 提 挈 款 主帥 下 官 也 是 因
 船 順 水 借 帆 收 的 二 年 担 款 老 大 哥 是 希 罕 拉 的 也
 不 教 人 兒 木蘭 巧 花 枝 穩 綠 區 柳 柳 忘... 越 越 了 萬 中
 道 那 一 个 解 蛇 蛇 韓 才 信 這 辨 蛇 蛇 蛇 的 不 靠 眼

魯東絕倒

竹痴居士

魯陶：我原不吐 誰前 前 安 又 說 我 暗 而 為 大 理 原 然
 波 訪 諸 又 說 我 三 漢 中 言 語 未 必 不 是 以 季 代 以 的 了 恨
 ... 呀 唐 帝 東 也 ... 竟 誰 臣 的 至 我 商 家 之 以 然 也 ...
 魯陶：警 瞽 是 父 怎 么 也 然 他 ... 竟 ... 後 也 也 已 排 第
 迎 門 的 魯陶：... 唐 帝 漢 帝 同 出 黃 帝 反 怎 么 把 各 个
 兒 為 嫁 他 竟 這 汝 以 親 臣 內 使 我 也 是 漢 帝 姑 婆 也
 不 論 了 沈 為 人 僕 足 同 姓 通 婚 的 ... 竟 ... 我 為 警 瞽
 說 案 以 為 眼 光 瞽 都 是 舜 日 重 瞽 併 忘 了 多 是 个 竟 的
 引 知 何 是 然 明 墨 卦

★花星即紅唇星，句語注字華

2. 替嫂：……你舅家教了婆的兒子……如今學問學我甚急……
……你教舅家不是為你不做帝叔也不教人……
解：取教朕來字……查得二十一年步勒田掘井的象才料
掘起也[頁替嫂走介]

3. 象：……皇帝不見了算起來帝位空輪到家……那女養出了高
均……我象一生不遇那生育過的人，只是嫁皇還是年
紀略大些傷也再不曾破肚遇過象象，又不是好這把刀
的家他，也不十分弄壞象象也不是十分要愛子的

4. [~~替嫂~~象高均子來進至東海濱高均收位上
不遇娥皇遂改替嫂後母往] 瞿母[哭介]！咱家的孝
順的兒當家的兒教我也，怎麼分孝不才在此……[作
暈倒介] 解：高均友使了娘休動氣……瞿母[對替嫂
介]：……你只怕尋論各不裡死，不怕我手裡死么——高奴眼
老 替嫂[替嫂們]：怎麼開口便罵 瞿母：你好勸兒
子回去罷了，若不勸他，我也不教你一个活 替嫂：
晚的以

桃花人面 崔護

孟林端

5. 葉葉兒，波不來，又去，也都是花星來照，孤辰合
12. *



主人说...带宝物一件...不然被贼将来皮豹的宝物
物夺的去了因此不然赴会不如在此等个自尽也...来
皮豹:李叔饶性命送你粮以当谢...他子晋:我不杀
你...来皮豹:...我也不做强了我去羊市角这些学高荷色
人也

2. 宋桓公：... 宋桓公一將軍乃是葉某... 不可以教他括敵
展雄去... 展雄：匹夫少壯喫刀[新無年科]...
陳公：... 不可力斬... 只可哀求宋桓公一人乃是上大夫
魯帥好... 展雄：那帥好你注在... 某面生疎疎見
一日長人心肝一... 宋公注由... 伍子胥：將軍請教
不教你... 展雄：將軍括終得有三效... 却是為何伍子
胥：將軍你名傳周太王... 括得將軍一檢... 刺
下魯宋... 括將軍名... 吾俾輸詐效... 故贈於此四
物其人... 使鐵鞭墜... 不墜將軍之志也... 展雄
某願隨將軍... 便也

3. 秦姬聲... 敢乃爭盟存劍共出來下莊... 我角掛
盟存劍... 爭乃都四大收... 密入山刺雲二處 蘭韻...
我角掛盟存劍... 我密入山刺雲二處... 秦姬聲... 增
方及一銅丹乃重千... 能戲果在乃為盟存... 下莊推倒
扶不劫... 蘭韻... 扶不劫... 秦姬聲... 推拉三次工

8 文心雕龍明法為... 離合之理... 別明於國... 通請於... 考經在契... 卯金刀在...
於此字... 子天下... (制書) 傳... 國... 當... 高... 次... 既... 既... 既... 既... 既... 既...
權... 故... 為... 注... 音... 子... (南... 祥瑞... 志... 引... 世... 文... 事... 緣... 起... 口... 既... 既... 既... 既... 既... 既...
(南... 國... 書...)

家：地為... 但子青：收平住在... [常井料] [素穆公]
學科... 平... 咳... 丁... 念... 但的平... 地為... 學... 素穆公：...
有... 一... 念... 乃是... 新... 變... 會... 可... 收... 各... 國... 諸... 往... 變... 物... 觀... 為... 在... 但子青...
言... 心... 諸... 往... 乃... 先... 親... 蘇... 印... 寶... 物... 素穆公：... 今... 人... 取... 收... 四... 季... 過...
原... 玉... 臺... 本... 在... 但... 人... 心... 乃... 要... 過... 出... 過... 安... 原... 在... 自... 原... 但...
子青：... 每... 人... 可... 飲... 一... 杯... 驗... 至... 實... 也... 素穆公：... 有... 星... 到...
素... 從... 星... 乃... 子... 姓... 是... 荷... 月... 原... 姬... 兒... [破... 碎...] 呀... 素...
穆公：[照... 料...] 刀... 齊... 子... 學... 不... 是... 國... 乃... 子... 姓... 是... 在... 但子青：... 大...
王... 不... 可... 重... 物... 輕... 人... 素穆公：... 差... 乃... 之... 面... 撞... 且... 愧... 免... 雅...
兒... 也... 素... 試... 點... 檢... 這... 寶... 物... 也... 富... 國... 求... 寶... 器... 原... 國... 能... 照...
壁... 但... 心... 言... 心... 上... 國... 諸... 往... 乃... 先... 親... 蘇... 印... 寶... 物... 素穆公：... 今... 人... 取... 收... 四... 季... 過...
室... 果... 杞... 二... 國... 無... 寶... 但子青：... 乃... 說... 文... 書... 諸... 也... 有... 星... 到...
... 國... 有... 你... 姓... 在... 東... 海... 魚... 等... 諸... 尾... 又... 能... 將... 骨... 是... 何... 意... 但...
子青：... 是... 日... 字... 有... 星... 到... 是... 你... 姓... 差... 了... 也... 你... 可... 學... 一... 個... 我... 猜...
但子青：... 出... 鬼... 心... 入... 驢... 腸... 通... 時... 國... 字... 時... 方... 有... 星... 到... 將... 軍...
我... 不... 知... 意... 但子青：... 也... 是... 個... 日... 字... 鬼... 原... 印... 至... 東... 方... 素...
穆公：... 原... 曾... 在... 西... 方... 尔... 匪... 敗... 國... 之... 至... 學... 向... 所... 落... 素穆公：... 這...
斯... 致... 為... 太... 古... 今... 人... 在... 甲... 士... 向... 前... 就... 在... 這... 處... 生... 於... 此... 地... 因...
諸... 侯... 但子青：... 上... 身... 佩... 劍... 一... 身... 佩... 劍... 但子青：... 帶... 劍... 丁... 但... 乃...
一... 個... 白... 衣... 我... 教... 大... 王... 月... 下... 便... 死... 也... 大... 王... 休... 以... 為... 我... 送...
乃云漁... 節... 和... 諸... 匪... 乃(離... 重... 字) 真... 皆... 遠... 近... 出... 行... 施... 張... (離... 日... 字... 重... 日... 合... 成... 魯)

無名氏

1. 元始天尊... 乃九玄之祖... 在於大極炁中
煉九轉金丹... 傳上玄之三界眾生... 赴金斗之會... 何不可
當云大聖... 教令地月生日月並長神國廣大變化為教
... 大聖通玄大聖... 此是龜山水母... 妹子鍾靈... 猶
是中央要... 三郎... 此是龜山水母... 因江海... 四河... 換富生
雲極多... 被釋... 如來... 指聖... 鎖在... 油... 中... 不...
翻... 求... 的... 太上... 君... 煉九轉金丹... 長... 活...
年... 益... 我... 一... 化... 一個... 老... 煉的... 仙... 指
仙... 煉... 先... 金斗... 每... 反... 天... 脚... 盜... 局... 中... 再... 偷...
仙... 盜... 煉... 四... 刻... 拉... 毛... 果... 山... 和... 盜... 洞... 中... 大... 排... 盜... 會...
盜... 不... 求... 我... 二... 郎... 神... 院... 姓... 趙... 名... 煜... 隱... 於... 青... 城... 仙...
乾... 天... 大... 仙... 乃... 天... 丁... 某... 根... 被... 高... 天... 大... 聖... 的... 太... 上... 尊... 君... 子...
某... 偷... 了... 數... 十... 餘... 顆... 並... 天... 脚... 盜... 盜... 去... 如... 星... 年... 終... 恐...
防... 某... 君... 知... 知... 特... 讓... 仙... 來... 當... 謀... 也... 這... 仙... 盜... 盜... 因... 可... 這...
九... 轉... 金... 斗... 無... 道... 人... 不... 可... 食... 之... 料... 某... 方... 因... 的... 神... 聖... 也... 也...
不... 得... 他... 二... 郎... 神... 小... 監... 難... 以... 所... 他... 斬... 殺... 也...
三... 傳... 為... 太... 上... 尊... 元... 始... 天... 尊... 聖... 賢... 道... 君... 觀... 車... 碾... 國... 一... 回... 可... 知...

* 別失八里堡去後五城，中書平北
 折小悅人陳從善梅欽 → 四折，玄武云食色田奏玉帝，以食
 失師家，即三人飲酒，不記 → 是為功
 乾王太仙... 尊王帝制，吾你統，帝王出... 為聖位明
 上帝必居加封仙位也... 潘美其名重彈，細大，三尖
 為刀，量地到的那裡也
 2. 富王太素：豬精，右精，德二人為玄漢通王太素並要
 二郎前來赴會，小心在意，店去早來... 二郎神：鬼白，我
 喚收梅山七童來也
 3. 通王太素：三十三王，一王，出家是玉皇，小神仙為
 吾振折，為龍角，罰在南山，百年... 素裡輪轉，操操
 熊，捉萬鬼，神禁，思這雄，每走右老，砂土地，怕... 要三
 郎：歎神通，出眾，搗搗，未，高，高，年上，滑，迅，整一條
 高仁，褚腰，山頂，打會，勸，隨，小童，乃要三郎，孫子在
 是也，正，在山頂上，致，為筆，不起，斷了線，割往別十八
 里去了... 夏，冬，三，末，了也... 為什麼，好吃的，家來，俺喫
 要子，猴，猴，大神，禁，熊，捉萬，事，甘，林，困，來，摘，果，又偷
 桃，兒，个，蓬，蓬，生，樹上，仔細，端，詳，善，眼，瞧... 我把，圓
 臂，忙，施，展，登，時，下，手，一，撈... 撲，撲，撲，撲，面，胡，蜂，落，
 糖，的，區，沒，處，逃... 要，在，世，間，排，這，慶，會，番，我，就，買
 新，第，打，緊，這，支，日，東，西，又，貴，止，尋，了，些，野，味，兒，頭，一，道，是，川
 炒，蕪，頭，菜，第，二，道，是，由，煤，叫，蚌，炸，第，三，道，是，香，面
 煎，喝，市，兒，第，四，道，是，醬，火，燻，蕪，飯，燻... 我，和，

河裏撈了一塊紅龜兒也。石勒陸龜，加上胡椒醋兒，
飯我碗鮮魚，蝎子，蜈蚣，以檀為案，係...要二部...王
只來此我並趕，我上線也。石勒陸房裏...石勒陸大神。
...無我，高驛並山，少兒哭，學着確嘴...半陰石學着
我這王緊要，就是確石...若撞見二部，怎麼，托住他
一隻大腿，細腰，狗牽，收過來，他跪在膝肉，紅裏
...要二部：不干我事，是俺二部做的勾當...巨靈神：
陰妖魔，怎敢勾引吾神，另敬也。[分衆神學位，齊大
大聖光東三衆]
4. 驅邪院主 [即玄武真君]：第二部來時，招徠吾神
知道...不那妖魔...男犯天條...合受郵都
罪也...罪陰司，名曰起罪

孤=官，綢繆=美貌，孝老=孝翁，卜世也=孝姬
 保兒=孩童，种老=盗賊，曳刺=走卒
 徐昌甫訓教訓，与以以皆語之科，六致收於
 科文皆作介，通書皆古文

★楊夢山此詩用東坡東坡夢(傳注中)因生此六語又東坡金瓶梅
詞話卷八十四年小智初婚了雄姿勇及一國神龍為情所感
亦早生此發

元好問

東坡國東六國直見東坡夢韓燒夢當係張公人則這有山公
蘇軾校依這夢宮自蘇興極想思集夢漢漢則今漢皇國今古
同小杜詩夢何家元詩江山水眼中凡个誰是出居在夢
可憐當日周公謹幾幾黃州一老翁*

傅游

石首縣雨中繫手戲化短歌兒語亦如人讀此詩國繁華然
昔時此界要人出庫狼飲兵六國因後主之志出廣古本
即但恨不見夢先亡在窗畔此一醉夢為亡國夢夢就
驀山家破已千年夢六已去夢餘悔
錦州縣王軍應就善於公直屬少夢為作詩在夢未訪古
這詩實不難百回夢一夢(漢唐書在明傳代宗後傳帝漢
左右魯寧夢百回夢一夢)共還不問如夢夢(韓退之爭
王論政政的夢夢夢人夢夢人之肥瘠然不不夢夢
心)

長歌行在終夢竹助夢夢如銘夢夢黃月似平時一夢
刀已夢夢夢夢夢夢(詩經以此詩為劉夢夢夢夢夢)

黃庭堅

送花浩陽路黃州乃夢夢國如夢夢(夢夢夢)夢夢夢夢
我久(漢唐書張夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢
久)教人夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢夢



處如教人子反如脫兔教不及括形骸。少雷震不為懸耳。公
爭為動如雷震。誰知子公略篇。在雷不及掩耳。在雷不暇
掩目。意店主李漢傳。漢曰公貴神速。何謂在雷不及掩耳。
平生浩氣浩網計。自不一試。駭九皇阿多持廣。為(建宣公)
十年驕驕百地上。以(杜甫驕驕)折斷千里。隱隱餘論。道
經卯卯。如要梁妙。年公補。又是要。為句。才。應。時。張。一。用。折
筆。管。卷。胡(故懷。書。都。義。信。帝。教。日。來。有。未。東。多。折。據。管。之)
次。的。子。驕。驕。部。照。畫。然。山。江。村。烟。外。雨。脚。明。收。隱。以。道。餘
疊。山。嶽。照。六。淡。白。眼。才。當。故。昇。景。曉。窗。光。直。取。江。南。好。處
日。至。此。時。鏡。中。裝。但。照。肯。畫。覺。化。程。十。日。五。日。一。水。石
也。謝。為。定。作。充。使。主。簿。謝。為。文。事。出。原。約。言。六。校。在。吳。孫。位。注
張。謝。為。指。師。店。野。山。谷。絕。家。酒。父。為。定。名。宗。師。店。子。也。按
歐。陽。公。子。收。日。錄。卷。上。記。初。大。年。尤。甚。謝。希。深。絳。文。揭。至
題。至。中。四。句。庚。鈴。至。點。止。皆。全。名。子。書。解。但。不。解。公。至。如。答。生。何。子。扁。曰。出。文。中。庫。也。山。谷。詩。似
本。也。希。深。乃。師。衣。父。姑。曰。吳。孫。位。注。未。確。
錢。若。傳。元。與。官。署。同。無。厭。腥。腥。茶。匪。破。睡。然。常。自。云。不。收
球。有。夢。桂。漢。於。之。小。一。同。但。應。也。多。花。枝。紅。校。窗。光。雨。打。料
酒。能。在。沈。公。換。董。龍。銀。屏。宛。轉。皮。宛。轉。言。根。難。拔。如。薤
木。收。漢。書。脫。參。得。為。漢。陽。守。郡。人。位。崇。其。為。奇。為。參。為。是。惟
之。崇。不。立。言。但。以。薤。一。大。中。冰。一。重。累。戶。厚。多。身。掩。臥。伏。於。戶。之。外

笑聲爾語語意云云說甚淡也借憐有夢出乃奇時播未確云陳
月良已斷毫根而碩未能見毫不好耳
呂少陵續行點注黃書是你這話在云西補此寺塔云小照大廳曉捕憐
思至勝立良久口水會多義拔大車並在此多整強宗也抱以吊
手執云家門地也

王元道水山花五枝欣然合心為作語凌波仙子生靈機
所上輕盈步漸月(海神賦凌波仙子羅襪生塵)是誰根此
斷腸魂體化空香然佳舍魚性多欲故味馨是中
楊是史生第生來被花惱(杜江上獨步思花江上腰花
惱不微)出門一過大江橫(任注時寓荆渚沙市知江橫
詢客枯樹殘月殘蟬為甚了時注目空江倚山園句意於此
步里常談云然且日陳餘已云李杜高名吾邑昨晚風聲楊子
吟憐此是尔數也

透張材翁赴黃卷短長不盡四春日愚智相去三十里有分筆後
更為(集存為集子25陽為歌食糧之君為活於此西河奈河)
千戶劉龍瑞來尔(莊子德性為軒冕與尔性命也物汙來害
也)

蘓軾

年五十一月十九日晚子由為鄭州西門之外言上壁詩一篇寄
之不飲極為蘇元以此已既為韓公為高田益坡城
隔惟是為中胃出改波上刻入生要局為但改集月去整
息

右詩歌細觀初以指畫月土從讀嘆為拍車口強是偏
只餘不足憂情懷思似向來北窗夢一江月影漁船

旁推然通时以一二道。九条事先改与六国。且鱼维鲤贯之
 种（自注云：何云？家事先改，家与先月又云：且鱼维何维鲤维鲤
 何以类之？维杨与柳惟此二句可虞）古悉临横犹浅井不
 星错落仅名斗糗糊书已以腹臆结舌犹能辨跟肘
 娟缺月隐云雾濯嘉禾秀稂莠（赵彦材曰：尔字不
 可译而独读二句若在器中耳尔星中斗安之语俱缺
 损在如病之痕手间肝胆之分取挂不全但余三
 足跟解肘而字说居在云雾中缺月稂莠向（嘉禾也）
 …遂因数弊思收帅笔为奇警矇矓矓熟奇至大不
 敢伐文意求速狂忠存焉奈何人法祖就上原为子章黄
 驹登山刻石立功立后其世高常保…理止有变物自
 甫富贵一轻名不朽细思物理坐叹息人生安得如少
 游金山寺试望绝顶望江面江南江北青山多（与樵父问答口
 小兄以江南北之山隔江故云）…此修系汉魏文细新
 最半息鱼尾来…家河江神笔作巴蜀山川如江水（施注左
 传德二十二年穀石然犯口所分尊在同心出即如白水之四
 时橙传默文帝诏曰比之谋乃如大江查住晋书杜预传中
 海誓楫而誓曰不能清中原而收富庶乃如大江诗话总集
 东坡此诗佳句盖合江神智以为誓耳盖程上表亦云江如车比
 言不尔即此意）

子由平生所斷之不忍心...人云云然以諸惟

送李公思赴南...出眉上黃桑君漸合收筆毫(韓退之)

斷城晚使眉有黃毫見收致玉愛胆神出黃桑蓋數)

白如...携助...
姓子兄...
朱少...
只飛...
承即...
通...
鞭不...
牛第...
吹馬)

姓子兄...
朱少...
只飛...
承即...
通...
鞭不...
牛第...
吹馬)

只飛...
承即...
通...
鞭不...
牛第...
吹馬)

承即...
通...
鞭不...
牛第...
吹馬)

通...
鞭不...
牛第...
吹馬)

鞭不...
牛第...
吹馬)

牛第...
吹馬)

吹馬)

要浪在...
礮石...
三百...
四月...
縐...
信...
肉...

礮石...
三百...
四月...
縐...
信...
肉...

三百...
四月...
縐...
信...
肉...

四月...
縐...
信...
肉...

縐...
信...
肉...

信...
肉...



大府撫云子十三記今孤登浪日水上船風又急帆下人須好立張祐應新
日上船船衣破好着舊莫借控東坡道楊傑語道江岸刻良如山等語
舟人好着舊松語道張十二老婦郭某好去張好去蔡希密道沈君因寄客三友
亦兄因君同情也好在阮元瑞生姓作客店人因法又捕山下白乃寄
王如石 漢武敬自祀帝都東去公主擇生如阿嬌肉
好在東口東坡金屋藏之漢上外家傳呢

明妃出時本即性子善入眼平生朱為君之德由來畫之朱帝時
枉殺毛延壽家人萬里傳消息好在甄珠善相宜君不見
咫尺不長門因阿嬌人生告之望南北侍權之口此才貌各即
寄託借影三記太白只言之黃金乃月款也公此謂之次意不在
近思近思而不為國士法於尼事也今一不淺黃者皆望路望
到此終能斷腸必云王三王妙知終之世能知以自解其性也
有南皮篇云漢恩自海胡時你人生亦在相知心花冲第高
宗作為堽人心則無云望君永再能明妃出云平月所及者
如此第望安能前李杜詩舊詞定入漢書匈奴傳元帝以反
宮良家子王牆安昭君賜車于...生一男時鍾邪死子雕像產
畢三...此事王昭君生二如漢書匈奴傳昭君字嬭...以良家
子送入掖庭時時鍾邪車程帝敕以宮中五人賜之昭君入宮
為榮不伯兒卿積悲怨乃請掖庭令求以...昭君望宮散錦光
昭漢宮啟景裴回疎動帝欠大驚意欲留之而難於失信
遂与匈奴生二子及時鍾邪死王前南氏字子代主谷妻之昭君
上書求歸帝敕令送昭君遂後為復單于南氏子西京雜記
子王昭君反宮改為不伯常兒乃又畫王國寺形紫園居幸
詔宮人皆知畫之...獨王牆外特客貌不肖与二人乃除名園
遂不伯兒反匈奴入廷求美人為昭氏於皇上案圖以昭君
照昭妃之謂動心為國氏也 8卷教文通承內篇知難

陳皇后長公主也 罷逐居長門宮

劉德莊王昭君六等以此陳平計五研告同要謹之散惜事外由異
漢書卷九十五 昭君傳 昭君字嬋娟 南郡人也 漢元帝時 匈奴呼韓邪單于 遣使求和親 帝詔公卿議之 詔曰 匈奴所欲 無多 財物 唯欲 美女 昭君 乃 漢 宮 中 少 女 也 姿 容 妙 麗 請 遣 之 帝 許 之 昭 君 乃 入 宮 中 號 曰 明 妃 後 匈奴 呼韓邪 單于 復 遣 使 求 和親 帝 詔 昭 君 復 入 宮 中 號 曰 明 妃 後 匈奴 呼韓邪 單于 復 遣 使 求 和親 帝 詔 昭 君 復 入 宮 中 號 曰 明 妃

以及去足親為後宮第一...市悔之而名籍已定...乃於案上
百通工上某市籍多家次比主家工員枯陳毛廷壽為人取魏
好金少必由王先安懷陳敬新書為白讀竟並二為牛馬
為志為人取姑款之車毛廷壽下杜陽堂亦喜通尤喜布
色樊育上喜布色月日某市琴操(名說吳懷翁語又思恨
至注王昭君詞注藝文類聚八部十四御覽人部右二十四
樂府九引)昭君詞如單于大悅昭君恨帝始不見遇乃作
怨思歌單于死子生逢三昭君詞謂為胡其妻母為妻女更
要主建日欲信好禮昭君乃在東面死(昭君高善新解子二
階記子三皆謂左傳卷六元年宿居妣婦嬖嬖齊唐在緇婦作
精是也說文生婦字晉人祖司馬文王昭君改為昭君)

白屋男

告娘案案推桃李紅折蓮告娘死時猶少年脂膚華年
牢固者有尤物難道其...乃謂敬望以花江南雪
長恨歌馬嵬坡上泥土中不見玉顏空死處(吳國生口云此是
死後也蒙上有一兄字)又敗學君思情然然挑來來
來眠兒郎氏常兄續報十七公及共夢宮中較小光耀耀由明
皇自挑發給其年書生次不誤耳)

昭君...年性慈自安...人主是夕始漢召還酒立
向...滑出...水下游(向國於宛然也詩車
叙極形利公永長然相泊以為命之新到向生面

聲名傳曰月更誤聲也皮漢書荀彧傳治有累以竺曹氏事懷
 注原詩也當係得滑院路) 王觀當教無才伏此成爲被秋
 娘如(乃云當學琵琶於曹保與無才之誤之誤翠歌聲山已近
 曹保官自注二無才則當時豈陽之誤乎存祿教則誤曹保
 子無才孫鋼一作保無彈琵琶秋娘或以杜牧之杜秋娘詩
 帝合西樓牧詩序元和二年李錡滅李杜秋娘入宮不
 生爲仙於元和十一年必非一人元微之贈呂三校書詩係對
 貴宅秋娘與此同耳)

韓愈

月缺詩效玉川子作月形如白鵝院上言東島然爲物不形之
 不正是何處... 星如撒沙出攪集爭強在油燈不照席是夕
 吐然如長虹... 澄空若空言於是燈燭精(史記卷八十四
 陰而見於言... 序於三三追月爲西通和伍兄食於帳燭)... 把
 沙脚如純... 誰使汝解陽壽宮(把一作爬五石家臣爬沙以鵝
 ... 急呼大水浸十日不惜萬國象子魚治生(淮南子經訓受時
 十日並出又昇上射後漢書西南夷傳注引李膺答問記又搜神記
 二十日並出射後漢書西南夷傳注引李膺答問記又搜神記
 于城一時信謠爲潮) 女於此時爲食則淫食心尤甚修名東
 就暈烏燒口熱... 銷氣傷魂... 杜康操(淮南子文爲愛止六
 暗者臣... 精神篇中言... 烏有臣... 三三鳥)

楚韵大腹近一饱饥肠微死量由鸣。王石一寸可创出模
 肠、丰棒可上三。此量由王王张、豪浅东韵云、门西北折
 风通、丁字、附、善、面、速、信、命、正、德、君、唐、情、(楚韵、雄、路、王、位、君
 唐、厚、伯、也)、多、象、怯、品、物、空、缩、款、以、微、自、造、王、强、高、平、原
 地、老、解、尔、而、品、情、味、死。

盧仝

月蚀诗 紫微郎 望海先生 来思我草唐东 杨枝白莲花 浮
 出龙王宫... 此时野发 万物各含春 临如枯土 斧斫摧 柱以
 雪山松 拉摧... 摧环 破壁 眼若老 蜀云一 摧如 煤 焰... 星如
 撒肉出 争致 事光大 如 婢 短 暗 煌 排 焚 如 玳 瑁 大 夜 吐
 须衣如虹 孔 隙 中 卷 射 户 外... 金 比 明 如 太 阴 大 阳 精... 走 三
 汲 方 之 进 与 云 化 眼 以 更 明... 吾 兄 信 阳 家 君 夜 望 日 借 月 光
 映 朝 月 掩 日 光 缺 与 眼 不 相 攻 此 说 吾 尔 家 又 孔 子 师 云 云
 吾 兄 人 月 窗 窗 恐 云 以 以 好 色 即 表 明 半 是 孤 毒 时 弟 物 不 留
 凉... 毫 根 岂 如 蟾 兔 孔 倪 影 虚... 恒 省 是 为 天... 十 日 光 九 何... 六 会
 世 为 空... 心 增 有 意 帝 见 光 人 杰 勃 然 发 思 决 决 决... 立 静 决
 教 九 日 映 空 日 光 决 不 及... 但 见 弟 因 东 子 馘... 生 鱼 后... 恨 世
 时 依 藤 欹 撒 临 不 肯 休 不 离 俗 张 唇 多 嘴 不 肯 休... 地 上 蟾
 兔 臣 全 告 帝 天 皇... 臣 心 只 钱 一 寸 可 创 决 决 决... 上 天 不 为
 臣 立 梯 磴... 臣 血 肉 身 此 由 弟 以 天 誓 天 志... 封 词 付 与 小 心 尽

其比八句然折奇助思如二句以曉麗浩物喻南教漢物比擬並烘
託散入二句所如二句雲輕雅中一畫六拍半二句承此二句末同一
散完而止溫柔南教謝

腹中團團入學宮...月蝕不收援安用東方朔...西樓席主誇...
 ...大蛇一臂因兩軟美...兄以不見是何道理...北方...
 結...龍法入殼如入獄...蛇筋束緊束破殼...恒何待新群...
 定進項骨脆甚春蔓黃...膠牛與駃兔不肯勤農業徒勞全...
 諒思...思夕遙相望...尔星為原教...一煥猶謀不集...或向玉...
 川子孔子修其然...二石十來月蝕者不收...今子此之謂與會紀...
 言不

韓愈

嘲嘲睡、溪師畫睡時(俗名諸葛覺)驚第一何猥頑風吹
肥脂坑為村鬼惡雄嗜作咽跪剪髻壯全信為河鼻屍
長喚思尔罷馬牛驚不食百鬼來相侵木枕字裂鏡面生
彫癭斜佛肉皺有石人耕搖腿說云天地仁多會貴忘年
出君愛(搜平)輕化海翔海太陽不思眼飛御出情品皓
日御無義和)乍為彩之驚呼突沒趙驢又如圈中非
瘡並吼侮輕今恰偏吹苦誦難可改輕仁坐成招
魂爽輕後在何以即靈藥療此願分採

卷六

白雲歌送判官由京兆還棧地白草折於天月天雪如
如一點青於東千柳萬柳榮老軍散入珠簾溫羅帶狐裘不暖
錦衾黃龍角弓不復持老護鐵衣冷於黃雲天

李補國張紅蓮上皇拉西內大白馬作此如也 結局每日
前如惟公山水而告家也)

果南大、長喃果南大何時見論其(九稱恐遠見而外伯兄
字論其)……我合持張^見雷公研旬震^云鼓(論衡雷震為
圓過江開雷^洪景^之鼓^之形又因一^云力士^之震^謂雷
片又^之左手引^左鼓右手推^右椎^為擊^狀藝文聚^天部^非何^因
帝紀通曰雷天地^之鼓也)帝^者投^牽多^玉女(古車^極時
則^邪也)三時大^噴用^電光^候燦^晦以^狀冬^雨(古^口云^走
思^憂出^口神^墨經^東義^緩東^王上^之一^玉女^投牽^號誤^不播
其^天為^之噴^信日^言笑^其天^口流^火炬^灼冬^天下^不西^而召^雷光
是^天噴^也)周^圖九^門不^可通^以為^號呼^周此^想白^日不^迴
為^捷誠^杞因^之至^憂天^傾(蕭^士變^口喻^椎妍^女福
用^至政^令其^常言^以確^塞)

兼陽影^之見^不見^潘經^羊公^一片^右碑^材龜^以剥^為生^夢苦^割庚
上^不能^為訓^舊上^不能^為哀

口上^以此^共知^凌筆^搖五^嶽以^成笑^微痛^河

投^見嘉^士哥^之作^人不^倚怕^年勢^飲宅^祿為^如期(親
年^的林^部苦^已震^象風^經為^名子^都依^倚怕^年勢^調笑^信家^胡
陳^出情^信傳^陳道^著陰^營為^新刺^史黃^子道^信子^飲刺^史大
窮^突光^為母^即飲^自的^當為^為書^已朝^今以^母乃^之以^因生^也)

師王公此帝界其家以之是贊以造贊史界外產界口生之評教之
手贊日村在左月界引了社之謔中在月界抑之而略...莫姓舊
明中守(指魏書見史記)博唐禮)於地一戰之功勳

黃庭堅

寄陳通用。既知此時真列第茶板只餘車馬此些微桃李下...
決不建於數手學素素
名家此時種種上之西近...臨本翻作客於影良月晒一
生平此亦多曾侵整素能三石里去夢無一寸
晚起臨池。征人催風雪客夢果集果...玄里點垂息之只
萬里閨空暗不朱西卷懷就膚寸

柳執

高却陳生好愛生畫原野傳見人時未起定改名法何安
君為此無人然此乃枯木形人留如在北風搖搖華
游雲落誰。轉語本皆品榮沙不破式人惟何奈一洋
渺江海

王安石

和沖之雪詩并示持國。吳德裕唱錦子為教勇勝員缺古
喪吾哀但陰拱(指吳布德。隨何曰陰拱而氣至勝欣
臣笑曰然言不勇力攝生缺成敗也)

柳宗元

初秋微生贈李全侯。自本無化言。朱諒外功。
 老謂超師說。讀神經。卷八。在宇部。若毫連。你竹。此。霧。露。餘。
 意。松。如。青。休。元。安。漢。詩。眼。云。是。人。二。句。是。是。是。竹。徑。自。由。
 更。受。神。乃。毫。木。你。
 南。河。中。路。迴。居。一。蒲。楚。林。久。素。差。誰。為。後。來。者。安。之。世。
 人。不。可。
 雨。白。曉。川。弱。云。思。以。池。高。楊。臨。清。池。風。整。屋。夜。來。雨。子。心。
 適。年。可。保。此。成。資。主。

韓愈

秋。曉。上。在。板。上。惆。悵。中。惘。豈。不。其。然。節。月。去。何。惜。

杜牧

感懷詩時諫何可也 高允公僧季(唐祖太宗)授劍術
天立...聖天繼之神...仍用文治...故也教漢高祖內
武陽市...鄂為精白處...高莽...趙歡(五漢魏)
合張牛星...楚爭為一家...子孫...漢弱...西漢...中東里...
法前...自心為...文爭...倍...歷...傳...增...廟...畫...屋...就...
交尾...聖重...但日...呼...聞...外...收...誰...寄...報...極...委...循...束...元...和...
聖天子...之...和...聖天子...英...明...陽...武...上...一...生...悅...其...寄...為...各...并...備...
殊...德...滑...洛...蜀...垣...沙...血...張...呼...咆...浪...視...云...因...徒...乃...征...安...能...
向...其...狀...一...取...之...雞...梯...天...災...之...湯...反...擊...
杜秋娘詩并序 金陵曲也年十五為李錡妾反錡歎流
籍...入...宮...乃...寵...於...景...陵...穆...宗...即...位...前...秋...為...皇...子...傳...婚...皇...子...北...
封...王...都...注...用...可...誣...承...和...欲...去...已...在...指...王...為...根...王...破...罪...廢...削...
秋...因...端...由...故...以...予...過...重...凌...辱...窮...且...至...為...之...謫...京...江...水...
情...將...生...世...白...如...脂...有...杜...秋...在...不...勞...果...粉...施...老...漢...即...山...錡...
後...庭...中...雙...眉...秋...持...玉...盤...教...與...唱...金...縷...衣...初...見...笑...惜...金...縷...
衣...初...見...笑...惜...金...縷...衣...初...見...笑...惜...金...縷...衣...初...見...笑...惜...金...縷...
漢...先...白...之...教...秋...之...紅...淚...也...一...聯...裾...見...天...子...盼...目...兩...猶...依...
...低...鬟...認...我...窈...窕...竊...竊...收...融...怡...一...雷...音...後...車...遠...至...位...落...至...時...
...四...於...三...十...載...以...夢...收...於...此...一...夏...姬...俱...古...同...逃...作...巫...臣...姬...西...子...
不...此...姬...一...般...逐...以...時...表...青...石...去...揚...沙...資...展...為...閭...氏... (隋...煬...帝...死...)

Synanthraea

菊后臨教化及軍中化及敗突厥最重了甲國化由情系城公主迎
 菊后入突厥史不載菊后志為附氏可汗句為始也)在子國破
 士林上難致射鉤殺呼父(後仲)釣篇主老師...喜因廷室
 令精由丞相制...歌高首見新策中既...雖喜年生通
 游通曉此識...張既難出...與古定地及月物天
 後何...指何為而提足何為而馳了何為而足月何為而窺已
 不自曉也外何思惟因似一書...是作杜秋詩
 遠北歎赴潤州希直在子人男子輩...黑鄉在飯中見心
 贈別...三餘...二月初長...星柏...
 卷上珠簾...不如...多...以...惟覺...
 成...燭...人...天明
 張好...為...十三...一...
 須裂...界...不...
 下...玉...
 泊...怪我...
 贈...學士...人...
 聚...收...
 情...
 野...
 誰...

平生玉線只補穿衣裳絃索長懸蘭芷路以謔

選擇一個學期做專題研究

忘位、自珍已深、神榮正、江表而移、雪刀好、歡然也。

鹽納度欣大甲出仁至子壽無雙

早鵬金河時夢廣弦圖外驚老四教長仙掌月明孤影

过长门 灯暗 夜寒 秋声 城角 锦书 在望 还喜 一回首

麻溝水少要水多翻米岸等

雪中书怀：懷物猶誰診愛憫不能持。人自朽下第去亦遲。

宜北虜據寧障南屯千里師虞遂欠不解他盜恐虜窺臣安

其後彼可稱鞭笞如家一品諫食肉後至皮筋乃於堂

尔来尔来知向来路，尔来尔来知向来路。

初出雨中舟次和州横江浦根水暖居初沿梅徑看定蜂

未知

高安郡晚秋柳岸風來新疎史君家以理人政寬水與

運堪蒙 肅志彰 隆命自如 而暗紗 燈棋欲 數傳醒 孤

枕雕未朽可憐東歷爭雄渡唯石象留生釣魚

言安郡中保釐秋毫無不撓程心考降董履松兩學

酒增前大松葉干君何多勸新吟

彭亨安城樓鳴乳江樓角考諸陽漱落空汀不用憑欄

迴首故鄉七十五長壽

此州去遠安堡土蘭希逸芳草收芳草新陽迄新陽自遠堪下

姓謝字帝字法疑誤馮注未定

卷一制史校改批左里符位任与外厚右里符会契以为
通信)为更就循更论只读底出... 字字法無比診山費

傳聞欲求古井(以)復周胎老矣
初喜馬年寄欽州邢員外雪潞寄信水啼聲已繞離
梅衰未減然無暇不禁空跡去夢一覺年來石飯肉
君上多風何處倚欄干

朱坡遠自故園地塘倚御梁(朱球至長安城南十里
牧之祖父杜佑別墅在)江城三泥拔血書費生瘡至恨
皮萬祖向長沙位歲後又帝紫微思費(史記費璠傳訪

作勝鳥姓。歲改。要生。諸兄。死。諸。要生。諸。長。少。祇。軍。餘。
也。何。密。南。木。學。要生。年。表。改。今。要生。諸。長。少。四。年。餘。
樊。宗。之。南。度。大。使。顯。但。令。由。日。不。敢。起。長。少。通。音。義。南。度。大。使。顯。但。令。由。日。不。敢。起。長。少。

主與之同排指此九人位則得業

又歟宜州用口元与亡因出如院。登解匪原去楚涉3張
鳥沒第左銷况向此中者不第家何可業五陵(高惠景。
武)世揚款然凡

大皇帝陛下詔諭不日功集河漢諸部次第降王授親
重功撫慰影漢武特請朝方地宜王休道為有師8
按祿影均酬樓主碧思以高第國健輝排轎袍
鉅京知鉅欺實王讀功治意極蕭曹東南樓日珠
蒼毫西北天究玉危象(宛高第即大宛元)張也)
の所一家無一至收軍據較注雲毛〇勝之以此思慈低
出崇頂遊舟神佳錄珍金凡所設錄許公華譚汗杏
粉紅火煙生窺窺你東第輪據流趨下以字身嘆苦
昔樓渡智可憐船梁充月功〇東帶漢趨文石陞馬章
曹好早囊封期嚴金奈睡面解規磨於為急泥備儀
釣能處池上雨致吟傳与狀鐘九原可作吾誰分師
友聊聊却要容(漢書要容官至六百石相自更云)

此赴美共登樂越原清時呂味是無能同老張2靜
漢俗欲把一麾江海去樂越原上唯眠陵我華上華州續
惜在燕卑年已除与休強為有即此錄殊是使同當臘
詔安州居与樓安湖与張部中玄夏疎西飲同倚朱柳
漢南時樓下木如劍何如恨如春草多事与張降武
岸柳何家別然給若然
引在後新惟羅獨以一麾句
惠保音漢仙牧誤用放延年神
更收年取餐孤登墨(疑考故司)以與都黨年(萬与
惠高在久功臣表許貴以馬并蕭外是款王二馬日界諸西野
引周州大抵南能零日奏達可憐東晉最風皮又河堤款自皆西野

★張方平集全集

為年集也)百戰百勝懷河南北
河邊元氣相公借著恩宗皇帝命道神燈火夜舒歌東
市息遣弓劍不西巡(以耕因罪賜自賜)牧羊駝馬陸
戎服白髮丹心恩臣(沈下賢文人有十賢良方正能生
云極陳策臣堂社於道又堂(我降人言自捕賊已東神
鳥火放火是強橫隱泉東至于金城合之東南系於上邦
漢水凡之十郡六縣十五年皆唐人之孫生為我奴婢
田牧種作車馬居城落向車散野降之中及霜露
改降以為策時必東望啼嗟言故國之恩如此)可雅
別家如影辭出皮傳天下樂閑人
馬集唐宮長安迴聖蒲成堆山頂千門次第開一騎紅
塵妃子笑昔人知是荔枝來
讀神松上松詩神集然東讀似傳府城序安撫
天外風凰誰白龍龜老人解金縷弦琴
古安鶴然望樓倚霜梅外鏡天零毫南山之然毫
氣勢西柏亭
潤州江南春千里管帶綠映紅木村山郭遠鐘聲南
鈴四百八十塔多少樓臺烟雨申
初冬校飲佳陽多病偶求懽(用汲黯王)寄柳侵霜
以鴻鵠初下等毫一堪雪照誰使佳欄平
結集寫中於往還策緩久懶官俗白以四年 黎聖始來須知文路難進
苦是君門不大開

廿五高學叢談三草未凋今作草木凋不况江
南草木經冬意故吹蕭作不吹蕭

歟禪院能能一棹的也十草未凋今作草木凋不况江
煙樓樓底落筆飛

泊夢進煙絲空水月臨沙晚泊夢進煙絲空水月臨沙晚泊夢進煙絲空水月臨沙晚

恨隔江能唱故庭花

影枕花無人顧細腰宮裏露桃新臉紅立梁度春至竟
思也緣底可憐盡為歸樓人

夢揚何殊錦利波青山憶紅衣之秋大江南草木凋(進
中多作草木凋經泊樓上子8分院云意書以為南作未凋=

十的柳明月夜玉人何處故吹蕭

酬張社安士兄寄長句七子詩為誰以以曹劉欲在指揮中

唐衛尉知文舉今知和為表唐安士云安士人他南通

北極樓底春推夢西江波浪遠各共可憐如四三千里客

唱歌痛滿六宮

莫謹協律自說江湖不悔事阻途中途已年

江上偶見總句愁心空在橋邊時時渡臨風輕綆隨
古色空名人去任水波如穀熟黃地

送隱士出媒從路草蕭蕭古寺林遠市朝公道在問惟
白髮貴人路上不帶錢

南使道中與使水面漫悠冷曉月輕微更然正是客心
孤迴安誰家紅袖凭江樓



遺懷 昔晚江南新到 於腰腸新夢中 桂十年一
浣物河夢占 占春樓 舊作
款花 昔是尋春去 校選不須惆悵 然夢時 猶存舊
君 你紅色綠葉成陰 子為枝 (亦見唐國史)
山 以遠上 山石徑斜 白雲生處 只人家 停車坐
橫林晚 霜染紅枝 二月花

李密陳情表：以母之累 曾奪母志... 零丁孤苦 至孝至...
... 門衰祚薄 晚有兒息... 既無伯叔 終鮮兄弟... 供養無主
... 母不赴命... 州司臨門急於星火... 臣之進退實為狼狽... 本
... 夙遭閔凶 生孩六月 慈父見背... 但以薄日 薄西山 勢不待
... 終不與夕 臣生無所依... 臣生無所依... 臣生無所依...
... 孫二人 更相為命 是以臣之不能廢也

孔稚圭北山移文：度白雲以方隱 中意之而生上... 望引
... 終始兼差 蒼黃友愛... 作迴路以心 染車先負而後歸...
... 尚星不存 仲氏先往 (者子平仲長統) 山阿寂寞 千載誰賞
... 學道東魯 (顏回) 習德南郭 (南郭子綦) 藉吹牛堂
... 監中北岳 謫我松桂 欺我里壑... 鳴驕入公署 書卦

* Milton. 孤芳自賞. G. M. Hopkins.

隨所馳驅，故其變神動，林葉製而裂，荷葉抗而
走，俗以風之懷，其帶懷石果，咽而下，懷望林葉而
木而如表，琴影沈沈，空谷無續，芳露凝映，明月獨華
青松萬蔭，白雲誰能？* 南嶽歌，吟九龍，借吟到聲
識撥拳，疎消既遊，子我欺悲，各人以卦，甲部，其林，斬
無，其惆悵，不飲，然桂，遺風，春蘿，擺月，陰懷，投於，故
開，其傲，步於，山，局，豈可使，茅枯，厚，秋，露，易，紫，取，碧，吟
重，筆，宜，局，岫，螺，掩，用，飲，輕，露，滅，鳴，滿，截，其，精，於
谷，口，枯，空，盡，於，郊，端，於是，蕭條，照，照，潭，穎，思，絕，或，不
朽，以，折，梅，作，伏，枝，而，掃，迹

魏徵十思疏：善始者實繁，克終者蓋寡，豈取湯、宋、桀、紂，
善其教，而必禍，謀以得，先其忠，而難，懷以傲，物，諂以
名，是，為一，諂，傲，物，出，滑，肉，為，路，然，不，在，大，可，畏，惟，人
...誠，能，見，其，則，思，知，足，以，自，戒，收，其，作，為，思，知，心，以，安，人
...思，知，加，其，思，知，固，喜，以，其，漢，罪，可，及，思，知，無，以，思，而，監
刑

駱賓王為徐敬業討武曌檄：臨龍武氏，出體，和，順，
地，實，空，滿，若，充，太，宗，下，陳，君，以，便，衣，入，侍，泊，年，晚，節，釋，就
真，宮，... 門，見，其，賊，眉，不，言，讓，人，掩，袖，二，僕，孤，獨，每，就

李自書授密松李國序吾人詠歌獨斷康樂(吾人即已也)考現
公羊傳昭公三十一年夏父曰人未生

或主...嗚呼霍子聖之不作朱熹能之已也...宋徽宗(興此良
君以也)者君山以成神聖德也...嗚呼山岳崩頽此
蛇蛇之變色以此安教何教不推以此(國)功何功不
是...一杯土(指高宗)亦及(指中宗)何化(指中宗)...若
若燕窩城統細岐路坐味先集之非必始於子課
讀若今日域中竟是誰家之言(竟幸竟也)收求必由
此也)

王勝王國序: 潭水決而空潭清煙光散而暮山紫...
居密潭上上重霄飛閣夜子之臨此地...之美是難
若...黑山難越誰能失路以潭水相逢者是他不之...焉
否...李李廣難刻在貴館打長沙元帝聖主寶果浩於海出
電之明時...北海隱踪投擲可播東隅已逝桑榆晚
...開之潭影日悠...物校墨粉米皮時周中率子何生橙
外長江共自渡

李乘市故城文蓬新草松原若霖晨...傷心某妻始懷然收
近代歟...少華晨牧河米散渡地開天長不知由故...法重
骸威常命煉利劍穿骨穿少入面...當此苦寒天能強胡
憑凌殺氣以相剪屠...鼓勇力決矢端弓弦絕白刃交

韓愈圜牆之承教傳：嗟乎掎錄以入富貴滿門年足一老矣
又往區則為墟矣每至三冬在否而往區則為墟矣
柳宗元捕蛇者說：凡有古之所謂三也其曰：曰曰曰曰曰曰
是云父兄於是不多而為十二年來死在朝數年...君收養西里
平公多新役之不事其後多賦不事世也...彈弓地出湯
王座之入...曩與吾祖居在大宅十餘年一子之義居者六宅
十年二三子之義居十二年大宅十餘年之子孫死刻徙尔而
吾以捕蛇獨存悍吏之求吾財時無半東西墮哭者南北
譯然而蹙在屋鵲狗不以爲子多怕之而欲飲吾血而吾地
者存則死也逃而臥謹食之時而歛焉...亡雖死中此比吾口
鄰之死已浸矣...孔子曰苛政猛於虎也吾嘗輓手是今
以爲此親之猶信

王叔師待漏院記 談宰相待漏院於子鳳門之右主勳政
也乃若北經曰曙東方未明相君啟以煌火城相君至心職
警鈴金門未闔玉漏於滴撤蓋下車於雪以息待漏之際相
君思平昔憂北民未遑思所求之而東未附思四未之兵平
息何以謂之田疇多蕪何以謂之六氣不和災眚至邪

* 野史云：西番使臣木角而鬚，暖風來高，除水首而石北，其山
 間之時也。東坡出車空四所獲，煙江置山章圖，君不見武昌城，山
 德受東坡先生西五年，此指江天漢，暮之卷西山暗，丹楓香
 猶伴松梅，未松落雪，~~此紙上~~
 女色而已... 無用死也，而習焉為心也，志而不忍，然以小事中人，宜小
 信國人之心... 陸良忠重飲士於其能，迫而人主以為去已疏遠
 不為款居，欲良有斥左右之親為可惜也... 人主游日臨張，轉張
 則懼禍，以日空切而把持者日益繁，物富之而治，乃恃其固
 以為事也... 夫女色之害不本而不悟，則禍及矣，故其一悟
 掉而去之，死宦者以為禱，誰敢悔悟而移居不治而死也
 唐昭宗之多忌已○豐樂亭記。撤去夢而茂智木，凡粟米鹽菜
 需廣為之時，學無不可者。*

趙向韓鼎海：公及人曰誦孔孟之言外復事高以收君賜名士
 不忠志之人相與造作言語私立名字...是王衍盧杞合而為一
 人也...衣臣虜之衣食大魏之食因之喪面而談為士...凡有
 不忠人情鮮為大器焉...攻新人而不用也則吾言為過而新
 人亦不通之矣...不然天下將被李福而吾被此言之名悲夫！
 〇人游：為收之益當先出心嘉山前於市而名不夜廣展其
 於左而目不瞬...士此象然可分吾戰...故士常蓄其思
 惟其欲而不為思不為則謂餘勇欲不為公及彼矣故
 雖并天下而士不厭兵...此昭然若智而莊凡士欲遇智
 則不可出嚴公不可犯故士皆希已而危命其安得不愚
 矣惟士愚而後可以增死...此之謂短吾抗而暴也

鄭孝記 庚辰歲末際天秋分月千里一毛 補全唐文

疑而即君以長髮西髮：又謂甲而墮中...善用其兵又
之者何則曰曰恃○張益壯而虎視 先可以文之又可以
武競惟朕一二大吏既為張要 茲文武之間至命往接朕
師...未竟易治也張竟易治也曰竟之南竟竟之北是皆時
就之難治...如器之敬求墮於地惟尔張公(平)安坐
於其處顧毫髮不得類而正之先正由然而正其於容

通賦范增論：物必失其也而反 龜生：人必先於也而反謬心
...地年已七十合於道不合於去○通侯論：人情君臣不能若此
匹夫兒乃拔劍而欲拯溺斯比不足為勇也天下之大勇在支此
險而不驚半部死之而不憂此其所以拯溺於其大而忘其危
也...子房不忍忘之心以匹夫之力而造於一擊之間...不為伊尹太
公之謀而終出於荊柯聶政之計以僥倖於不死此此也豈
所謂謀略也...故張敖之少年劉龍漢文之忍小忿而就大
謀...支此本通於古聖之術而氣以謀害役由然而不懼
此固素量之而不驚而項籍之而不驚也○賈誼論：
文君子之取也遠則必見其得而欲其大物必天而無...安
三代之有而為為人痛哭哉...夫謀之一不克用則安知終不
不用也...嗚呼賈生其大而量小才餘餘而識不足也
○景錯論：兵起而後大難之端君友張收之也臣君於

女書殘稿補全底文

天下事無不備、今會去之他人任責、則吾必集於衆、乃
為自全之計、今與其收而己居守、以責而吾子國已難逃

宋漢同江樓記 長江發源岷山、垂蛇七千餘里、而入海
向稱碧湖、六朝之時、往往倚之為天、至今則南北一處、視為要
地、昔何事乎戰爭乎*

王鑒觀政篇 國家常於事門求一、一底、則勤是也、然
陛下德隆、臣亦恭矣、謝恩、見有臨、而臣上何、嘗從一、下何
嘗進一言、欲上下之交、莫若收、古內、今內、則收、修
御、常、收、人、臣、此、收、建、見、二、殿、(華、蓋、謹、武、樂)高、肉
解、或、疑、焉、只、可、決、上、收、所、決、是、難、決、在、大、臣、面、議
之、不、時、引、見、群、臣、外、所、以、正、上、下、之、內、所、以、通、貴、近
之、情

宗臣報劄一丈書 日夕策馬候權門、海內不入、則甘言媚作
為人、狀、袖、金、以、私、即、門、在、持、刺、入、而、主、又、不、即、出、見、主、展、中、策、要、向
惡、氣、緊、袖、即、餓、空、喜、觀、不、忍、不、去、也、抵、暮、別、方、所、受、以、金、
在、此、報、客、日、相、以、倦、謝、客、坐、空、清、明、味、即、明、又、不、明、不、來、報、披
衣、坐、同、鷄、鳴、即、款、留、梯、走、馬、推、門、共、照、日、為、誰、公、日、昨、何
客、來、則、又、照、日、何、客、之、第、也、豈、不、相、為、比、時、也、客、爭、客、心、取、心、

張君面令云：王存何是姑密外入門其又占何贈金為款而入
之又立何所立殿中本主在為面見則警鼓南面階下立其日
進則再拜極進不款：則上級上壽金極主在極不受外因
請主在極固不受則又因請然反命更納之則又再拜又極
進不款：則五六拜始出：稱門在日官人輩於我他味拜
此阻我門在差將大志有出馬上述何交淺即揚鞭使
回通自和為家車本公序我以是空立狀

山望輝老：廣飲屈光出聖樂上放下屈刀立便成佛

四四〇

※親水許裝如海王受二節

※此篇全仿劉同人于同生文筆

※錄 Il Decamerone "Cavalcante" etc 雙手

以第の韵字爲韻難注意其字受之聖者其韻地全於
結止乃第五韵也應對其注意其字受之聖者其韻地全於
也韻氣爲此難魂第六韵泊牙拉其注意其字受之聖者其韻地全於
彈不該琴按指橫拉挽每暗度第七韵仇雁攫鬼
臣笑无摩也按挽健章翻蹄然逐羽血飛第八韵
槽老欵乃臣三溪海央來賴其消生帳係中鈎戛第九
九韵吳牛喘月注乃立神疲手顫呈冷挑棄而旁也其
牛第十韵離亭注乃立臨歧惜執手依重訂新盟
母也風子第十一韵下第收心注出路却昂收建定實按
如抱懷曲之仍心第十二韵爲老翁夢法燈新毫跡在
魂夢斷因緣做了皂衣也○夢仙：[果打俯明德
略你年辰一石枯(梅也)橫不爲不爲眼平要當力修
福○北神○小謝：房中送送我都不好纏我老老
(何注這新也抑送送思以騎之何所出也)※陶器曰
相與者其爲獨也惟但陰念：衆中人必死不來之居其以可
果与居在安可如不見其何必死與他人如果兄老何必死
一狂生(譯語)左傳哀六年悼公猶言曰君我可不必也一
若我不可不必亡一公子今元年荒位君在則貌而出在乃
可也冠而出在行可也 第二十三季荒能若散宿信學可也
好困不勒禍倍下民可也)○胡大姑：西山李成文妻林



...乃此一信... 三... 此... 起... 經... 去... 希... 口... 日... 岳... 根... 某...
...年... 反... 易... 皮... 來... 岳... 乞... 得... 以... 李... 不... 携... 去... 或... 見... 壁... 台... 挂... 數...
...十... 瓶... 穿... 口... 此... 姑... 稱... 也... 云... 以... 次... 張... 之... 出... 為... 某... 因... 此... 按... 何... 金... 庄...
...為... 奇... 貨... 云... (何... 評... 收... 之... 即... 吾... 雅... 之... 書... 附... 人... 之... 檢... 固... 可... 玉... 也)...
...細... 侯... 細... 姑... 大... 此... 方... 懷... 寄... 此... 多... 端... 畫... 要... 之... 說... 謀... 索... 要... 他... 出...
...教... 授... 中... 央... 博... 學... 所... 已... 出... 由... 滿... 生... 院... 費... 家... 旅... 師... 一... 年... 而... 取...
...... 鳴... 呼... 奇... 字... 然... 之... 神... 懷... 忘... 皮... 何... 殊... 形... 教... 子... 而... 以... 何... 之...
...思... 人... 也... 〇... 鶴... 巢... 雲... 隱... 寺... 俗... 衆... 以... 崇... 修... 名... ... 一... 日... 貴... 賓... 至... 僧...
...出... 謁... 若... 恭... 此... 直... 奉... 寺... 自... 烹... 進... ... 飲... 已... 將... 老... 並... 坐... 貴... 僧... 僧... 急...
...不... 能... 得... 韓... 好... 日... 奉... 何... 如... 貴... 皮... 靴... 錢... 一... 批... 日... 甚... 熱... 此... 每... 子...
...子... 今... 張... 為... 子... 之... 贈... 給... 同... 一... 笑... 也... (但... 評... 包... 知... 子... 就... 此... 此... 焦...
...暇... 豫... 其... 差... 稱... 贈... 此... 皮... 只... 這... 色... 受... 之... 北... 晚... 為... 君... 堂)... 〇... 新... 政...
...至... 於... 前... 朝... 乃... 不... 以... 課... 餘... 為... 要... ... 釋... 僧... 撰... 將軍... 之... 法... 何... 日... 可... 就...
...這... 也... ... 之... 時... 更... 至... 境... 見... 批... 批... 手... 左... 之... 鬼... 生... 不... 集... 名... 氣... 於... 來...
...承... 〇... 江... 城... 蕭... 然... 日... 子... 何... 良... 此... 甚... 矣... 子... 言... 之... 至... 然... 多... 不... 解... 家...
...深... 以... 吾... 家... 也... 乃... 其... 美... 不... 及... 內... 而... 不... 甘... 於... 業... 其... 來... 不... 落... 甚... 某...
...... 如... 以... 常... 來... 生... 為... 念... 然... 日... 人... 家... 男... 子... 何... 歟... 他... 推... 推... 耶... 〇... 弱... 生...
...要... 故... 家... 女... 事... 氏... 拒... 不... 分... 同... 榻... ... 呂... 老... 尼... 曰... 贈... 其... 宮... 一... 帳... 三...
...日... 後... 為... 若... 殿... 之... ... 此... 頗... 甚... 密... 而... 於... 夫... 婦... 知... 之... 乃... 剪... 下... 園... 中... 人... 又...
...錢... 三... 枚... 艾... 一... 撮... 並... 以... 素... 紙... 包... 圍... 外... 繪... 畫... 畫... 如... 狀... 狀... 竊... 取...

*Enchantment 史記陳皇后為媚道，綠珠仙踪
 太似夢夢了詩 *品花寶鑑 David Schirmer 水
 其 品花寶鑑此以目書通書為周子通書，柳氏唐人而為字
 其枕間引證而投：*

子七、宦娘：惜餘春，因恨成癡，轉思作想，以為情癡例。
 海棠帶露，杨柳含春，月是一般情，抱甚的新愁舊恨。
 刻此造夢，便如青華自別離，只恐何天裏，被的皆曉。
 公个我撰其山，生穿秋水，道某時并棄了芳容，妒夢只漏
 夢魂，要睡何能睡好，漫說長宵似年，僕說一年比
 更忙，色三更，三年更何人不冬，**日小要：[王元
 隆改刻不忌，小翠華而對新人，如賣兒舊好，否始修鍾氏
 這因也預知之，始化化其貌，以慰他日思云***
 政即 王平子，使唐人以燕妝作水角，一餘杭生，狂情
 一博目降抑，這路毛班半

子八、品花寶鑑，乃指架上便取通書第四卷，盡試此女翻
 檢白之先，自陽覺而反道，共曰今日何趣，不曾在房（品位
 柳宗元先友記序子並題於十亭）蘇



*善品此為道仙修習痛癢處而初為青年
*此篇亦略述勸學篇

引九 王子安 善史既曰善本入用其七以修... 此坐根地善本止
皆善想六幻時化一以志想則吹刻而樓閣集化一先
志想則瞬息而骸能朽○

引十 何仙 文宗至善年... 一切雲得帶去六七八人... 皆在惡
暗獄中... 百年換頭... 轉業如人久在調中... 生於地實
老無正明也○神由子誠散人也... 金時皆源而合乘

○人說 (收懷中卓身信油為散人... 善之點刻員心人)

○湖視 如小收作善樓想生 (此注張建封納善時之於善

子樓... 馮諱善樓字用共卿高如不多用近人乃作對滿

紙中集集... 都公威聖仙... 以為藥對號六於人要

善修飾... 善往是安... 心中竊故也... 伯三批

之善... 善往是安... 心中竊故也... 伯三批

不田面衣其心... 通油... 善往是安... 伯三批

狀福鍾老恒娘... 善往是安... 伯三批

良人之善... 善往是安... 伯三批

然

引十一 善願 郎王柱... 文世時善本勸學篇 (此注字宗宗撰

富家不用買良田... 善往是安... 伯三批

良家不用買良田... 善往是安... 伯三批

無人... 善往是安... 伯三批

讀)*

***局立为文播生委故整时文类

*** Happy Hypocrite.

*** Happy Hypocrite. *** 高尔基《海燕》出书图 28 出书图

一、女戒勿讀不雅如口名何以不雅乎達此讀以讀可試
 親其然榜上讀如君此來人若不雅審法去是 聖賢不在
 物竊是皮覺 如 若曰今即失好一事者生乎悖枕席二字
 只工支即警門何工之 〇高子大重 許生 按相指神
 而無口 當以三清如要之遠近要 如子(溫良足西莊
 記)* 〇善性神又 照是母子坐然歟只度密在皮信
 然集 抑神讀雲紅矣也** 〇織戒 和傳唐神秀受
 運法也 明在君以為增皮遜位於教又以教說大不
 能解服水怪付以鬼面畫舞臉解久之教習品原逐分
 面完為一教覽鏡可辨*** 〇男富 一官紳在揚州
 買富 女十五中姿姣好又善琵琶大悅以重價購之
 至教入室 為男子也驟極 中心懷表建是意決意漸
 中同年某來訪因為告訴某使索被一見大悅以重價贖
 酒去果史氏曰苟遇知音即予以南顧不為何事豈知
 婆子多作一俗境哉 哉 〇嘉平公子 女[鬼]出論僕
 帖皮何事可浪[恨] 花菱[板]生江[望] 只增如法不
 如為姑 記而沒 何殊於杜甫之子子鵬鵬哉 只知
 家子既貧榜於門曰賣古淫[案]器只要宣淫定淫
 其大小皆乃入內者物論价

8 定高語謂警視羅世姻緣及~~此~~^此仙人島一併可知

*欽定燕超樓藏書 *故家別集影印 *甲子敕刻下丁巳敕刻下 楊敬
**補正紀綱 王嘉鳳仙史記 卷二 **即指月峯我之指掌
朝平成六藝文心周禮龍 義理者而然也故以

論說 傳注 贊 評 序
 引 名 區 分 一 揆 宗 論 ... 動 極 神 原 至 般 若 之 總 境 乎
 [通 以 釋 氏 之 論 為 極 也 偏 於 經 籍 之 已 言 甚 隆 贊 佛 理 名 為
 論] ... 論 如 斯 義 貴 能 破 理 ... 覺 久 隆 巧 而 檢 諸 知 安 著
 其 注 釋 為 自 解 放 論 說 雜 文 隆 義 總 念 是 同 若 楚 君 注
 其 中 條 義 字 義 著 之 解 為 三 條 義 多 所 通 人 惡 煩 差 學
 者 自 若 屯 公 之 訓 詩 安 因 傳 之 新 君 之 釋 體 王 弘 湖 易 要
 鈔 明 中 易 可 為 式 矣 * (嚴 尤 三 將 論 已 佚 全 前 毫 文 引 新 論
 二 條 白 紙 小 額 面 鏡 瞳 子 白 黑 分 明 視 瞻 不 錯 即 出 聖 論 之
 至 游 易 略 例 明 象 為 大 象 出 意 也 之 在 明 象 也 盡 意 矣 若
 象 盡 象 莫 如 言 ... 如 言 故 所 以 以 象 得 象 而 忘 言 象 者
 所 以 存 象 得 意 而 忘 象 於 歸 也 所 以 存 象 得 象 而 忘 歸
 言 也 故 以 存 象 為 重 而 忘 言 也 然 則 言 者 象 之 歸 也 象 在 意 之
 言 也 是 以 存 言 非 得 象 也 存 象 者 忘 言 也 象 生 於 言
 而 存 象 者 則 存 言 乃 忘 象 也 言 生 於 象 而 存 言 者 則
 存 象 乃 忘 言 也 然 則 忘 象 者 乃 忘 言 也 忘 言 者 乃 忘 象 也
 故 言 在 忘 象 之 象 在 忘 言 之 象 以 忘 言 而 象 可 忘 也 盡 意
 以 盡 情 而 盡 理 也 是 以 觸 於 可 忘 之 象 合 義 為 聖 賢 象
 易 之 健 自 必 馬 中 數 苟 在 川 順 何 必 牛 牛 交 苟 合 順 何 必 坤
 乃 為 牛 義 苟 應 何 必 乾 乃 為 乾 矣 〇 著 極 辨 義 論

莊子云：人之不得忘象也，猶魚之不得忘水也。故欲忘象而遺言，猶欲忘水而存魚，不可得也。

record, s. 331, 463, Heibel, I, s. 186 论 Algebra 与 Symbolic
 列。陈惠章等以 11 条意见讨论何学论说之论也 何学论说
 * 桂树谭德文补 论策论 * 补论何学论说之论也 何学论说

①後漢書陳蕃傳。蓋實錄史致學士所以上賜王士
大詩詔諭之。如帝曰。解若九加三(字)……竟主振乾
涉意新文而造次盡其時。至偏臨溫賜卿來稱明德
由是款責能難稱莫與一(後漢書卿受傳教
要目曰。司徒光也。已賦集也。乃勤傳賜卿。朝日崇山出
於何可。安莫制一心。無憂。以志。以方試法。即收教。
以朱仁。終續漢書百發志三補臣引決。到任溫日。漢
中太守(丁卯)事乃繫南郭。孰多掃。王背城在錦牛。法
費息脯)。……魏文帝長孫曹芳。多佛。云於作集作。復之
萬皇之一弊乎。(數志。怡高傳。帝位更授。曰。今朕心重
將特重任。……化集作。初教人治人。滿日友作集作
初書之。昭訓。王子孫戲。云帝遺此帖。奇記)

檄粉 震雷始於霹靂電告師失乎威怒。兵失中於至柔已
久...三王誓師宣訓利未及敵人也。況喜然征服伐
自詭能出中惟教井限故魯告狄名。創製以所誤告以
反義量之以武師也(左傳昭十三年)...使百尺之衝摧折
於咫尺者難滅矣陸松一校

封諱 (紀昀評、自唐以前不知封諱、北宋始封諱為大禁例
而疑其筆文為大禁例)

三才表 若若父受冊三拜從命是心 漢末讓表以三為斷
 而後要約以示子以果治因注下仿某義以天下自任以愛子施人
 (神全方箋文)

荀子相為親人以之妻米黼黻友文章
後漢書傳傳上疏曰夫不為臭穢也

傳位公二十八年王策命晉侯為魯伯晉侯三辭從命曰重耳敢不
稽首王曰子之說也休矣晉侯受策以告為所設度部引應
劉漢官像兄解子孫孫科六百石以上會合子之責御又授印
綬公三讓然後乃受之曹公稱為表必三讓又為子孫孫
(古漢書考藝文類聚卷十一)曹公上書漢增封曰出陸不敏
知讓公三讓然後乃受之曹公上書漢增封曰出陸不敏
獻帝傳神代不日桓桓牙黃曰漢元帝已之劉弘
亦因得)(黃武三傳季居第二漢書志諸葛傳可表壯壯
表氣魂(史記)高一收遂立以魏王魏王尊曹公趙雲傳云
公於建興七年而後表化於六年十一月已之趙雲表王
善也)

奏啟

竊王侯之貴勤德祥而象近者新漢魏山事昭
而三征政者有王侯於為事(凌家梁湘煙部一引蔡侯
漢儀恭李新治魏山陵上書曰重耳將歸後七十二
魏山其已爾已極整不入燒不難即之也如下言狀)
出逐以全全人全防出至糾惡勢必你情將制諸人授界
別屏禮我無禮方之魏王魏王魏王魏王魏王魏王魏王
以諸會新治魏山陵上書曰重耳將歸後七十二
垣出折朕捷徑在魏山陵上書曰重耳將歸後七十二
惟公為人治小魏王魏王魏王魏王魏王魏王魏王魏王

8字編魏王魏王魏王魏王魏王魏王魏王魏王



男祖約得，約妻為男而惟婉約之不能也。特當校授授外品
 人所仿於事所為。女可作 allegory 譯為
 日不暇給。仲舒之儒子無他史而經緯成文。之於人。洪泉之稿子長
 親眼所見而執手視黃庭起。孟子滕文公下。必史家流振
 於官上。校案在也。《初學記》十二引崔篆御史案。官上案於
 高遠和起。

隱微 漢書藝文志。則應劭為晉代。陳壽為傳。咸為宗
 ...佳機斷。協上。及鋒穎而腴。有弗剪。為累。文骨。若不
 逢改。造而繁。筆弄文。支離。構有。穿鑿。合巧。只。騁。華。固
 為。可。笑。所。據。後。以。理。而。為。存。存。所。埋。失。昔。妻。女。嫁。晉
 (古文初。勝。晉。人。黃。騰。而。婦。世。林。陳。潘。新。為。董。桂。之。樓。新
 人。買。樓。而。還。珠。若。文。子。於。理。末。勝。本。則。妻。為。樓。珠。文
 在。於。名。氣。(見。韓。非。子。外。儲。說。左。上。喻。墨。子。恐。人。懷。至。文
 官。至。用。以。文。官。用)。*。德。飲。培。士。而。知。集。事。卷。(漢。書。成
 帝。紀。又。以。志。中。下)。晉。策。喬。木。而。廣。興。於。前。(晉。書。列。志
 中)。無。他。中。在。也。既。失。其。可。

書記 漢書藝文志。氣紛紜。觀史遷。班固。東方朔。
 郭公。孫。楊。卿。治。州。會。家。子。之。治。劉。歆。充。氣。整。頓。無
 合。珠。東。...京。牋。記。為。式。既。上。窺。手。表。而。下。晚。手。書。便
 敬。而。不。懈。簡。而。無。傲。...郵。穆。公。云。囊。漏。何。中。太
 誓。曰。古。人。之。志。此。能。為。晨。大。雅。云。人。之。志。惟。要。用。老。並
 上。在。遺。諸。...豈。於。陳。珠。諒。有。稱。掩。目。捕。雀。固。舊。哀。序
 稱。漢。珠。仿。像。並。引。俗。說。而。為。文。者。(要。領。現。在。春。秋。篇
 士。不。能。火。也。他。如。因。序。之。於。史。遷。奇。至。之。後。激。發。校。事。源。云。史。傳
 篇。子。長。道。志。云。皆。在。於。末。切

鄒穆公台長竟雁必以此批於是倉無批而亦易於改二石
 案而亦一石批其議以粟食之自去油如小計而不給大
 會周諒曰常滿貯中而獨中少欲宋書范曄傳諫改射
 法云常滿貯中後在神倉乃遺小居大之這批曄在
 牧豎雖惡後以小種小并無人而及之移三國注何遜傳表
 詔與各品外為陳琳諫曰諒日捕獵大數物為不可致
 以以忘常疎不見潘文傳玄壇影以者君貌家學中疎又
 (潘楊仲玄疎序子之始予之仇儒等)……後經贈土會以策
 (左傳文十二年杜注策馬搥石為引服廣云以策為贈土會
 和用服說然左傳未載書詞和子家(趙宣公)巫臣費子
 反子產諫尤宜之比而乃和乃云降敵四書齊若對面不知
 何處為視也)。(劉子駿分楊雄從取方云所受泥定[案]
 且官郎中田倣與官婢陳厥臨驛駕松通……屬國驛猶
 採集與代絕云異國驛治……甚為子嘉之已六重於為口通
 浩……欲以考驗之方云……通子之攘竟治也亦以此時發
 倉庫以振饑疎無為明治治(括也)何(即荷)獨智治
 上以忠信昭于上下以置恩於民朽所謂知善積善
 布施也蓋蕭何造律張蒼推麻略成之于惟幕貢之于
 且門一誠以隆秋之時收虎不殆(急)俄春之威嚴之
 不終故主於此楊子亮劉敬書云傷於性日鄉里



*以補字代荷字之於上文而雄般之以般代樂字是也
統源以巨際後文亦當可見其門而得真義

...故舉至日雄之任也不立遙近界于官能之舉者惟報
而低眉位者含羞而跪者知人之立竟於病也雄何
慚否...又救以謀言十五卷君何由知之...即君必欲報
以威陵以武欲令入之於此也又求之(其求字空)求
可以見其君又終之則益死以亡命也而(此也)可且寬
係已引必不嚴及老雄之而為使君輔其末以死
則雄無恨何於馬匿唯執之固之長監在規綽之
就(就)就死以為小(古文苑)李權注云為長以所規
為監得得成其志以死為主)* (太平御覽子部
僮伯云西墜如注在披薜蘿子公注云薜蘿衣也子公
笠也新僮伯書僮不收子公乃機字論者詳見吳
已於稿末魏機反切文為篇)(十學齋新錄15
郝晉楊錫買地券云東極...西極...南極...北極...
直極四百步即日交畢日月為證四時為位)

小神思 文思也至神者矣故寂然凝慮思接情悄
思通於萬物...思理為神神為物極...陶鈞文
思貴在虛靜...夫神思方運象往競南規矩虛
位刻鏤無形 (inchoate, unformed)...是以意授於
思言授於書密公無慘疏則中里[老文園]引歐陽
博言意居於端密於此際以謂言盡意也按大

誤此也乃謂得之經易所謂信手拈來與為句三條之異也
下文曰至於思表識旨文外意致之所不逮筆固知心明之意
以為二不能相若矣且...既通五臟六腑聖精神稟學以能
廣約理以富才研閱以窮理則致以博深...此並取
長沈謀為大端(白原通五臟六腑此性性漸由出入
也稟學為四皆至思沈故曰沈)人之學才遲速異
分[神思自止此而已乎?]

體性 才庸優劣乃剛柔學石亦你習乃雅新...數家八
法一日典雅二曰遠奧三曰精約四曰顯附五曰繁縟六
曰壯麗七曰新奇八曰輕靡...精約在數字句...繁縟在擴
古競今...輕靡在字句的性...人體廣遷功以學成...八
法淫殊會通會數既既又謂能去其施不可不抽一說如

骨節 骨性在性必始身厚沈吟鋪詞要尖於骨者
之待骨如體之精骸性之合厚於形之包氣...練於骨
壯折者必賴你手力在性必顯...若諸象肥壯整
律失統於骨之微也思不環周骨莫氣如無風
漂三故教文稱文以氣為主...夫聲雅俗色而翻
者百矣既豐而力沈也應集而猶其疾文骨勁而氣強
也文章才乃以此於此是也骨之來必整集猶其來之
骨骨則雖窮文同...學中初交用佳字考序...慎然



8. 化學解完後稿卷

3. 觀念勢為所知即勢也其情相聯而外之更謂觀情
未為知在骨中情也然就文指之則曰厚薄就心術
其氣傳為共骨生並「黃儀札記釋」以為意即
謂即骨似象而未確由骨和心中合而昆清也
思深意彩而久慨：無生靈象矣如魏文所謂高氣
交氣果氣皆此謂立意抽思 Herder 所謂 Kraft,
Buffon 所謂 Mouvement, 之 Guiney 所謂 Power
庶幾近之薄與厚同即厚如所謂骨也而思云
為骨之采是謂外後有謂也故化曉道而覺此
語乃病故轉旋曰是陪筆耳有物諸義肥瘠是
理不勝辨也 吳曰無風而曰無骨豈無如
即名骨乎然則有骨即能有骨耶 杜牧竟荒荒
其曰為文以意為主以氣為輔以辭彩事句為之
骨如意中合是四分法而逐言之不暇不切矣

通變 魏晉內而清宗祚祚而氣從發及此強也強
滋何別競在疎也木氣也... 夫者生於藍絳生於
帶難論本名不勝其化... 故係青離絳必幽藍
舊知祚翻傳而宗祚祚... 變則可久通則不...
古今制奇矣古定法 (斯斯教手篆文而樂拙雅俗
(若生於藍中而動學為兩雅釋筆在蘆茅菴郭注
今漢也) 可以通俗)

形勢 莫不固情之說即此成勢也勢在乘利而為制
其外曰性乘之為乃於 "Incentive" 即 Force 即 matter

居習即此乃此居此意而習則不僅習此和意中特晰此養氣
節可知

也如機者失生同曲圓回自然法此也... 盜陶較甚並
總則此乃石隆反必重好以保固剛柔強弱必隨時而
適用若愛其而愛其華必重通之理偏以愛人爭之失執
一不可以獨好也... 御覽三四七胡非子一人曰多言多事
用矢一人曰多矢無所用多罪而之曰非之何以往矢非失
外以中的令令多矢而故以計若就新而共為必總一游
離是也人參矛楯[原作]參矛參楯必誤也無校為
兩難佔而視舊也... 循此而成勢隨受而主功... 公卿
所誤也此重氣然文之徒勢乃剛柔不必壯之慷慨乃
稱勢也又陸子自稱[此]是年原古工往時論文失而反
情而勢而不取收... 支德者先河勢實欲降[此]
反情而不尚勢[此]原則所收降[此]原者[此]自也代
為人求好說[此]原者為說說勢所反原[此]故實勢
取新原[此]說[此]以勢而實他情[此]友臣而已故反云
為之[此]友臣為[此]教[此]法必[此]後[此]句止字而押下中
詞而[此]外[此]回[此]不[此]常[此]此又非勢也[此]

據宋[此]聖賢者[此]總稱[此]事[此]非[此]采而[此]... 五急[此]保而[此]成[此]補[此]...
五急[此]比而[此]成[此]補[此]... 五情[此]友而[此]為[此]事... 若經[此]我[此]意[此]不[此]文[此]故
知[此]君子[此]常[此]求[此]當[此]候也(若經[此]老[此]親[此]率[此]子[此]若[此]不[此]表[此]復[此]也[此]哭[此]不[此]像
禮[此]空[此]容[此]不[此]久)老[此]子[此]若[此]伯[此]紹[此]稱[此]美[此]不[此]位[此]而[此]五[此]平[此]捷[此]以[此]公
(813)

8. Grace is Shakespeare. 恩惠是莎士比亚。
* 恩惠的诗所谓恩惠/在间居/赠谁诗/安仁/格/路/唐/策/雅/求/有/

元氣莫生... 文如星... 飾空而吟... 情生於... 文如星... 飾
 言而排惡本於情性... 情生於... 文如星... 飾
 什篇為情而造文... 情生於... 文如星... 飾
 蓄憤而吟... 情生於... 文如星... 飾
 心於聲... 情生於... 文如星... 飾
 作者採... 情生於... 文如星... 飾
 品你輕... 情生於... 文如星... 飾
 軍神厚... 情生於... 文如星... 飾
 影... 情生於... 文如星... 飾
 心... 情生於... 文如星... 飾
 味... 情生於... 文如星... 飾
 連情... 情生於... 文如星... 飾
 山... 情生於... 文如星... 飾

一、**內容**：規範本體、語、鏡、剪、截、浮、詞、語、義。一、**內容**
 出、家、講、授、也、因、有、重、句、以、狀、貌、也。若、用、口、不、求、心、而、意、
 心、亦、有、果、語、業、至、難、費、火、氣、句、已、可、創、足、足、疎、字、不、
 減、乃、知、其、密。思、其、考、其、善、教、才、數、者、善、則、以、考、字、而、
 思、其、善、教、也、詞、雖、而、亦、歎、字、壯、而、立、爾、公、短、之、而、作、
 象、教、而、言、重、則、難、得、而、允、之、。張、駿、以、為、謝、艾、
 而、不、可、刪、且、高、略、而、不、可、益。是以、華、創、始、筆、先、標、

柳文賦所謂片言萬要為警策陸生說與平原書
~~錢謙益曰云初嘗欲已而後出3不出~~
~~語竟謂如見文之休也又劉氏~~ (抗候籍名差於後漢書課)

三年後端水照於後張山位於岸西於中則酌事以取
類以修其然公撮釋以舉要(雖中終乃云為文之體序
此指謀篇之中尾也)謂出左傳文以元年)變態為稱弛
彰得(原由內聽難為聰也故外視湯綏以字之內視
之難於心終...吃文為患...喉唇糾紛...異音相
乾謂之訛同於於應讀之類之氣一(此指餘聲易
造和聲抑揚故遺著難契(慧敏者係十三經中誦
謂保思主書批際愛於律原意徑而通楚咀口樂記
使至曲直繁夥座肉解奏新位曲直為曲折也繁夥
座肉終之流殺也疏曲諸於音曲曲直謂形音故直為
謂繁夥謂語者海座謂座積肉謂肥芳(Anas-
theria)並鑿鑿交往往進轉相比迂互際全則往寢
來建(文鏡秘府論一引作鹿盧上句喻圓銘下句喻
鹿盧)(即事句篇之說必並舉次)

章句 啟行之通達南中篇之意絕筆之遙騰前句以放
結外又得交內承脈位對等相衡若尾一說若首失
其用則羅旅而其友至乘其次則既寓而不覺...賈誼枚
乘西伯之易劉歆桓譚百句不遺亦多只要若也
...此為論極易於論數躁確不遷則展明告勞(指
比撥似不侮賈誼枚乃為文劉桓譚豈有與武耶) ...
頗極佳但每出為9出語即整句出色(語)



女音如所謂外字即為助詞也此節可補日記譯朱注之老子注
士姑譯為歡 E. Haiger, Grundbegriffe der Poetik, 5.37

8 of Celestina

字字句句乃為助詞... 而既至非好也亦以量為文象
終至打去惟意故也及端之為之而亦以此乃為句之
意洗乎其意也而遂求端之科按之可以因在實切...
此句每句之外為一字之助是外字難得况新句與
(佳之字先平原由文中要于是尔乃於轉句減佳字不用
之更快及故不出無又於文句中自不用之便妙於虛
謀哉歐之畫錦考况他佳之於相當貴收故錄也
人情之所榮故也二而字更勝於於善招。聯文對句中心
有以加虛字使之動宕如傳季友為宋上求加與則前
軍表保忠貞之烈不似於及大費新及永及於後人位
房界宣德皇在空惜果然則於華藉甚虛名寧符則
延考自勇卯希範永嘉郡教才與相如而四壁徒
立者特仲劇而三徑沒人)

造化賦形支離必雙神理為用不孤立... 高下相銜
自出成對... 易之文辭... 隨句字在殊而偶意一也又云但取
起德不義... 句度語律句同... 博奇偶適度不勞經營
初子張嘉學意難得如宋畫吳在刻形錯落(此惟南音
務講意語注宋人遺笑人過治)... 言對為易而對為難及對
為佳正對為劣言對者双比其辭也言對者並舉人論也
也及對者理殊語合也正對者事異義同也... 仲宣於檣

* 当时哲者不知字之六以僵史成修作对故彦如云然实则言对
如守人所为正皮不易(通金君欠论王修)

如守人所为正及不昂(補金店欠於王催)

* 全部是 Ux. BK 7 German Vase

*** it is metaphorical
polysemousness

云鍾依此而特委莊思賢而趙映比友第漢也益陽北袁云

能担松梅克己思白水先生第漢之...敬人學對所以為

難也* 若為子孫親而德少不均 (偶有胸臆之對所以為男也)

是讓在左駢，寫在右駢也。若左子或張之莫，与右保是變之一

是思今雖而一也(又稿子叙松篇)(蘇軾是常州居住表臣

周書人曰：法也。雷霆之震草木，每如隨集而收，未嘗在人。

主謂人必為父母：懼子孫鞭撻墮落不若教誨

比兴或挽松心或醒狂事...王碧旧雨新知云侯果遇同

為慈父壽子建此以彰比心共也拜(黃保札祝支木柏舟
命家北郭助日生地所此喻仁江國^{柳風}柏舟第廿冊報

仰海北郡郡内兄弟五人为以喻仁之不用接物者系同焉
与要胎说。此理成水由兴在念个。个在而个。个在个。个在个。

→ 事物从产生到灭亡中间有一个过程，仁人志士可以垂青于其始也。郭沫若说：『历史是有生命的，柏拉图是历史中的不朽。』

人進支家景常處)林杜之月居雅每居而小雅心德

有时小雅秋枯得云秋枯得有时萧萧夜夫劳苦不白

卷五(天性)唐居以象張立(唐居以杖之杜傳云卷五:唐人所)

宜休息也策云人不休息者以物生陰害也興在前武王初重

吾家之依不取賢者之進位君子不悔以仙特生之於世(此物同)

而感其真也) 料(周礼大师先辨注比其比于物也

兴此托于^也为孔疏引而释曰说言如左皆比者也

兴书也取胆引新报说已心诗文法草草本意就以此

四六二

女補大平廣記

高厚何大思曰遂以承為狗弗任遂後解說遂了和領任
君收云鍾蓄一枕不知是何木合為書卷：□談任君曰此
枕是標樁之木及後舖糟了任託不說像此人乃以宣
誘於尔君則曰色欲民家訓文章為各人重及文章引為
伐鼓說此字已為屬勝請文鏡秘府論五翻其
廟在正之是佳詞反語則你果是也如蛇眼遠為云遠鳴
穿更款伐鼓早通晨伐鼓正之是佳詞反語則不祥是也
初也崔氏曰伐鼓反語屬骨是為病）* 如持人其意以
為已乃錢大平終外也

養氣 錢大平過分神疲而氣衰...是以曹公慨為欠傷
命理之款用思困神(曹公既未詳陳其理見分見
平原也)...如定從究其情值乘通會(此篇可與論衡
効力為考校)

附會 何說附會謂總文理統首尾定典章會匯器為
編一為政傳而不缺也若築室之續其構若衣之縫
絢然...其畫在謹發而易觀射其像毫而失情貌精
細巧必疎統統於堅拙才以信尺相尺以是尋弄偏
真巧學是美評責此命為之僅略也(品氏其然處方篇六
大射其像毫而失情貌畫在像發而失貌位像望也。淮南子
說其訓畫在謹毫而失貌射其像小而失大位謹要也

8. 補 antonymy

8. 补 antinomy
 论衡 贵由道 夫俗好珍重 不贵者谓为不及 在者夫
 在者一也 故留下言 则是非不论 贵恶而徒贵 在是谓人安尔

... 迄于文帝以位尊才思足以勢重益價未為然也
(此篇亦不及時代時代序者者均及宋世則祇云宋代
史才自稱鮮萃世近易明其為野序)

知音 音實難知之實難逢... 日進方而不進逆而於
 實和鬼(鬼谷子內機篇)一若何則說輪出子處初成
 表是漢武恨不同時既同時矣則韓囚而馬驕豈不
 鑒同時之禍哉(抱朴子廣譬篇)遠而知也此常
 之德也信乎而國在左右之所患也是以漢王歎
 韓仇也而趙王為人漢武恨恨於相文而恨不
 去及既為事不能拔或納說而謀之牙放乎不教

知多偏好偏好人莫因该。合已则快说事
我另沮丧。放圈照。象移发博敏。平理若便。

迎福如金

程器 文士之既相如籍妻而受重物揚雄者
臣而力移...文政有之武上宜也安仲之盜竊吳延
漢議(吳延)市之吳侯書古文人不獲細行鮮能以
名節自守)

序 文心者，言为文用心也。昔子夏心法，乃心
却美矣。故用之云：（此句略）
（此句略）

為儒家王孫子一篇白曰一曰巧心則琴心亦即暢去別名
釋慧遠阿毗曇心序三藏要頌詠歌讚云愛統眾
健領重會今故作書「法勝」以心為名云...吾人以為阿
毗曇經原以廣度難卒畢究...標要幽致別撰新印
...凡二百五十四偈...以為要解(之曰心)...夫心之作也本乎
意師乎理...上篇以上個領明矣...下篇以不毛目歎矣...
乃因乎舊談者非雷同也勢自不可異也乃異乎前論也
此為異也理自不可用也同論異不屬左大摩肌分理
唯教折衷...花之往代既先于同妙來世估塵彼
歛也...父果耕心余心乃寄



8補 Curtius 等於 "The World's a stage"
8此亦造物主之巧 "History never repeats itself"

三國演義

全人皆原思友人集法見毛子所評三國志之稿... 先的象
心之同然因楊慎書再石而反去第一本子為詞又承在三四中

讀三國志法 毛宗崗序始

三國一書乃幻結之幻說之幻而為當時人心之所共
也設之蜀主而魏伯一統此人心之所不平也乃彼處這小
從人心之所共而而此亦人心之所不平也路依乎於晉
以之此造物主之幻也... 魏以王莽為名而為如王莽
根... 而及魏而足而亦其教之為其說而亦其主之為情也
是造物主之巧也幻既出人之外巧故在人主中造物可謂
善於此作文者... 讀造物主之文而又何必讀人之造
文乎... 三國一出是同樣之校同校之校同校之校同校之校
花矣果之妙作文者以善惡為結又以善惡為結之結而
其理之善惡是善惡也惟其之而後惡之乃見其善惡也
... 叙先事後表譯讀者不勝為病之病不勝為病之病
長權志之而譯者為其病之病一鬼一不鬼之鬼之鬼
出不死... 王允用美人計周瑜亦用美人計而一效一不效
是布即當其義而亦其於財反其於毛亦則以私謀反其
保其高私趙王為其義而亦其於財反其於水亦則
漢注其海反其於王注其王... 聖賢之權乃七邪山注其六中
原之德乃九曲王一字之於犯而不可得... 權根安帝吐其
諸子

王季新收时点只然因与内通常新张各一段文字眼如雅
与檀法时点只然在上通目与先生一段文字...意能征
据而点通各点法迹通而点通黄承彦...似于极喧
南中水之〇三四一古只望前在鼓黄慧同钟...如如正叙
...量单雅横点只然点惟厚像亨一段文字...正叙东雁量
点只然在操全取二另一段文字...正叙赵皇取桂阳点只
超能点嫂...一段文字...人但刻三四...文是叙就争席
新之点而点为周为掌为掌为意...中只应接不暇...外
求干戈协襄时兄征袍旌旌...中常叙拾金〇三四一古
只隔年个程光时伏着...出投种于地...时而发身
尖去下一周着于...十着...而...应...十着...说...诸...由...
...在古城...时...而...说...早...于...晓...月...战...以...时...伏...
下...一...兄...也...在...种...农家...一...到...扭...扭...不...来...之...时...便...平...也...生...此...一...
...共...造...出...一...〇三四一古...只...点...补...锦...移...钱...与...绣...之...如...凡...
叙...引...法...比...篇...所...周...古...补...之...在...被...庙...上...卷...所...多...古...与...之...于...下...卷...
不但改...文...不...查...拖...而...之...改...改...文...不...穷...案...不但改...文...不...穷...
...而...又...改...改...之...有...程...染......古...操...望...指...止...渴...本...在...整...深...铺...旧...
却...于...表...梅...煮...法...时...叙...〇三四一古...只...点...峰...第...指...锦...屏...第...
...时...之...对...法...只...正...第...出...只...反...第...在...只...一...卷...之...中...自...为...第...只...第...
数十卷...而...通...为...对...在......张...鬼...头...徐...何...必...以...改...改...改...改...只...布...陷...

*HP of Quail

~~~~~

4. 岳陽口... 今晚便可下榻草舍說罷即歸入內良久乃出  
謂陳宮曰... 汝家無好客往西村沽一尊來相陪云... 詎料上  
酒而去操之宮坐久忽覺背後有磨刀之聲... 二人潛步入  
堂後但見宮人語曰... 汝何持刀是... 操劍走入  
不問男女... 汝教... 操劍下却見縛一猪... 汝教... 汝教...  
多誤教好人... 操劍砍倒... 汝教... 汝教...  
云... 入休教... 汝教...

5. 表侯大驚... 不意... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...

6. 曹操曰... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...

7. 表侯... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...

8. 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...  
汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教... 汝教...

又出學處及開張長濟書玄德三飲東原慶兵管節皆情節生動  
見作漢蘇長孫曹司才思如於(仇以又至此)生非一時教  
陳石史也 (通云向)

臥房反觀探時能憐起于窗下梳頭...偷服收已是呂布家  
憐即舞美眉故要然不示然改以魯羅頻找侯服...卓偶集  
小疾臨憐衣不解帶曲意色西...正佳單睡醒憐于床反探  
半分望布以手指...又以手指董卓押侯不心布心如不(如平  
素一至于此則笑不及也)...此方已于不心改至矣方雄能死于現  
前以眼而看志...密生不能公服為要能相與于末生布曰我  
生不如以汝為妾為英雄也憐曰妾度日與年能君賊而救之  
(恐之僅救董卓自己亦不方死)...君如此懼怕妾的妾方知是天  
之引矣\*

9. 董卓曰我大將(如賜与布何如)能憐大驚哭曰(悲聲倒哭)  
...妾之死不原...既悲哭曰將軍自姓呂大師自姓董操戰之  
時當為父子情耶...卓大呼曰吾兒果先何在布泛車後原影出  
曰有識者知

10. 曹操引軍欲走而主妾肥胖不能出...為亂兵所殺  
11. 火克董正撞兒品布挺乾鏢了而束操以手掩面報忙  
馬竟逃(荒此時援手回走必反投擄生)呂布泛反指言憐  
束將戰於操盾上一擊而口舌操何在操反指曰吾面  
騎黃馬在是也布祖說棄了古操引了白馬追憐(見了古  
操反曰古操操部古操別操古操誘方說古操心就  
到為面錯造豈不可笑)

13. 廖些。吕布乃虎狼之徒不可收留。张虎曰哥。心肠未  
好。布曰要由公择。玄德曰再三谨慎。张虎曰不必推谦。  
张虎曰。想此日大毗曰。虎哥。是金枝玉叶。你是何人。敢  
称虎哥。为虎弟。虎曰。市人曰郭催。张虎曰。牛骨王。  
14. 玄德曰。吕布将家。而求投奔。教之。命是小家。张虎曰。  
好人。难做。长豹曰。虎哥。送与戒。不饮酒。张虎曰。厨教。  
满。如何不饮酒。速家。将个该打一万。长豹曰。告尔曰。  
虎弟。如墙。面且。始求。器。虎曰。你女婿是谁。豹曰。是布。  
是也。虎大怒曰。虎弟。不许打你。把吕布来。康家。偏要。打。  
你。我打你。便是打吕布。

15. 张君以徐州玄德家眷比隔城中打板金与物  
玄空白云抱位...曰古人云兄弟如手足妻子如衣服...破  
者可缝手足断者可续

16. 豈非曰... 亦平豈不好問 唯好解問 豈不為高士解之

17. 岳南回條河探密誤在江口冬海屯兵小市是據坑陷  
原計也

月呂布[送女與袁紹]收女以締經綢用甲冑襄負於馬上

21. (弟兄也人叙多叙却一语推一语发枝腕节...未谈这  
道又设那道与他脚蹴)...操曰...玄德久居乃必知

出英雄...玄应曰...表明...可指英雄...<sup>雄</sup>表根可出英...劉景升  
可出英雄...孫伯符乃英雄也...劉表王可出英雄乎...玄应注  
偽實不知...操自操玄应反自指曰天下英雄惟我與君也

22. (或武勝兄微而思思家王便不朱玄勝又古操兄微而  
思思陳琳便不成古操也

23. (衡之曹操自曹也琳之曹操代人曹也夫自曹之代  
人曹名為南矣琳注曰前在玄上不心不反又操用之以對  
人曹之代操曹教令犯是也) 魏衡曰曰南或可使市表  
白旗...操是之改開門肉戶...郭嘉可使白旗全斌張遼  
可改教教唯至許都可改牧牛教至...李典可改傳之送教  
...徐晃可改屈拘教大夏侯惇稱為完洪收平友子孝  
呼為要新太守曹操容是衣祭飯囊後桶肉甕了...黃  
祖曰仙哉如何斷曰此以廟中之神法受祭祀惟此靈驗  
25. (或本末引漢何云降漢...云本器為不降也三字下注脚  
古操借一漢字籠絡云...或本提一漢字磨倒古操以張備  
張魯神遊子號名為降漢而實出降古也呂布袁術等不  
降古而古不降漢者也無款王朗郭嘉等呈張遼許都等  
等不知降漢而但知古古也曹操荀彧漢以為漢即是古  
即是漢而不古漢必非古也此古漢也) 公曰吾已任...



26. (人情未可求財也也亦愛財也求財不重貴也祿  
也亦不重貴祿未及不重人。人心運後折答斯禮也如  
操所以學致人本欲給事俊博此知也。于是以張蓮...  
你是...賈誼...久聘...張劭...阮瑀...告子東取送新東  
為之記猶至其...夫而支輝耀(謝靈運)表語大意曰吾  
張蓮於我文忠十信也(忘記)前學主為生而  
作之否)...張蓮曰公之志與此弟見身何如知我之見朋友  
淺也我之志是朋友而見事以而又君也...寫書一封  
辭謝如操曰...就因臨去當為難立...已後因未報

[illegible]





於漢：後更未可知也。表雖以長操相拒於黃河而操以之糧而自餉，故非荀彧勸之，自餉表以之糧，更未可知也。表紹喜於長操之無終意，故操之於荀彧法之而不終，所以得也。表紹之終沮操決之而仍終許攸決之而無終，所以敗也。

[illegible]

32. 袁紹吐血斗餘碗後人乃得曰華佗良藥功不就周  
屯所傳子程集

34 常表自然长款... 日多君心多未易明之玄德真会同时蔡  
夫人出立... 乃主活不... 张氏日造苦造会无好会  
不如休矣

35 (此卷为玄应访孔明心玄应作一引子...究竟一统一  
层求名昭指玄为谁不但书竟不肯说论厚耀名只单指  
玄不另自造玄名姓名能统二字在童口中挂出而  
玄应却不知世人即为厚耀在元玄二字在书镜藏向  
程逼出而玄德却不知世人即为单指厚耀之耀如盖  
内美人只露半面而玄玄玄玄玄玄三字通篇更不一露只  
以俩楷字写个玄字并半面上不另更使用厚耀字)

\*元為選竹園琴一析張星燕海一析

前文德以原因見已工骨肉改生[自此功業不建丁諸些因皮  
何處也上云南漳道中見牧童吹笛而來乃與多不如也之效中  
又英雄棄盡事[臨甚危中將甚穩在事便甚急短笛甚用)  
入中門中與琴聲甚美玄玄教童子且休通根何耳注之曉聲也  
位而不[事一人]笑曰而此日琴韻清幽此音中思教習指之謂必  
乃英雄霸祖\*童子...曰此乃吾師水鏡先生也...玄玄曰伏就  
離何人也水鏡標榜大...笑曰好...肉曰昨夜本也是誰水鏡  
曰此君友也...玄德漢肉理名水鏡笑曰好。

36. 玄德帶林漢徐庶曰備分[緣落不]先生和來漢先生要子  
新主以成功名(這的意求主情眼有人)...先生先去劉備上收  
意德山林生庶曰...玄君宜別求高矣輔佐共圖大業何使灰心  
由此玄德曰天下者矣殆無年矣生在此庶曰某標榜薄材  
...時別又取謂諸曰解諸之為子玄君...切勿教庶之無用終  
也...思兒徐庶指馬而回...勒馬謂玄德曰某因心暗如麻忘  
却一語此南君一奇士只在襄陽城外二十里隆中使君何不前

37. (玄德漢孔明之魚)周水鏡而以為孔明兄崔州平而以為  
孔明兄而廣元益以每而以為孔明兄諸葛均笑其方而又不以  
為孔明兄為永校堂曰墨也兄燈亮而以為墨也兄月亮而  
為墨也兄是亮而又以為墨也又如旱校陽西去注為影而  
以為西也注泉於西而以為西也注漏影而又以為西也

大隱張元戰敗王統斗萬鈔錢腰中滿男

西廂出云風動竹聲只道金珮響月移花影疑是玉人來  
玄位求其如滿口信然以此為司子微嘆曰元生去後便了  
何又惹他出來嘔心血也...出門即去大嘆曰臥病雖危  
主不以是時惜某...玄位曰懷左的平宜城亭拉領陳何收  
皇号為偽物某持兄先生童子日求記不的許多名字...張元  
曰既明不訪不意又遇此腐儒有誤許久...量一村夫何必  
奇...云可與人喚來便了...諸葛均曰小堂點原張元曰那  
先生先不在漢家上言玄德曰我先到此間為何無一語而回  
因問曰博今兄臥病先生...曰者此上何片字手均曰不知張元  
曰向他出甚風要這思不如早收...兄一人煖帽遮眼郭  
表散此清善一馬廬...此語...曰一校北風冷著墨形名  
長也雲龍野政老江山舊仰面觀太虛終是玉龍門  
紛...錢甲老坎刻通字通字錢甲老坎刻通字錢甲老坎刻  
瘦...錢甲老坎刻通字通字錢甲老坎刻通字錢甲老坎刻  
38. 拜公曰兄長多次親往拜謁至祀太遙想諸葛亮召亮名  
而亮實學取遜而不敢見...張元曰量此村夫何足為大賢  
今者不須尋法他如不來我只用一條麻繩縛將來玄位此  
曰...大番也休去我自與長玄元曰既為位尊都去小東如何  
後...玄位曰...謂諸君以先君孫高僧要二人伏於堂中  
懷...中處以設沐榮上學畢即除衣老服保滋養常拉



164)

42. (諸君是來當血戰張良只是一聲叱咤言而為之虛勢而  
可矣實際在然必是太平日實際以服人而後臨陣決  
然足以濟世...然為之全靠虛為他人嘆為多力亦只出一  
張嘴嘴中由後觀之以一善權之為多救一善則謝禪  
謀不如自取告然從來亦係爾運時庸人為存福...玄應  
身若一生南望大嶺未半而阻友亦如庸人子安享之十二年  
南面之福也長坂設本是庸主軟弱的之而為他人及治  
原將賴庸主之福而不死為一歎)玄應播遷擲之地  
日為油這孩子來摸象一失大怖...至長坂橋只說張飛  
豎旗放炮開陣環左右綽蛇矛立于橋上...喘口整人張  
翼應在此誰敢來決死戰...我又不敢進又不退即是何  
故味若果絕長操手遂反信保驚以肝胆破裂倒撞  
於石下...魯南曰孔明安在否水一見...孔明曰又無恙穩  
大守營車馬重將往投之(偏不說要投好權偏說要投  
告重...今之望生遇人相請本是肉生在營只說要射家為  
病今之先生亦人薦飯本是沒人請他只說又及別家致  
聘可發一嘆也)南曰營車糧少今諸君不能保吾能容  
人...每莫若遺心腹位統束量以共圖大計孔明曰劉  
改君之計始耳今車無糧...孔明治玄應曰玄為只推不知

\*48回引述話明日度人枯牧語話云

再三回時主公說可問諸葛亮(此六話話云門角落裏人也)

情魯南曰收終亦大所云你諺將軍亦大出可降曹操唯將軍不可降曹操...如南于曹操...故不先何部也將軍降操與否同收事位不近封柱事不近一處騎不近一匹法不近一人也的南面楊張某...

44(周瑜拒操話早已決在胸中而詐云降操者是以此操操的以收及至求物於家也...入門問諸生及入吾國不知吾國汝人共守而兵於孔明二智之說乃慢意於然平如志乃是也然多談杜少陵話\*及東為不令周即使銅雀臺曹操二智之說及孔明不借為周郎不識火攻一機之為二智吾不才於張福壽表此為在案希皇...銅雀臺云是二機於東西若若長忠之懷也...即何房欠武所說長機外後求有何就腹道凌忠不需何壯也孔明改云機二者於東南若操知文與共...可謂善改矣事也皇)孔明曰操極善用兵言之若然...獨召劉豫州不說時勢強弱爭衡...愚乃一計...只欲造一介使臣去道與個人到江上操為以此為人為第一不出卸甲捲旗而退皇...重實為此二女也將軍何不去尋喬公以千金買此二女羞人這个曹操...周瑜曰操名之曰二女為何語驗孔明曰...曹操...銅雀臺賦中之意單為他家完為子子想取二春...周瑜在罷



88 要良善是涉江 既为若兄作诗 那 必 出房同窗 聚 友 别 从 北  
到 中 却 不 是 在 家 夜 客 苦 句 吟  
1 孙 子 同 窗 友 间

尚生大恩。能度指北而。日。聖。城。改。家。為。甚。孔。明。魚。起。心。  
 口。皆。卑。于。廣。後。種。界。德。子。許。以。主。和。親。六。何。惜。民。向。二。  
 女。子。瑜。曰。公。何。不。去。知。之。久。矣。大。智。是。孫。伯。符。將。軍。主。胸。  
 小。智。乃。瑜。妻。也。孔。明。保。化。性。忘。此。狀。曰。亮。實。不。知。失。口。說。之。  
 死。罪。

45 (周瑜说他是潘杨的奸诈，他又骗周瑜。周瑜叫他  
蒋华是明知其奸诈，蒋华不应周瑜是不知被诈。周瑜  
说：‘若是老妻前辞，这书却是梦中先说破他，是说他  
又他用口不占，又梦中先说他不是说客，一及使他用口不占  
在梦中叫区爱我，故以内容教你看操贼之计，及地十分疑惑  
又梦中说去问（林上睡甚何人），昨日教反先了不知何言说  
甚言语，一发使他十分疑惑）

始以既以十萬畝用而又省造十萬畝費是以二十萬畝海江  
東也...以十萬畝用省造十萬畝費而又令知年只十餘萬畝  
是以三十餘萬畝海江東也...既...遂於用借石皮北  
平改借江東以而助江東北乃借北平之...取前在既  
借魯南海而轉據為收借一江之...是借於又借於也  
...於是乎東乃不可借荆河之亦不可借也)既明日便是亮  
或求於都督嘆豈南日何意既明日公謹使先主探亮知  
也不知便是這件可嘆豈也...望子敬在公瑾面前言之亮

女大何謂 Triangle

8 即 Zopyrus 借 King Darius 刑去其耳目詐降於 The Baby  
lonians 這如 Philip Sidney 在 Apology for Poehy 88

先知此至為謹慎心懷姑息又要其子宮免... 不讓教家知完  
辦三臣料物物不在此手將之一伸而後果已明白要教家...  
孔昭曰不問苦肉計何如騙這左操之必令其去要詐降... 子  
教兄之謹時切勿竟先知其計只說竟也埋然其意便了...  
嚇唬口之番彼騙這也

47 (連環計一見於王允身見於統帥之環索不也及環  
索至也王允以貂蟬美鎖董二入如環之文互相連結如  
連環耳\*每日迎日演連環記其乃作品布以王連環贈貂  
蟬... 董統帥為... 實以鎖環連鎖操船) 統帥必謂  
曹南之公使為其須用去改但大江面上一船並其餘船之  
故詐降此連環計教他釘作一受然成功可集也

48 操之惡謀設於大船之上... 既語諸將曰吾今年五十四歲如  
12 當籍籍何處若知吾之... 娶妻知吾之女長得國色俊不才  
為之策用瑜之要娶之新梅銅雀臺於漳水止如江南  
要二者置之屋上以誤其年多輕生言罷大笑店人杜牧誤  
詩曰... 吾曰... 當影人生幾何(為字多誤解云為誤宜影  
死也非誤為之乃臨為之如為屋為笑為坊之影云人  
生為誤為影之時為集之時即人生集之月為誤之意也)

49 孔明說馬良曰欲破長安官用大攻者子便偽只欠軍  
... 孔明曰良少輕策本欲於城下掘一個最緊要的隘口查  
為 "an honest dissimulation" 也



此些阻碍教小形教去... 昔日曹操得之不告店主下高只以根之  
大日操必敗必走無客道若今日下必出放他色去因生  
小形教去... 玄位口多事為素你重... 只臨港仍放了孔明口  
操戒果合也道這人懷教為長做了  
50(右操與笑典市而後笑郭嘉... 笑典市笑阿... 笑典市  
士也笑郭嘉... 笑阿... 以快而不謀士也... 笑錢似貴...  
笑錢似打)操乃於馬上仰面大笑不止... 為不笑別人單  
笑周瑜無謀誰當亮少智若多用之則預先生之羅伏下  
一軍如之奈何... 操坐於疏林之下仰面大笑不發問曰道  
統丞相笑周瑜誰當亮引惹出諸子說本又折了許多兵  
子為之奈何又笑操多笑誰當亮周瑜畢竟智謀不足若  
是我用之則就這個去殺也埋伏一彪軍馬... 一軍擺開  
蓋人張翼位... 操在馬上揚鞭大笑... 曰... 周瑜誰當亮...  
傷底是無能... 操若使此伏一隊之師多叫喚東子受縛  
矣... 張公久矣... 曰... 曹操軍師將等候丞相多時... 大日  
孔明以和廣公操曰五軍新將之時這能記否... 忽報曹操  
孔明忙離坐席執杯相迎曰且喜將軍先出無恙之功降普天  
下大宴會宴遂接宴笑為長然然  
外孔明大笑曰為助廣勸主公取荊州主公不疑却想那  
... 周瑜大帥一統全漢道張正是我戰城池也每我分一

大略一内合便引 上力：小此以啼位为力如人以此为力因王以

物豪为力

Juvenal, VI: "liberis us semper lacrimis, semperque paratis"

端事苦为理忙 Duo jubet Manerit modo

52. 趙範嘆曰先兄素志已葬家嫂寔在終死了局中幸動  
 云改嫁嫂曰為的三伸多重屋之人我為嫁之第一要文書是金  
 名書否第二要相親善每條出京第三要令家免月嫂你道  
 否不那乃及這般委巧的

54. (劉孫權之改魯南平表而著上之人情大抵如斯是奇之  
 為表... 為為備而平也反：平則誇... 為前何而平也平本為死  
 乃以為生平本為人乃以為家平之而無意於家則臨而平而不平  
 否平之而為表表則臨不必平而平字生獨為生為生其必  
 也臨而表為生哉口前何之云借也是不為不為之立也死則營借  
 前於敵是營借居於生是也將正前... 正前耶) 因大大羅羅  
 周羅曰... 無條計策去取前何知怕家也為名使美人計教  
 了前備我女便是進門為... 劫... 房用刃斧手埋伏必在  
 時立可告知因太玄位乃跪於國太廟前(未跪夫人先跪丈  
 母是借丈母操演也)泣而告曰為教前備就此請降

55. (玄位立車旁告夫人) 中泣請死 治似如人之憐取妍在  
 丈夫面前放刁模樣以英雄人作此兒女態是將死呢  
 何故可不起今日風俗夫調不振竟若此的已明計此第  
 三个錦囊更不消鄧統先生傳授的也) 玄位者之急求斬  
 泣告夫人曰... 夫人笑解此謂如夫人不允借請死於車前





\*88回 象奴了蓋覆上整已盡存南日大元如何能勾回來被日  
罵人並我直帳中被象奴十餘人象奴並西走乃月宵通  
善一唱要軍命被殺我為之奪了這子因此的院

第百三十四回 魏國收復 帝省親 後失言於此收見) 歷統曰  
伐人之國而以為家然仁者治之... 然近却暗來人探報  
黃忠當時起兵探報人回報來曰更造飯更起兵就  
暗走分付尔軍士二更造飯三更起兵平明要到許都寨  
邊... 魏王上見思只去打却吳寨不戰而走不如先  
打冷苞寨却將的得兵打却吳寨亦要功勞都是家的  
... 玄德玄德... 問曰汝曾降否冷苞曰先蒙免死如何不  
降... 汝曾放來面去否即提劉璋張任來降... 冷苞曰  
雖降... 不說提去放回只說被象奴殺了十餘人奪了  
匹馬回\*

63. (前部法中未嘗斷而即斷將將軍一隊遂為平定傳為  
後文至祥正象歌曰為難將罪法而先人平今祥詩命曰忠  
為蜀將斬於時竟以難將軍告名斷以此也此可見人強  
死不可以不先降不先生不可以貪生) 歷統暗思孔明  
奪取了西川得了功報立將此書和酒奉... 魏王上見思  
玄德入川相心歎曰此何謂獨坐寶山引虎得羊也  
... 此張飛曰但為斷將將軍降將軍... 飛乃曰端作盡  
... 投在正中高坐德此便拜

64. 張任原為蜀... 玄德年暮不已今收蜀魏之華於金  
應極德也表忠(不取玄德降歷統而反華之何以收川中

大甲岡臨潼門室第三折伍子胥与季穆之  
8此視見暗離九傳三四引通鑑博論其善歎在操女  
而臣劉備即新繼也五代史

以人心不足為死正是為生)  
65. 張飛大醉初入口解了哥，便去戰了超也。孔明作作不  
對云信口... 操死後前所結盟長來方引之教

66. (親長操扶教為第一... 為之解曰：陛下為高帝後子伏  
在為品在反方長操為師，信反方長操如為我姓反方華歆為  
吾王如立反方唯呼其然，然吾不然，然吾知吾未日將學之，  
六用視他十餘人，軍刀赴會者，魯南如何也耶... 右手提刀，左手挽  
魯南手，推鋒曰... 魯南次不附，被其手扼至心口，一操  
然曰：陛下此言外人知之，只是多欺君也。帝曰：君若肯相輔，  
甚不尔解，棄恩相援。

67. (操以許都為忠臣，是賊臣，亦要忠臣也。操以楊松為賊臣，  
是賊臣，亦要賊臣也。然操以楊松之助已否為忠，操為知忠臣，  
能松之助我否為知我，若其能助我，則我為忠，而即見其於賊，  
亦何求而為我，以賊而不知其助我，亦何求而自為我哉？)  
左慈曰：新令張重，蓋一个燕以衣覆之，夜更得策，草蓋而逃，上  
操前操以手取之，燕蓋內為書一本，題曰：蓋逃新書。操取視之，  
字不差。

70. 孔明曰：將軍要與誰為敵？此莫忠曰：吾為司馬，夜夜同我，  
一忠臣，親日好也。諸人驚曰：公也。笑我二人年久，可之，初以服  
不心。

評論一款云：錦信此生為古，操新繼此生為孫叔，陳稀  
為劉備三子，毫室根焉。



★親全皆可見如舌黏助乃 Freud 所謂 unconscious slip of the tongue

72. 探叔公於料為累口札往屯公日久... 心中猶疑不決意  
危收進館向探叔盤中為助因與叔感於懷正況吟省  
友於懷入帳裏語叔省口探探他口曰探助... 以軍主簿  
楊備... 便教探以軍主簿收拾行李備備收程... 探大怒  
曰汝為何是之我軍心... 推告新之... 復於懷大怒... 備曰

... 探助叔長之其肉事及味之進不姑嫁與臨人嘆... 歎  
王必班師也... 探曰公忠烈教王肺腑也... 被探正

射中人中新卸門牙為个... 方懷楊修之... 就令班師也  
73. (為謂前何洪為黃治接婚阿教為又不然在仁油當  
配好柱東面竟無絲絲車... 歷之師左探油台為要第  
派而究不改其簪奪法... 且玄應之身此喻權欲進而  
教之... 又令並至妹而教之... 夫不以妹之故而教玄應安能  
以要南公油故而奪簪... 此則為之接婚說不為也但  
犬子一語太覺不堪耳) 諸葛瑾曰將來未統而家已好... 且  
高也大怒曰吾原女與有婚犬子事(太慢之重玄應當配孫  
夫人是是原兒也親犬妹也亦夫人為公之嫂生是原故而  
以犬嫂也)

74. 龐涓曰... 今料屯公事挫其果三十年之學... 為袍銀  
銳銳如刀白馬... 步如人肩擡木轅而生

75. 萬曉曰... 若不早治也臂無用是... 某自為從後但恐鬼侯





~~~~~

80.帝曰朕雖不才初登極惡安忍怕祖宗大業不負棄了...就
明入夜風去了百歲...而退次日發條入京於大廟令
安為讓皇帝...恐懼不暇出...長洪如休帶劍...心清帝出
殿

81. 東來張飛無睡不台帳范張遂二賊見他發誓日
張本不曉勤女因雲鼻息如雷...以短刀刺下飛後

82. 为瞿日公致书... 提数... 不助... 何能... (为瞿是踏沉船古不是看冷铺)

87. 崑崙山...
兵之攻心为上攻城为下...战为上兵战为下...
眼心口足矣(此六字前三路所求及详黄石斋书或十三
篇所求及甚也)...孔明曰今个擒汝之心服吾鱼腹曰...
误在女子如何看眼

88. 孔明曰多三遺擒之而不教訓制服其心不計其害也

89(海濱野神演藝-懷善子牙竟-無何周)若泥因住余
忠大王(流以西遊記名譽)聖泉威泉(後因世出圖史骨必
死)聖泉(白雲宮主西元)聖泉(軟的如綿而死)

90. 银塔山 喜王莲 避康名曰家鬼 男女皆相畏

其“*Tout pour la trippie*”勝於石致記子之談法論吃飯
秋收之日第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百。

97. (人知量能之智不可及不知量能之愚不可及) 凡智如此難可造料至精極處將能而反已至於未及創能之至識而能造觀也

101. (或謂至若精神作怪不近為割夢：斗母乃為人所以呼予曰不
出天下之精神作怪者大抵數此是書符遺的禱西神佛又人
朝相尊稱云是法其他極也重口他... 杖鉤懸於座下
伸誤禪... 輕他故也重口他... 影醒寄岐梁結松研... 各也
影也重口他... 篇墨子琴棋諸藝... 無他取也重口他)：開
興統束做天章模樣(是西遊記第八回名卷)

102. 油使木中馬口內含法提能中馬就不動

103. (为刺甲氏者) 曰：谁谓用物不当？改善云：大臣授天子而大臣所用皆误，乃臣之武侯之自校，陈书张莹，世生论厚，而误误定。转荀中而荀安，以江李崇，而李崇又常王，以王以荆思，余崇以三田院，及以以长包城，史述荀内，以子子，疑以四王，王遇之日，山以我，入城，门程的，以以去，失，南，高，高，市，地，上，皇，帝，评，承，之，元，嘉，七，年，隋。

★是田則杜少陵白樂天憐兒明無七律一皆以人偽作
於佛祖統紀蘇樂天五律舊作之外又作一

弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能
這不佔收為陳平而古之可以不為至法而為至能
弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能
弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能
弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能
弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能
弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能
弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能
弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能
弗然弗視而取智於知要陳平而古之可以不為至法而為至能

104. 司馬懿用兵捷如日我乃歎

105. 楊儀自持教近而吹口... 世現在上連叫三於誰明教
每便是告大又又就就漢中城池分也

109. 郭維次維年手執乃縣子執德進者至也維應持弓弦
連着十餘次維在婦番番不見箭列知維老箭乃挂位銅箭
扣弓控箭維急閃至順手掃了符維急也望面門上滑
力射去維在弦為馬... 李堂曰持弓者責曰司馬大的軍即伊
平周也司馬師大笑曰汝等豈的為比伊尹周公至心實操為
王莽董單... 曹芳跪告曰朕命及諸德大將軍終之師曰陛下
清叔(陛下二字)下東橋諸叔自居階下以來未見如此過計

魏南陽學使僱兵用城門象日財家外持教世事日六月包守家城至已老矣老後
弱及為所屠唯見諸伯之諸德及伏兵至引去諸德和烟中中子引教子而戰於

*不如三四段意10/1田毛批
鐘少懷記王少慶信未曉是虞不之於信年知此杜
面也(因信未可廢也...此左在信張在提出用時東統記
119.司馬英大怒曰要與漢家報仇乃何不可...
120.王祐歎曰天下不如意者十常八九

右頸記

護花主人批序。吳鈞王希聲雪香
三首。讀法按全紙梅尤造厚。以讀此但知正面而不知反
面也。乃漢性理之祖大學而宗中庸故借寶王說以
應謝無如又曰不過大學中庸。是為大意闡發學庸以周易
演消長以莊騷寓本旨以四子為正法以春秋示予奪。一
為二十四一之。以散之左氏曰謀失教也。○用者取法於我國
策史記三種文居多。○腹胎生而造記借往在奎根梅橋
神在水評論。○敘筆為比肩裝人。勝要乃二人。○子也
○書中詩詞各各隨意。○其後房都是各隨本人按款製帽
故不揣整大家看略不比他小說。是為朱在為些後以人
硬散上的。○書中大致凡歇落處每用吃飯人事以為笑
柄不知大在居李寶王別演人心大學正心必欲誠立立
脾土也。吃飯實脾土也。○是謂此書祇八十四字餘之十四
乃此為是。何言之。但觀其通統構。以常山蛇之尾相安
此若若記較此田鍾記帶水之可和也

根伏线为摩一按金方勤之湖上词句字象有皮金在差方
總評：书中多尽说该街口而生或某句说该口说一二句或句
说该口说与王字便咽住不说其中或尽忘说不因此口或为画情
不便明说故用缩句法咽住

摘誤：十二回说新年夜林如海府重接林黛玉贾母送去十
四回又说贾母遣昭光回来授位林如海于九月初三日府起
二弟同林如海年底岁暮回要大宅衣服以尽孝道○三十六回
说人替黛玉铺兜肚贾母教去果爱至生说就重替林黛玉人出去
时代铺与三毛新样女工刺绣大在上细小在下刺绣均致端完
就着方不露反面针脚大兜肚是白绫红象牙面已做成新
样在裏刺绣理

大某山民總評：鏡即月之鏡中相對是為磨月○並美為釵
黛間鎖○傳秋芳告所說委士靈彰如善孝有詠秦鍾○
白云優尼戲羅律俗眠俗俗金玉並討智終之便宜以共
金玉之承也

明西人總評：书中脱胎於金瓶梅而襲襲潤潤幽幽
而為馬步於靈生是憐憫於釋○二知有人說萬日鏡玉如
玉可金釵仁為應試此生一宜釵以頂昌西倪伴中杜生談
人以此用節中劇律在○云謂黛玉以因奪元而被攔止
五男以激白卷在○又云賈母色中治鬼家玉色中之精細



七修類稿卷之二十九 小荆公詩集
 周公悲懷後王希道集下土時仍使
 而年分便死一生生為死誰誰引為咎

鬼... 賈瑞中... 饒勝飛... 薛蟠中... 冒失鬼... 賈鍾色中... 倒
 運鬼... 賈壽中... 倒... 鬼... 炫... 色中... 計鬼... 小... 家... 構
 大抵由悲而歡由難而合是書中由歡而悲由合而難是
 聖聖一新 荆公之詩 11 卷 11 人不

或問：林黛玉葬花由數石為家資賈氏用錢領之賈為
 賈氏歸葬之賈姐應孫這也... 為他賈母賈氏應孫這也而得
 不死耶然則黛玉之死... 死於玉財也... 賈母賈氏急
 時自恨何處再友二三百萬銀子財一再字知之共再友二
 之友也不及一也而何以再耶... 黛玉... 何以如許家資而
 一無所知也... 此蓋所以為名貴也... 若... 收... 葬... 葬
 橫按葬中使金銀烟火兼矣... 元長家至二十六歲乃
 至家財名訓法金玉堂二十以人為配入選耶

讀花... 論贊：人而不為時輩所推至人可知矣(林黛玉)○
 其所蓄可量也然新寶玉之葬形忘忘器徑賈雁之記情所
 故人執面於心之喜行狀令其次(薛寶釵)○以色
 典牙而受於賈姐不覺其乃人見其美賈姐忘其
 美人見其美賈姐忘其美人見其美賈姐忘其美人見其美
 夫賈姐因以色市以才市而不知人以色市也而相忘者
 是賈姐之忘才也其折平兒之計也賈姐忘也嗚呼可
 以要吳主矣(平兒)○性情下急語之犀利... 至紅顏絕

在賈母之上乃為寶玉也。此語全不允允。尤通呼脂者為然。終
人一生隱患。從茲發露。獨以孝信為發揮一洩無餘。一淋
而解。性(李嬭)○良能性也。而亦員不覺。然此好子乎。明
者吳龍劍色。音條麻。漿進。喜狗羹。大怕造。嫌娘
舍外。出味而高炮之。不徒吳龍。腐病也。是狗羹而已。生
而費政。這太。嚼。是餘。味字(趙婢娘)○不以草茅自廢。
顧親友於上四。亦員志士也。將求更不自諒。一。淫慾。溺
真何物。而故以持贈。是欲以常經。如要。餘相餉也。可不
謂多情哉。獨不識。何贈物果。因阻祝遺否(賈瑞)○
吾於智能也。案為之前。隆美白新。至於寶玉也。案為之後。隆
是美傳。並形有不移。及至為夫(慶鐘)○林黛玉生心。與
男人蓄。差事王也。而必與爭哉。是天不便。無不矣。若此(北靜王)

Satell. Polina, Ricciardi
Ricciardi, p. 623.

5. 宝钗——教尔下人认……如此堡王心中便有些不忍之意
教尔认生不……贾蓉：喜秦氏……贾母素知秦氏是极孝顺的
(Sämtl. N. K. "Tempel-Reliquie", III, 524f) 00
日比回173教要雨将大在光女英北信第友数母全解满

*上文秦氏初出大柴山人評云秦氏在情也此生家玉詞為家初同色十二支
 既事終消亡首罪字宿孽總因情大柴山人評云懷之為言秦也
 合之平四他如作在不靈昭室玉與秦氏一故低葛重言中既且也

奉代張如 ~~Mme de~~ ^{Madame} ~~Hecker~~ ^{Hecker} 之於 ~~Franklin~~ ^{Franklin} 而諸人皆為 ~~Mme de~~ ^{Mme de} ~~Franklin~~ ^{Franklin}
 9 (Confessions, V. p. 187 條)
 dard

人生偏又遇着他說那奇跡如何心裏終究還一個怪事。差呀
 一個是方掌掛一個是紅中月一個是鏡中花想眼中能見多少
 淚珠兒幾幾的秋波到後來成朋友... [還是怪]... 說什麼
 天上火地地中在處處到這本諸父托我推過... [聰明
 累] 樣樣都大聰明反補了... 性前... [老魚多撥林]
 為發的富貴獨富貴的星銀散盡恩的死者出生無
 情的分明根底欠的債已這欠債的債已盡... 好一似食
 老多撥林落了片白茫茫大地真乾淨... 透窗玉簫一管國縐
 雲中... 早已一位公子在內... 嬌娜則又如黛玉... 整日意... 同在某處... 浪子... 以
 好色... 為解又以情而... 情作案以此作非掩護... 這
 也好... 這知情更深... 要同老油... 乃云... 古... 第一...
 也... 之好... 之... 雨... 時... 恨... 不能... 以... 漢... 世... 我... 片... 時...
 這... 比... 皆... 皮膚... 些... 這... 這... 物... 可... 然... 多... 輩... 推... 油... 這...
 ... 將... 蘇... 一... 人... 愛... 名... 重... 美... 表... 字... 可... 此... 許... 親... 分... 世... (何... 以... 為...
 夢... 見... 地... 步... 大... 梁... 山... 人... 評... 云... 乎... 重... 叙... 重... 二... 人... 漢... 也)... 許... 幾... 校... 又...
 後... 鬼... 仙... 玉... 拖... 下... 盡... 必... 終... 喊... 叫... 可... 鄉... 救... 我... (想... 不... 某...
 山... 人... 評... 想... 坐... 山... 路... 早... 已... 反... 轉... 於... 秦... 王... 與... 諸... 人... 它... 情... 不... 過...
 供... 以... 昭... 示...)... 要... 我... 血... 因... 室... 玉... 至... 夢... 中... 喚... 他... 的... 心... 是... 因...
 納... 肉... 骨... ... 他... 如... 何... 知... 道...

不借国皮瑞炕屏]承义叙又说我不会说话了... (姐姐) 是
也没见你们王家的东西总是好的你们那裏也放着那
些好东西(包可立肉)只是差个我的东西修前... 贾
宝玉忙转回身来至手侍立... 那凤姐只较慢的吃茶出了
半日神方哄是罢了你且去睡

大寶殿 [頭指根] 初發時吃... 厥法和為冷香丸便愈病
及時喘嗽生[薛氏]媽... 不知發了法甚怪... 麼化出來
小老這花兒粉兒的一盆玉... 爲了一發便白道這是單爲家
一人這是別的姑娘們都只爲周瑞家的道各位都了
這多支[燈籠]是姑娘的... 盆玉道這就知是別人不挑
剩下的也不信我... 尤如哄道... 人家的孩子都是野人
慣了的不像你這般辣俊形... 恩姐... 幸是他哪叱我
也要見一見[交辣俊]雷兒所收孩子... 情信... 只見船泊岸不
見岸泊船往漢腰膝... 無緣端(皆)... 痛傷目秀... 面米
唇材俊俏帶口... 成以在案王... 江兵... 爲... 妙... 遊
面... 合糊... 泊白風... 體... 作樣... 曰好... 盆玉一見... 鍾人...
心中便有所失... 句思道... 我交成了... 瘋狗... 我這事
罷尼博... 焦大見... 大總... 說他不公道欺欺... 煩
且好差便... 派了別人這樣更半夜送人[素鐘]就依我...
錢教一品... 腿比你的... 遠... 略... 白刀子進去紅刀子出來
8金瓶梅 25回末眼兒曹主人38回轉二曹王六忠更覺其姻緣19由

五
一
〇

*65 回 竟兒对隆兴考呢道 咱们个兒引要公道：这一个小子烧饼

...凡在家动用... 竟王兒了为以为竟不知何名何用... 只火上
另个纺車铁友以为稀奇(先前竟之不豫自鸣号要授一也)... 只
只那小纺紡紡紡束果些好看忽忽那这竟子叫道：「这快
过来那小纺紡紡紡束一往去了... 竟不竟竟却见这二小纺紡紡紡
个小孩子... 同竟几个小孩子说笑而束竟王愧不自禁然与生车上
只以目相送一时竟捲风飘而竟已踪踪了... 这慢法竟就
是水月庵... 竟王说竟能以来竟要竟说理那东西作什么竟王说
你別再怨那一时竟太凉裏一个人没尽你操甚他作什么... 竟
姐道我比不比他们批篷拉纤的圆银子这三千两银子不
过是统打友去说的小厮作些竟竟对他们赠几个辛苦钱我
一个钱也不要(好是竟人偶是此竟都竟)... 竟王道好人我
已急死了... 竟王说竟竟竟竟竟一口吹了灯... 正在的竟只
见一人来进... 竟王道好人... 你要怎样我竟依你竟王道竟...
等一会睡下再细工的补帐... 竟王不知与竟王称何帐目来见
竟切比你竟紧不敢竟创一宿无话(这烧饼帐竟已竟
竟切)(大某山人评：竟能竟竟竟你热怎么样竟竟对宝
王云你要怎样总是那一根呀)

est le sens de ces singuliers anamorphoses, ou portraits
doubles d'un visage, qu'il suffit de retourner pour le voir
se changer en tête de mort. On reconnaît alors dans le
visage un squelette et dans la vie un dégoûtement.



a beautiful country laying on the crest of
the Adriatic.
The old woman beared scars in her eyes
The Magnificent dance comprise fascination
beauty, dances & splendid costumes
楊梅生

張西廂
楊梅生
行路之
早到
南
我
是
他
家
的
兒
子
面
又
苦
教
育
是
一
個
極
難
的
事
情

[G e n e r a l I n f o r m a t i o n]

书名= 钱钟书手稿集 中文笔记 1 8

作者= 钱钟书

丛书名= 钱钟书手稿集

页数= 5 1 4

S S 号= 1 2 9 8 0 9 2 8

出版日期= n u l l

出版社= 商务印书馆

参考文献格式= 钱钟书. 钱钟书手稿集 中文笔记 1 8 . 北京市：商务印
书馆,